

平成30年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

放課後児童クラブのニーズ把握に関する
調査研究
報告書

平成31年3月

株式会社 政策基礎研究所

E B P 政策基礎研究所
Doctoral Institute for Evidence Based Policy

要約

【背景と目的】

放課後児童クラブの実施やその利用においては、利用者のニーズが世帯構成や親の就業状況・子供の年齢等によって異なること、市町村の施策等の状況によって提供されるサービス内容が異なること、市町村から提供するサービスと利用者のニーズとの間にミスマッチが生じうること、等が課題となっている。したがって、放課後児童クラブのニーズを正確に把握する上では、現在の利用状況を見るだけでなく、利用者側・サービス提供側それぞれにおける、利用状況やニーズに影響を及ぼす要因等について検討することが必要と考えられる。

以上を踏まえ、本調査では、放課後児童クラブの利用状況やニーズを規定する要因を探ることで、地域における放課後児童クラブの正確なニーズを把握するための方法を検討することを目的とする。

以上の結果を踏まえ、市町村が管内の放課後児童クラブのニーズ把握を行う場合に活用できる調査方法について、報告書にまとめる。

【対象と方法】

（１）世帯向けのアンケート調査

放課後児童クラブの利用者側における潜在的ニーズやその要因を探るため、小学生児童のいる世帯を対象とするネットアンケート調査を行い、1,519世帯から回答を得た。放課後児童クラブやそれ以外の放課後の活動・サービスの利用（希望）状況、およびその理由、世帯構成や親の就業状況等について調べ、世帯の状況別の利用状況やその要因の違い、および地域による違い等について検討した。

（２）市区町村向けのアンケート調査

放課後児童クラブのサービス提供側における提供状況や課題を探るため、1,021市区町村を対象とするアンケート調査を行い、647市区町村から回答を得た（回収率 63.4%）。放課後児童クラブやそれ以外の放課後児童対策に関する施策の実施状況、成果や課題等について調べるとともに、人口規模等における施策の違いについても検討した。

【結果と考察】

（１）アンケート結果のまとめ

①放課後児童クラブを利用する（しない）理由について

- 放課後児童クラブを利用している理由については、「夏休み等長期期間中に利用できる」「子どもが行きたいと言った」等を挙げる割合が高くなっていた。
- 放課後児童クラブを利用していない理由については、利用意思はあるが利用していない場合には、「料金面で不満がある」「その他」等を挙げる割合が高くなっていた。また、利用をやめた場合には、「子どもが行きたくないと言った」「料金面で不満があった」「その他」等を挙げる割合が高くなっていた。
- 「放課後児童クラブ利用をやめた世帯」において、子どもに利用意思がないた

めに利用をやめた人は、利用料等よりも質の高さを重視してサービスを選ぶ傾向にあるのに対し、子どもに利用意思があるのにもかかわらず利用をやめた人は、サービスを選ぶ際に利用料等を考慮せざるを得ない傾向にある、という可能性が示唆された。

②放課後児童クラブ利用の有無を規定する要因について

- 「世帯所得」との関連については、低所得の世帯および中程度の所得の世帯において、利用意思のある世帯における利用割合が低くなっていた。さらに、中程度の所得の世帯では、他の有料サービスとの併用は経済状況的に難しいため放課後児童クラブを利用していない、という可能性も示唆された。
- 「親の帰宅時間」との関連については、両親とも 18:00 以降に帰宅する世帯において、利用意思のある世帯における利用割合が高くなっていた。
- 「放課後のサービスに求める内容」との関連については、「長時間の預かり」「行事への参加」「食事の提供」等の内容を求める人は放課後児童クラブを利用しやすいことが示唆された一方で、「就労体験・ボランティア体験」「講座・ワークショップ・研修会などの開催」「短時間の預かり」等の内容を求める人は放課後児童クラブを利用しにくいことが示唆された。
- 「放課後児童クラブの利用を決める理由」との関連については、「夏休み等長期休暇中の利用の可否」「長時間の利用の可否」「サービス実施場所までのアクセス」等を理由として挙げる人は放課後児童クラブを利用しやすいことが示唆された一方で、「その他」「利用料」「サービスの評判」等を理由として挙げる人は放課後児童クラブを利用しにくいことが示唆された。
- 回帰分析の結果、「放課後のサービスに求める内容」として「長時間の預かり」と回答している、もしくは「放課後児童クラブの利用を決める理由」として「長時間の利用の可否」「サービス実施場所までのアクセス」「学校や保護者との連携」と回答している場合には、そうでない場合に比べて放課後児童クラブを利用しやすくなる、という傾向がみられた。放課後児童クラブの利用を検討する人にとって、長時間利用できるかどうかサービス利用の重要なポイントとなることが推察される。

③市区町村における事業実施上の課題について

- 人口規模の大きい市区町村では「事業を実施する場所が不足している」「スタッフ数が不足している」「定員に対して利用者数が超過している」「予算が不足している」等が課題として多く挙げられていた。一方で、人口規模の小さい市区町村では、それらの課題に加え、「駅や学校から遠く、公共交通機関が整備されていないため通いにくい」「条例や運営指針が策定されていないため、事業の方向性を定められない」等も課題として挙げられる、という傾向がみられた。

(2) 市町村が管内の放課後児童クラブのニーズ把握を行う場合に活用できる調査方法について

①放課後児童クラブに対する潜在的なニーズの把握

- 本調査では、小学生の子どもがいる世帯における放課後児童クラブの利用状況の把握に当たり、単に「利用している」「利用していない」の区分だけでなく、「利用していない」世帯について「利用意思はあるが利用していない（できない）」「利用をやめた」「利用する意思がない」のいずれに該当するかを調べ、現状では放課後児童クラブの利用に至っていないが、状況が変われば利用する可能性のある世帯も含めた「放課後児童クラブに対する潜在的ニーズがある（と思われる）層」の把握を試みた。
- 従来の「登録児童数」や「登録児童における待機児童数」の把握のみでなく、「登録に至っていない人も含めた潜在的ニーズを持つ人の数」を把握することにより、実際にサービスを必要としている人がどの程度いるかを、より正確に把握できると考えられる。

②放課後児童クラブ利用の有無に関わる要因の把握

- 本調査では、放課後児童クラブの利用の有無に関わる要因を把握するに当たり、放課後児童クラブを利用する（しない）理由や、世帯の状況等について、様々な検討を行った。その結果、同じように「利用している（していない）」という状況であっても、理由や状況に応じて、様々な異なるニーズを持つ群に分類されることが示唆されたため、放課後児童クラブの利用の有無との関連が示唆された「1. スタッフやサービスの質」「2. 利用料・減免制度」「3. 利用可能な時間」等の項目を中心に「利用の有無に関わる要因」の把握を行い、どのようなタイプが多いか等によって、サービスの整備の進め方を検討することが必要であると考えられる。

【成果の公表について】

本調査の報告書をホームページ等に掲載し、広く周知する予定である。

目次

第1章	調査の考え方	1
1.1	本調査の背景・目的	1
1.2	本調査のフロー	2
第2章	文献レビュー	3
2.1	利用者におけるニーズを規定する要因	3
2.1.1	親の就業状況の変化	3
2.1.2	子どもの居場所の減少	3
2.1.3	支援が必要な家庭の状況	3
2.2	市区町村における事業の実施上の課題	4
2.2.1	実施場所の確保	4
2.2.2	周辺（保護者、地域住民、学校）との連携	4
2.2.3	スタッフの質	4
2.2.4	支援が必要な子どもへの対応	5
2.2.5	運営状況や地域性	5
2.3	放課後児童クラブの地域のニーズ把握の方法について	6
第3章	世帯向けのアンケート調査	7
3.1	対象と調査方法	7
3.1.1	調査対象	7
3.1.2	調査対象の抽出方法	7
3.1.3	調査方法	8
3.1.4	調査期間	8
3.1.5	調査項目（詳細は第6章を参照）	8
3.1.6	倫理的配慮	9
3.2	回収状況等	10
3.3	調査結果の概要（設問別単純集計は第6章を参照）	11
3.3.1	放課後児童クラブに対する潜在的なニーズについて	11
3.3.2	放課後児童クラブを利用する（もしくは利用しない）理由について	12
3.3.3	放課後児童クラブの利用の有無と関連する要因について	17
3.3.4	「子どもが行きたがらない」を理由に挙げる世帯とそうでない世帯との比較	28
3.4	放課後児童クラブ利用の有無を規定する要因に関する検討	32
3.4.1	対象	32
3.4.2	被説明変数	32
3.4.3	単回帰分析	32
3.4.4	重回帰分析	34
第4章	市区町村向けのアンケート調査	36

4.1 対象と調査方法.....	36
4.1.1 調査対象	36
4.1.2 調査対象の抽出方法.....	36
4.1.3 調査方法	36
4.1.4 調査期間	36
4.1.5 調査項目（詳細は第6章を参照）	36
4.2 配布・回収状況等	38
4.2.1 調査票全体の回収数等	38
4.2.2 群別の回収数等.....	38
4.3 調査結果の概要（設問別単純集計は第6章を参照）	39
第5章 考察.....	54
5.1 アンケート結果のまとめ.....	54
5.1.1 世帯向けアンケート調査について	54
5.1.2 市区町村向けアンケート調査について	56
5.2 市町村が管内の放課後児童クラブのニーズ把握を行う場合に活用できる調査方法について	58
5.2.1 放課後児童クラブに対する潜在的なニーズの把握	58
5.2.2 放課後児童クラブ利用の有無に関わる要因の把握	58
5.2.3 潜在的ニーズ者数の推計	59
第6章 参考資料	60
6.1 委員会の概要	60
6.1.1 メンバー	60
6.1.2 第1回委員会概要.....	60
6.1.3 第2回委員会概要.....	61
6.1.4 第3回委員会概要.....	61
6.2 アンケート調査票	62
6.2.1 世帯向けアンケート調査	62
6.2.2 市区町村向けアンケート調査	88
6.3 アンケート調査の単純集計	105
6.3.1 世帯向けアンケート調査	105
6.3.2 市区町村向けアンケート調査	120
6.4 参考文献.....	128

図表目次

図表 1	人口規模別・地域別の調査対象世帯数	8
図表 2	人口規模別・地域別の回収数	10
図表 3	本調査対象世帯における放課後児童クラブの利用状況 (n=1,519)	11
図表 4	放課後児童クラブを利用している理由 (n=197)	12
図表 5	放課後児童クラブを利用しているが不満を抱いている理由 (n=31)	13
図表 6	「放課後児童クラブ利用意思はあるが利用していない」場合の利用していない理由 (n=281)	14
図表 7	「放課後児童クラブ利用をやめた」場合の利用していない理由 (n=161)	15
図表 8	「放課後児童クラブ利用意思がない」場合の利用していない理由 (n=768)	16
図表 9	「放課後児童クラブの利用を決める理由」の各カテゴリー対応表	18
図表 10	「居住市区町村の人口規模」別の「放課後児童クラブ利用意思のある世帯における利用割合」	20
図表 11	「世帯所得」別の「放課後児童クラブ利用意思のある世帯における利用割合」	20
図表 12	「放課後児童クラブ利用意思はあるが利用していない共働き世帯」における「放課後児童クラブ以外のサービスの利用状況」	21
図表 13	「親の就業状況」別の「放課後児童クラブ利用意思のある世帯における利用割合」	22
図表 14	「帰宅時間」別の「放課後児童クラブ利用意思のある世帯における利用割合」	22
図表 15	「時短等の利用」の有無別の「放課後児童クラブ利用意思のある世帯における利用割合」	23
図表 16	「土日や長期休暇等の預け先」の有無別の「放課後児童クラブ利用意思のある世帯における利用割合」	24
図表 17	「放課後児童クラブ以外のサービスの利用」別の「放課後児童クラブ利用意思のある世帯における利用割合」	25
図表 18	「放課後のサービスに求める内容」別の「放課後児童クラブ利用意思のある世帯における利用割合」	26
図表 19	「放課後児童クラブの利用を決める理由」別の「放課後児童クラブ利用意思のある世帯における利用割合」	27
図表 20	「放課後児童クラブ利用をやめた世帯」における利用していない理由	29
図表 21	「放課後児童クラブ利用をやめた世帯」における世帯所得	30
図表 22	「放課後児童クラブの利用をやめた共働き世帯」における代替サービスの利用	31

図表 23	単回帰分析の結果	33
図表 24	重回帰分析の結果 (n=634)	35
図表 25	事業実施の有無 (人口規模別)	39
図表 26	放課後児童クラブと合わせて実施している事業 (人口規模別)	40
図表 27	対象となる児童の学校・学年 (人口規模別)	41
図表 28	発達に支援が必要な子どもへの対応 (人口規模別)	41
図表 29	月あたりの利用料 (人口規模別)	42
図表 30	利用料とは別に徴収している費用の有無 (人口規模別)	42
図表 31	別に徴収している費用の金額 (人口規模別)	43
図表 32	利用料の減免制度の有無 (人口規模別)	43
図表 33	各曜日の利用の可否 (人口規模別)	44
図表 34	利用可能な期間 (人口規模別)	45
図表 35	利用日数の選択の可否 (人口規模別)	46
図表 36	終了時間 (人口規模別)	46
図表 37	最寄りの小学校から実施場所までの時間 (人口規模別)	47
図表 38	最寄りの駅から実施場所までの公共交通機関の整備 (人口規模別)	47
図表 39	実施場所から自宅等への送迎の有無 (人口規模別)	48
図表 40	発達に支援が必要な子どもに対応できるスタッフの配置 (人口規模別) ...	49
図表 41	発達に支援が必要な子どもがいる場合の加配 (人口規模別)	49
図表 42	スタッフに求める資格 (人口規模別)	50
図表 43	サービスの内容 (人口規模別)	51
図表 44	学校との連携 (人口規模別)	51
図表 45	保護者との連携 (人口規模別)	52
図表 46	条例や要綱・運営指針の策定 (人口規模別)	52
図表 47	(実施していない場合も含め) 事業実施にあたっての課題 (人口規模別)	53

第1章 調査の考え方

1.1 本調査の背景・目的

放課後児童クラブは、共働き家庭など留守家庭の児童に対して児童館や学校の余裕教室、公民館などで放課後に適切な遊び、生活の場を与えその健全育成を図るもので、地域子ども・子育て支援事業の1事業として、市町村によりその提供体制確保の内容等について「市町村子ども・子育て支援事業計画」に整理されている。

放課後児童クラブの対象児童は、小学校1年生から6年生までの年齢の幅や、発達段階の個人差、家庭環境といった多様性を持ち、また児童が放課後等に過ごす場所としては、放課後児童クラブの他に、児童館、放課後子供教室、クラブ活動、塾・習い事、家庭、友人との遊びの場等様々なケースが想定される。

放課後児童クラブの実施やその利用においては、利用者のニーズが世帯構成や親の就業状況・子供の年齢等によって異なること、市町村の施策等の状況によって提供されるサービス内容が異なること、市町村から提供するサービスと利用者のニーズとの間にミスマッチが生じうること、等が課題となっている。

したがって、放課後児童クラブのニーズを正確に把握する上では、現在の利用状況を見るだけでなく、利用者側・サービス提供側それぞれにおける、利用状況やニーズに影響を及ぼす要因等について検討することが必要と考えられる。

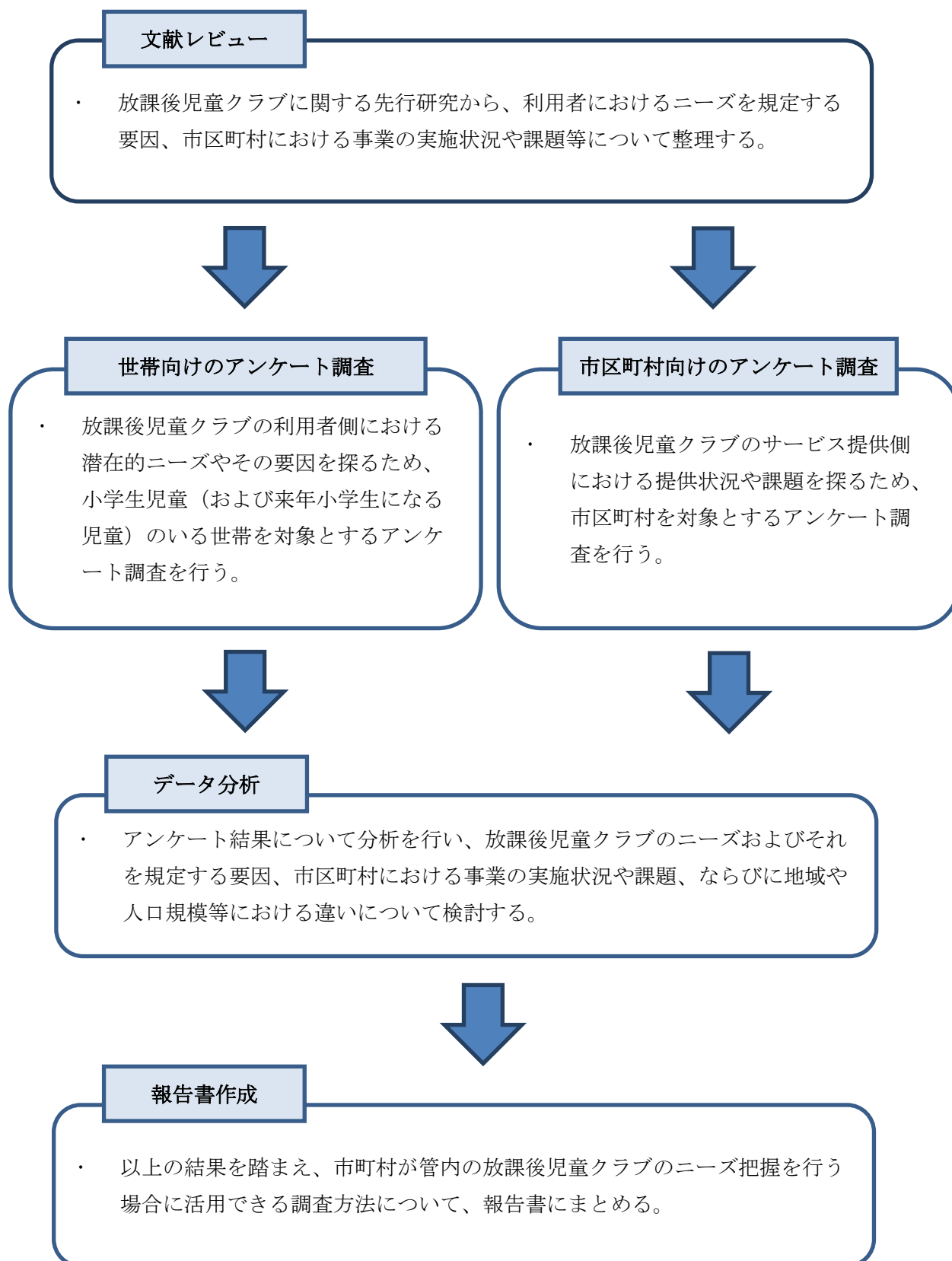
以上を踏まえ、本調査では、放課後児童クラブの利用状況やニーズを規定する要因を探ることで、地域における放課後児童クラブの正確なニーズを把握するための方法を検討することを目的とする。

放課後児童クラブの利用者側における潜在的ニーズやその要因を探るため、小学生児童のいる世帯を対象とするアンケート調査を行う。放課後児童クラブやそれ以外の放課後の活動・サービスの利用（希望）状況、およびその理由、世帯構成や親の就業状況等について調べ、世帯の状況別の利用状況やその要因の違い、および地域による違い等について検討する。

合わせて、放課後児童クラブのサービス提供側における提供状況や課題を探るため、市区町村を対象とするアンケート調査を行う。放課後児童クラブやそれ以外の放課後児童対策に関する施策の実施状況、成果や課題等について調べるとともに、人口規模等における施策の違いについても検討する。

以上の結果を踏まえ、市町村が管内の放課後児童クラブのニーズ把握を行う場合に活用できる調査方法について、報告書にまとめる。

1.2 本調査のフロー



第2章 文献レビュー

放課後児童クラブや放課後児童対策等に関する先行研究から、利用者におけるニーズを規定する要因、市区町村における事業の実施状況や課題等について整理するとともに、放課後児童クラブの地域のニーズを把握するための調査方法について検討を行った。

2.1 利用者におけるニーズを規定する要因

2.1.1 親の就業状況の変化

- ・1990年代以降の社会情勢を受けて、働く母親の増加を助ける必要が生じた。共働きが一般化し、留守家庭児童が増加、青少年非行が増加するという結果に対処する必要があった（三根，2011）。
- ・共働き家庭の増加、地域コミュニティの衰退により、家庭や地域は子ども達の「放課後の居場所」としての役割を十分に果たせずにいる（斎尾・長谷，2007）。

2.1.2 子どもの居場所の減少

- ・少子化傾向により、子供同士のふれあいが減少すること、それによって、自主性や社会性が育ちにくくなり、結果として、生きる力が乏しくなる（三根，2011）。
- ・子どもは単なる遊びの場としてではなく、生活の場として利用するニーズがある。待機児童にとって、「放課後子どもプラン」は親不在による不安感の充足へ十分な役割を担えていない（泉，2009）。
- ・近年に凶悪事件の例があり、子どもだけで外遊びさせることに危険を抱くような、困難な状況がある（斎尾・長谷，2007）。
- ・遊ぶ時間がない、遊び仲間がない、遊ぶ空間がない為に、遊びの中で獲得できる社会性や対人スキルが十分に形成されない懸念がある（開・柿森，2009）。
- ・異年齢での遊び集団が少なくなり、地域での遊び集団が減少したことで、子どもの直接的なコミュニケーション能力や人間関係能力が低下したと指摘される（開・柿森，2009）。

2.1.3 支援が必要な家庭の状況

- ・気になる子どもと保育者への支援に関する課題：被虐待問題や、障害のある児童に加え、ネグレクト、経済困窮家庭、在日外国人家庭、ひとり親家庭など、気になる子どもが出てくる状況は多様である。学童保育がこれへの職責や専門性が認知される形で確立しておらず、社会的にも承認を得ていない。そうした問題に直面していった際に、こういった整備をしていくかは急務である（伊部，2010）。
- ・ソーシャル・インクルージョンに関する課題：指導員が、社会的に孤立しがちな家庭や、ほかの子どもとうまく遊べない子どもなどに意図的にかかわり、寄り添いつつ直接的な支援を行っていたことや、関係性を広げるような支援を行っていたことが有効だと（事

例によって) 示された。様々なニーズを持つ子育て家庭が、学童保育の場を通して包摂されることの意義と可能性についてさらに検討すべきである (伊部, 2010)。

2.2 市区町村における事業の実施上の課題

2.2.1 実施場所の確保

- ・スタッフ不足のあまり、複数空間を利用させずに制限し、児童が自主的に空間選択できない状況がある (斎尾・長谷, 2007)。
- ・留守宅児童増加に伴い、特に都市部にて従来の学童保育施策だけでは待機児童増・空間不足等の理由で追いつかない (斎尾・長谷, 2007)。
- ・学童保育が法制度化され、10年間で学童保育者数や入所児童数が急増しているものの、それに追いついていない (平田, 2007)。

2.2.2 周辺 (保護者、地域住民、学校) との連携

- ・利用児童数が多い保育現場では、現場と保護者の日常的な双方向コミュニケーションが困難化している (斎尾・長谷, 2007)。
- ・日本の学童保育は学校 (小学校教諭) との連携がされているわけではなく、むしろ完全に縦割りのである (植木, 2000)。
- ・「放課後子どもプラン」は地元根付いた形 (住民の理解と協力を得る) にし、学童保育との連携のあり方を展望すべきである (泉, 2009)。
- ・保護者のつながりやネットワークの形成に関する課題: 指導員が保護者の力を借りる、また、保護者同士のかかわりから学童保育への支援を行うことで自分の子どもだけでなく、集団として子どもを育むきっかけになりうる。しかし、近年保護者会といった保護者集団は縮小傾向にあり、この現状に対して保護者間のネットワーク機能を見直す必要がある (伊部, 2010)。

2.2.3 スタッフの質

- ・ボランティアが運営する「放課後子ども教室」は、活動を支える人材確保の面で課題である (泉, 2009)。
- ・学童保育指導員は施設数の増加に伴い増加傾向だが、勤続年数は1~3年である。労働条件に課題 (設備不十分、勤続できる雇用条件の整備、指導員の専門性教育) があると考えられる (平田, 2007)。
- ・指導員への研修会は地域によっては行われていない。指導員は子どもの理解を深めるモチベーションを持っているが、行政側がそのモチベーションを理解できていない (平田, 2007)。
- ・伝統的な共同体の崩壊と新しいコミュニティの未形成という状況の中で大人との関係が希薄化している。学童保育は大人 (親・教師) と子どもの橋渡しの機能・役割を意識し

始めている。学童保育や指導員は、こうした課題を果たすために質的向上（専門性）が求められるようになってきている（内田，2010）。

- ・家庭に帰宅すべき本来的な生活を曲げて通室する子どもを受け入れる指導員は、「気持ちの不安定な子ども達」との関わりを宿命的な課題として背負っている。最大の課題は「指導員の役割と仕事の理解を広げること」（森，2007）。
- ・学童保育には職務内容の規定もなく、指導員の経歴にも格差があり、暗黙のうちに職務に関する相互の了解、合意を得ることができにくい。特に仕事の内容と役割の果たし方に対する各人の温度差は大きい（森，2007）。

2.2.4 支援が必要な子どもへの対応

- ・障害が認められる子がいじめの対象になりやすい。障害を抱えた子どもが自分らしく活動できる場、そして、異質な個性を排除しない集団をどう育てるかが課題となる（内田，2010）。
- ・いじめ問題の解決は（最終的には）子ども自身の力によらなければならない。子どもが持っている潜在解決能力をどう引き出すか（内田，2010）。
- ・いじめが起こった際に傍観しているだけの立場の子どもへどう対応するのも考えなければならない（内田，2010）。
- ・当該児に対して、学校、家庭との連携も必要だが、指導員がどう振舞えばよいかを考える必要がある。当該児は学校でも家庭でも、時には学童クラブでも大人の顔色を伺っている様子が見え、下級生には暴力的に振舞っていた。そうした歪んだ形ではなく自分を出せる場として学童クラブを位置づけるにはどうしたらよいか課題として見えてきた（内田，2010）。

2.2.5 運営状況や地域性

- ・現在の二元行政的な運営では、「放課後子どもプラン」は手続き的に非効率的である（泉，2009）。
- ・運営・経営の課題：公設公営の場合は各種とも確保されやすいが、民営の場合は地域性や自治体行政の方針との関連において、活動の幅があり、それが運営、経営にも影響している。組織運営に関しては、職員の雇用形態（正規、非常勤）によって指導者集団形成・チームワークに反映されるという事例もある（伊部，2010）。
- ・学童保育の法的位置づけは極めてあいまいで、1）公的責任があいまい、2）最低基準が作られていない、3）予算があいまいで補助金も大変少ないといったことが指摘される（中田，2011）。
- ・学童保育の現状は地域の差が大きくなっており、全国の学童保育を一概に論じるのは困難な状況にある（中田，2011）。

2.3 放課後児童クラブの地域のニーズ把握の方法について

放課後児童クラブの地域におけるニーズを把握するための方法については、放課後児童クラブと同様に共働き世帯等の留守家庭にとって必要となる保育サービスの潜在的なニーズに関する調査（内閣府，2003）や、各市区町村が実施している小学生のいる世帯を対象とした放課後サービスのニーズに関する調査を参考に、調査方法について検討した。

それらの調査で用いられている調査項目等を踏まえ、親の就業状況、就業時間、世帯年収、放課後サービスの利用希望時間や日数、サービスを利用する（しない）理由、サービスに望む内容、サービスの利用料に対する意識、障害を持つ子どもに関するサービスの実施状況、等といった放課後サービスの利用に関連する様々な要因と放課後児童クラブの利用との関連について検討し、放課後児童クラブの利用状況やニーズに大きく関わる要因や、世帯や地域の状況によるニーズの違い等について把握するという方向で、本調査を実施することとした。

第3章 世帯向けのアンケート調査

3.1 対象と調査方法

3.1.1 調査対象

小学生の子どものいる世帯を対象とした。

3.1.2 調査対象の抽出方法

3.1.2.1 夫婦と子どものいる世帯

二段階抽出法を用いて抽出を行った。

第一段階では、全国の市区町村を「人口規模¹（6群）」および「地域（4群）」からなる24群に分けた上で、各群で1～4市区町村ずつランダムに抽出し、合計で48市区町村を調査対象とした（詳細は次ページの図を参照）。

第二段階では、第一段階で抽出された市区町村別に20～100世帯ずつ抽出した。ただし、人口が少ない市区町村では、市区町村単位ではまとまった数を抽出することが難しかったため、人口規模ごとにまとめて抽出することとし、合計で1,430世帯を調査対象とした（詳細は次ページの図を参照）。

さらに各市区町村では、世帯類型（核家族で共働き／核家族で共働き以外／それ以外の世帯で共働き／それ以外の世帯で共働き以外）別の世帯数について、「平成27年国勢調査における最年少の子どもが12歳以下の世帯²」における比率に近くなるように割り当てた。

¹ 人口規模は「平成30年1月1日住民基本台帳人口・世帯数、平成29年人口動態（市区町村別）（総計）（http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01gyosei02_02000177.html）」による。

² 平成27年国勢調査における「夫婦の就業・非就業、子供の有無・数・年齢、世帯の家族類型別夫婦のいる一般世帯数」による。

図表 1 人口規模別・地域別の調査対象世帯数

	北海道・東北	関東信越・東海 北陸	近畿・中国・四 国	九州（沖縄含 む）
政令指定都市・特別区	100 世帯 (1 市区町村)	100 世帯 (1 市区町村)	100 世帯 (1 市区町村)	100 世帯 (1 市区町村)
中核市	100 世帯 (1 市区町村)	100 世帯 (1 市区町村)	100 世帯 (1 市区町村)	100 世帯 (1 市区町村)
上記以外の人口 10 万 人以上の市区町村	100 世帯 (2 市区町村 50 世帯ずつ)	100 世帯 (2 市区町村 50 世帯ずつ)	100 世帯 (2 市区町村 50 世帯ずつ)	100 世帯 (2 市区町村 50 世帯ずつ)
上記以外の人口 5 万人 以上 10 万人未満の市 区町村	40 世帯 (2 市区町村 20 世帯ずつ)	40 世帯 (2 市区町村 20 世帯ずつ)	40 世帯 (2 市区町村 20 世帯ずつ)	40 世帯 (2 市区町村 20 世帯ずつ)
人口 1 万人以上 5 万人 未満の市区町村	50 世帯（地域ごとに 2 市区町村ずつ、計 8 市区町村での合計）			
人口 1 万人未満の市区 町村	20 世帯（地域ごとに 4 市区町村ずつ、計 16 市区町村での合計）			

3.1.2.2 ひとり親世帯

ひとり親世帯については、二段階抽出法は用いず、全国から 100 世帯抽出した。

3.1.3 調査方法

自記式ネットアンケート調査

3.1.4 調査期間

2018 年 12 月～2019 年 1 月

3.1.5 調査項目（詳細は第 6 章を参照）

- 子どもの状況について（小学生以外も含め、子どもごとに回答）
 - 放課後児童クラブを含む放課後のサービス・活動の利用の有無
 - 子どもの性別・年齢（学年）
 - 未就学児の通う施設
 - サービスの夏季休暇中の利用状況
 - サービス利用を希望する週当たりの日数（利用していないサービスも含めて）
 - 子どもの学力に対する評価

- 世帯の状況について（世帯ごとに回答）
 - 世帯構成（同居家族）
 - 所得
 - 就業（継続）の有無と意思
 - 出勤時間・帰宅時間
 - 勤務先での時短等の制度利用の有無
 - 土日祝日・夏季休暇中の預け先の有無
 - どのような内容のサービス（預かり、学習支援、遊び場…）を望むか
 - 親の精神的状態（幸福感、うつ）
- サービスを利用する理由・利用しない理由（サービスごとに、以下の中から複数選択）
 - 月あたりの利用料
 - 土日祝日・夏季休暇中の利用の可否
 - 利用日数や時間の選択の可否
 - 利用時間の長さ
 - 実施場所のスペース
 - 実施場所までのアクセス
 - サービス内容（勉強をみてもらえるか等）
 - スタッフの質
 - 学校や保護者との連携
 - 代替サービスの有無
- サービスに対する不満の有無とその理由（サービスごとに回答）

3.1.6 倫理的配慮

本調査は、花園大学研究倫理委員会の承認を受けて行われた（承認年月日：平成 30 年 10 月 30 日，承認番号：2018-09）。

3.2 回収状況等

群別の回収数は以下となった。

図表 2 人口規模別・地域別の回収数

群	回収数	
政令指定都市・特別区	北海道・東北	104 票
	関東信越・東海北陸	71 票
	近畿・中国・四国	104 票
	九州（沖縄含む）	104 票
中核市	北海道・東北	104 票
	関東信越・東海北陸	104 票
	近畿・中国・四国	104 票
	九州（沖縄含む）	104 票
上記以外の人口 10 万人以上の市区町村	北海道・東北	98 票
	関東信越・東海北陸	102 票
	近畿・中国・四国	104 票
	九州（沖縄含む）	91 票
上記以外の人口 5 万人以上 10 万人未満の市区町村	北海道・東北	41 票
	関東信越・東海北陸	44 票
	近畿・中国・四国	34 票
	九州（沖縄含む）	40 票
人口 1 万人以上 5 万人未満の市区町村	44 票	
人口 1 万人未満の市区町村	18 票	
ひとり親世帯	104 票	
合計	1,519 票	

回収の結果、「人口 5 万人以上 10 万人未満」の市区町村の一部では十分な回収数が得られなかったため、人口 7 万 5 千人未満の市区町村を「人口 2 万人以上 7 万 5 千人未満」と「人口 2 万人未満」という 2 群に再度分類し、以降の分析ではその区分を用いることとした。

3.3 調査結果の概要（設問別単純集計は第6章を参照）

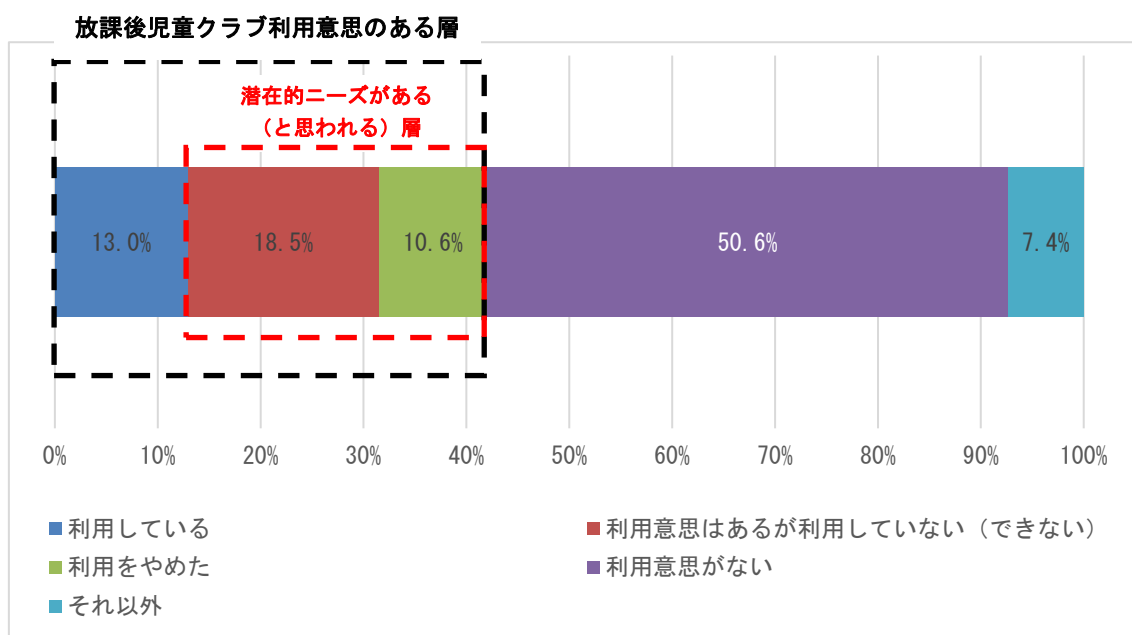
3.3.1 放課後児童クラブに対する潜在的なニーズについて

本調査では、放課後児童クラブを始めとする各サービスの利用について、単に「利用している」「利用していない」のいずれかの回答を求めるだけでなく、「利用していない」世帯に対し、さらに「利用意思はあるが利用していない（できない）」「利用していたがやめた」「利用する意思がない」のいずれに該当するかについて回答を求めた。

その結果、本調査対象世帯における放課後児童クラブの利用状況の分布については以下ようになった。

このうち、「利用意思はあるが利用していない（できない）」「利用していたがやめた」世帯については、サービスの内容や条件、世帯の状況等が変われば利用するようになる可能性があると考えられることから、「放課後児童クラブに対する潜在的ニーズがある（と思われる）層」と想定される。

そのため、これ以降の分析においては、「利用している」「利用意思はあるが利用していない（できない）」「利用していたがやめた」と回答した世帯を合わせて「放課後児童クラブ利用意思のある世帯」とみなし、分析を行うこととした。

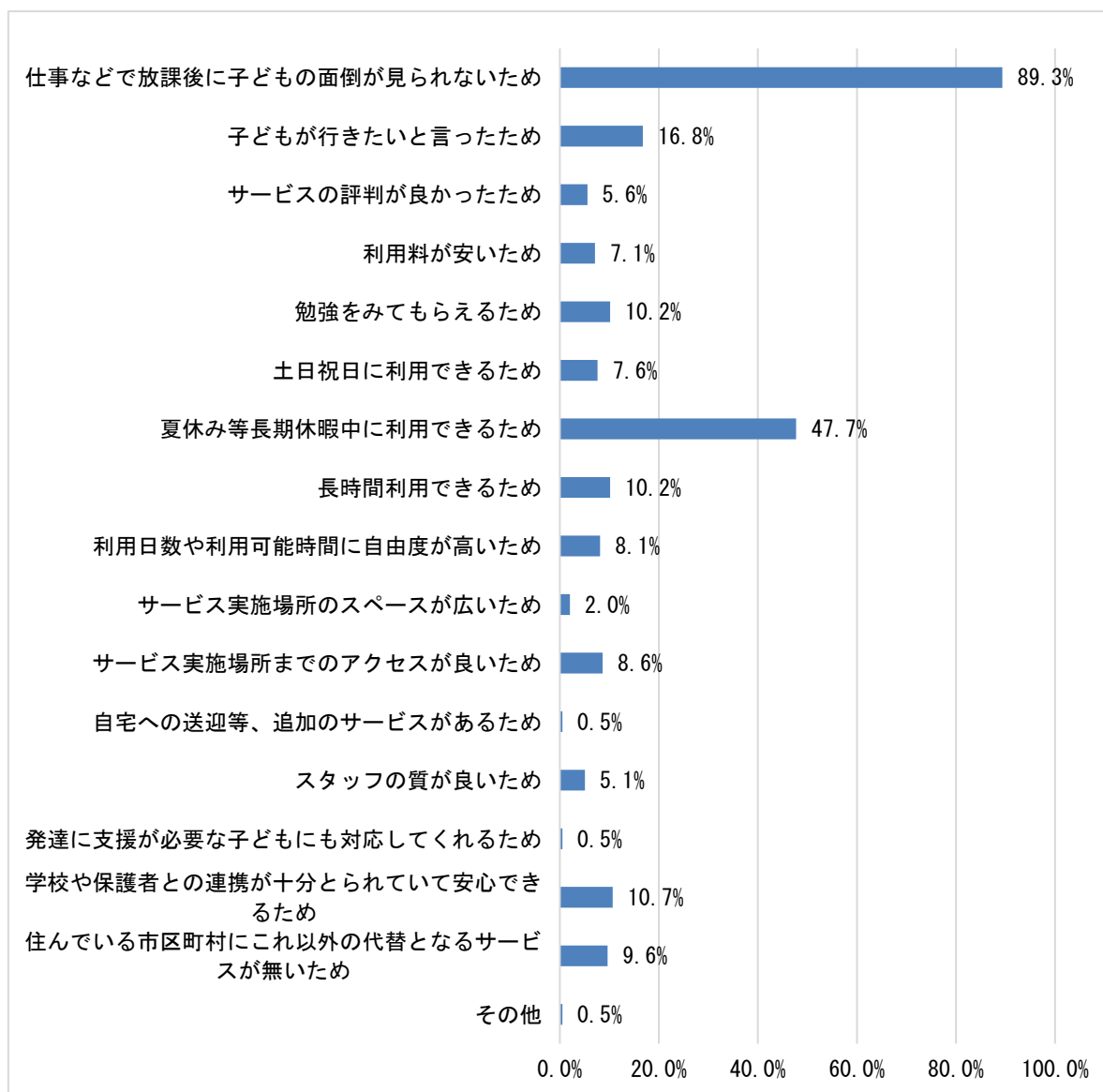


図表3 本調査対象世帯における放課後児童クラブの利用状況（n=1,519）

3.3.2 放課後児童クラブを利用する（もしくは利用しない）理由について

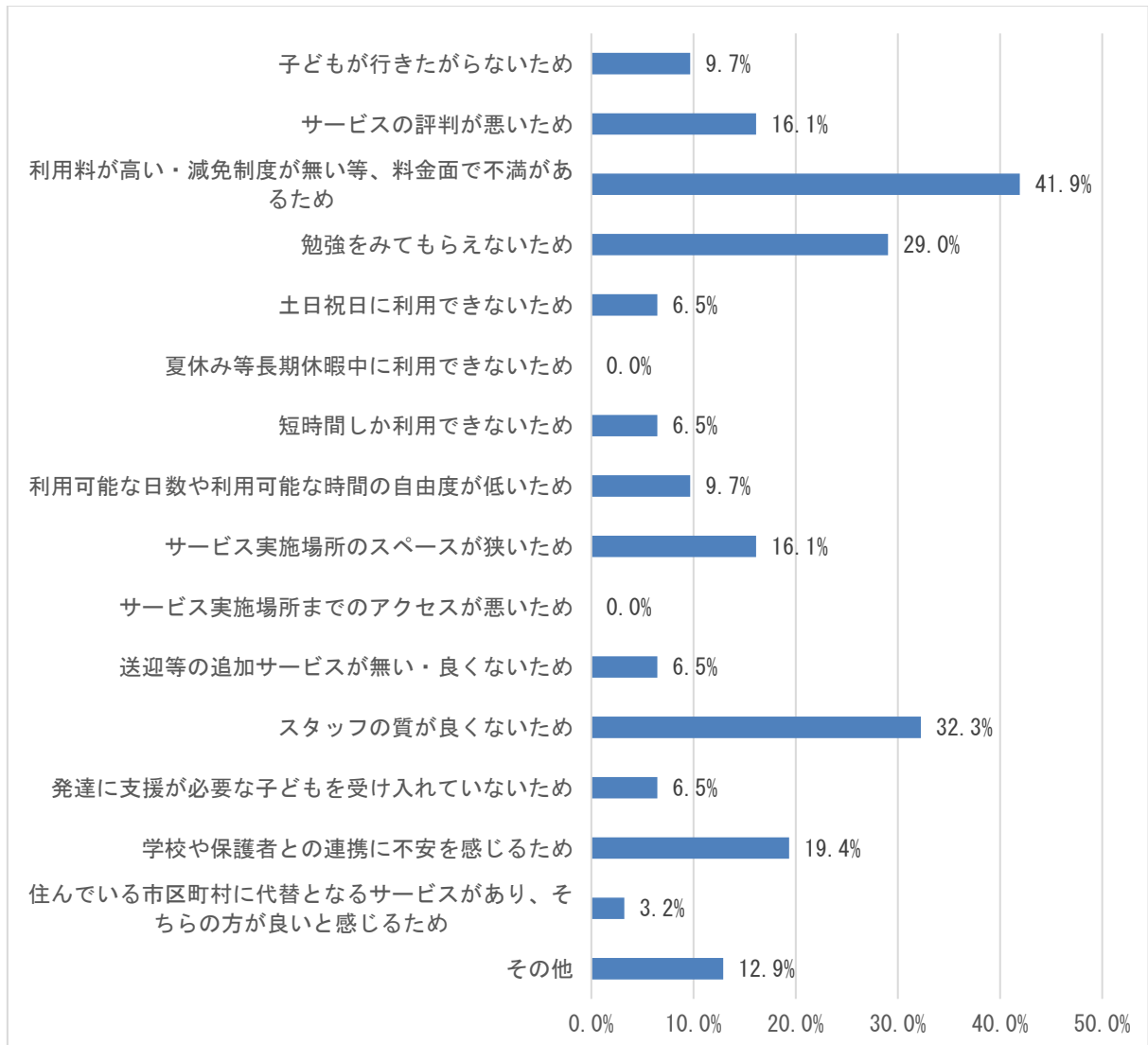
放課後児童クラブの利用に関連する要因について検討するため、利用している世帯、利用しているが不満を抱いている世帯、利用意思はあるが利用していない世帯、利用をやめた世帯、利用意思のない世帯について、それぞれ主にどのような理由を挙げているのかを調べた。

まず、放課後児童クラブを利用している理由については、「子どもの面倒が見られない」等の利用せざるを得ない理由を除くと「夏休み等長期期間中に利用できる」「子どもが行きたいと言った」等を挙げる割合が高くなっていた。



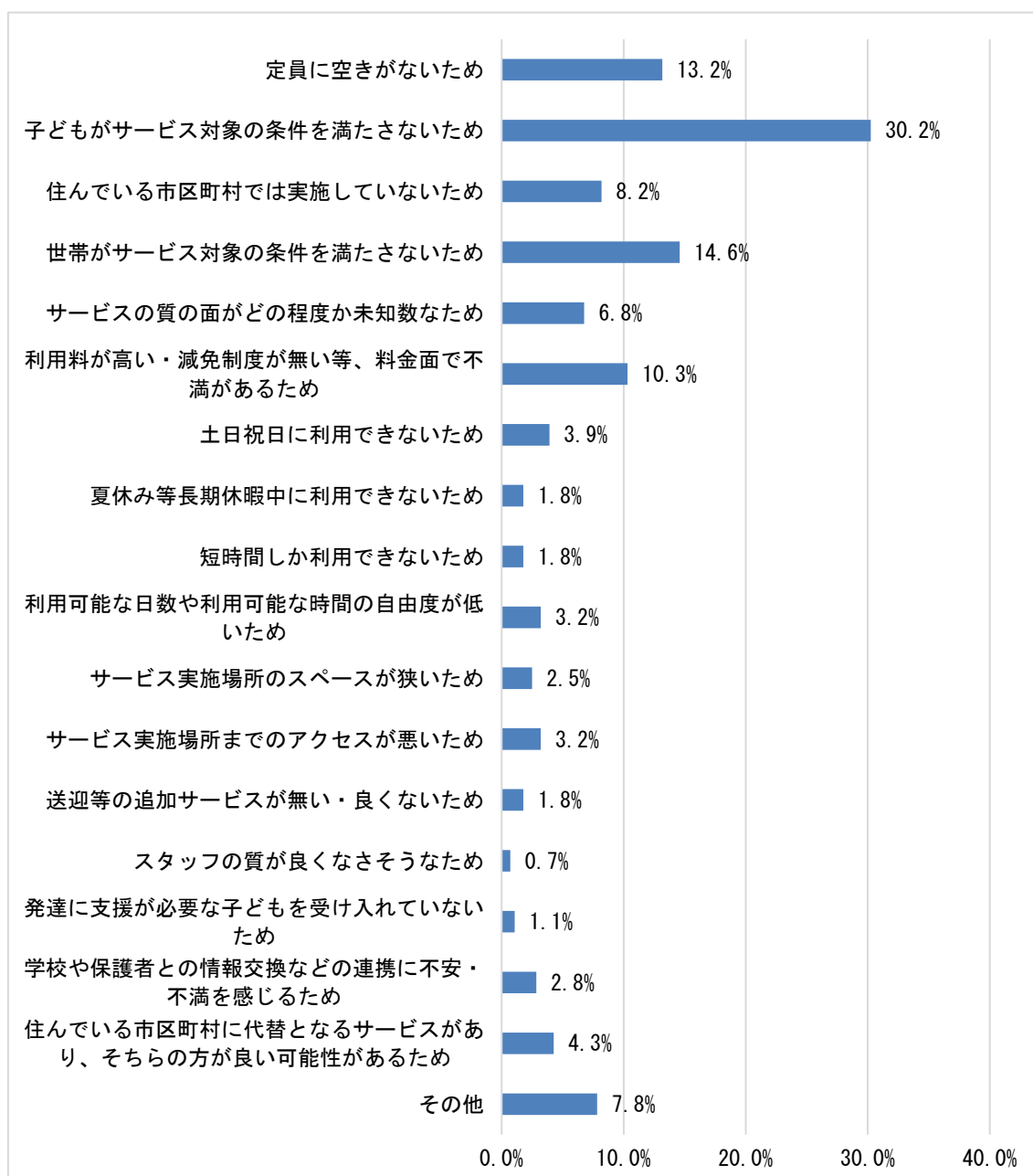
図表 4 放課後児童クラブを利用している理由 (n=197)

一方で、放課後児童クラブを利用しているが不満を抱いている場合の理由については、「料金面で不満がある」「スタッフの質が良くない」「勉強をみてもらえない」等を挙げる割合が高くなっていた。



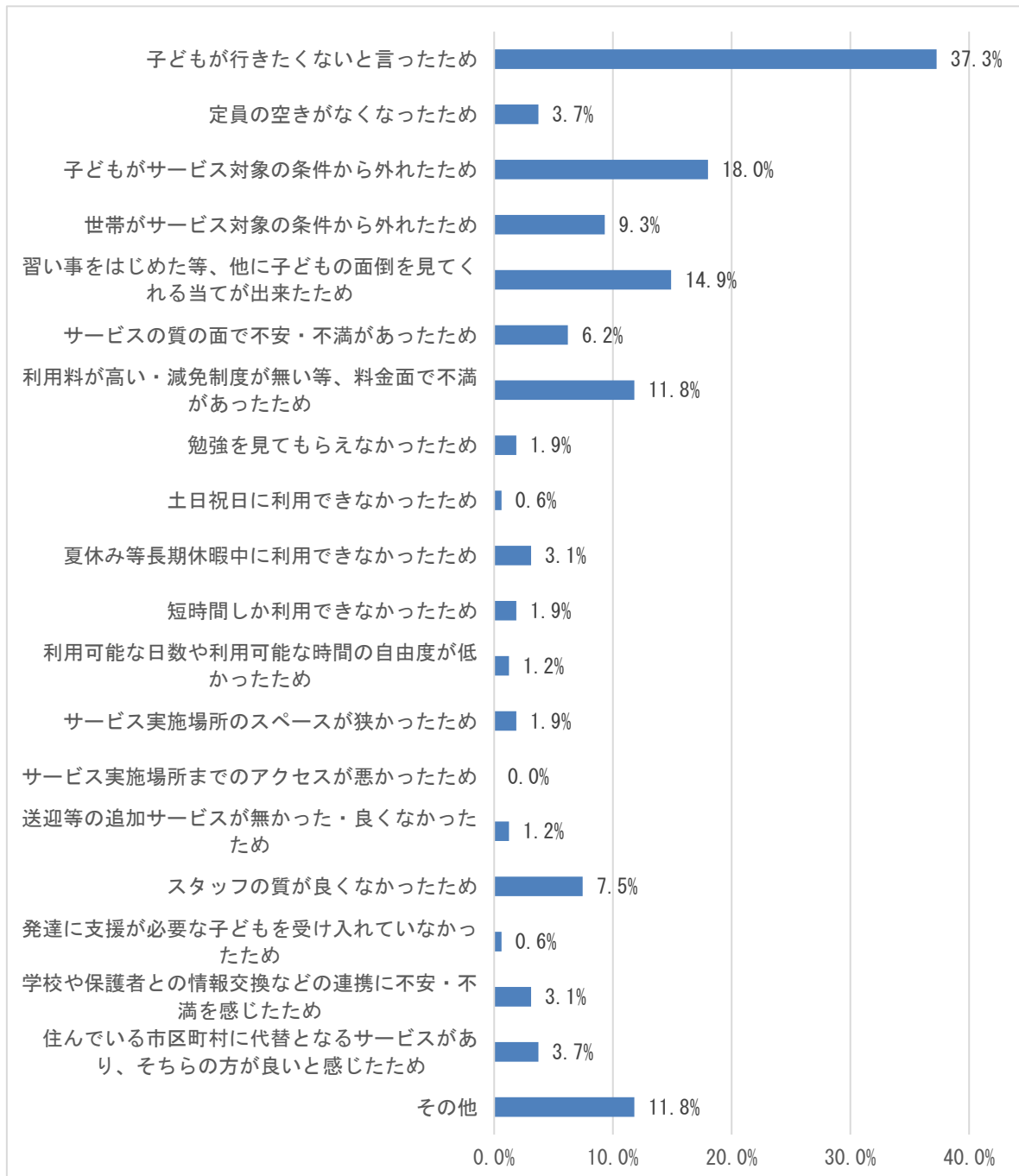
図表 5 放課後児童クラブを利用しているが不満を抱いている理由 (n=31)

続いて、放課後児童クラブを利用していない理由については、利用意思はあるが利用していない場合には、「利用する必要がない」「世帯が条件を満たさない」「居住市区町村では実施していない」等の利用をやめざるを得ない理由を除くと「料金面で不満がある」「その他」等を挙げる割合が高くなっていった。



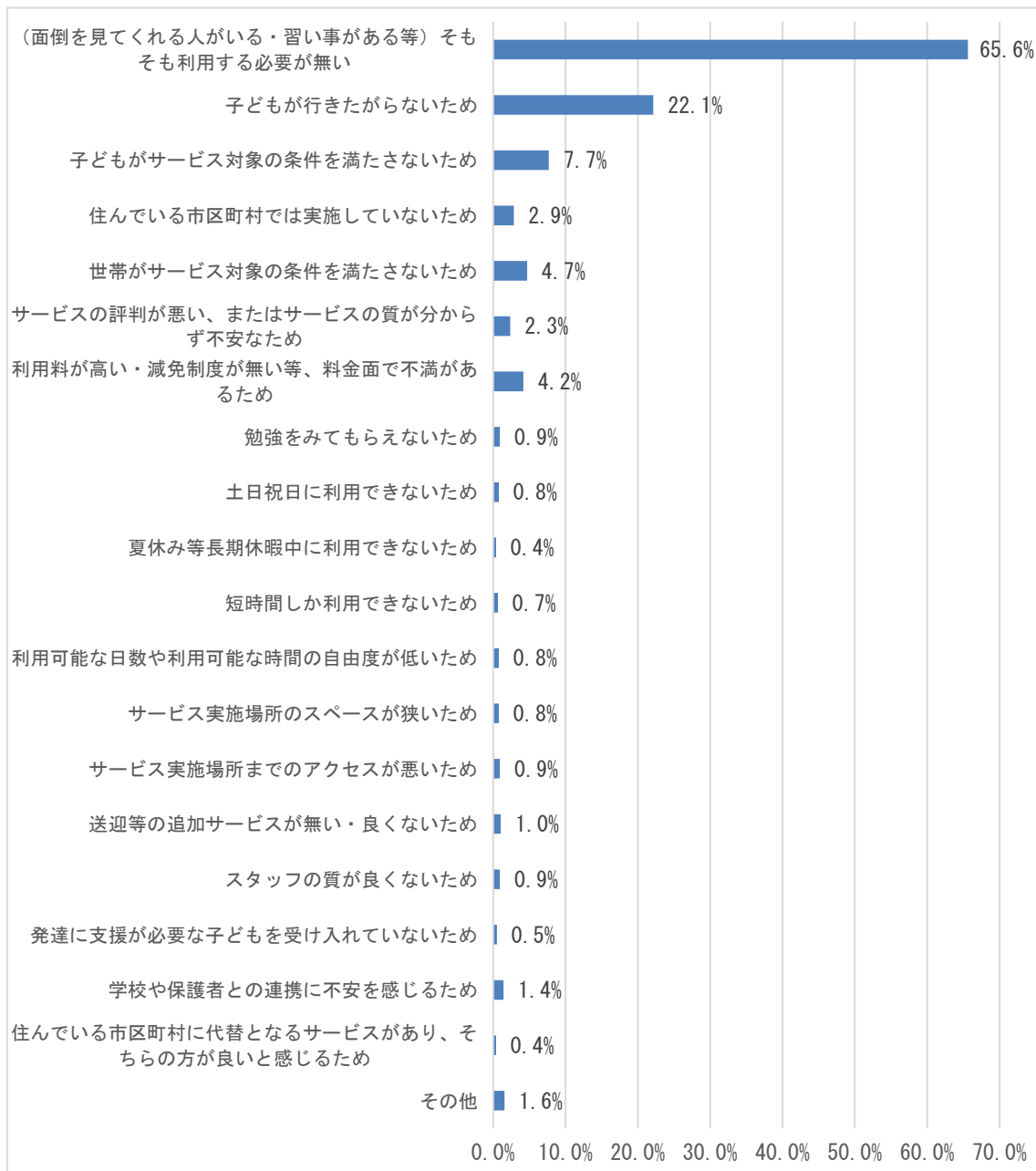
図表6 「放課後児童クラブ利用意思はあるが利用していない」場合の利用していない理由 (n=281)

利用をやめた場合には、「子どもが行きたくないと言った」「料金面で不満があった」「その他」等を挙げる割合が高くなっていた。



図表7 「放課後児童クラブ利用をやめた」場合の利用していない理由 (n=161)

利用意思がない場合には、「子どもが行きたがらない」「料金面で不満がある」「サービスの評判が悪い」等を挙げる割合が高くなっていった。



図表 8 「放課後児童クラブ利用意思がない」場合の利用していない理由 (n=768)

3.3.3 放課後児童クラブの利用の有無と関連する要因について

続いて、世帯の状況や放課後のサービスへの考え方等を示す変数について、放課後児童クラブの利用との関連をみるため、カテゴリー間で「放課後児童クラブ利用意思のある世帯における利用割合」の比較を行った。

なお、分析に先立ち、以下の変数については既存の設問から新たに作成して用いた。

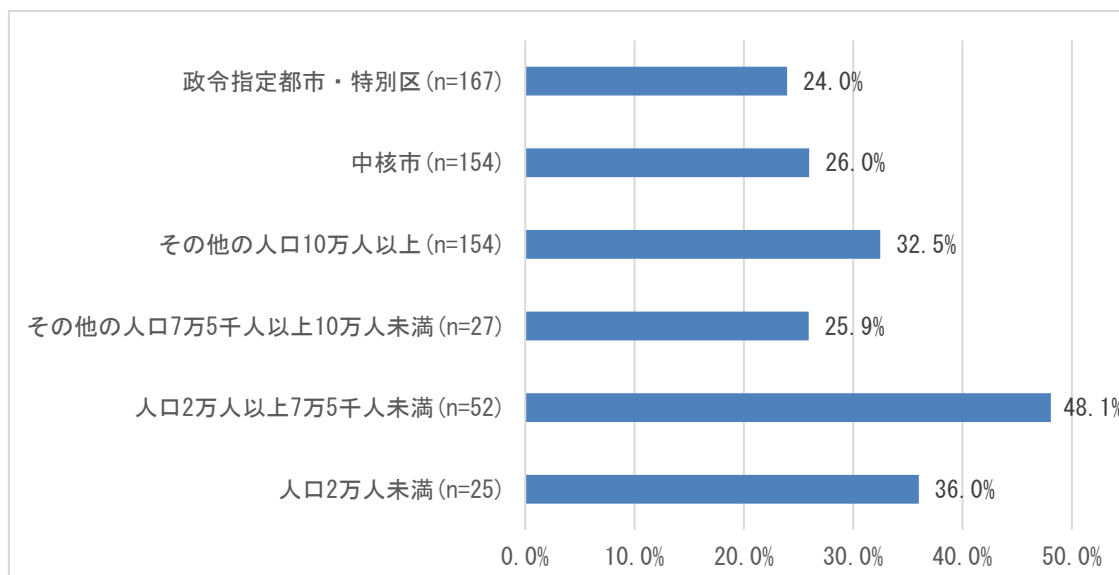
- ・「放課後児童クラブ利用意思のある世帯」
…「放課後児童クラブを利用している世帯」、「利用意思はあるが利用していない世帯」および「利用をやめた世帯」の合計（n=639）とした。
- ・「居住市区町村の人口規模」
…回答者の居住市区町村を、「政令指定都市・特別区」「中核市」「その他の人口 10 万人以上の市区町村」「その他の人口 7 万 5 千人以上 10 万人未満の市区町村」「人口 2 万人以上 7 万 5 千人未満の市区町村」「人口 2 万人未満の市区町村」にカテゴリー化した。
- ・「世帯所得」
…過去一年間の世帯全体の収入を「200 万円未満」「200～400 万円未満」「400～600 万円未満」「600～800 万円未満」「800～1000 万円未満」「1000 万円以上」にカテゴリー化した。
- ・「親の就業状況」
…回答者と配偶者の就業状況および婚姻状況から、「正社員×正社員」「正社員×パート・アルバイト等」「パート・アルバイト等×パート・アルバイト等」「正社員×自営業・無職等」「パート・アルバイト等×自営業・無職等」「ひとり親家庭」「その他」にカテゴリー化した。
- ・「帰宅時間」
…回答者と配偶者の帰宅時間および婚姻状況から、「夫婦とも 18:00 以降に帰宅」「いずれかが 17:00 以前に帰宅」「いずれかが外で働いていない」「ひとり親家庭」にカテゴリー化した。なお、労働時間（出勤から帰宅までの時間）の分布を確認の上、労働時間 18 時間以上のケースについては分析の対象外とした。
- ・「放課後児童クラブ以外のサービスの利用」
…学習塾、学習塾以外の習い事、児童館・児童センター、放課後子供教室、その他の公的なサービスについて、「サービスを利用している」と「利用していない」にカテゴリー化した。
- ・「放課後児童クラブの利用を決める理由」
…放課後児童クラブ利用／未利用のそれぞれのケースで、利用している／していない理由を次ページの表のように対応付け、対応する場合は同じカテゴリーに統合させた。

図表9 「放課後児童クラブの利用を決める理由」の各カテゴリー対応表

統合後のカテゴリー	放課後児童クラブを利用している	利用意思はあるが利用していない	利用をやめた
面倒を見てくれる当ての有無	仕事などで放課後に子どもの面倒が見られないため		習い事をはじめた等、他に子どもの面倒を見てくれる当てが出来たため
子どもが行きたがるかどうか	子どもが行きたいと言ったため		子どもが行きたくないと言ったため
サービスの評判	サービスの評判が良かったため	サービスの質の面がどの程度か未知数なため	サービスの質の面で不安・不満があったため
利用料	利用料が安い	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満があるため	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満があったため
勉強をみてもらえるかどうか	勉強をみてもらえるため		勉強をみてもらえなかったため
土日祝日の利用の可否	土日祝日に利用できるため	土日祝日に利用できないため	土日祝日に利用できなかったため
夏休み等長期休暇中の利用の可否	夏休み等長期休暇中に利用できるため	夏休み等長期休暇中に利用できないため	夏休み等長期休暇中に利用できなかったため
長時間の利用の可否	長時間利用できるため	短時間しか利用できないため	短時間しか利用できなかったため
利用日数や時間の自由度	利用日数や利用可能時間に自由度が高いため	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低かったため
サービス実施場所の広さ	サービス実施場所のスペースが広い	サービス実施場所のスペースが狭い	サービス実施場所のスペースが狭かったため
サービス実施場所までのアクセス	サービス実施場所までのアクセスが良い	サービス実施場所までのアクセスが悪い	サービス実施場所までのアクセスが悪かったため
自宅への送迎等の有無	自宅への送迎等、追加のサービスがある	送迎等の追加サービスが無い・良くない	送迎等の追加サービスが無かった・良くなかったため

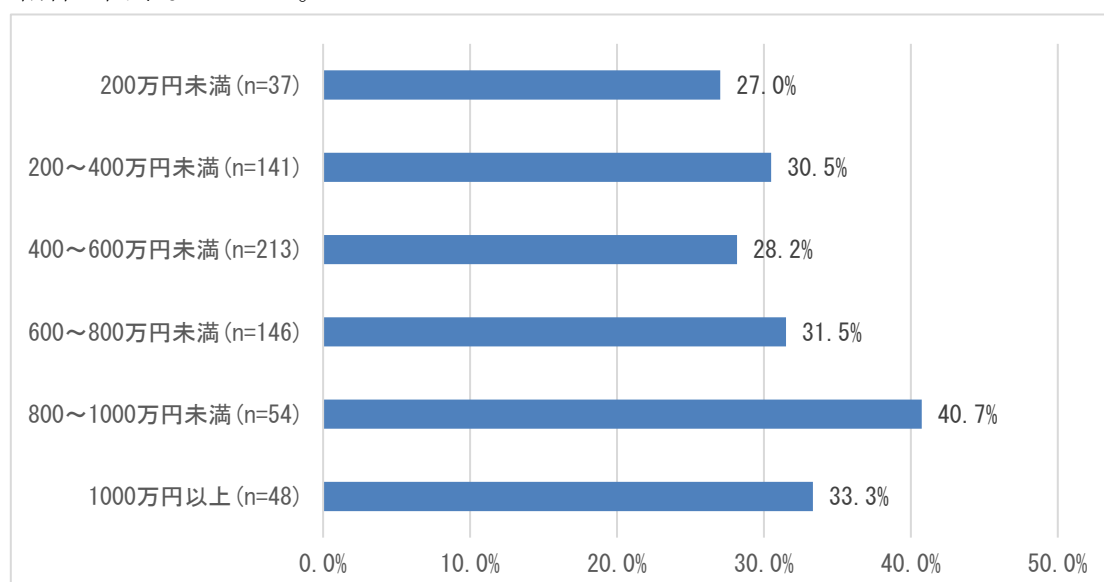
統合後の カテゴリー	放課後児童クラブを 利用している	利用意思はあるが 利用していない	利用をやめた
スタッフの質	スタッフの質が良い ため	スタッフの質が良く なさそうのため	スタッフの質が良く なかったため
発達に支援が必要な 子どもへの対応	発達に支援が必要な 子どもにも対応して くれるため	発達に支援が必要な 子どもを受け入れて いないため	発達に支援が必要な 子どもを受け入れて いなかったため
学校や保護者との連 携	学校や保護者との連 携が十分とられてい て安心できるため	学校や保護者との情 報交換などの連携に 不安・不満を感じるた め	学校や保護者との情 報交換などの連携に 不安・不満を感じたた め
代替サービスの有無	住んでいる市区町村 にこれ以外の代替と なるサービスが無い ため	住んでいる市区町村 に代替となるサービ スがあり、そちらの方 が良い可能性がある ため	住んでいる市区町村 に代替となるサービ スがあり、そちらの方 が良いと感じたため
その他	その他	その他	その他

まず、「居住市区町村の人口規模」との関連をみたところ、利用意思のある世帯における利用割合は、おおむね人口規模の小さい市区町村において高く、規模の大きい市区町村において低くなっており、人口規模の大きい市区町村ほど利用を希望しても利用できていない可能性が示唆された。



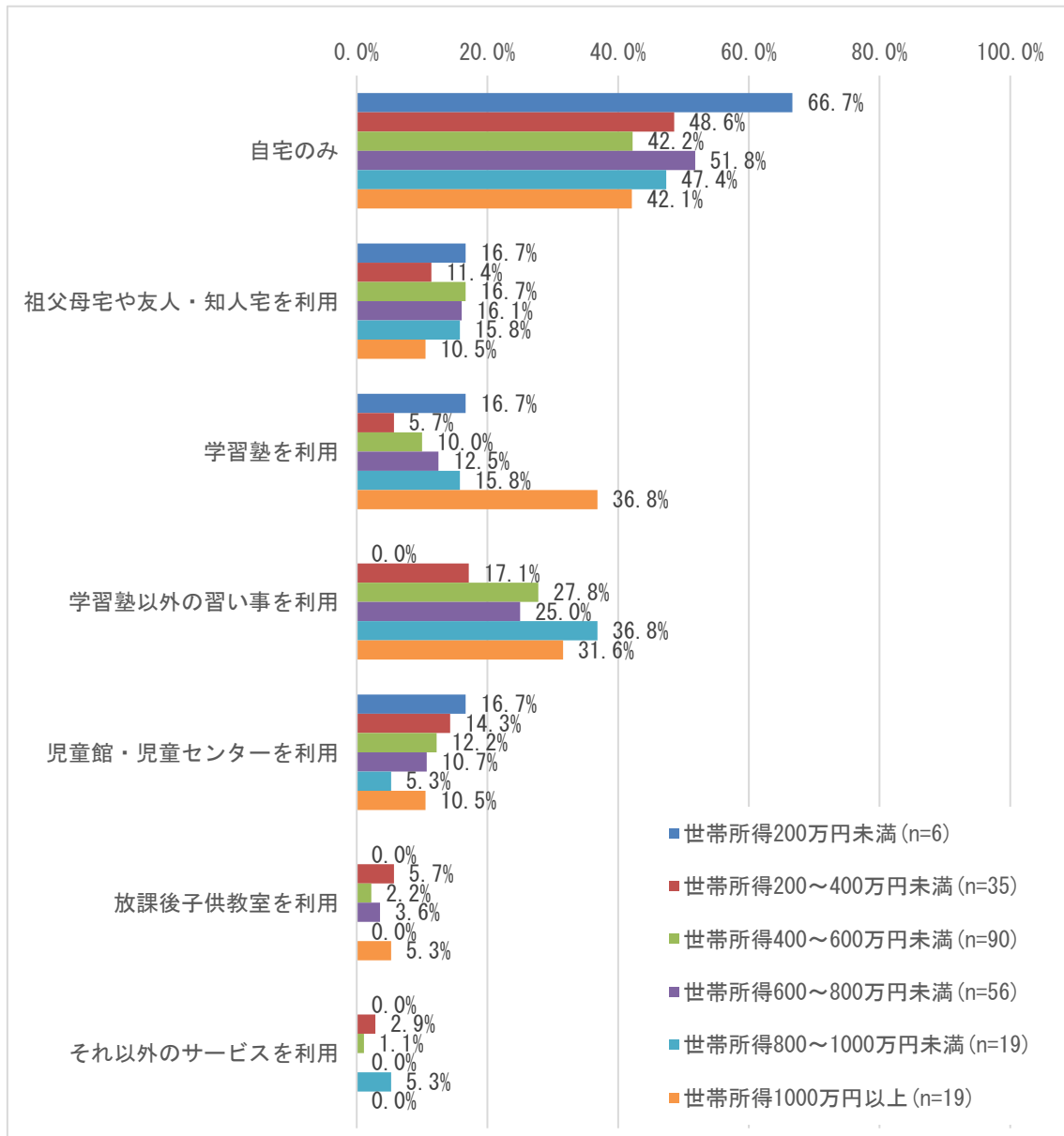
図表 10 「居住市区町村の人口規模」別の「放課後児童クラブ利用意思のある世帯における利用割合」

「世帯所得」との関連をみたところ、世帯所得が 200 万円未満の低所得の世帯、および 400～600 万円未満の中程度の所得の世帯において、利用意思のある世帯における利用割合が低くなっていた。



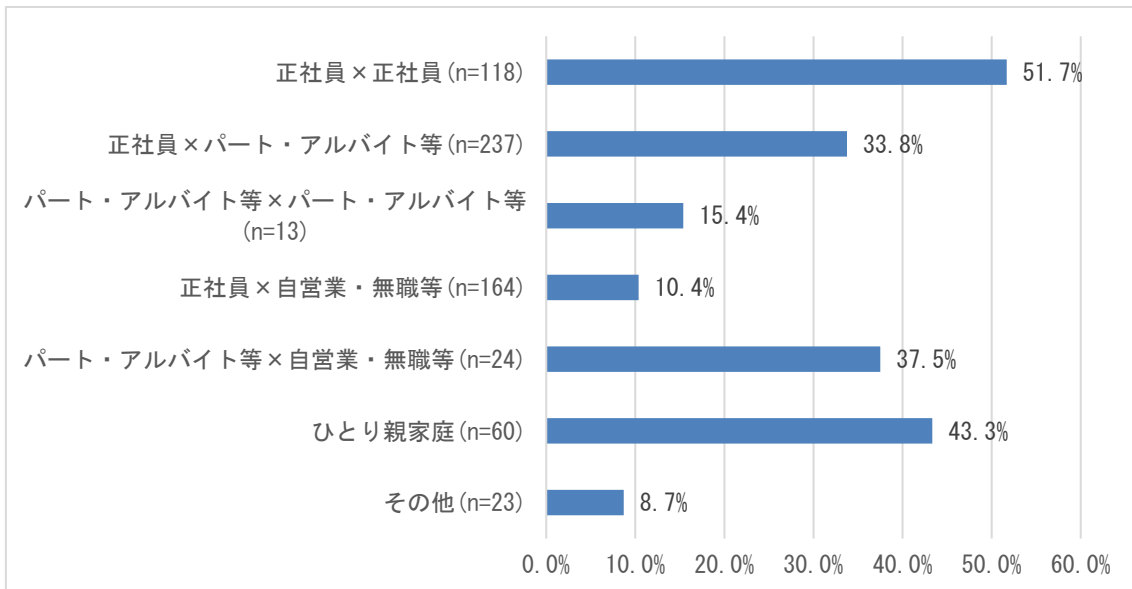
図表 11 「世帯所得」別の「放課後児童クラブ利用意思のある世帯における利用割合」

「放課後児童クラブ利用意思はあるが利用していない共働き世帯」において、世帯所得別にそれ以外のサービスの利用状況をみると、中程度の所得の世帯では「自宅のみ（他のサービスを利用していない）」の割合がやや低く、「学習塾以外の習い事を利用する」割合がやや高いことから、放課後のサービスに対するニーズはあるが、他の有料サービスとの併用は経済的に厳しいため放課後児童クラブを利用していない、という可能性が示唆された。



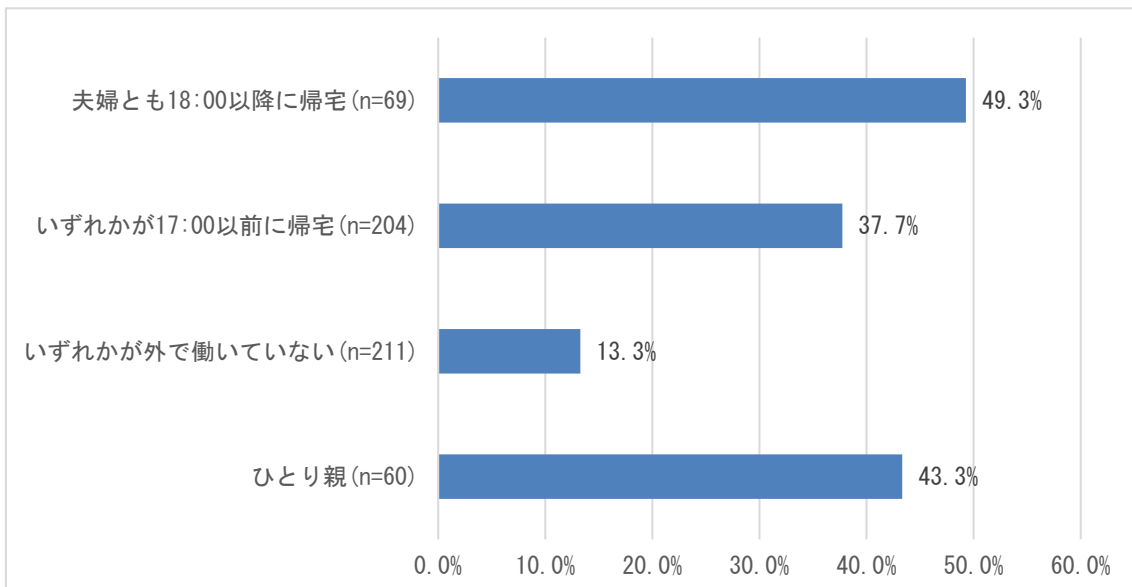
図表 12 「放課後児童クラブ利用意思はあるが利用していない共働き世帯」における「放課後児童クラブ以外のサービスの利用状況」

「親の就業状況」との関連をみたところ、同じく夫婦とも外で働いている世帯においても、「夫婦とも正社員」の世帯では利用意思のある世帯における利用割合が高いのに対して、「夫婦ともパート・アルバイト等」の世帯では割合が低く、利用を希望しても利用できていない可能性が示唆された。



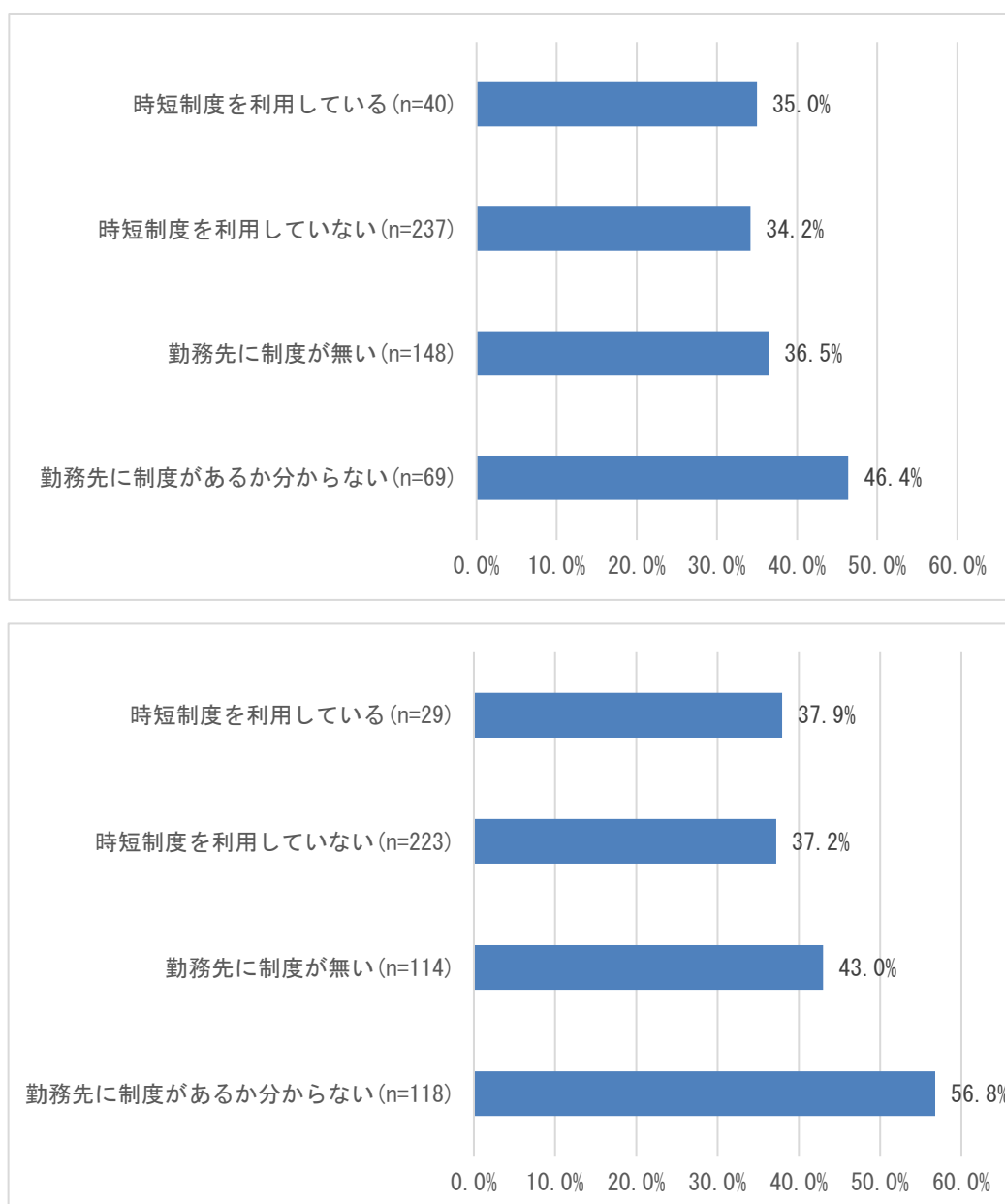
図表 13 「親の就業状況」別の「放課後児童クラブ利用意思のある世帯における利用割合」

「親の帰宅時間」との関連をみたところ、「夫婦とも 18:00 以降に帰宅」する世帯において、利用意思のある世帯における利用割合が高くなっていた。



図表 14 「帰宅時間」別の「放課後児童クラブ利用意思のある世帯における利用割合」

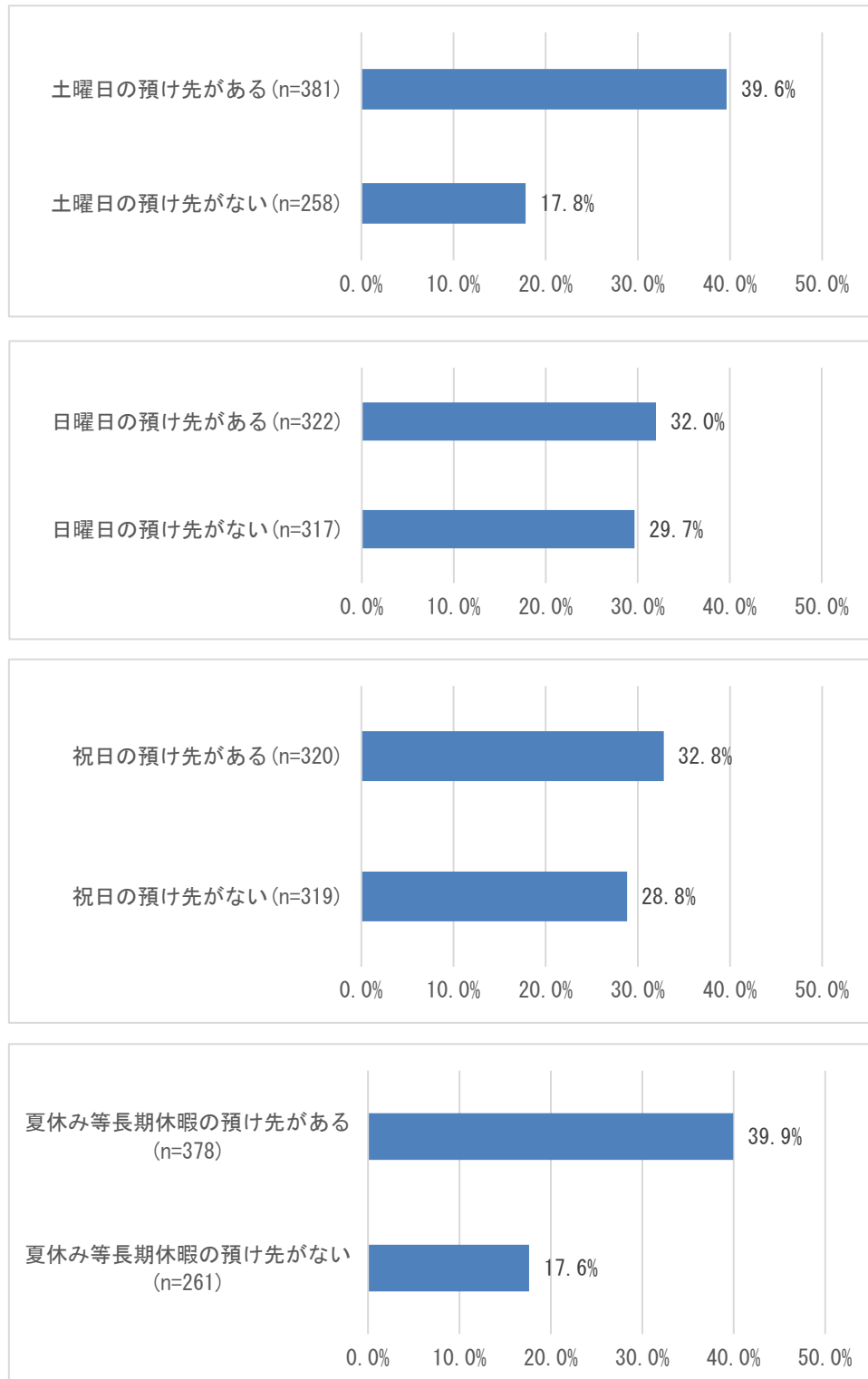
「時短等の利用」との関連をみたところ、おおむね、「時短制度を利用していない」世帯において、利用意思のある世帯における利用割合が高くなっていた。



図表 15 「時短等の利用」の有無別の「放課後児童クラブ利用意思のある世帯における利用割合」

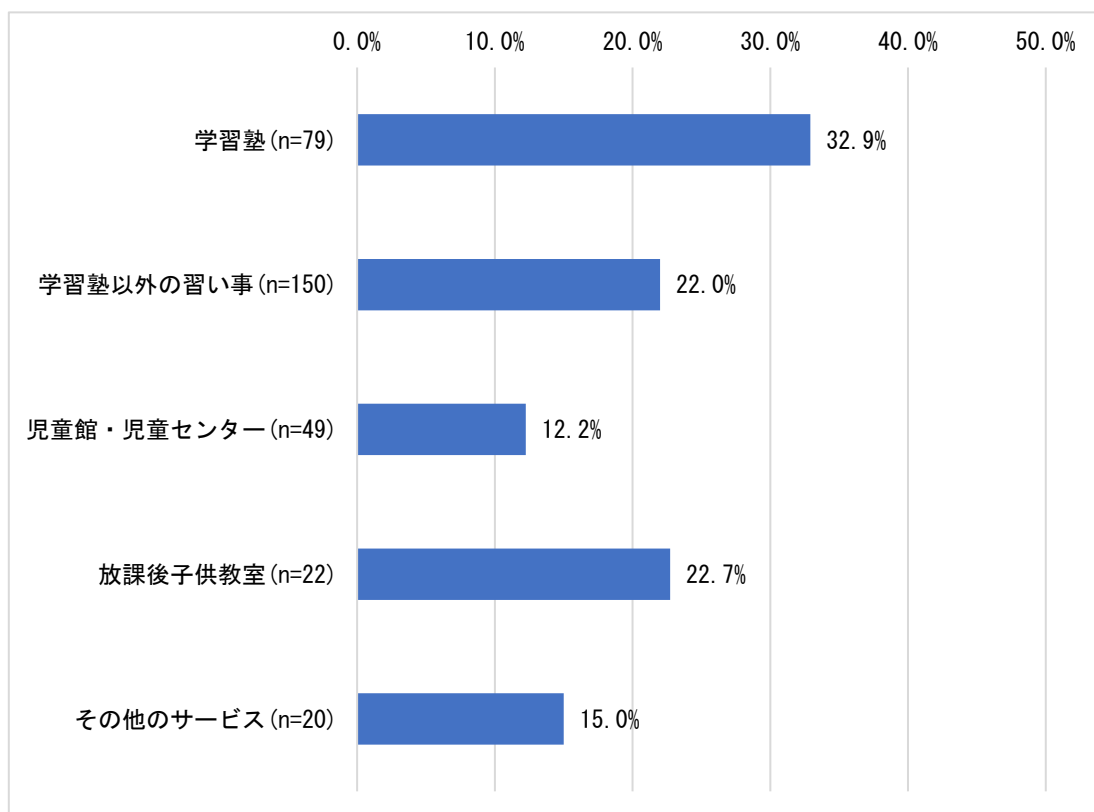
(上が回答者、下が配偶者)

「土日や長期休暇等の預け先」との関連をみたところ、「預け先がある」世帯において利用意思のある世帯における利用割合が高くなっており、放課後児童クラブを利用して
いる世帯は、土日や長期休暇中にも預け先を必要とする世帯であることが確認された。



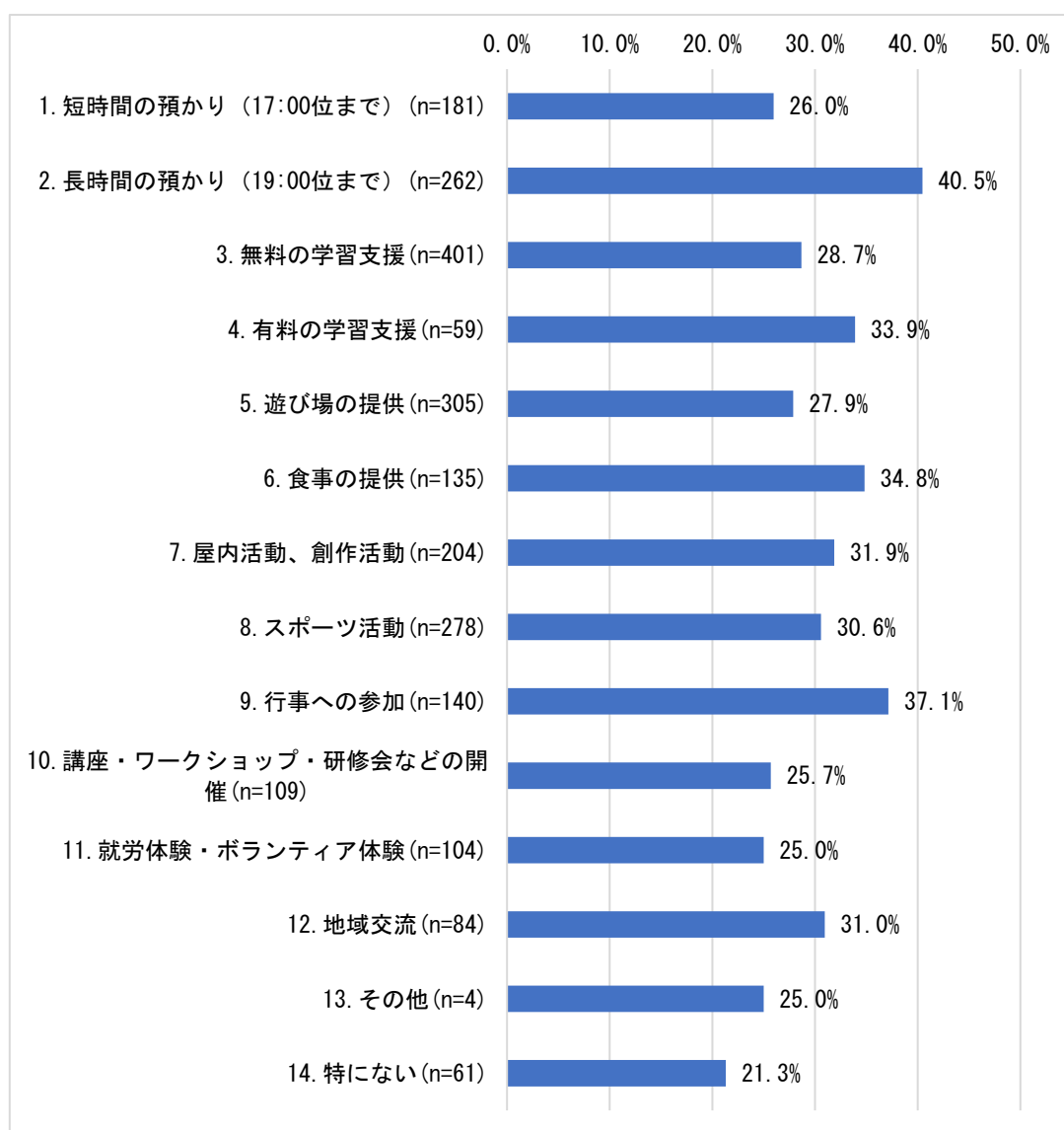
図表 16 「土日や長期休暇等の預け先」の有無別の「放課後児童クラブ利用意思のある世帯における利用割合」

「放課後児童クラブ以外のサービスの利用」との関連をみたところ、「児童館・児童センター」やその他の公的なサービスを利用している世帯において利用意思のある世帯における利用割合が低くなっており、放課後児童クラブの利用を希望しているが利用できない場合、代替となりうるサービスを利用している可能性が示唆された。



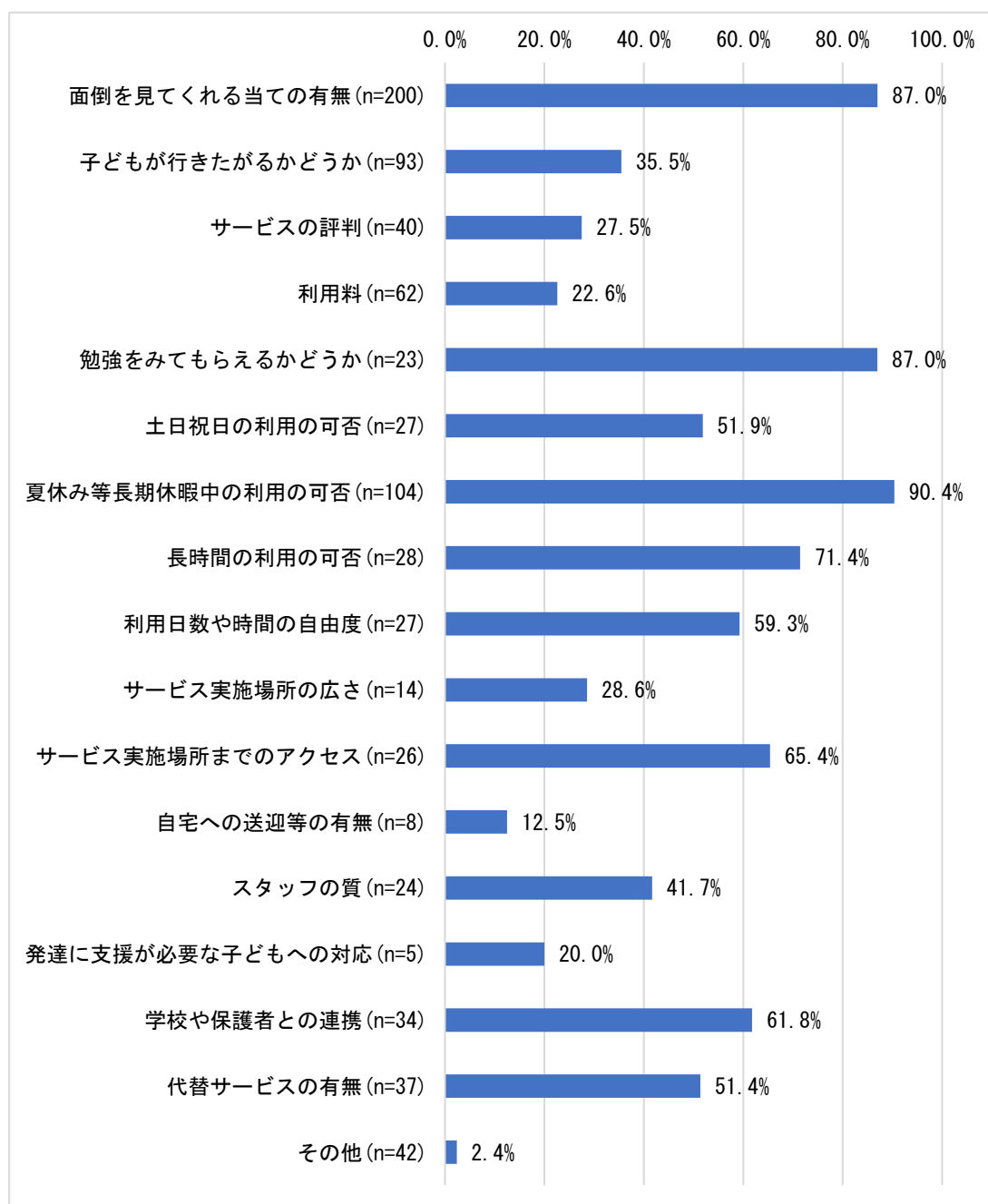
図表 17 「放課後児童クラブ以外のサービスの利用」別の「放課後児童クラブ利用意思のある世帯における利用割合」

「放課後のサービスに求める内容」との関連をみたところ、「長時間の預かり（19:00位まで）」「行事への参加」「食事の提供」等と回答した世帯においては、利用意思のある世帯における利用割合が高くなっており、これらの内容を求める人は放課後児童クラブを利用しやすいことが示唆された。一方で、「就労体験・ボランティア体験」「講座・ワークショップ・研修会などの開催」「短時間の預かり（17:00位まで）」等と回答した世帯においては、利用割合が低くなっており、これらの内容を求める人は放課後児童クラブを利用しにくいことが示唆された。



図表 18 「放課後のサービスに求める内容」別の「放課後児童クラブ利用意思のある世帯における利用割合」

「放課後児童クラブの利用を決める理由」との関連をみたところ、「夏休み等長期休暇中の利用の可否」「長時間の利用の可否」「サービス実施場所までのアクセス」等と回答した世帯においては、利用意思のある世帯における利用割合が高くなっており、これらの点を理由として挙げる人は放課後児童クラブを利用しやすいことが示唆された。一方で、「その他」「利用料」「サービスの評判」等と回答した世帯においては、利用割合が低くなっており、これらの点を理由として挙げる人は放課後児童クラブを利用しにくいことが示唆された。



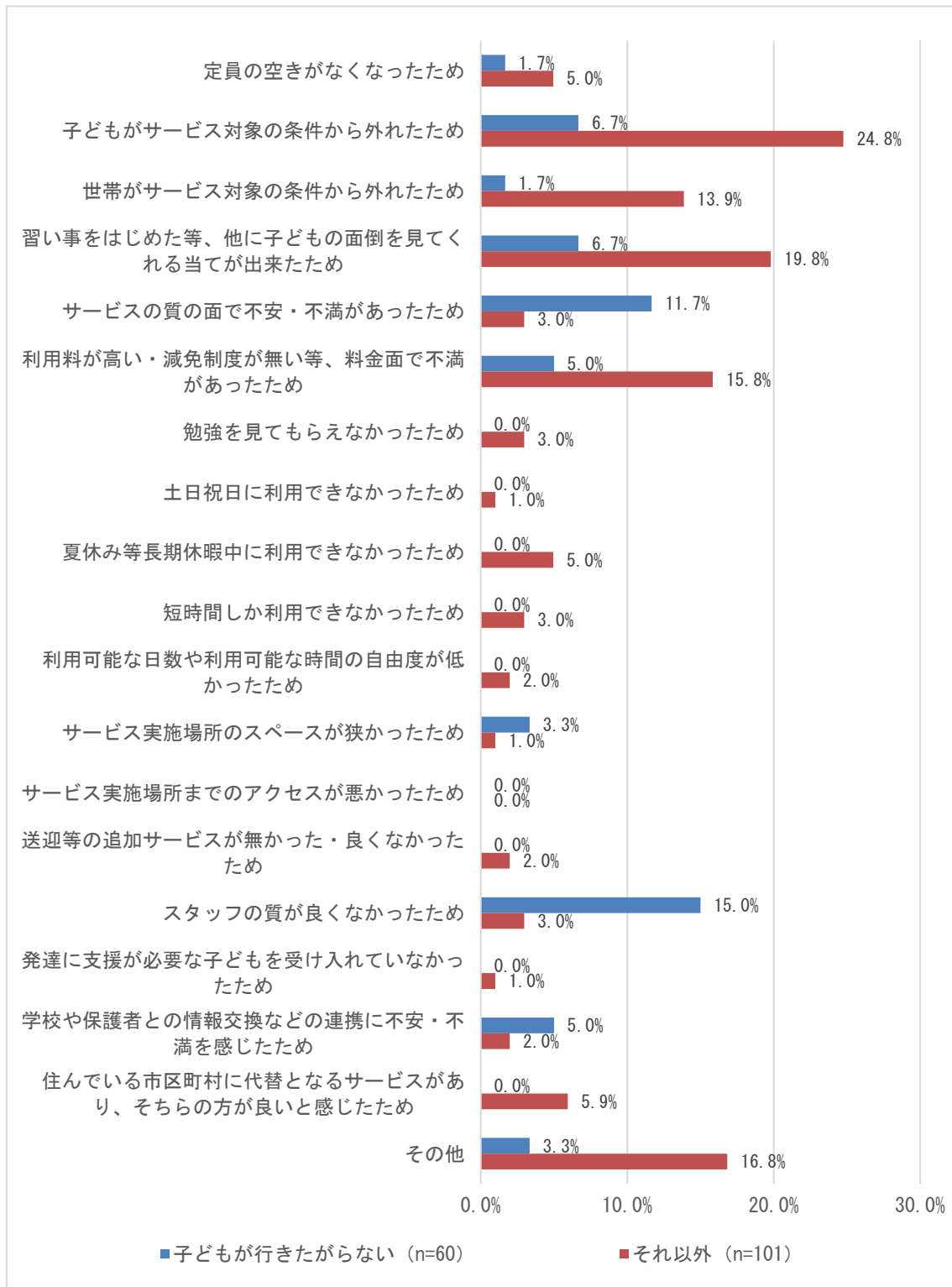
図表 19 「放課後児童クラブの利用を決める理由」別の「放課後児童クラブ利用意思のある世帯における利用割合」

3.3.4 「子どもが行きたがらない」を理由に挙げる世帯とそうでない世帯との比較

放課後児童クラブを利用していない世帯の中には、「子どもが行きたがらないため」と回答する世帯が比較的多く存在しており、親がサービス利用を希望していても、子ども自身に利用する意思がない場合、サービス利用が難しくなるケースがあることが示唆された。子どもにサービスの利用意思がない場合と、子どもには利用意思があるが親にサービスを利用しない（できない）理由がある場合とで、世帯の状況にどのような違いがあるかについて検討した。

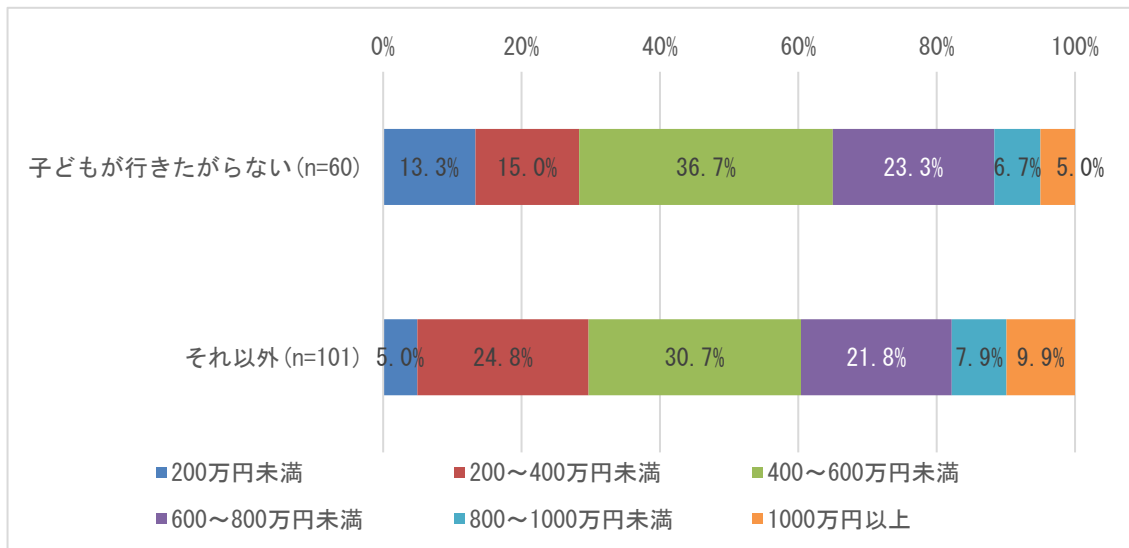
まず、「放課後児童クラブ利用をやめた世帯」において、「子どもが行きたがらない」を理由に挙げた世帯と「それ以外」の世帯とで、他に理由として何を挙げるか比較したところ、「利用する必要がない」「世帯が条件を満たさない」等の利用をやめざるを得ない理由を除くと「子どもが行きたがらない」世帯では、「スタッフの質が良くない」「サービスの質の面で不満・不安がある」と回答する割合が「それ以外」の世帯に比べて高くなっていた。一方、「それ以外」の世帯では「その他」「利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満がある」と回答する割合が「子どもが行きたがらない」世帯に比べて高くなっていた。

このことから、子どもに利用意思がないために利用をやめた人は、利用料等よりも質の高さを重視してサービスを選ぶ傾向にあるのに対し、子どもに利用意思があるのにもかかわらず利用をやめた人は、サービスを選ぶ際に利用料等を考慮せざるを得ない傾向にある、という可能性が示唆された。



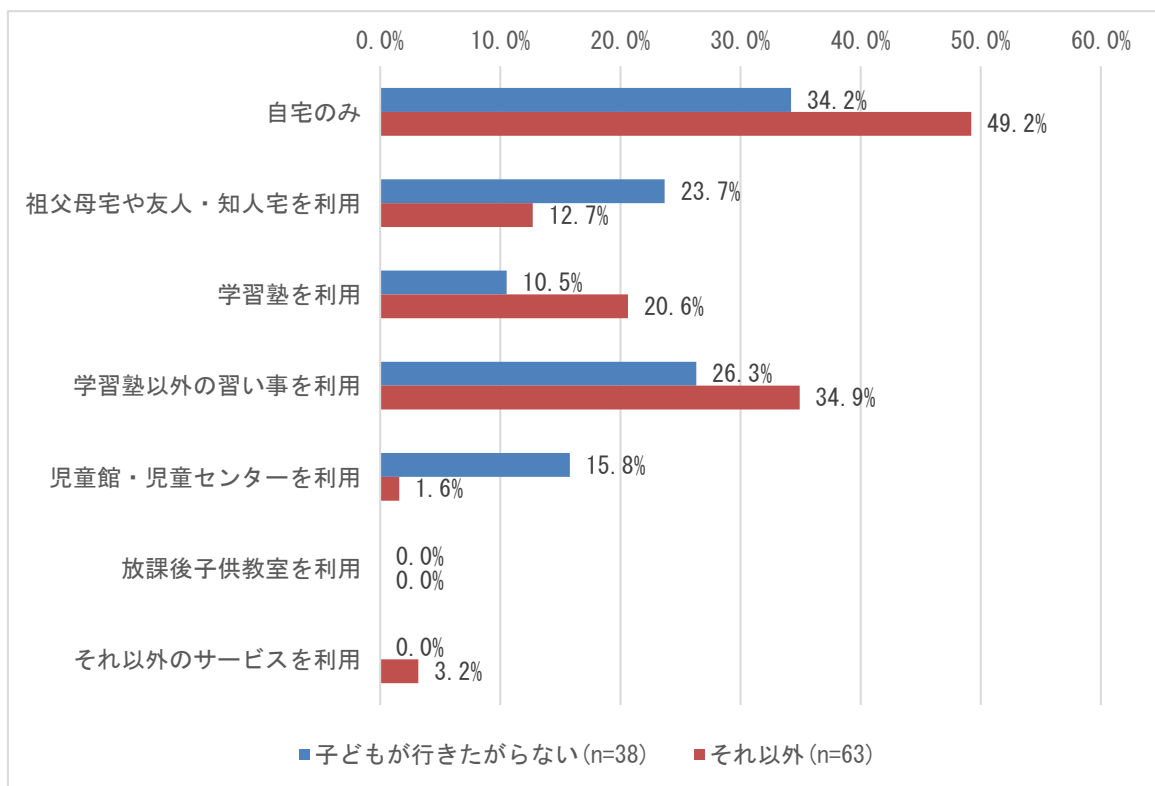
図表 20 「放課後児童クラブ利用をやめた世帯」における利用していない理由

続いて、世帯所得を比較したところ、「それ以外」の世帯では、世帯所得が「200～400万円未満」「400～600万円未満」の割合の合計が「子どもが行きたがらない」世帯に比べてやや高くなっていました。子どもに利用意思があるにもかかわらず利用をやめた人の中には、世帯所得は高くないが減免制度が適用されない等の経済的な状況から、サービス利用料等を考慮せざるを得ない人が比較的多い、という可能性が示唆された。



図表 21 「放課後児童クラブ利用をやめた世帯」における世帯所得

続いて、「放課後児童クラブ利用をやめた共働き世帯」において、代替サービスの利用の有無を比較したところ、「子どもが行きたがらない」世帯では、「祖父母宅や友人・知人宅を利用している」「児童館・児童センターを利用している」割合が、「それ以外」の世帯に比べて高くなっていた。一方、「それ以外」の世帯では、「自宅のみ（代替サービスを利用していない）」「学習塾以外の習い事を利用している」「学習塾を利用している」割合が、「子どもが行きたがらない」世帯に比べて高くなっていた。共働き世帯においても、子どもに利用意思があるにもかかわらず利用をやめた人の中には、サービスを一切利用していない人が半数近く存在することから、そのような人が利用可能なサービスの整備が必要であることが示唆された。



図表 22 「放課後児童クラブの利用をやめた共働き世帯」における代替サービスの利用

3.4 放課後児童クラブ利用の有無を規定する要因に関する検討

放課後児童クラブ利用の有無を規定する要因について検討するため、回帰分析を行った。

3.4.1 対象

分析対象は、「放課後児童クラブ利用意思のある世帯」とした。

3.4.2 被説明変数

被説明変数は、「放課後児童クラブ利用の有無」とした。

3.4.3 単回帰分析

まず、「放課後児童クラブ利用の有無」と関連しうる変数をそれぞれ単独で説明変数として投入する単回帰分析を行った。調整変数は設定しないこととした。

説明変数のうち、以下の変数については既存の設問から新たに作成して用いた。

- ・「母親の年齢」
…回答者と配偶者で性別が女性であるケースの年齢を統合し、「10代」「20代」「30代」「40代」「50代」「60代以上」にカテゴリー化した。
- ・「子どもの内訳」
…(子どもからみた)同居家族として「兄弟姉妹(未就学児)」「兄弟姉妹(中学生)」「兄弟姉妹(高校生以上)」を選んでいないケースを「小学生のみ」、「兄弟姉妹(未就学児)」を選び「兄弟姉妹(中学生)」「兄弟姉妹(高校生以上)」を選んでいないケースを「小学生と未就学児のみ」、「兄弟姉妹(中学生)」「兄弟姉妹(高校生以上)」を選んだケースを「中学生以上もいる」にカテゴリー化した。
- ・「子どもの数」
…回答者の子どもの状況から、「一人っ子」「兄弟姉妹あり」にカテゴリー化した。
- ・「家族構成」
…回答者の婚姻状況と同居家族から、「ひとり親で核家族」「ひとり親でそれ以外」「両親で核家族」「両親でそれ以外」にカテゴリー化した。

分析の結果、「居住市区町村の人口規模」、「母親の年齢」、「子どもの数」、「親の就業状況」、「親の帰宅時間」、「習い事の利用」、「児童館・児童センターの利用」、「放課後のサービスに求める内容」における「長時間の預かり」「行事への参加」、「放課後児童クラブの利用を決める理由」における「面倒を見てくれる当ての有無」「勉強をみてもらえるかどうか」「土日祝日の利用の可否」「夏休み等長期休暇中の利用の可否」「長時間の利用の可否」「利用日数や時間の自由度」「サービス実施場所までのアクセス」「学校や保護者との連携」「代替サービスの有無」「その他」について、「放課後児童クラブの利用の有無」との間に有意な関連がみられる、という傾向がみられた。

図表 23 単回帰分析の結果

説明変数(個別投入)	カテゴリー	n	係数	標準誤差	オッズ比	95%信頼区間	p値	
居住市区町村の人口規模	政令指定都市・特別区	167			1		<0.05	
	中核市	154	0.11	0.26	1.11	0.67 - 1.85	0.68	
	その他の人口10万人以上	154	0.43	0.25	1.53	0.94 - 2.51	0.09	
	その他の人口7万5千人以上10万人未満	27	0.14	0.48	1.15	0.45 - 2.92	0.77	
	人口2万人以上7万5千人未満	52	1.11	0.33	3.04	1.58 - 5.83	<0.01	
	人口2万人未満	25	0.61	0.46	1.85	0.76 - 4.50	0.18	
家族構成	ひとり親で核家族	42			1		0.08	
	ひとり親でそれ以外	18	0.71	0.57	2.03	0.66 - 6.22	0.21	
	両親で核家族	532	-0.40	0.33	0.67	0.35 - 1.28	0.22	
	両親でそれ以外	47	-0.48	0.46	0.62	0.25 - 1.52	0.30	
母親の年齢	20代	23			1		0.08	
	30代	287	-0.66	0.44	0.51	0.22 - 1.21	0.13	
	40代	304	-0.94	0.44	0.39	0.17 - 0.92	<0.05	
	50代	20	-0.32	0.62	0.73	0.22 - 2.44	0.61	
子どもの内訳	小学生のみ	359			1		0.09	
	小学生と未就学児のみ	242	-0.27	0.18	0.76	0.53 - 1.09	0.14	
	中学生以上の子どもあり	38	-0.80	0.43	0.45	0.19 - 1.05	0.07	
子どもの数	一人っ子	160			1		<0.05	
	兄弟姉妹あり	479	-0.40	0.19	0.67	0.46 - 0.98	0.54	
世帯所得	200万円未満	37			1		0.68	
	200~400万円未満	141	0.17	0.41	1.18	0.53 - 2.66	0.98	
	400~600万円未満	213	0.01	0.40	1.01	0.46 - 2.22	0.65	
	600~800万円未満	146	0.18	0.41	1.20	0.54 - 2.69	0.18	
	800~1000万円未満	54	0.62	0.46	1.86	0.75 - 4.59	0.53	
	1000万円以上	48	0.30	0.48	1.35	0.53 - 3.46	<0.01	
親の就業状況	正社員×正社員	118			1		<0.01	
	正社員×パート・アルバイト等	237	-0.76	0.23	0.47	0.30 - 0.73	<0.01	
	パート・アルバイト等×パート・アルバイト等	13	-1.77	0.79	0.17	0.04 - 0.80	<0.01	
	正社員×自営業・無職等	164	-2.36	0.33	0.09	0.05 - 0.18	<0.01	
	パート・アルバイト等×自営業・無職等	24	-0.58	0.46	0.56	0.23 - 1.38	0.21	
	ひとり親家庭	60	-0.34	0.32	0.71	0.38 - 1.34	<0.01	
	その他	23	-2.42	0.76	0.09	0.02 - 0.40	0.29	
親の帰宅時間	夫婦とも18:00以降に帰宅	69			1		0.09	
	いずれかが17:00以前に帰宅	244	-0.47	0.28	0.63	0.37 - 1.07	<0.01	
	いずれかが外で働いていない	211	-1.88	0.32	0.15	0.08 - 0.29	0.61	
	ひとり親	60	-0.18	0.35	0.83	0.42 - 1.67	<0.05	
放課後児童クラブ以外のサービスの利用	学習塾の利用	なし	560		1		0.60	
	習い事の利用	あり	79	0.14	0.26	1.14	0.69 - 1.89	<0.05
	児童館・児童センターの利用	なし	489		1		<0.01	
	あり	150	-0.55	0.22	0.57	0.37 - 0.88	0.43	
	放課後子供教室の利用	なし	590		1		0.14	
	あり	49	-1.21	0.44	0.30	0.12 - 0.71	0.23	
	その他のサービスの利用	なし	617		1		0.23	
	あり	22	-0.41	0.52	0.67	0.24 - 1.83	0.54	
	短時間の預かり(17:00位まで)	非該当	619		1		0.21	
	該当	20	-0.93	0.63	0.40	0.11 - 1.37	0.13	
	長時間の預かり(19:00位まで)	非該当	377		1		<0.01	
	該当	262	0.80	0.18	2.23	1.58 - 3.15	0.23	
無料の学習支援	非該当	238		1		0.23		
	該当	401	-0.21	0.18	0.81	0.57 - 1.14	0.19	
有料の学習支援	非該当	580		1		0.21		
	該当	59	0.18	0.29	1.20	0.68 - 2.11	0.21	
遊び場の提供	非該当	334		1		0.19		
	該当	305	-0.23	0.17	0.80	0.57 - 1.12	0.21	
食事の提供	非該当	504		1		0.21		
	該当	135	0.26	0.21	1.30	0.87 - 1.94	0.57	
屋内活動、創作活動	非該当	435		1		0.25		
	該当	204	0.10	0.18	1.11	0.77 - 1.59	0.25	
スポーツ活動	非該当	361		1		0.25		
	該当	278	0.02	0.17	1.02	0.72 - 1.43	0.92	
行事への参加	非該当	499		1		<0.05		
	該当	140	0.40	0.20	1.49	1.00 - 2.20	0.25	
講座・ワークショップ・研修会などの開催	非該当	530		1		0.25		
	該当	109	-0.28	0.24	0.76	0.48 - 1.21	0.20	
就労体験・ボランティア体験	非該当	535		1		0.20		
	該当	104	-0.32	0.24	0.73	0.45 - 1.18	0.90	
地域交流	非該当	555		1		0.82		
	該当	84	0.03	0.25	1.03	0.63 - 1.70	0.11	
その他	非該当	635		1		0.11		
	該当	4	-0.27	1.16	0.76	0.08 - 7.39	0.11	
特にない	非該当	578		1		0.11		
	該当	61	-0.52	0.33	0.59	0.31 - 1.12		

説明変数(個別投入)	カテゴリー	n	係数	標準誤差	オッズ比	95%信頼区間	p値
放課後児童クラブの利用を決める理由	面倒を見てくれる当ての有無	439			1		
	非該当	200	4.94	0.31	140.20	76.24 - 257.82	<0.01
	子どもが行きたがるかどうか	546			1		
	非該当	93	0.27	0.24	1.32	0.83 - 2.09	0.25
サービスの評判	非該当	599			1		
	該当	40	-0.15	0.37	0.86	0.42 - 1.76	0.68
利用料	非該当	577			1		
	該当	62	-0.44	0.32	0.64	0.35 - 1.20	0.16
勉強をみてもらえるかどうか	非該当	616			1		
	該当	23	2.83	0.63	16.93	4.97 - 57.71	<0.01
土日祝日の利用の可否	非該当	612			1		
	該当	27	0.95	0.40	2.58	1.19 - 5.61	<0.05
夏休み等長期休暇中の利用の可否	非該当	535			1		
	該当	104	3.71	0.35	40.89	20.57 - 81.30	<0.01
長時間の利用の可否	非該当	611			1		
	該当	28	1.84	0.43	6.28	2.71 - 14.52	<0.01
利用日数や時間の自由度	非該当	612			1		
	該当	27	1.27	0.40	3.55	1.61 - 7.79	<0.01
サービス実施場所の広さ	非該当	625			1		
	該当	14	-0.09	0.60	0.92	0.28 - 2.96	0.88
サービス実施場所までのアクセス	非該当	613			1		
	該当	26	1.54	0.42	4.65	2.04 - 10.63	<0.01
自宅への送迎等の有無	非該当	631			1		
	該当	8	-1.13	1.07	0.32	0.04 - 2.65	0.29
スタッフの質	非該当	615			1		
	該当	24	0.51	0.42	1.67	0.73 - 3.84	0.22
発達に支援が必要な子どもへの対応	非該当	634			1		
	該当	5	-0.56	1.12	0.57	0.06 - 5.14	0.62
学校や保護者との連携	非該当	605			1		
	該当	34	1.39	0.36	4.03	1.98 - 8.24	<0.01
代替サービスの有無	非該当	602			1		
	該当	37	0.95	0.34	2.58	1.32 - 5.02	<0.01
その他	非該当	597			1		
	該当	42	-2.97	1.02	0.05	0.01 - 0.37	<0.01

3.4.4 重回帰分析

続いて、「放課後児童クラブ利用の有無」と関連しうる変数を同時に説明変数もしくは調整変数として投入する重回帰分析を行った。

説明変数は、「放課後児童クラブ以外のサービスの利用」、「放課後のサービスに求める内容」、「放課後児童クラブの利用を決める理由」の各変数とした。なお、世帯所得や親の就業状況、親の帰宅時間等については、他の説明変数との相関が高いことや、利用の有無との因果関係が明確でないことから、重回帰分析における説明変数からは外すこととした。

調整変数は、「母親の年齢」、「子どもの内訳」、「子どもの数」、「家族構成」とした。

モデルの結果には、統計的に有意な変数、およびオッズ比が異常な値を示さなかった変数のみを残した。その結果、「学習塾の利用」、「放課後子供教室の利用」、「放課後のサービスに求める内容」における「短時間の預かり(17:00位まで)」「有料の学習支援」「遊び場の提供」「食事の提供」「屋内活動、創作活動」「スポーツ活動」「行事への参加」「講座・ワークショップ・研修会などの開催」「就労体験・ボランティア体験」「地域交流」「その他」「特になし」、「放課後児童クラブの利用を決める理由」における「面倒を見てくれる当ての有無」「子どもが行きたがるかどうか」「サービスの評判」「利用料」「勉強をみてもらえるかどうか」「土日祝日の利用の可否」「夏休み等長期休暇中の利用の可否」「利用日数や時間の自由度」「サービス実施場所の広さ」「自宅への送迎等の有無」「スタッフの質」「発達に支援が必要な子どもへの対応」「代替サービスの有無」が分析から除外された。

残った変数について、母親の年齢、子どもの内訳や数、家族構成について調整した上で「放課後児童クラブ利用の有無」との関連をみたところ、「放課後のサービスに求める内容」として「長時間の預かり」と回答している、もしくは「放課後児童クラブの利用を決める理由」として「長時間の利用の可否」「サービス実施場所までのアクセス」「学校や保護者との連携」と回答している場合には、そうでない場合に比べて放課後児童クラブを利用しやすくなる、という傾向がみられた。一方で、「学習塾以外の習い事」「児童館・児童センター」を利用している、「放課後のサービスに求める内容」として「無料の学習支援」と回答している、もしくは「放課後児童クラブの利用を決める理由」として「その他」と回答している場合には、そうでない場合に比べて放課後児童クラブを利用しにくくなる、という傾向がみられた。

係数の絶対値から関連の強さを見ると、強い順に「利用を決める理由を「その他」と回答している」「児童館・児童センターを利用している」「利用を決める理由を「長時間の利用の可否」と回答している」等となっていた。これは、放課後児童クラブの利用を検討する人にとって、長時間利用できるかどうかサービス利用の重要なポイントとなるためであることが推察される。

図表 24 重回帰分析の結果 (n=634)

説明変数	変数	カテゴリー	n	係数	標準誤差	オッズ比	95%信頼区間	p値	
説明変数	習い事の利用	なし	485			1	reference		
		あり	149	-0.54	0.25	0.58	0.36 - 0.94	<0.05	
	児童館・児童センターの利用	なし	586			1	reference		
		あり	48	-1.74	0.52	0.18	0.06 - 0.49	<0.01	
	放課後のサービスに求める内容	長時間の預かり	非該当	374			1	reference	
			該当	260	0.70	0.20	2.01	1.37 - 2.96	<0.01
		無料の学習支援	非該当	237			1	reference	
			該当	397	-0.41	0.20	0.67	0.45 - 0.99	<0.05
	放課後児童クラブの利用を決める理由	長時間の利用の可否	非該当	607			1	reference	
			該当	27	1.41	0.47	4.09	1.63 - 10.26	<0.01
		サービス実施場所までのアクセス	非該当	609			1	reference	
			該当	25	1.38	0.47	3.99	1.57 - 10.09	<0.01
		学校や保護者との連携	非該当	601			1	reference	
			該当	33	1.29	0.43	3.62	1.55 - 8.48	<0.01
その他	非該当	592			1	reference			
調整変数	母親の年齢	該当	42	-2.80	1.02	0.06	0.01 - 0.45	<0.01	
		20代	23			1	reference		
		30代	287	-0.76	0.49	0.47	0.18 - 1.21	0.12	
		40代	304	-1.25	0.50	0.29	0.11 - 0.77	<0.05	
		50代	20	-0.99	0.71	0.37	0.09 - 1.49	0.16	
	子どもの内訳	小学生のみ	355			1	reference		
		小学生と未就学児のみ	242	-0.44	0.24	0.65	0.40 - 1.04	0.07	
		中学生以上もいる	37	-1.23	0.53	0.29	0.10 - 0.83	<0.05	
	子どもの数	一人っ子	157			1	reference		
		兄弟姉妹あり	477	-0.24	0.25	0.78	0.48 - 1.28	0.33	
	家族構成	ひとり親で核家族	38			1	reference		
		ひとり親でそれ以外	17	0.76	0.64	2.15	0.61 - 7.54	0.23	
		両親で核家族	532	0.29	0.40	1.34	0.61 - 2.91	0.47	
		両親でそれ以外	47	0.22	0.53	1.25	0.44 - 3.53	0.67	
定数				0.27	0.60	1.31		0.65	

第4章 市区町村向けのアンケート調査

4.1 対象と調査方法

4.1.1 調査対象

市区町村を対象とした。

4.1.2 調査対象の抽出方法

全国の市区町村を、全国の市区町村を「人口規模（6群）」および「地域（4群）」からなる24群に分けた上で、抽出総数を1,000市区町村として、各群から全市区町村における比率に応じて抽出した。

なお、「第3章 世帯向けのアンケート調査」において調査対象となった市区町村のうち、上記の抽出結果から外れた市区町村についても調査対象に追加することとし、合計で1,021市区町村を調査対象とした。

4.1.3 調査方法

自記式郵送調査

4.1.4 調査期間

2018年11月1日～11月21日

4.1.5 調査項目（詳細は第6章を参照）

- 放課後児童クラブを含む放課後児童対策に関する事業の実施の有無
- 各事業の実施状況（実施している事業のみについて回答）
 - 登録児童数
 - 対象となる児童の学校・学年
 - 事業の予算・決算の額
 - 実施場所の数と面積
 - 月あたりの利用料
 - 利用料とは別に徴収している費用の有無
 - 利用料の減免制度の有無
 - 各曜日・夏季休暇中等の利用の可否
 - 利用日数の選択の可否
 - 終了時間
 - 実施場所までのアクセス
 - サービス内容（保護者不在時の預かり、学習支援、遊び場作り…）

- スタッフの数と質（資格等）
 - 発達に支援が必要な子どもへの対応
 - 学校や保護者との連携
 - 条例や運営指針の策定の有無
- 各事業の実施上の課題（実施していない事業も含め、実施に当たっての課題について回答）

4.2 配布・回収状況等

4.2.1 調査票全体の回収数等

調査票全体における、配布数・回収数・回収率は以下となった。

- 配布数：1,021 票
- 回収数：647 票
- 回収率：63.4%

4.2.2 群別の回収数等

群別の配布数・回収数は以下となった（カッコ内が配布数）。

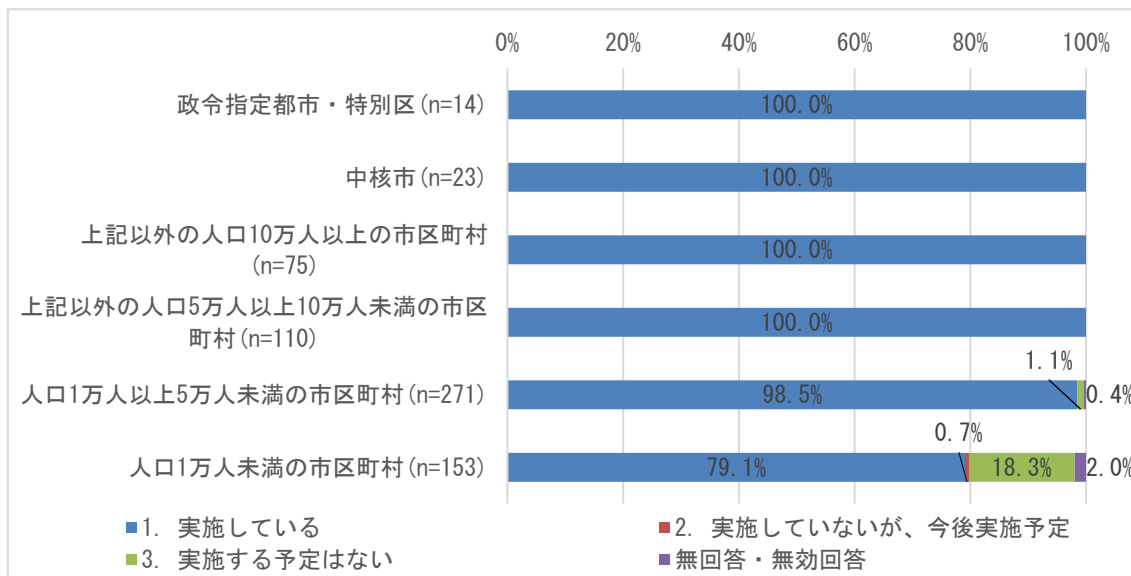
	北海道・東北	関東信越・ 東海北陸	近畿・中国・ 四国	九州 (沖縄含む)
政令指定都市・ 特別区	2 票 (2 票)	8 票 (18 票)	2 票 (5 票)	2 票 (2 票)
中核市	4 票 (5 票)	8 票 (11 票)	7 票 (12 票)	4 票 (4 票)
上記以外の人口 10 万人以上の市区町 村	4 票 (10 票)	46 票 (67 票)	16 票 (28 票)	9 票 (12 票)
上記以外の人口 5 万人以上 10 万人未 満の市区町村	16 票 (18 票)	58 票 (78 票)	24 票 (35 票)	14 票 (20 票)
人口 1 万人以上 5 万人未満の市区町 村	63 票 (83 票)	98 票 (136 票)	59 票 (100 票)	49 票 (76 票)
人口 1 万人未満の 市区町村	64 票 (118 票)	46 票 (77 票)	24 票 (56 票)	19 票 (47 票)

※市区町村名が不明である 1 票は、群別の回収数から除いた。

4.3 調査結果の概要（設問別単純集計は第6章を参照）

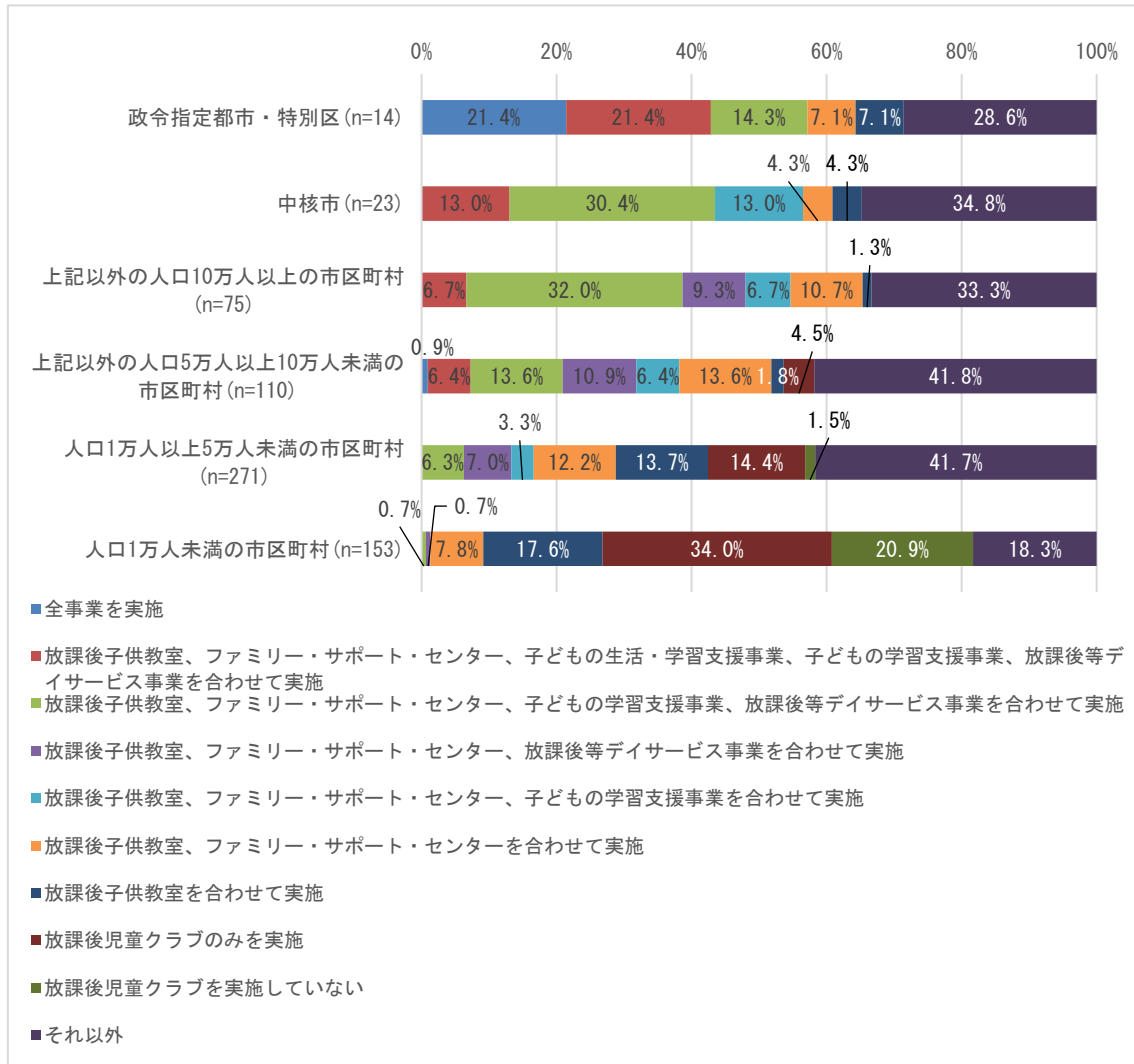
各設問において、「①放課後児童健全育成事業」に関する人口規模別の比較を行った。

「事業実施の有無」においては、「①放課後児童健全育成事業」では、人口1万人以上の市区町村では9割以上が「1（実施している）」と回答していたが、1万人未満の市区町村では、2割弱が「3（実施する予定はない）」と回答していた。



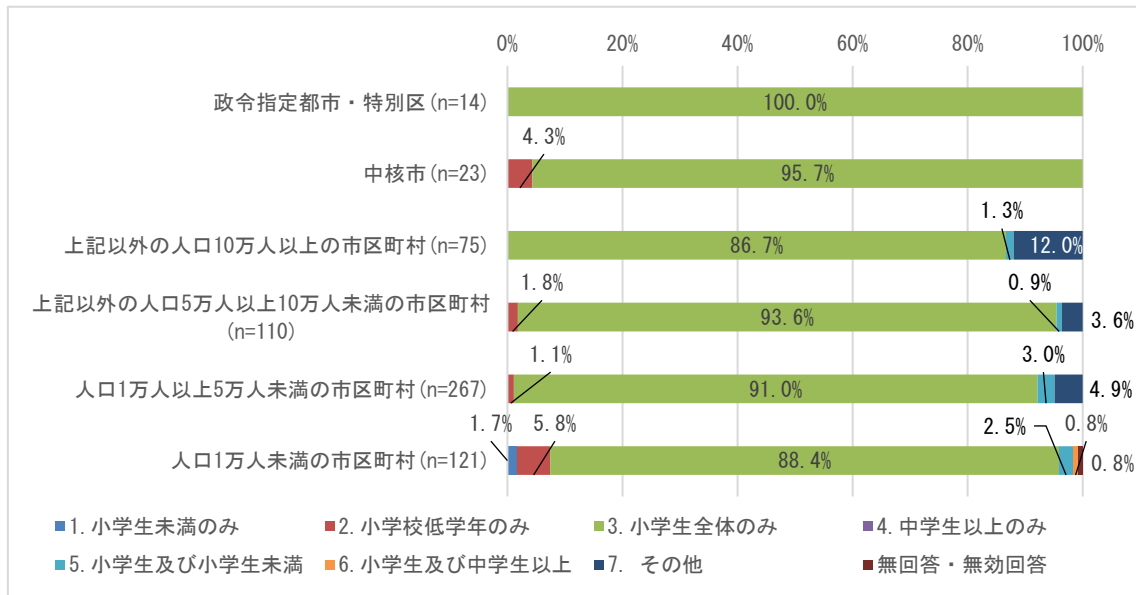
図表 25 事業実施の有無（人口規模別）

また、放課後児童クラブと合わせて実施している事業について人口規模別の割合を算出したところ、政令指定都市や中核市、人口10万人以上の市区町村では全ての市区町村が放課後児童クラブと合わせて他の事業を実施しており、人口5万人以上の市区町村では、半数以上が放課後子供教室とファミリー・サポート・センターを合わせて実施している、という傾向がみられた。



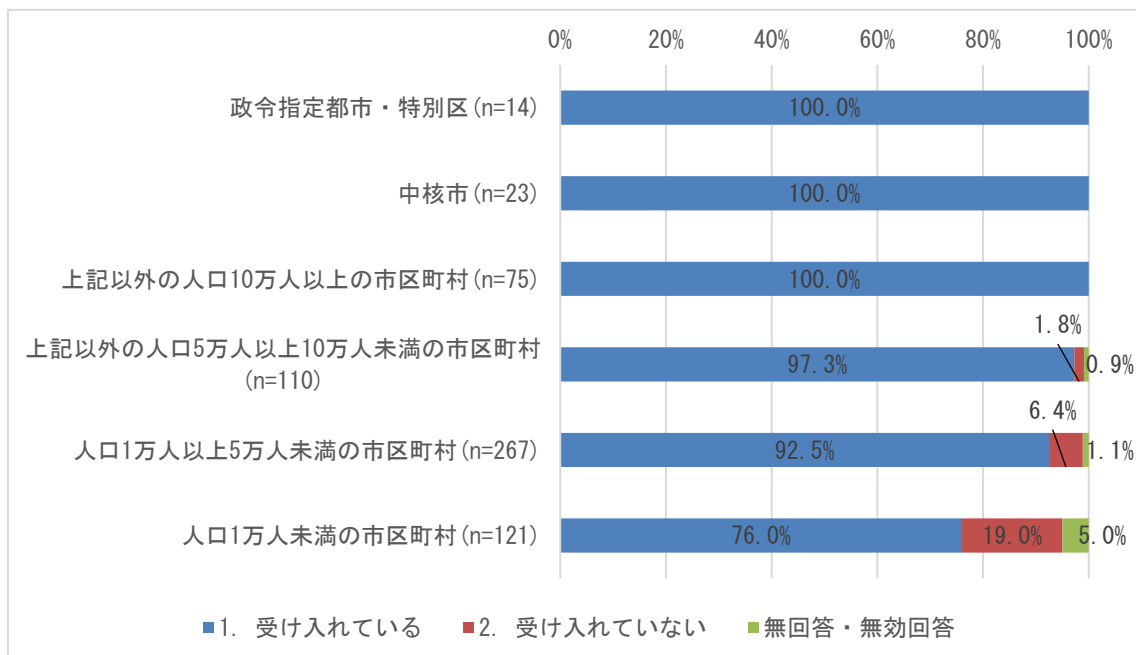
図表 26 放課後児童クラブと合わせて実施している事業（人口規模別）

「対象となる児童の学校・学年」においては、いずれの人口規模でも 8 割以上が「小学生全体のみ」と回答していたが、政令指定都市や中核市以外の人口 10 万人以上の市区町村では 1 割程度が「その他」と回答しており、対象範囲に幅があることが示唆された。



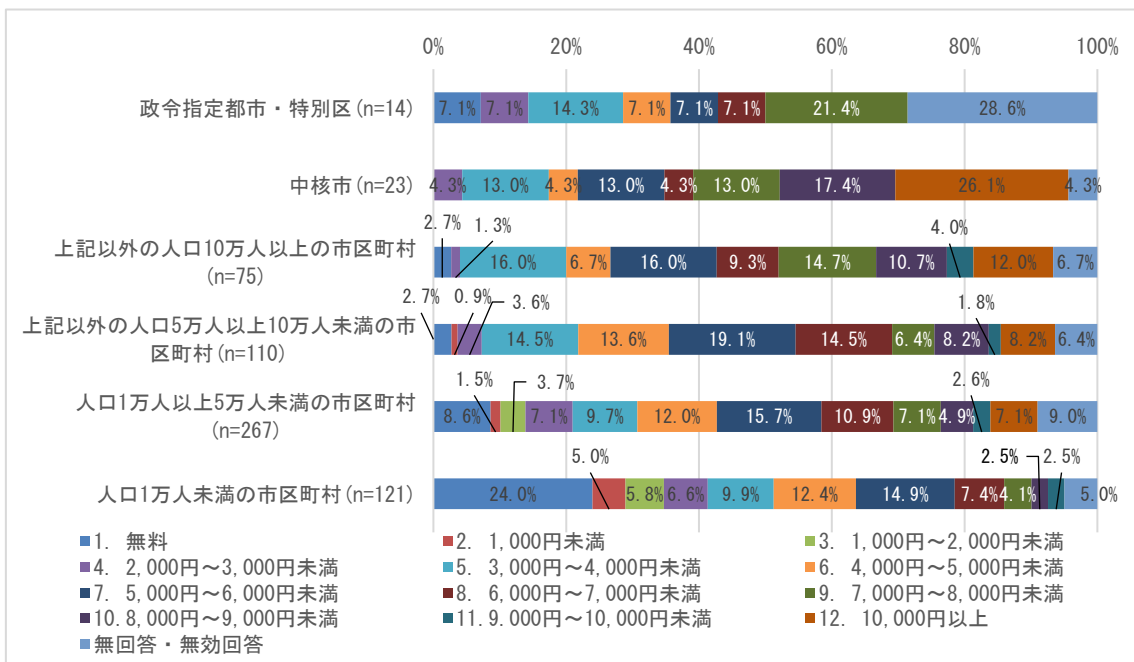
図表 27 対象となる児童の学校・学年（人口規模別）

「発達に支援が必要な子どもへの対応」においては、人口規模の小さい市区町村ほど「発達に支援が必要な子どもを受け入れていない」と回答する割合が大きい、という傾向がみられた。



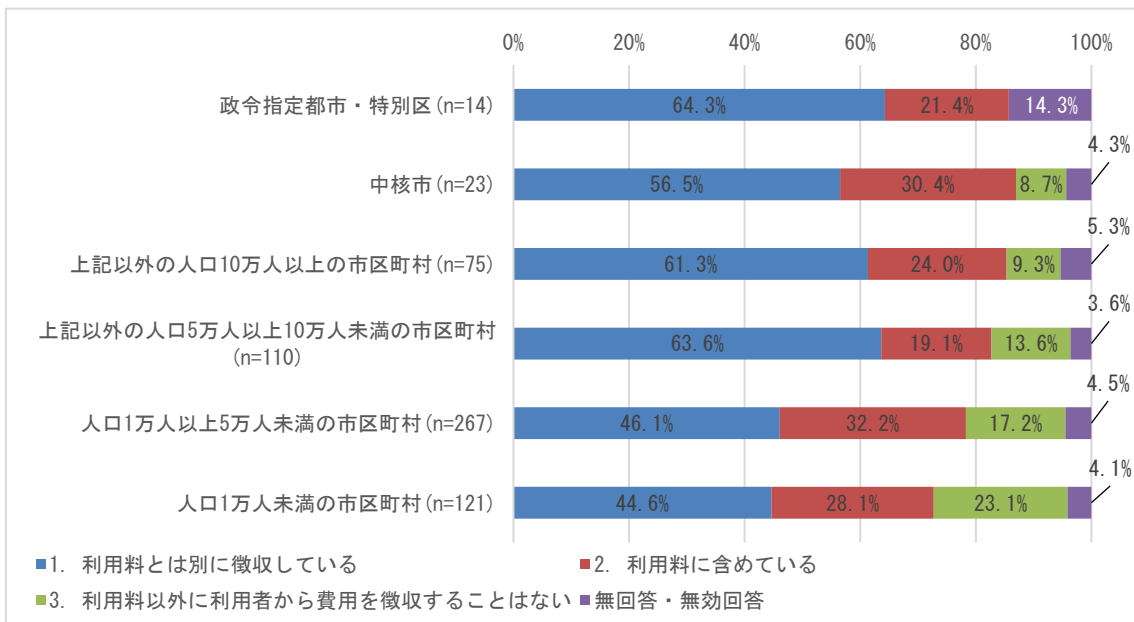
図表 28 発達に支援が必要な子どもへの対応（人口規模別）

「月あたりの利用料」においては、おおむね、人口規模の小さい市区町村ほど利用料が安い、という傾向がみられた。



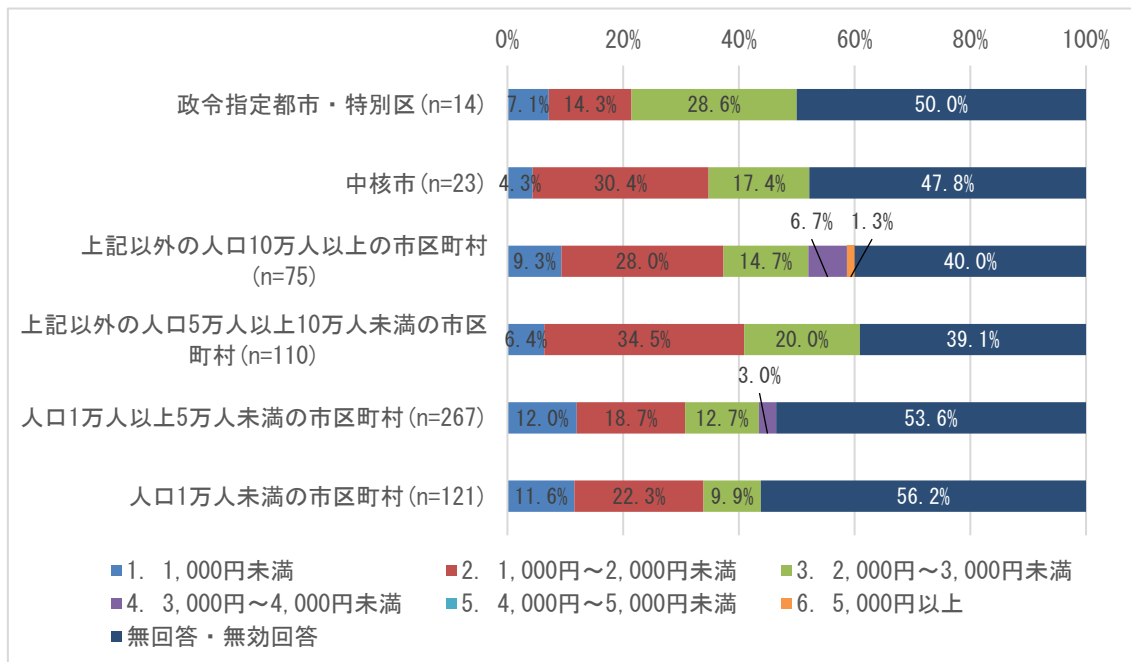
図表 29 月あたりの利用料（人口規模別）

「利用料とは別に徴収している費用の有無」においては、おおむね、人口規模の大きい市区町村ほど「おやつ代等を利用料とは別に徴収している」割合が大きい、という傾向がみられた。



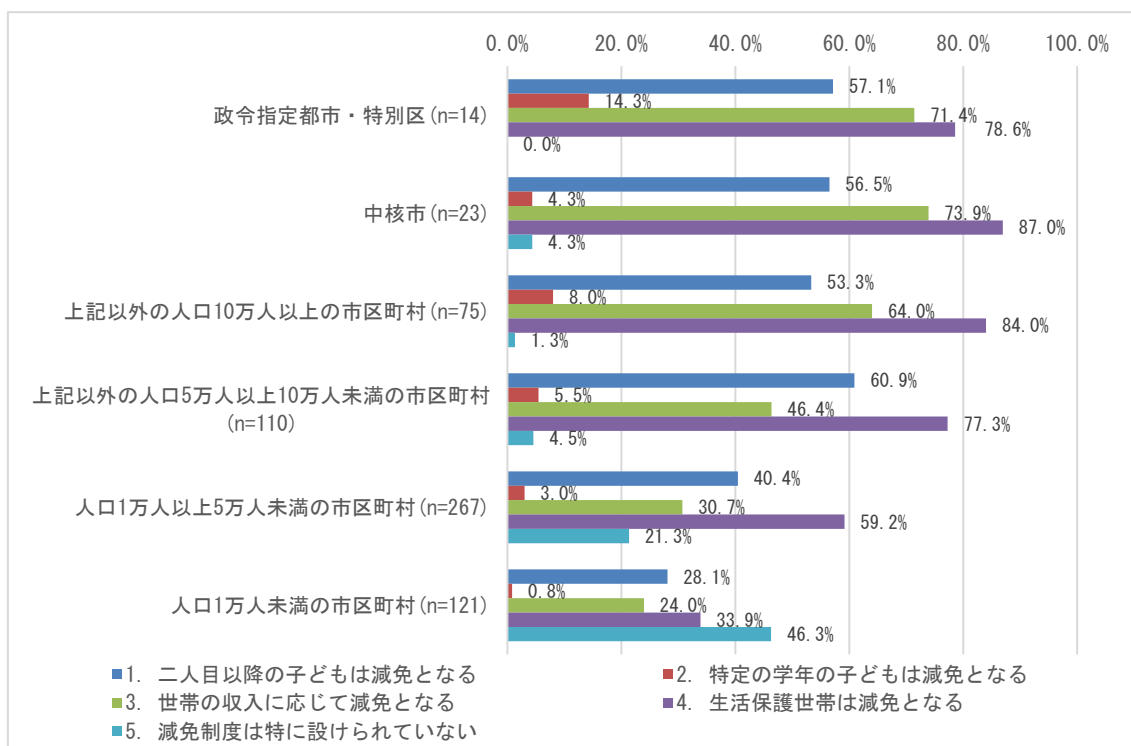
図表 30 利用料とは別に徴収している費用の有無（人口規模別）

「別に徴収している費用の金額」においては、おおむね、人口規模の大きい市区町村ほど別に徴収している費用の金額が高い、という傾向がみられた。



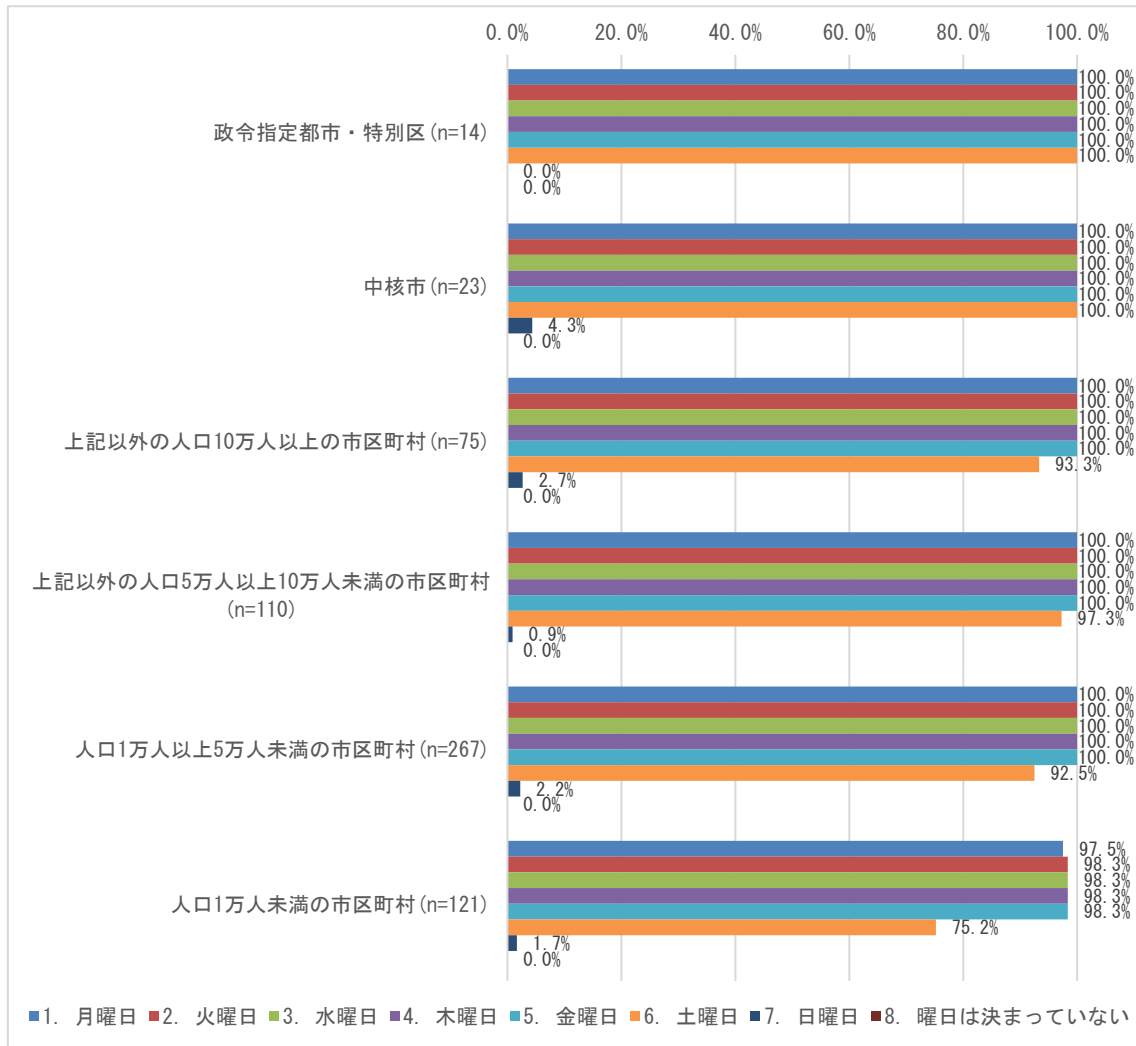
図表 31 別に徴収している費用の金額（人口規模別）

「利用料の減免制度の有無」においては、いずれの種類も、人口規模が小さいほど設置市区町村の割合が小さい、という傾向がみられた。



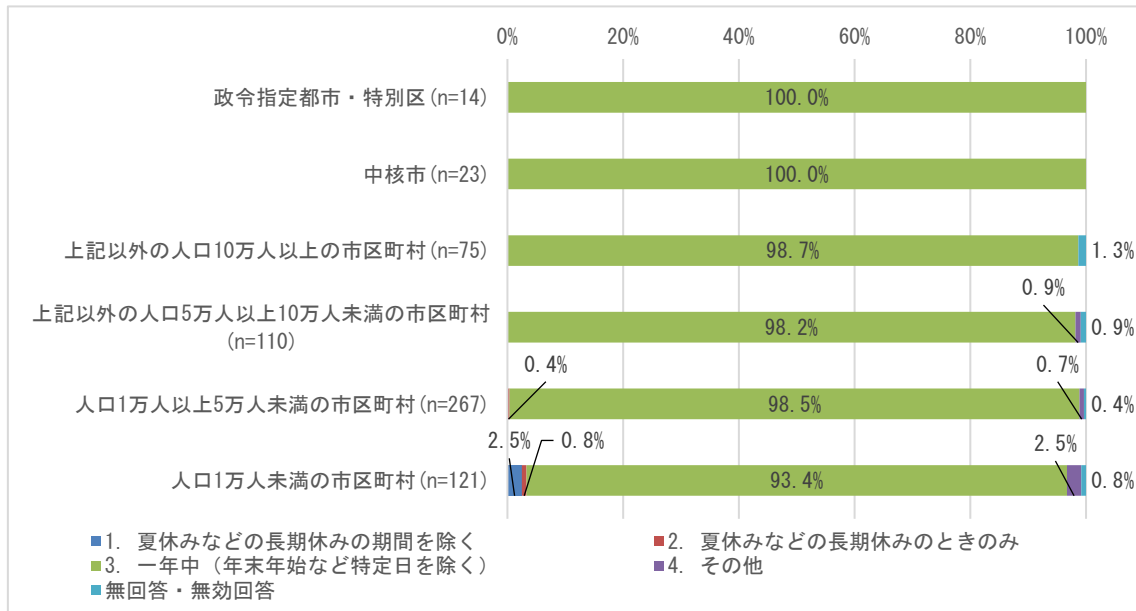
図表 32 利用料の減免制度の有無（人口規模別）

「各曜日の利用の可否」においては、土曜日以外の曜日はいずれの人口規模でも 9 割以上が「利用可能」であったが、土曜日については人口規模の小さい市区町村ほど「利用可能ではない」割合が大きい、という傾向がみられた。



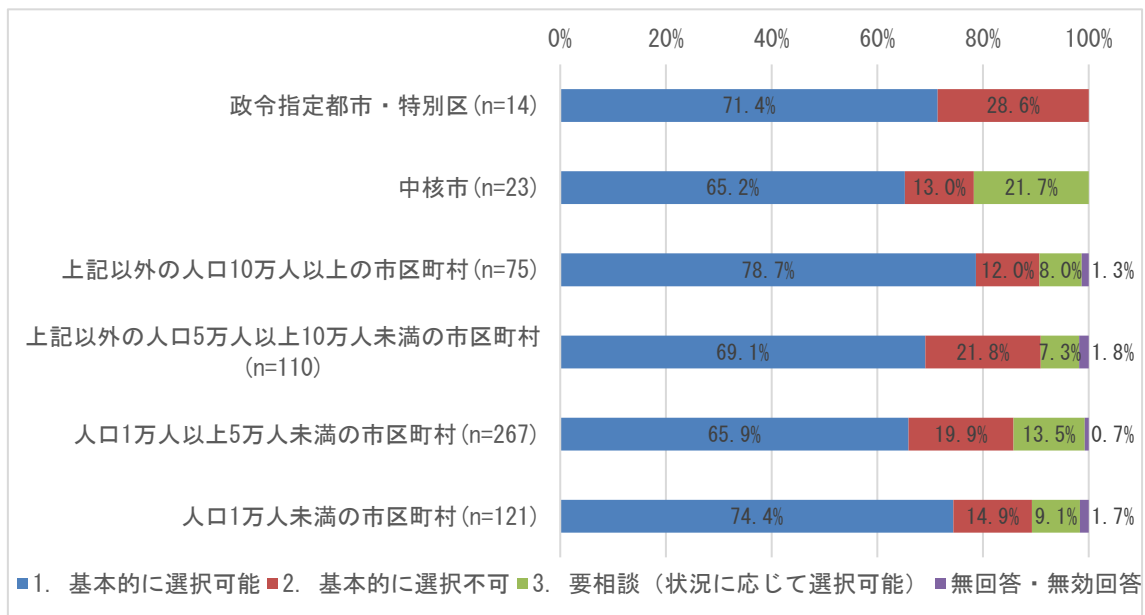
図表 33 各曜日の利用の可否（人口規模別）

「利用可能な期間」においては、いずれの人口規模でも、「一年中（年末年始など特定日を除く）」と回答する割合が9割以上になったが、人口1万人未満の市区町村では、一部が「夏休みなど長期休みの期間を除く」と回答していた。



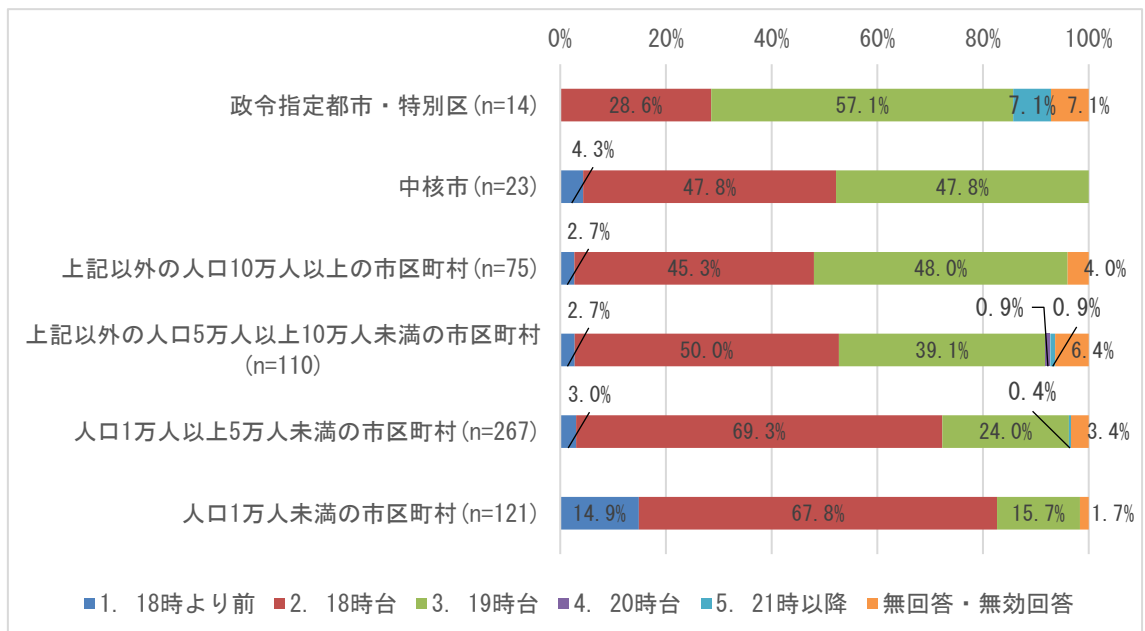
図表 34 利用可能な期間（人口規模別）

「利用日数の選択の可否」においては、いずれの人口規模でも、「基本的に選択可能」と回答する割合が7割前後になった。



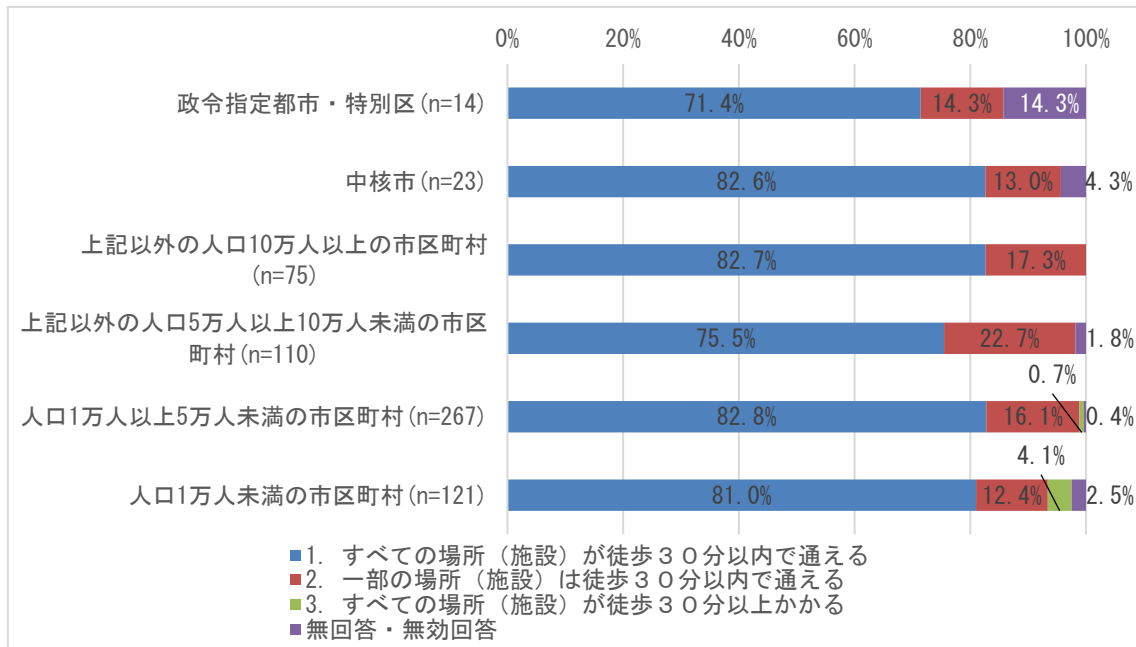
図表 35 利用日数の選択の可否 (人口規模別)

「終了時間」においては、おおむね、人口規模の小さい市区町村ほど終了時間が「19時台」以降となる割合が小さく、「18時台」までに終了する割合が大きい、という傾向がみられた。



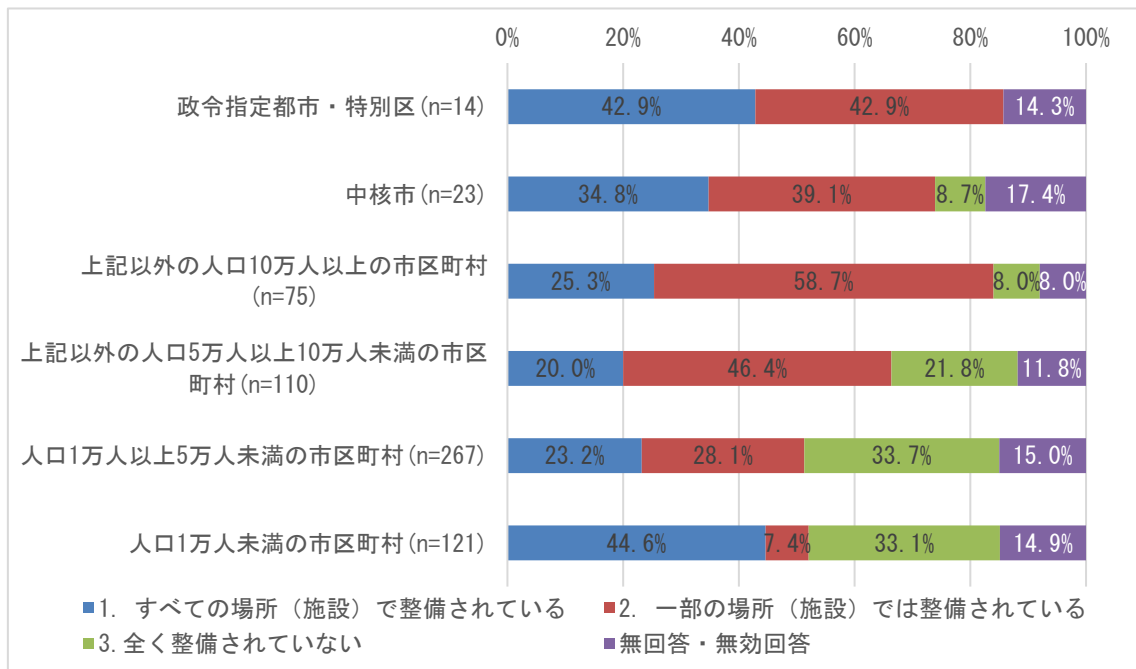
図表 36 終了時間 (人口規模別)

「最寄りの小学校から実施場所までの時間」においては、いずれの人口規模でも、「全ての場所が徒歩 30 分以内」と回答する市区町村が 7 割以上になったが、人口 1 万人未満の市区町村では、一部が「全ての場所が徒歩 30 分以上」と回答していた。



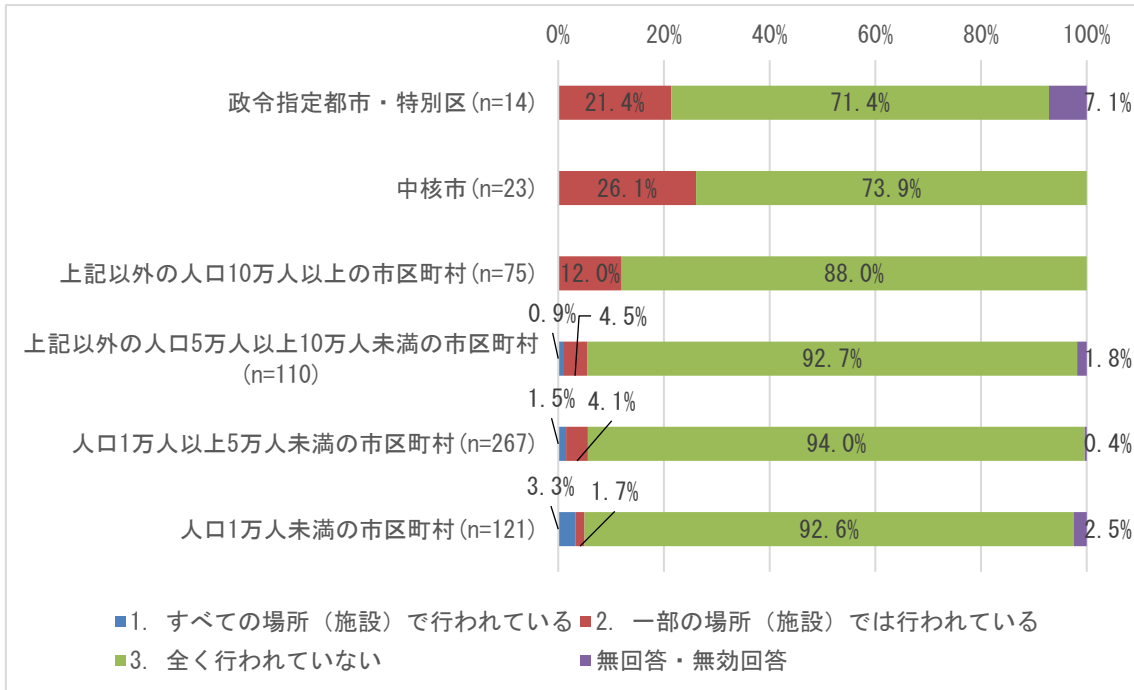
図表 37 最寄りの小学校から実施場所までの時間（人口規模別）

「最寄りの駅から実施場所までの公共交通機関の整備」においては、おおむね、人口規模の小さい市区町村ほど「整備されていない」割合が大きい、という傾向がみられた。



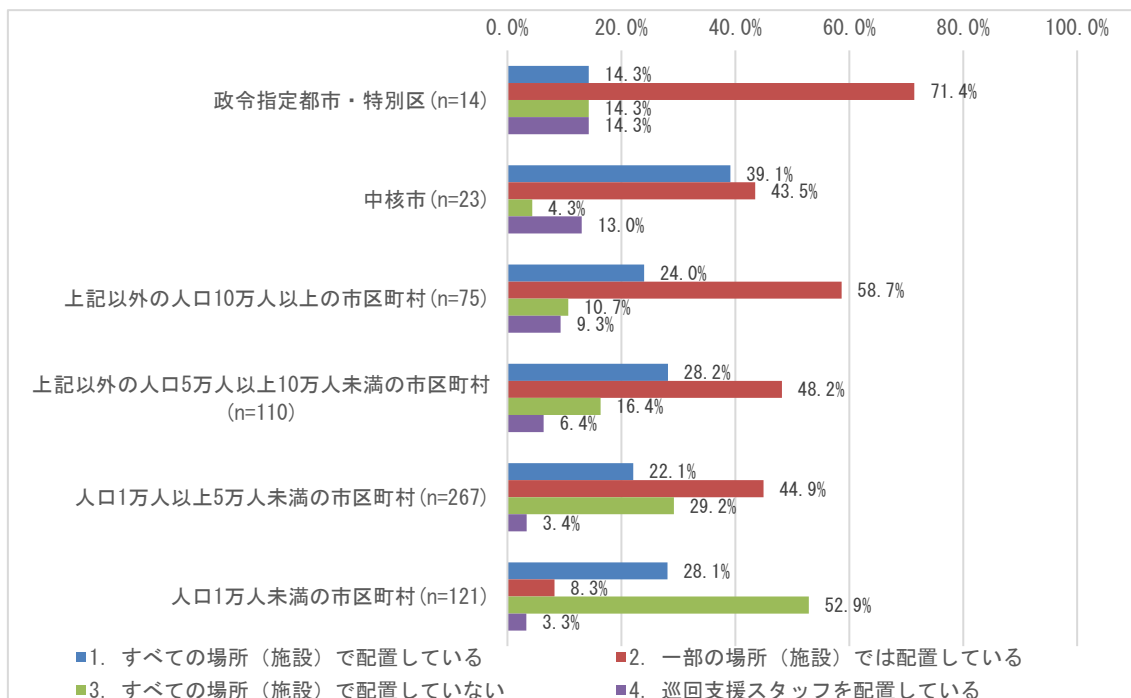
図表 38 最寄りの駅から実施場所までの公共交通機関の整備（人口規模別）

「実施場所から自宅等への送迎の有無」においては、人口規模の小さい市区町村ほど「全く行われていない」割合が大きい、という傾向がみられた。



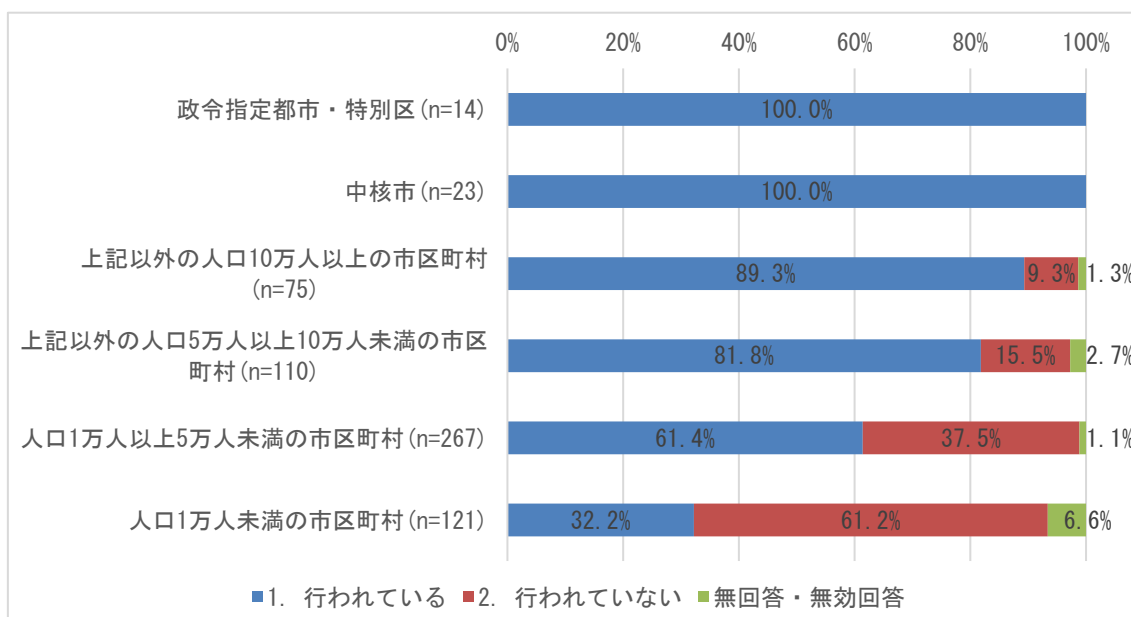
図表 39 実施場所から自宅等への送迎の有無（人口規模別）

「発達に支援が必要な子どもに対応できるスタッフの配置」においては、おおむね、人口規模の小さい市区町村ほど「すべてもしくは一部の場所への配置」を行っている割合が小さい、という傾向がみられた。



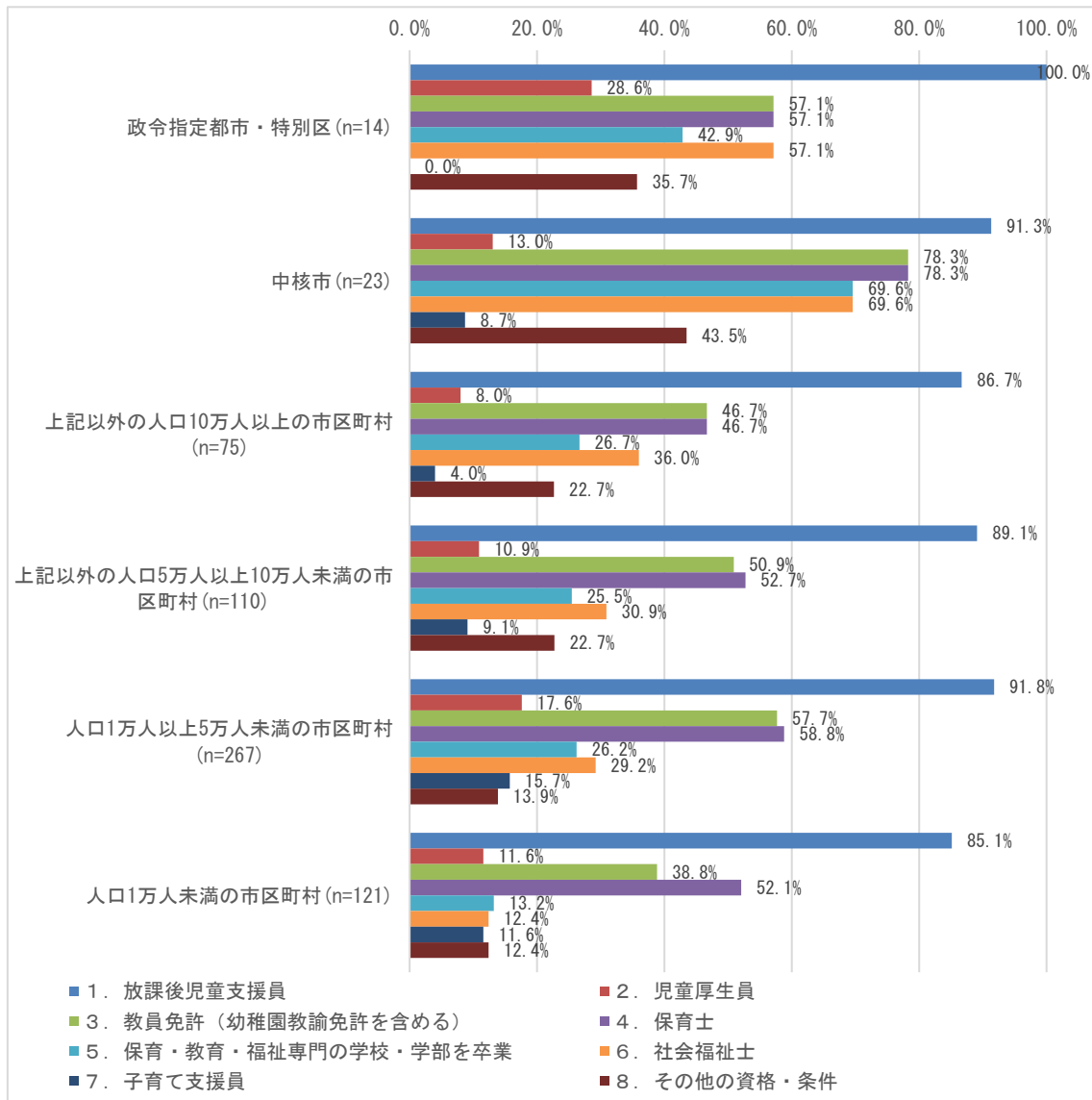
図表 40 発達に支援が必要な子どもに対応できるスタッフの配置（人口規模別）

「発達に支援が必要な子どもがいる場合の加配」においては、人口規模の小さい市区町村ほど「行われていない」割合が大きい、という傾向がみられた。



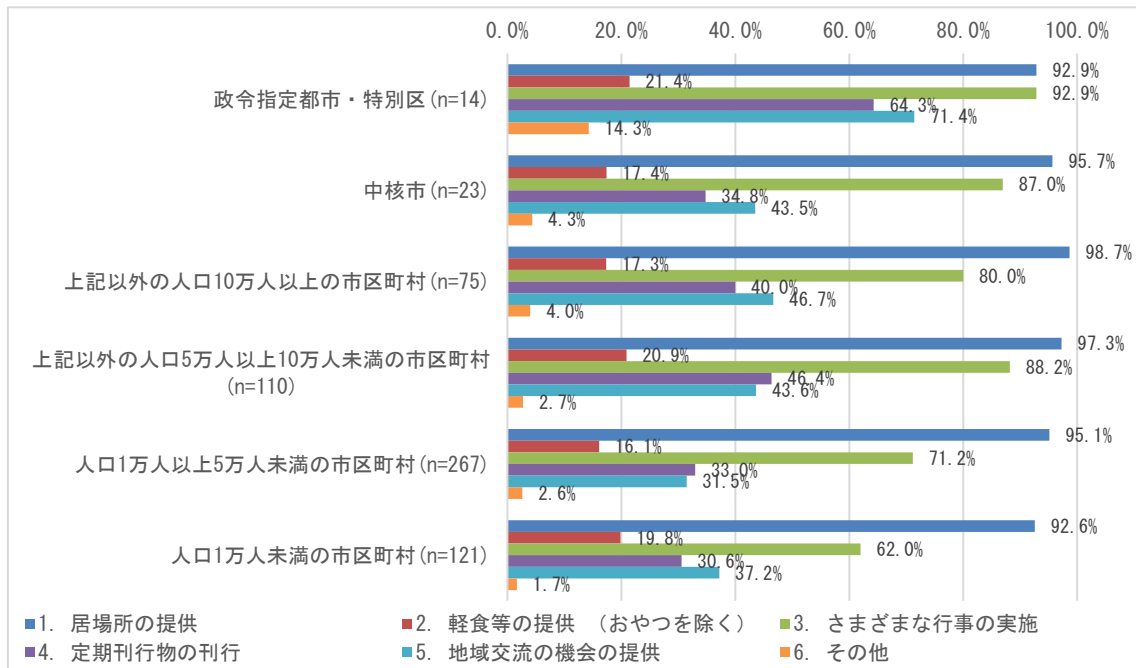
図表 41 発達に支援が必要な子どもがいる場合の加配（人口規模別）

「スタッフに求める資格」においては、おおむね、人口規模の小さい市区町村ほど、(放課後児童支援員も含め)それぞれの資格を「求めている」と回答する割合が小さい、という傾向がみられた。



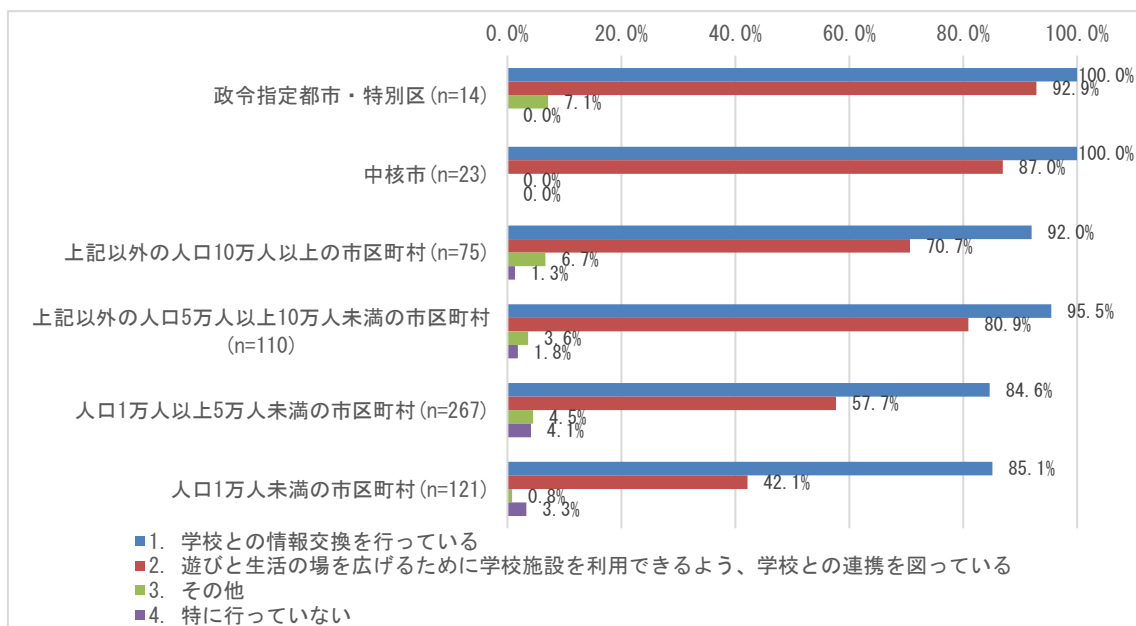
図表 42 スタッフに求める資格 (人口規模別)

「サービスの内容」においては、「居場所の提供」についてはいずれの人口規模でも 9割以上が「行っている」と回答していたが、「さまざまな行事の実施」「地域交流の機会の提供」等それ以外の内容については、おおむね、人口規模の小さい市区町村ほど回答する割合が小さい、という傾向がみられた。



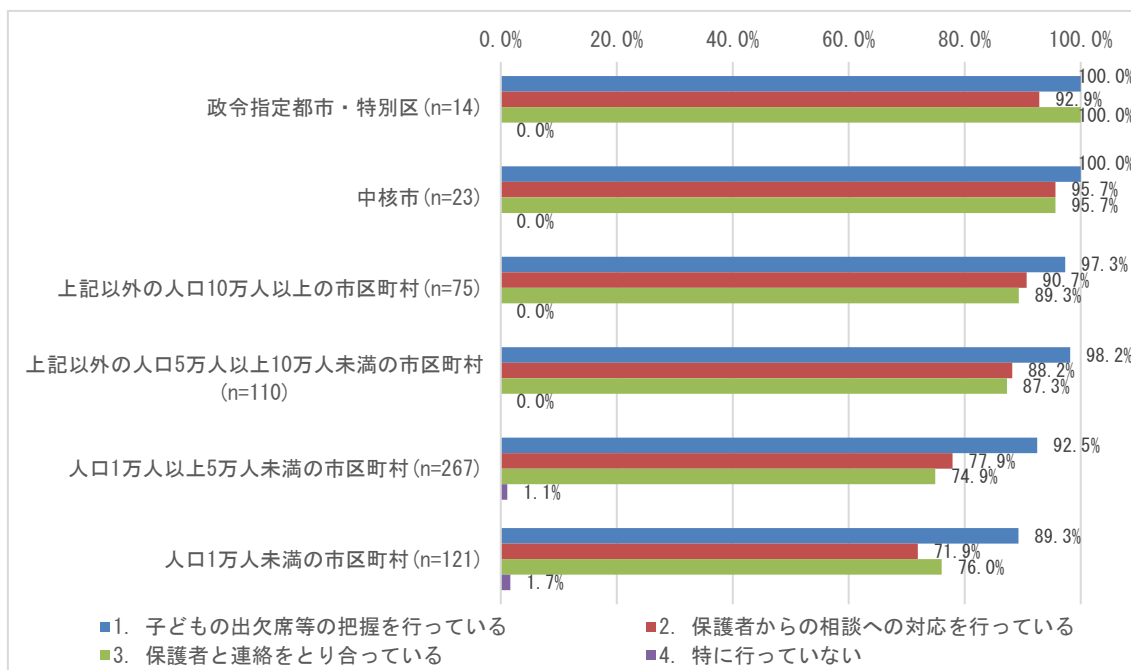
図表 43 サービスの内容（人口規模別）

「学校との連携」においては、おおむね、人口規模の小さい市区町村ほど「学校との情報交換を行っている」「学校施設を利用できるよう連携を図っている」と回答する割合が小さい、という傾向がみられた。



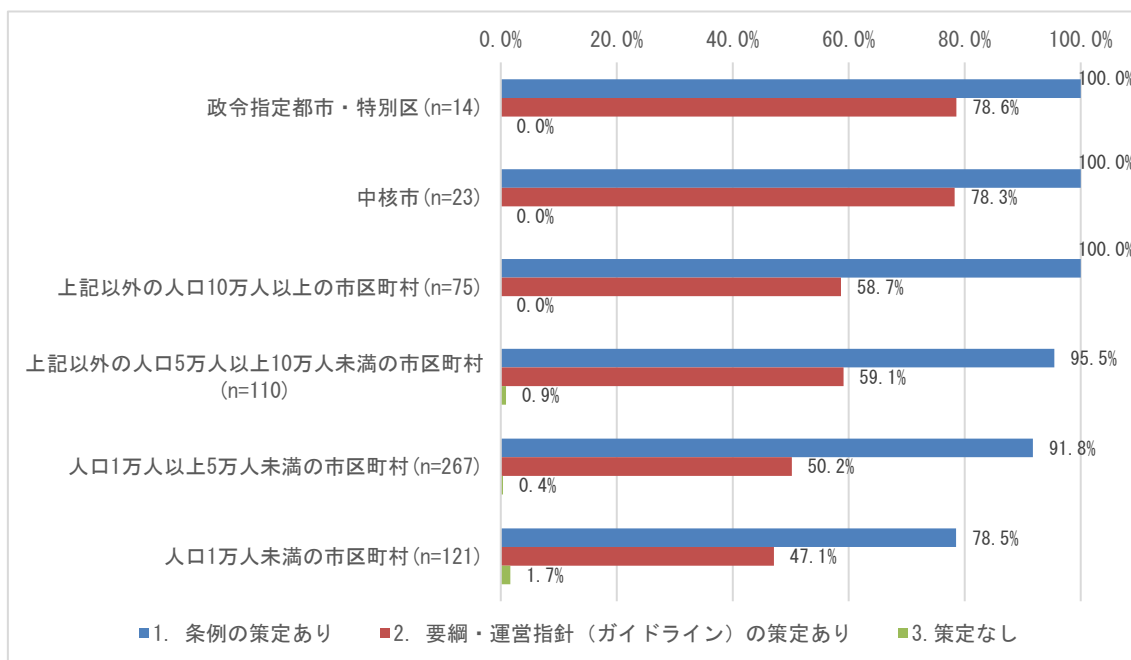
図表 44 学校との連携（人口規模別）

「保護者との連携」においては、人口規模の小さい市区町村ほど、「(保護者と連絡を取り合う等) 保護者との連携を図っている」と回答する割合が小さい、という傾向がみられた。



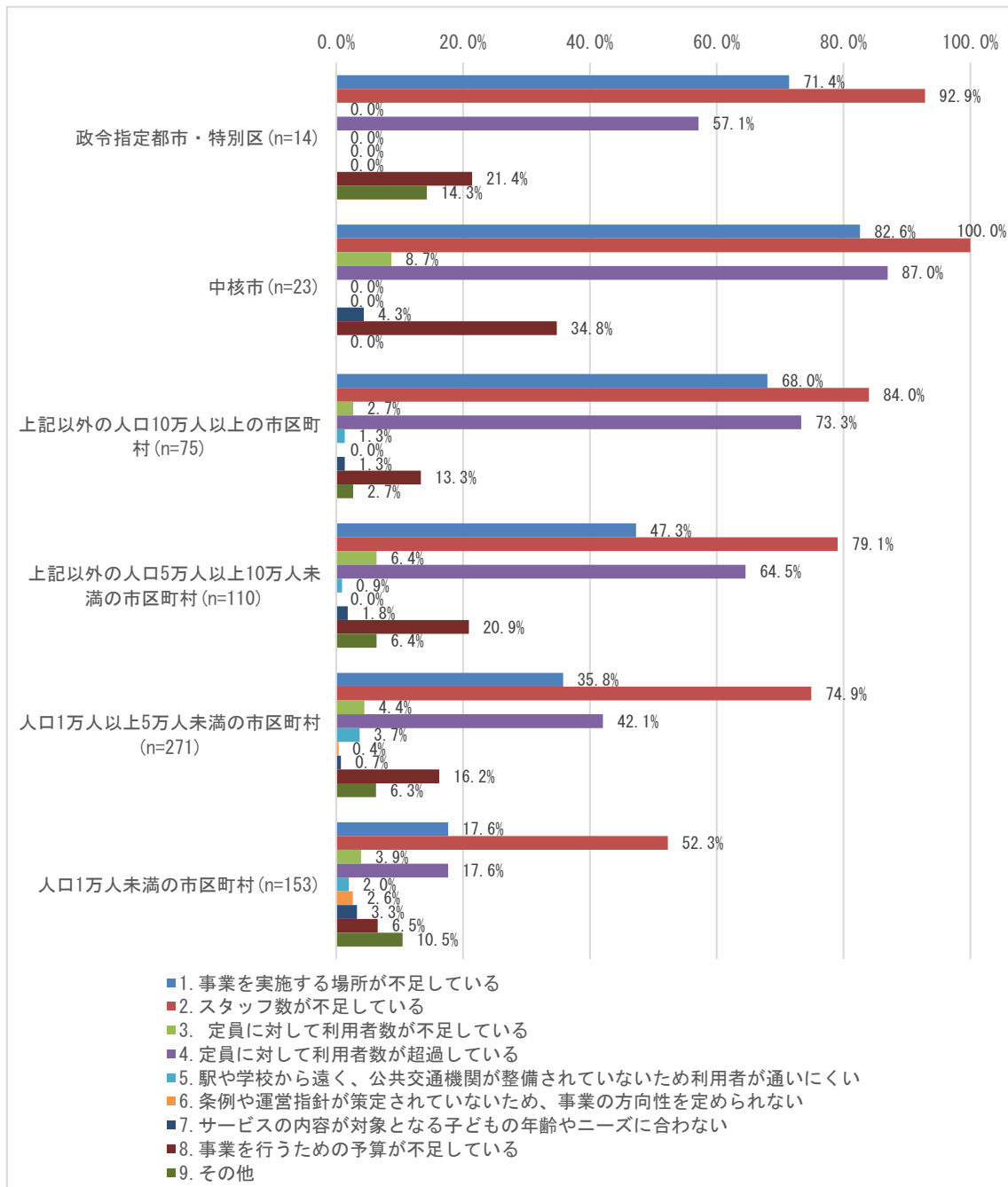
図表 45 保護者との連携（人口規模別）

「条例や要綱・運営指針の策定」においては、人口規模の小さい市区町村ほど条例や要綱・運営指針の策定が行われていない、という傾向がみられた。



図表 46 条例や要綱・運営指針の策定（人口規模別）

「(実施していない場合も含め) 事業実施にあたっての課題」においては、人口規模の大きい市区町村では「事業を実施する場所が不足している」「スタッフ数が不足している」「定員に対して利用者数が超過している」「予算が不足している」等が課題として多く挙げられていた。一方で、人口規模の小さい市区町村では、それらの課題に加え、「駅や学校から遠く、公共交通機関が整備されていないため通にくい」「条例や運営指針が策定されていないため、事業の方向性を定められない」等も課題として挙げられる、という傾向がみられた。



図表 47 (実施していない場合も含め) 事業実施にあたっての課題 (人口規模別)

第5章 考察

5.1 アンケート結果のまとめ

5.1.1 世帯向けアンケート調査について

5.1.1.1 放課後児童クラブに対する潜在的なニーズについて

- 本調査では、放課後児童クラブの利用状況について、単に「利用している」「利用していない」の区分だけでなく、「利用していない」世帯について「利用意思はあるが利用していない（できない）」「利用していたがやめた」「利用する意思がない」のいずれに該当するかを調べた。「利用意思はあるが利用していない（できない）」「利用していたがやめた」世帯については、サービスの内容や条件、世帯の状況等が変われば利用するようになる可能性があると考えられることから、「利用している」世帯と合わせて「放課後児童クラブ利用意思のある世帯」とであるとみなし、以降の分析でも用いた。

5.1.1.2 放課後児童クラブを利用する（しない）理由について

- 放課後児童クラブを利用している理由については、「子どもの面倒が見られない」等の利用せざるを得ない理由を除くと「夏休み等長期期間中に利用できる」「子どもが行きたいと言った」等を挙げる割合が高くなっていた。
- 放課後児童クラブを利用していない理由については、利用意思はあるが利用していない場合には、「利用する必要がない」「世帯が条件を満たさない」「居住市区町村では実施していない」等の利用をやめざるを得ない理由を除くと「料金面で不満がある」「その他」等を挙げる割合が高くなっていた。また、利用をやめた場合には、「子どもが行きたくないと言った」「料金面で不満があった」「その他」等を挙げる割合が高くなっていた。
- 「放課後児童クラブ利用をやめた世帯」において、「子どもが行きたがらない」を理由に挙げた世帯と「それ以外」の世帯とで、他に挙げる理由を比較したところ、子どもに利用意思がないために利用をやめた人は、利用料等よりも質の高さを重視してサービスを選ぶ傾向にあるのに対し、子どもに利用意思があるのにもかかわらず利用をやめた人は、サービスを選ぶ際に利用料等を考慮せざるを得ない傾向にある、という可能性が示唆された。
- 「放課後児童クラブ利用をやめた共働き世帯」において、「子どもが行きたがらない」を理由に挙げた世帯と「それ以外」の世帯とで、代替サービスの利用の有無を比較したところ、子どもに利用意思があるのにもかかわらず利用をやめた人の中には、共働き世帯であってもサービスを一切利用していない人が半数近く存在したことから、そのような人が利用可能なサービスの整備が必要であることが示

唆された。

5.1.1.3 放課後児童クラブ利用の有無を規定する要因について

- 「居住市区町村の人口規模」との関連をみたところ、利用意思のある世帯における利用割合は、おおむね人口規模の小さい市区町村において高く、規模の大きい市区町村において低くなっており、人口規模の大きい市区町村ほど利用を希望しても利用できていない可能性が示唆された。
- 「世帯所得」との関連をみたところ、世帯所得が 200 万円未満の低所得の世帯、および 400～600 万円未満の中程度の所得の世帯において、利用意思のある世帯における利用割合が低くなっていた。さらに、「放課後児童クラブ利用意思はあるが利用していない共働き世帯」において、世帯所得別にそれ以外のサービスの利用状況をみたところ、中程度の所得の世帯では「自宅のみ（他のサービスを利用していない）」の割合がやや低く、「学習塾以外の習い事を利用する」割合がやや高いことから、放課後のサービスに対するニーズはあるが、他の有料サービスとの併用は経済状況的に難しいため放課後児童クラブを利用していない、という可能性が示唆された。
- 「親の就業状況」との関連をみたところ、同じく夫婦とも外で働いている世帯においても、「夫婦とも正社員」の世帯では利用意思のある世帯における利用割合が高いのに対して、「夫婦ともパート・アルバイト等」の世帯では割合が低く、利用を希望しても利用できていない可能性が示唆された。
- 「親の帰宅時間」との関連をみたところ、「夫婦とも 18:00 以降に帰宅」する世帯において、利用意思のある世帯における利用割合が高くなっていた。
- 「放課後児童クラブ以外のサービスの利用」との関連をみたところ、「児童館・児童センター」やその他の公的なサービスを利用している世帯において利用意思のある世帯における利用割合が低くなっており、放課後児童クラブの利用を希望しているが利用できない場合、代替となりうるサービスを利用している可能性が示唆された。
- 「放課後のサービスに求める内容」との関連をみたところ、「長時間の預かり（19:00 位まで）」「行事への参加」「食事の提供」等と回答した世帯においては、利用意思のある世帯における利用割合が高くなっており、これらの内容を求める人は放課後児童クラブを利用しやすいことが示唆された。一方で、「就労体験・ボランティア体験」「講座・ワークショップ・研修会などの開催」「短時間の預かり（17:00 位まで）」等と回答した世帯においては、利用割合が低くなっており、これらの内容を求める人は放課後児童クラブを利用しにくいことが示唆された。
- 「放課後児童クラブの利用を決める理由」との関連をみたところ、「夏休み等長期休暇中の利用の可否」「長時間の利用の可否」「サービス実施場所までのアクセス」等と回答した世帯においては、利用意思のある世帯における利用割合が高くなっ

ており、これらの点を理由として挙げる人は放課後児童クラブを利用しやすいことが示唆された。一方で、「その他」「利用料」「サービスの評判」等と回答した世帯においては、利用割合が低くなっており、これらの点を理由として挙げる人は放課後児童クラブを利用しにくいことが示唆された。

- 回帰分析の結果、「放課後のサービスに求める内容」として「長時間の預かり」と回答している、もしくは「放課後児童クラブの利用を決める理由」として「長時間の利用の可否」「サービス実施場所までのアクセス」「学校や保護者との連携」と回答している場合には、そうでない場合に比べて放課後児童クラブを利用しやすくなる、という傾向がみられた。一方で、「学習塾以外の習い事」「児童館・児童センター」を利用している、もしくは「放課後のサービスに求める内容」として「無料の学習支援」と回答している、「放課後児童クラブの利用を決める理由」として「その他」と回答している場合には、そうでない場合に比べて放課後児童クラブを利用しにくくなる、という傾向がみられた。放課後児童クラブの利用を検討する人にとって、長時間利用できるかどうかサービス利用の重要なポイントとなることが推察される。

5.1.2 市区町村向けアンケート調査について

5.1.2.1 「放課後児童クラブ」事業実施の状況について

- 人口1万人以上の市区町村では9割以上が「実施している」と回答していたが、1万人未満の市区町村では、2割弱が「実施する予定はない」と回答していた。
- また、放課後児童クラブと合わせて実施している事業について人口規模別の割合を算出したところ、政令指定都市や中核市、人口10万人以上の市区町村では全ての市区町村が放課後児童クラブと合わせて他の事業を実施しており、人口5万人以上の市区町村では、半数以上が放課後子供教室とファミリー・サポート・センターを合わせて実施している、という傾向がみられた。

5.1.2.2 利用料や減免制度について

- 「月あたりの利用料」においては、おおむね、人口規模の小さい市区町村ほど利用料が安い、という傾向がみられた。
- 「利用料とは別に徴収している費用の有無」においては、おおむね、人口規模の大きい市区町村ほど「おやつ代等を利用料とは別に徴収している」割合が大きい、という傾向がみられた。
- 「利用料の減免制度の有無」においては、いずれの種類減免制度も、人口規模が小さいほど設置市区町村の割合が小さい、という傾向がみられた。

5.1.2.3 利用可能な日や時間について

- 「各曜日の利用の可否」においては、土曜日以外の曜日はいずれの人口規模でも9割以上が「利用可能」であったが、土曜日については人口規模の小さい市区町村ほど「利用可能ではない」割合が大きい、という傾向がみられた。

- 「利用可能な期間」においては、いずれの人口規模でも、「一年中（年末年始など特定日を除く）」と回答する割合が9割以上になったが、人口1万人未満の市区町村では、一部が「夏休みなど長期休みの期間を除く」と回答していた。
- 「利用日数の選択の可否」においては、いずれの人口規模でも、「基本的に選択可能」と回答する割合が7割前後になった。
- 「終了時間」においては、おおむね、人口規模の小さい市区町村ほど終了時間が「19時台」以降となる割合が小さく、「18時台」までに終了する割合が大きい、という傾向がみられた。

5.1.2.4 実施場所や交通手段について

- 「最寄りの小学校から実施場所までの時間」においては、いずれの人口規模でも、「全ての場所が徒歩30分以内」と回答する市区町村が7割以上になったが、人口1万人未満の市区町村では、一部が「全ての場所が徒歩30分以上」と回答していた。
- 「最寄りの駅から実施場所までの公共交通機関の整備」においては、おおむね、人口規模の小さい市区町村ほど「整備されていない」割合が大きい、という傾向がみられた。
- 「実施場所から自宅等への送迎の有無」においては、人口規模の小さい市区町村ほど「全く行われていない」割合が大きい、という傾向がみられた。

5.1.2.5 スタッフについて

- 「発達に支援が必要な子どもに対応できるスタッフの配置」においては、おおむね、人口規模の小さい市区町村ほど「すべてもしくは一部の場所への配置」を行っている割合が小さい、という傾向がみられた。
- 「発達に支援が必要な子どもがいる場合の加配」においては、人口規模の小さい市区町村ほど「行われていない」割合が大きい、という傾向がみられた。
- 「スタッフに求める資格」においては、おおむね、人口規模の小さい市区町村ほど、（放課後児童支援員も含め）それぞれの資格を「求めている」と回答する割合が小さい、という傾向がみられた。

5.1.2.6 事業実施にあたっての課題について

- 人口規模の大きい市区町村では「事業を実施する場所が不足している」「スタッフ数が不足している」「定員に対して利用者数が超過している」「予算が不足している」等が課題として多く挙げられていた。一方で、人口規模の小さい市区町村では、それらの課題に加え、「駅や学校から遠く、公共交通機関が整備されていないため通いにくい」「条例や運営指針が策定されていないため、事業の方向性を定められない」等も課題として挙げられる、という傾向がみられた。

5.2 市町村が管内の放課後児童クラブのニーズ把握を行う場合に活

用できる調査方法について

5.2.1 放課後児童クラブに対する潜在的なニーズの把握

本調査では、小学生の子どもがいる世帯における放課後児童クラブの利用状況の把握に当たり、単に「利用している」「利用していない」の区分だけでなく、「利用していない」世帯について「利用意思はあるが利用していない（できない）」「利用をやめた」「利用する意思がない」のいずれに該当するかを調べ、現状では放課後児童クラブの利用に至っていないが、状況が変われば利用する可能性のある世帯である「放課後児童クラブに対する潜在的ニーズがある層」の把握を試みた（ここでは「潜在的ニーズ者数」と呼ぶことにする）。アンケート調査の結果からどのように当該市区町村全体の潜在的ニーズ者数を推定するかは末尾「潜在的ニーズ者数の推計」に示した。

従来の「登録児童数」や「登録児童における待機児童数」の把握のみでなく、「登録に至っていない人も含めた潜在的ニーズを持つ人の数」を把握することにより、実際にサービスを必要としている人がどの程度いるかを、より正確に把握できると考えられる。

5.2.2 放課後児童クラブ利用の有無に関わる要因の把握

本調査では、放課後児童クラブの利用の有無に関わる要因を把握するに当たり、放課後児童クラブを利用する（しない）理由や、世帯の状況等について、様々な検討を行った。

その結果、同じように「利用している（していない）」という状況であっても、理由や状況に応じて、様々な異なるニーズを持つ群に分類されることが示唆されたため、以下の項目を中心に、放課後児童クラブの利用を決める理由を把握し、どのようなタイプが多いか等によって、サービスの整備の進め方を検討することが必要であると考えられる。

5.2.2.1 スタッフやサービスの質

世帯向け調査の結果から、子どもに利用意思がないために放課後児童クラブの利用をやめた人は利用料等よりもスタッフやサービスの質を重視してサービスを選ぶ傾向にあり、質が保証されない場合はサービスを必要としても利用が難しくなるケースがあることが示唆された。一方で、市区町村向け調査の結果においては、スタッフの不足が課題として多く挙げられており、資格の有無など質に関わる部分についても、市区町村間でややばらつきがみられることが確認された。

今後、市区町村等で行う調査において、スタッフやサービスの質を考慮してサービスの利用を決めるタイプの人が多く見られた場合には、研修の充実や有資格者の積極的な採用等によりスタッフの数の確保や質の向上を図るとともに、子どもが行きたいと思えるような内容の工夫を行うことで、そのようなタイプの人が利用しやすくなるようにし

ていく必要があると考えられる。

5.2.2.2 利用料・減免制度

世帯向け調査の結果から、子どもに利用意思があるのにもかかわらず放課後児童クラブの利用をやめた人はサービスを選ぶ際に利用料等を考慮せざるを得ない傾向にあることや、所得が中程度の世帯では放課後のサービスに対するニーズはあるが他の有料サービスとの併用は経済状況的に難しいという傾向がみられ、利用料等が高い場合はサービスを必要としていても利用が難しくなるケースがあることが示唆された。

今後、市区町村等で行う調査において、利用料等を考慮してサービスの利用を決めるタイプの人が多く見られた場合には、利用料や諸費用、減免制度等を再検討していくことで、そのようなタイプの人を利用しやすくなるようにしていく必要があると考えられる。

5.2.2.3 利用可能時間

世帯向け調査の結果から、サービスの利用可能時間が放課後児童クラブ利用の重要なポイントとなるという傾向がみられ、長時間の利用が難しい場合はサービスを必要としていても利用が難しくなるケースがあることが示唆された。一方で、市区町村向け調査の結果においては、放課後児童クラブが18時台までに終了する市区町村は人口10万人以上の規模においても半数近くとなり、長時間の利用が困難な状況であることが示唆された。

今後、市区町村等で行う調査において、利用可能な時間を考慮してサービスの利用を決めるタイプの人が多く見られた場合には、長時間の利用が可能となるよう施設やスタッフ等の体制整備を図ることで、そのようなタイプの人を利用しやすくなるようにしていく必要があると考えられる。

5.2.3 潜在的ニーズ者数の推計

アンケート調査の結果からどのように当該市区町村全体の潜在的ニーズ者数を推定するかを以下に示した。

以下の分数により潜在的ニーズ者数の割合（ α ）を求め、それに当該市町村の母集団の数³を乗じると、実際の潜在的ニーズ者数（世帯数）を推計できる。

分数の分子は問29で二つの選択肢のいずれかを回答した人の数を指し、分母は「Q29の回答者数」だけではなく、アンケート全体における回答者数を指している。

$$\alpha = \frac{(Q29「利用意思はあるが利用していない」選択者) + (Q29「以前は利用していたが諸般の事情でやめた」選択者)}{(Q29の回答者数) + (Q29の非回答者数)}$$

³ ここで母集団は、当該市区町村の小学生のいる世帯の数となる。

第6章 参考資料

6.1 委員会の概要

6.1.1 メンバー

委員		
東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 国際健康推進医学分野 教授	藤原 武男	※座長
新潟県立大学 人間生活学部 子ども学科 教授	植木 信一	
花園大学 社会福祉学部 児童福祉学科 准教授	和田 一郎	
会津大学短期大学部 幼児教育学科 講師	鈴木 勲	
事務局		
株式会社政策基礎研究所 市田 行信、和田 有理、清水 啓玄、廣松 正也		

6.1.2 第1回委員会概要

日時	平成30年9月18日(火) 13:00~15:00
場所	TKPガーデンシティ御茶ノ水3階 ミーティングルーム3G
配布資料	<ul style="list-style-type: none">・資料1: 報告書目次(案)・資料2: 報告書骨子(案)・資料3: 世帯向けアンケート調査の項目(案)・資料4: 市区町村向けアンケート調査の項目(案)・参考資料1: 平成27年国勢調査 市区町村別夫婦のいる一般世帯数(子供あり)
議事	<ul style="list-style-type: none">・調査全体の流れについて・アンケート調査の設計・サンプリングについて・アンケート調査の項目について

6.1.3 第2回委員会概要

日時	平成30年12月7日（金） 15:30～17:00
場所	T K P 東京駅八重洲カンファレンスセンター カンファレンスルーム9A
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1：報告書骨子（案） ・資料1別添1：世帯向けアンケート調査の回答者属性（中間報告） ・資料1別添2：世帯向けアンケート調査の単純集計（中間報告） ・資料2：世帯向けアンケート結果の集計・分析について ・資料3：市区町村向けアンケート結果の集計・分析について ・資料4：世帯向けアンケート調査票 ・資料5：市区町村向けアンケート調査票
議事	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査の方法について ・アンケート調査の実施状況 ・アンケート結果の集計・分析について

6.1.4 第3回委員会概要

日時	平成31年2月7日（木） 15:00～17:00
場所	T K P 東京駅八重洲カンファレンスセンター カンファレンスルーム9A
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1：報告書素案 ・資料1別添1：世帯向けアンケート調査の単純集計 ・資料1別添2：市区町村向けアンケート調査の単純集計 ・資料2：世帯向けアンケート調査票 ・資料3：市区町村向けアンケート調査票
議事	<ul style="list-style-type: none"> ・世帯向けアンケート調査結果の集計・分析について ・市区町村向けアンケート調査結果の集計・分析について ・報告書の構成や内容等について

6.2 アンケート調査票

6.2.1 世帯向けアンケート調査

(次ページ以降を参照)

Q1

あなたと同居しているお子さんの学年について、あてはまるものを選んでください。
 ※4人以上お子さんがいらっしゃる場合は、第4子までお答えください。

○ 単一回答 ★ 必須回答 ▲ とじる 0/4

1 第1子 ▲

- ① 未就学児
- ② 小学1年生
- ③ 小学2年生
- ④ 小学3年生
- ⑤ 小学4年生
- ⑥ 小学5年生
- ⑦ 小学6年生
- ⑧ 中学生
- ⑨ 高校生
- ⑩ その他

11 この子供はいない

2 第2子 ▼

3 第3子 ▼

4 第4子 ▲

- ① 未就学児
- ② 小学1年生
- ③ 小学2年生
- ④ 小学3年生
- ⑤ 小学4年生

お子様に関するアンケート

.....


当アンケートでは、【世帯年収・世帯総資産】について
 お伺いする箇所が含まれております。
 本件趣旨にご同意くださる方は、ご回答をお願いいたします。


.....

このアンケートは、厚生労働省による「平成30年度子ども・子育て支援推進調査研究事業」の
 調査の一環で行われるものです。

アンケートの結果は、匿名化された状態で分析を行い、
 個人の特定ができない形で施策への活用や研究結果の公表を行わせて頂くものとなります。

以上のことを了承いただけたら、以下の設問にご回答ください。
 データを他の研究機関との共同研究に使われたくない方は、
 「回答をやめる」ボタン、あるいはブラウザを閉じて、アンケートを終了してください。

 「調査についての守秘義務」の徹底をお願いします。決して第三者に口外しないよう、ご協力をお願いします。

 アンケート中は、ブラウザの「戻る」ボタンは押さぬようご注意ください。

100%

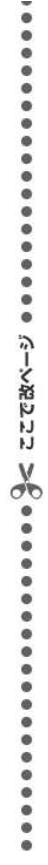
AC1
 割付条件設定 (回答者には表示されません)

▼ 複数回答

- 1 小学生のお子様がいる家庭
- 2 共働きの家
- 3 ひとり親家庭の父もしくは母

- ⑥ 小学5年生
- ⑦ 小学6年生
- ⑧ 中学生
- ⑨ 高校生
- ⑩ その他

⑪ この子供はいない



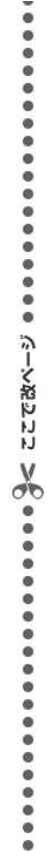
Q2
あなたのお子さんの性別をお答えください。

① 単一回答 ★ 必須回答

0/4

1 第1子	▼
2 第2子	▼
3 第3子	▼
4 第4子	▲

- ① 男
- ② 女



Q3
あなたのお子さんの年齢はいくつですか。

★ 必須回答

第1子	(半角数字) 歳
第2子	(半角数字) 歳
第3子	(半角数字) 歳
第4子	(半角数字) 歳

(半角数字) 歳



Q4
あなたのお子さんは、現在次の施設に通っていますか。(それぞれひとつずつ)

① 単一回答 ★ 必須回答

0/4

1 第1子	▼
2 第2子	▼
3 第3子	▼
4 第4子	▲

- ① 公立の保育所・こども園
- ② 私立の保育所・こども園
- ③ 公立幼稚園
- ④ 私立幼稚園
- ⑤ その他
- ⑥ 通っていない



Q5
お子さんは、平日(学校等に行く日)の放課後(夕方7時くらいまで)、どこで過ごしていますか。
あてはまるものをすべて(毎日ではないものも含めて)選んでください。
※お子さんが就業している場合は、その他にご記入ください。

✓ 複数回答 ★ 必須回答

▲ とじる

0/4

1 第1子	▼
2 第2子	▼
3 第3子	▼
4 第4子	▲

1 自宅

2	祖父母や友人・知人宅
3	学習塾
4	学習塾以外の習い事
5	学校の部活動・クラブ活動
6	児童館・児童センター
7	放課後児童クラブ（学童保育） 共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校の余剰教室や児童館、公民館などで放課後等に適切な遊び及び生活の場を与える事業です。 （具体的な名称の例：児童クラブ、学童保育所、放課後ルーム、児童ホーム、留守家庭児童会、等）
8	放課後子供教室（放課後の学校開放） 小学校に就学している全ての子どもを対象とし、地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得ながら、放課後等に学校を開放して、学習支援や多様なプログラムを実施する事業です。 （具体的な名称の例：放課後子ども教室、子どもクラブ、トワイライトスクール、ふれあいスクール、子どもひろば、等）
9	ファミリー・サポート・センター 「育児のお手伝いをしたい方（提供会員）」と「育児のお手伝いをしてほしい方（依頼会員）」がそれぞれセンターに登録し、子どもの送迎や預かりといった育児の助けを、提供会員が依頼会員に対し有償ボランティアとして行う会員組織です。
10	プレイパーク（冒険遊び場） 公園等において実施される「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした自由な遊び場です。
11	子どもの生活・学習支援事業（居場所づくり） ひとり親家庭の子どもに対し、放課後児童クラブ等の終了後に児童館・公民館や民家等において悩み相談を行いつつ、基本的な生活習慣の習得支援・学習支援、食事の提供等を行うことにより、ひとり親家庭の子どもたちの生活の向上を図る事業です。 （具体的な名称の例：ひとり親家庭等学習支援事業、等）
12	子どもの学習支援事業 生活保護受給世帯の子どもや生活困窮世帯の子ども等に対して、学習支援や居場所の提供等を行い、学習意欲と基礎学力の向上を促し、自ら学ぶ力を養うことで、子どもの高等学校への進学や将来における安定就労に繋げ、貧困の連鎖を防止することを目的とした事業です。
13	放課後等デイサービス事業 学校通学中の障がいのある子どもに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中に生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより障害児の自立を促進するとともに、放課後の居場所づくりを推進することを目的とした事業です。
14	子ども食堂 生活困窮世帯等の子どもに対して無料で食事を提供する場です。

15 保育所・認定こども園（夕方7:00以降まで利用）

16 その他
(必須入力)

✖ 閉じる



Q6

利用していると回答したサービスについてうかがいます。
長期休暇中の利用状況について、あてはまるものを選んでください。（それぞれひとつずつ）

○ 単一回答 ★ 必須回答 ▲ とじる 0/36

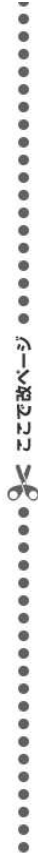
第1子	
1	児童館・児童センター
2	放課後児童クラブ（学童保育） 共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校の余剰教室や児童館、公民館などで放課後等に適切な遊び及び生活の場を与える事業です。 （具体的な名称の例：児童クラブ、学童保育所、放課後ルーム、児童ホーム、留守家庭児童会、等）
3	放課後子供教室（放課後の学校開放） 小学校に就学している全ての子どもを対象とし、地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得ながら、放課後等に学校を開放して、学習支援や多様なプログラムを実施する事業です。 （具体的な名称の例：放課後子ども教室、子どもクラブ、トワイライトスクール、ふれあいスクール、子どもひろば、等）
4	ファミリー・サポート・センター 「育児のお手伝いをしたい方（提供会員）」と「育児のお手伝いをしてほしい方（依頼会員）」がそれぞれセンターに登録し、子どもの送迎や預かりといった育児の助けを、提供会員が依頼会員に対し有償ボランティアとして行う会員組織です。
5	プレイパーク（冒険遊び場） 公園等において実施される「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした自由な遊び場です。
6	子どもの生活・学習支援事業（居場所づくり） ひとり親家庭の子どもに対し、放課後児童クラブ等の終了後に児童館・公民館や民家等において悩み相談を行いつつ、基本的な生活習慣の習得支援・学習支援、食事の提供等を行うことにより、ひとり親家庭の子どもたちの生活の向上を図る事業です。 （具体的な名称の例：ひとり親家庭等学習支援事業、等）

7	子どもの学習支援事業 生活保護受給世帯の子どもの生活困窮世帯の子ども等に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中に生活保護受給世帯の子どもの学習意欲と基礎学力の向上を促し、自ら学ぶ力を養うことで、子どもの高等学校等への進学や将来における安定就労に繋げ、貧困の連鎖を防止することを目的とした事業です。	▼
8	放課後等デイサービス事業 学校通学中の障がいのある子どもに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中に生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進することを目的とした事業です。	▼
9	子ども食堂 生活困窮世帯等の子どもに対して無料または低料金をで食事を提供する場です。	▼
第2子		
10	児童館・児童センター	▼
11	放課後児童クラブ（学童保育） 共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校の余剰教室や児童館、公民館などで放課後等に適切な遊び及び生活の場を与える事業です。 （具体的な名称の例：児童クラブ、学童保育所、放課後ルーム、児童ホーム、留守家庭児童会、等）	▼
12	放課後子供教室（放課後の学校開放） 小学校に就学している全ての子どもを対象とし、地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得ながら、放課後等に学校を開放して、学習支援や多様なプログラムを実施する事業です。 （具体的な名称の例：放課後子ども教室、子どもクラブ、トワイライトスクール、ふれあいスクール、子どもひろば、等）	▼
13	ファミリー・サポート・センター 「育児のお手伝いをしたい方（提供会員）」と「育児のお手伝いをしてほしい方（依頼会員）」がそれぞれセンターに登録し、子どもの送迎や預かりといった育児の手助けを、提供会員が依頼会員に対し有償ボランティアとして行う会員組織です。	▼
14	プレイパーク（冒険遊び場） 公園等において実施される「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした自由な遊び場です。	▼
15	子どもの生活・学習支援事業（居場所づくり） ひとり親家庭の子ども等に対し、放課後児童クラブ等の終了後に児童館・公民館や民家等において悩み相談を行いつつ、基本的な生活習慣の習得支援・学習支援、食事の提供等を行うことにより、ひとり親家庭の子どもの生活の向上を図る事業です。 （具体的な名称の例：ひとり親家庭等学習支援事業、等）	▼
16	子どもの学習支援事業 生活保護受給世帯の子どもの生活困窮世帯の子ども等に対して、学習支援や居場所の提供等を行い、学習意欲と基礎学力の向上を促し、自ら学ぶ力を養うことで、子どもの高等学校等への進学や将来における安定就労に繋げ、貧困の連鎖を防止することを目的とした事業です。	▼

17	放課後等デイサービス事業 学校通学中の障がいのある子どもに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中に生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進することを目的とした事業です。	▼
18	子ども食堂 生活困窮世帯等の子どもに対して無料または低料金をで食事を提供する場です。	▼
第3子		
19	児童館・児童センター	▼
20	放課後児童クラブ（学童保育） 共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校の余剰教室や児童館、公民館などで放課後等に適切な遊び及び生活の場を与える事業です。 （具体的な名称の例：児童クラブ、学童保育所、放課後ルーム、児童ホーム、留守家庭児童会、等）	▼
21	放課後子供教室（放課後の学校開放） 小学校に就学している全ての子どもを対象とし、地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得ながら、放課後等に学校を開放して、学習支援や多様なプログラムを実施する事業です。 （具体的な名称の例：放課後子ども教室、子どもクラブ、トワイライトスクール、ふれあいスクール、子どもひろば、等）	▼
22	ファミリー・サポート・センター 「育児のお手伝いをしたい方（提供会員）」と「育児のお手伝いをしてほしい方（依頼会員）」がそれぞれセンターに登録し、子どもの送迎や預かりといった育児の手助けを、提供会員が依頼会員に対し有償ボランティアとして行う会員組織です。	▼
23	プレイパーク（冒険遊び場） 公園等において実施される「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした自由な遊び場です。	▼
24	子どもの生活・学習支援事業（居場所づくり） ひとり親家庭の子ども等に対し、放課後児童クラブ等の終了後に児童館・公民館や民家等において悩み相談を行いつつ、基本的な生活習慣の習得支援・学習支援、食事の提供等を行うことにより、ひとり親家庭の子どもの生活の向上を図る事業です。 （具体的な名称の例：ひとり親家庭等学習支援事業、等）	▼
25	子どもの学習支援事業 生活保護受給世帯の子どもの生活困窮世帯の子ども等に対して、学習支援や居場所の提供等を行い、学習意欲と基礎学力の向上を促し、自ら学ぶ力を養うことで、子どもの高等学校等への進学や将来における安定就労に繋げ、貧困の連鎖を防止することを目的とした事業です。	▼
26	放課後等デイサービス事業 学校通学中の障がいのある子どもに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中に生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進することを目的とした事業です。	▼

27	子ども食堂 生活困窮世帯等の子どもに対して無料または低料金が食事を提供する場です。	▼
第4子		
28	児童館・児童センター	▼
29	放課後児童クラブ（学童保育） 共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校の余剰教室や児童館、公民館などで放課後等に適切な遊び及び生活の場を与える事業です。 （具体的な名称の例：児童クラブ、学童保育所、放課後ルーム、児童ホーム、留守家庭児童会、等）	▼
30	放課後子供教室（放課後の学校開放） 小学校に就学している全ての子どもを対象とし、地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得ながら、放課後等に学校を開放して、学習支援や多様なプログラムを実施する事業です。 （具体的な名称の例：放課後子ども教室、子どもクラブ、トワイライトスクール、ふれあいスクール、子どもひろば、等）	▼
31	ファミリー・サポート・センター 「育児のお手伝いをしたい方（提供会員）」と「育児のお手伝いをしてほしい方（依頼会員）」がそれぞれセンターに登録し、子どもの送迎や預かりといった育児の手助けを、提供会員が依頼会員に対し有償ボランティアとして行う会員組織です。	▼
32	プレイパーク（冒険遊び場） 公園等において実施される「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした自由な遊び場です。	▼
33	子どもの生活・学習支援事業（居場所づくり） ひとり親家庭の子どもに対し、放課後児童クラブ等の終了後に児童館・公民館や民家等において悩み相談を行いつつ、基本的な生活習慣の習得支援、学習支援、食事の提供等を行うことにより、ひとり親家庭の子どもたちの生活の向上を図る事業です。 （具体的な名称の例：ひとり親家庭等学習支援事業、等）	▼
34	子どもの学習支援事業 生活保護受給世帯の子どもや生活困窮世帯の子ども等に対して、学習支援や居場所の提供等を行い、学習意欲と基礎学力の向上を促し、自ら学ぶ力を養うことで、子どもの高等学校等への進学や将来における安定就労に繋げ、貧困の連鎖を防止することを目的とした事業です。	▼
35	放課後等デイサービス事業 学校通学中の障がいのある子どもに対し、放課後や夏休み等の長期休暇中に生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより障害児の自立を促すとともに、放課後の居場所づくりを推進することを目的とした事業です。	▼
36	子ども食堂 生活困窮世帯等の子どもに対して無料または低料金が食事を提供する場です。	▲
①	長期休暇中も含め常に利用している	
②	長期休暇中のみ利用している	

③	長期休暇中は利用していない
④	長期休暇中は利用していないが、今後は利用したい
⑤	長期休暇中は利用しておらず、今後とも利用する気はない
⑥	状況に応じて様々な利用の仕方をしている



Q7

以下のサービスを週に何日利用したいと思いますか（週によって異なる場合は、平均的な希望日数をお答えください）。
現在利用していないものも含めてお答えください。（それぞれひとつずつ）

◎ 単一回音 ★ 必須回音 ▲ とじる 0/36

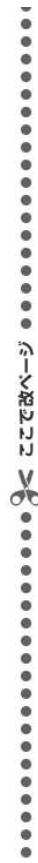
第1子		
1	児童館・児童センター	▼
2	放課後児童クラブ（学童保育） 共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校の余剰教室や児童館、公民館などで放課後等に適切な遊び及び生活の場を与える事業です。 （具体的な名称の例：児童クラブ、学童保育所、放課後ルーム、児童ホーム、留守家庭児童会、等）	▼
3	放課後子供教室（放課後の学校開放） 小学校に就学している全ての子どもを対象とし、地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得ながら、放課後等に学校を開放して、学習支援や多様なプログラムを実施する事業です。 （具体的な名称の例：放課後子ども教室、子どもクラブ、トワイライトスクール、ふれあいスクール、子どもひろば、等）	▼
4	ファミリー・サポート・センター 「育児のお手伝いをしたい方（提供会員）」と「育児のお手伝いをしてほしい方（依頼会員）」がそれぞれセンターに登録し、子どもの送迎や預かりといった育児の手助けを、提供会員が依頼会員に対し有償ボランティアとして行う会員組織です。	▼
5	プレイパーク（冒険遊び場） 公園等において実施される「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした自由な遊び場です。	▼
6	子どもの生活・学習支援事業（居場所づくり） ひとり親家庭の子どもに対し、放課後児童クラブ等の終了後に児童館・公民館や民家等において悩み相談を行いつつ、基本的な生活習慣の習得支援、学習支援、食事の提供等を行うことにより、ひとり親家庭の子どもたちの生活の向上を図る事業です。 （具体的な名称の例：ひとり親家庭等学習支援事業、等）	▼

7	子どもの学習支援事業 生活保護受給世帯の子どもの生活困窮世帯の子ども等に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中に生活保護受給世帯の子どもの学習意欲と基礎学力の向上を促し、自ら学ぶ力を養うことで、子どもの高等学校等への進学や将来における安定就労に繋げ、貧困の連鎖を防止することを目的とした事業です。	▼
8	放課後等デイサービス事業 学校通学中の障がいのある子どもに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中に生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進することを目的とした事業です。	▼
9	子ども食堂 生活困窮世帯等の子どもに対して無料または低料金をで食事を提供する場です。	▼
第2子		
10	児童館・児童センター	▼
11	放課後児童クラブ（学童保育） 共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校の余剰教室や児童館、公民館などで放課後等に適切な遊び及び生活の場を与える事業です。 （具体的な名称の例：児童クラブ、学童保育所、放課後ルーム、児童ホーム、留守家庭児童会、等）	▼
12	放課後子供教室（放課後の学校開放） 小学校に就学している全ての子どもを対象とし、地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得ながら、放課後等に学校を開放して、学習支援や多様なプログラムを実施する事業です。 （具体的な名称の例：放課後子ども教室、子どもクラブ、トワイライトスクール、ふれあいスクール、子どもひろば、等）	▼
13	ファミリー・サポート・センター 「育児のお手伝いをしたい方（提供会員）」と「育児のお手伝いをしてほしい方（依頼会員）」がそれぞれセンターに登録し、子どもの送迎や預かりといった育児の手助けを、提供会員が依頼会員に対し有償ボランティアとして行う会員組織です。	▼
14	プレイパーク（冒険遊び場） 公園等において実施される「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした自由な遊び場です。	▼
15	子どもの生活・学習支援事業（居場所づくり） ひとり親家庭の子ども等に対し、放課後児童クラブ等の終了後に児童館・公民館や民家等において悩み相談を行いつつ、基本的な生活習慣の習得支援・学習支援、食事の提供等を行うことにより、ひとり親家庭の子どもの生活の向上を図る事業です。 （具体的な名称の例：ひとり親家庭等学習支援事業、等）	▼
16	子どもの学習支援事業 生活保護受給世帯の子どもの生活困窮世帯の子ども等に対して、学習支援や居場所の提供等を行い、学習意欲と基礎学力の向上を促し、自ら学ぶ力を養うことで、子どもの高等学校等への進学や将来における安定就労に繋げ、貧困の連鎖を防止することを目的とした事業です。	▼

17	放課後等デイサービス事業 学校通学中の障がいのある子どもに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中に生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進することを目的とした事業です。	▼
18	子ども食堂 生活困窮世帯等の子どもに対して無料または低料金をで食事を提供する場です。	▼
第3子		
19	児童館・児童センター	▼
20	放課後児童クラブ（学童保育） 共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校の余剰教室や児童館、公民館などで放課後等に適切な遊び及び生活の場を与える事業です。 （具体的な名称の例：児童クラブ、学童保育所、放課後ルーム、児童ホーム、留守家庭児童会、等）	▼
21	放課後子供教室（放課後の学校開放） 小学校に就学している全ての子どもを対象とし、地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得ながら、放課後等に学校を開放して、学習支援や多様なプログラムを実施する事業です。 （具体的な名称の例：放課後子ども教室、子どもクラブ、トワイライトスクール、ふれあいスクール、子どもひろば、等）	▼
22	ファミリー・サポート・センター 「育児のお手伝いをしたい方（提供会員）」と「育児のお手伝いをしてほしい方（依頼会員）」がそれぞれセンターに登録し、子どもの送迎や預かりといった育児の手助けを、提供会員が依頼会員に対し有償ボランティアとして行う会員組織です。	▼
23	プレイパーク（冒険遊び場） 公園等において実施される「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした自由な遊び場です。	▼
24	子どもの生活・学習支援事業（居場所づくり） ひとり親家庭の子ども等に対し、放課後児童クラブ等の終了後に児童館・公民館や民家等において悩み相談を行いつつ、基本的な生活習慣の習得支援・学習支援、食事の提供等を行うことにより、ひとり親家庭の子どもの生活の向上を図る事業です。 （具体的な名称の例：ひとり親家庭等学習支援事業、等）	▼
25	子どもの学習支援事業 生活保護受給世帯の子どもの生活困窮世帯の子ども等に対して、学習支援や居場所の提供等を行い、学習意欲と基礎学力の向上を促し、自ら学ぶ力を養うことで、子どもの高等学校等への進学や将来における安定就労に繋げ、貧困の連鎖を防止することを目的とした事業です。	▼
26	放課後等デイサービス事業 学校通学中の障がいのある子どもに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中に生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進することを目的とした事業です。	▼

27	子ども食堂 生活困窮世帯等の子どもに対して無料または低料金を提供する場合です。	▼
第4子		
28	児童館・児童センター	▼
29	放課後児童クラブ（学童保育） 共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校の余剰教室や児童館、公民館などで放課後等に適切な遊び及び生活の場を与える事業です。 （具体的な名称の例：児童クラブ、学童保育所、放課後ルーム、児童ホーム、留守家庭児童会、等）	▼
30	放課後子供教室（放課後の学校開放） 小学校に就学している全ての子どもを対象とし、地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得ながら、放課後等に学校を開放して、学習支援や多様なプログラムを実施する事業です。 （具体的な名称の例：放課後子ども教室、子どもクラブ、トワイライトスクール、ふれあいスクール、子どもひろば、等）	▼
31	ファミリー・サポート・センター 「育児のお手伝いをしたい方（提供会員）」と「育児のお手伝いをしてほしい方（依頼会員）」がそれぞれセンターに登録し、子どもの送迎や預かりといった育児の助けを、提供会員が依頼会員に対し有償ボランティアとして行う会員組織です。	▼
32	プレイパーク（冒険遊び場） 公園等において実施される「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした自由な遊び場です。	▼
33	子どもの生活・学習支援事業（居場所づくり） ひとり親家庭の子どもに対し、放課後児童クラブ等の終了後に児童館・公民館や民家等において悩み相談を行いつつ、基本的な生活習慣の習得支援・学習支援、食事の提供等を行うことにより、ひとり親家庭の子どもたちの生活の向上を図る事業です。 （具体的な名称の例：ひとり親家庭等学習支援事業、等）	▼
34	子どもの学習支援事業 生活保護受給世帯の子どもや生活困窮世帯の子ども等に対して、学習支援や居場所の提供等を行い、学習意欲と基礎学力の向上を促し、自ら学ぶ力を養うことで、子どもたちの高等学校等への進学や将来における安定就労に繋げ、貧困の連鎖を防止することを目的とした事業です。	▼
35	放課後等デイサービス事業 学校通学中の障がいのある子どもに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中に生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進することを目的とした事業です。	▼
36	子ども食堂 生活困窮世帯等の子どもに対して無料または低料金を提供する場合です。	▲
	① 1日	
	② 2日	

③	3日
④	4日
⑤	5日
⑥	6日
⑦	7日
⑧	利用したいと思わない
⑨	サービスの存在を知らない



Q8

あなたのお子さんの成績は、どのくらいだと思いますか。（それぞれひとつずつ）

◎ 単一回答 ★ 必須回答

0/4

1	第1子	▼
2	第2子	▼
3	第3子	▼
4	第4子	▲

①	良い
②	まあ良い
③	普通
④	やや悪い
⑤	悪い



Q9

配偶者のご年齢について、あてはまるものをお選びください。

◎ 単一回答 ★ 必須回答

①	10代
②	20代

- 30代
- 40代
- 50代
- 60代以上



Q10

現在の就業状況について、あてはまるものをお選びください。

◎ 単一回答 ★ 必須回答

0/2

1 あなた	▼
2 配偶者	▲

- 正社員
- 正社員以外 (契約社員・派遣社員・パートタイム・アルバイト等)
- 自営業 (フリーランサー、土業の専門職等も含む)
- 求職中
- 無職 (退職・専業主婦 (夫) 等も含む)
- その他



Q11

前問で「1.正社員」「2.正社員以外」を選んだ方いらっしゃいます。通勤時間はどれくらいかかりますか。あてはまるものをお選びください。

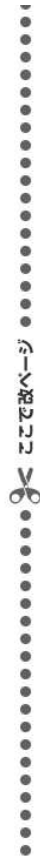
◎ 単一回答 ★ 必須回答

0/2

1 あなた	▼
2 配偶者	▲

- 0分
- 30分未満

- 30分以上1時間未満
- 1時間以上1時間半未満
- 1時間半以上2時間未満
- 2時間以上



Q12

家を出る時間で、最も多い時間帯を選んでください。(それぞれひとつずつ)

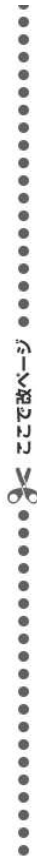
◎ 単一回答 ★ 必須回答

0/2

1 あなた	▼
2 配偶者	▲

- 0時00分～0時59分
- 1時00分～1時59分
- 2時00分～2時59分
- 3時00分～3時59分
- 4時00分～4時59分
- 5時00分～5時59分
- 6時00分～6時59分
- 7時00分～7時59分
- 8時00分～8時59分
- 9時00分～9時59分
- 10時00分～10時59分
- 11時00分～11時59分
- 12時00分～12時59分
- 13時00分～13時59分
- 14時00分～14時59分
- 15時00分～15時59分

- ⑬ 12時00分～12時59分
- ⑭ 13時00分～13時59分
- ⑮ 14時00分～14時59分
- ⑯ 15時00分～15時59分
- ⑰ 16時00分～16時59分
- ⑱ 17時00分～17時59分
- ⑲ 18時00分～18時59分
- ⑳ 19時00分～19時59分
- ㉑ 20時00分～20時59分
- ㉒ 21時00分～21時59分
- ㉓ 22時00分～22時59分
- ㉔ 23時00分～23時59分



Q14

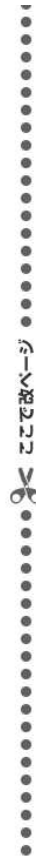
勤務先で時短等の制度を利用していますか。(それぞれひとつずつ)

○ 単一回答 ★ 必須回答

0/2

1	あなた	▼
2	配偶者	▲

- ① 利用している
- ② 利用していない
- ③ 勤務先に制度が無い
- ④ 勤務先に制度があるか分からない



Q15

- ⑬ 16時00分～16時59分
- ⑭ 17時00分～17時59分
- ⑮ 18時00分～18時59分
- ⑯ 19時00分～19時59分
- ⑰ 20時00分～20時59分
- ⑱ 21時00分～21時59分
- ⑲ 22時00分～22時59分
- ⑳ 23時00分～23時59分

Q13

あなたの帰宅時間で、最も多い時間帯を選んでください。(それぞれひとつずつ)

○ 単一回答 ★ 必須回答

0/2

1	あなた	▼
2	配偶者	▲

- ① 0時00分～0時59分
- ② 1時00分～1時59分
- ③ 2時00分～2時59分
- ④ 3時00分～3時59分
- ⑤ 4時00分～4時59分
- ⑥ 5時00分～5時59分
- ⑦ 6時00分～6時59分
- ⑧ 7時00分～7時59分
- ⑨ 8時00分～8時59分
- ⑩ 9時00分～9時59分
- ⑪ 10時00分～10時59分
- ⑫ 11時00分～11時59分

Q10で「4.求職中」「5.無職」を選んだ方にうかがいます。
就労についてのお考えについて、最もあてはまるものを選んでください。（それぞれひとつずつ）

◎ 単一回答 ★ 必須回答 ▲ とじる 0/2

1	あなた	▼
2	配偶者	▲

- ① 半年以内に就労の見込がある
- ② 就労希望はあるが仕事が見つからない
- ③ 就労希望はあるが子供を預ける場所が無い
- ④ 子どもが大きくなったら就労したい
- ⑤ 就労意思は無い



Q16

お父さんと生計を共にしている世帯全員の方の、おおよその年間収入（税込）は合わせていくらかですか。（ひとつだけ）

◎ 単一回答 ★ 必須回答 ▲ とじる

- ① 50万円未満
- ② 50～100万円未満
- ③ 100～150万円未満
- ④ 150～200万円未満
- ⑤ 200～250万円未満
- ⑥ 250～300万円未満
- ⑦ 300～350万円未満
- ⑧ 350～400万円未満
- ⑨ 400～500万円未満
- ⑩ 500～600万円未満
- ⑪ 600～700万円未満

- ⑫ 700～800万円未満
- ⑬ 800～900万円未満
- ⑭ 900～1,000万円未満
- ⑮ 1,000万円以上

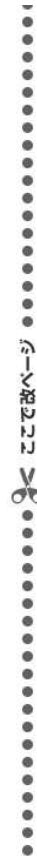


Q17

お父さんと生計を共にしている世帯の、世帯総資産（土地、建物、銀行・郵便貯金、有価証券、絵画やゴルフ会員権など）は合わせていくらかですか。（ひとつだけ）

◎ 単一回答 ★ 必須回答 ▲ とじる

- ① 100万円未満
- ② 100～300万円未満
- ③ 300～500万円未満
- ④ 500～700万円未満
- ⑤ 700～1000万円未満
- ⑥ 1000～1500万円未満
- ⑦ 1500～2000万円未満
- ⑧ 2000～5000万円未満
- ⑨ 5000万円以上



Q18

休日（土曜日・日曜日・祝日）および長期休暇中にお父さんのお母さん、お父さんがどちらもお仕事で不在の場合、お父さんの預け先はありますか。（ひとつだけ）

◎ 単一回答 ★ 必須回答 ▲ とじる 0/4

1	土曜日	▼
2	日曜日	▼
3	祝日	▼
4	夏休み等長期休暇	▲

- ① ある
- ② ない

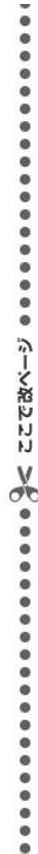


Q19

放課後利用するサービスにどのような内容を望みますか。

▼ 複数回答 ★ 必須回答

- ① 短時間の預かり (17:00位まで)
- ② 長時間の預かり (19:00位まで)
- ③ 無料の学習支援
- ④ 有料の学習支援
- ⑤ 遊び場の提供
- ⑥ 食事の提供
- ⑦ 屋内活動、創作活動
- ⑧ スポーツ活動
- ⑨ 行事への参加
- ⑩ 講座・ワークショップ・研修会などの開催
- ⑪ 就労体験・ボランティア体験
- ⑫ 地域交流
- ⑬ その他 (必須入力)
- ⑭ 特になし



Q20

あなたのお子さんの中に、きょうだいと同じ学校や施設に通っているお子さんはいますか。(ひとつだけ)

◎ 単一回答 ★ 必須回答 ▲ とじる

- ① いる

- ② いない (いずれの子も、他の子とは別の学校や施設に通っている)

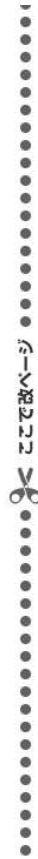


Q21

あなたは、ご自分が幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思えますか。(ひとつだけ)

◎ 単一回答 ★ 必須回答 ▲ とじる

- ① 0点
- ② 1点
- ③ 2点
- ④ 3点
- ⑤ 4点
- ⑥ 5点
- ⑦ 6点
- ⑧ 7点
- ⑨ 8点
- ⑩ 9点
- ⑪ 10点



Q22

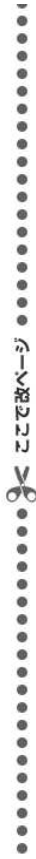
次のそれぞれの質問についてあなた自身の過去1ヶ月の間はどのようなようでしたか。(それぞれひとつずつ)

◎ 単一回答 ★ 必須回答 ▲ とじる 0/6

- 1 神経過敏に感じた ▼
- 2 絶望的だと感じた ▼
- 3 そわそわしたり、落ち着かなく感じた ▼
- 4 気分が沈み込んで、何が起っても気が晴れないように感じた ▼
- 5 何をしても骨折りと感じた ▼

6 自分は価値の無い人間だと感じた

- ① いつも
- ② たいてい
- ③ ときどき
- ④ 少しか
- ⑤ まったくない



Q23

あなたのお子さんのうち、いずれかのお子さんが利用しているサービスについてうかがいます。

サービスを使用しているのはなぜですか。

あてまるものをすべて選んでください。（それぞれいくつでも）

▼ 複数回答 ★ 必須回答 ▲ とじる

0/9

- 1 児童館・児童センター
- 2 放課後児童クラブ（学童保育）
共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校の余裕教室や児童館、公民館などで放課後等に適切な遊び及び生活の場を与える事業です。
（具体的な名称の例：児童クラブ、学童保育所、放課後ルーム、児童ホーム、留守家庭児童会、等）
- 3 放課後子供教室（放課後の学校開放）
小学校に就学している全ての子どもを対象とし、地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得ながら、放課後等に学校を開放して、学習支援や多様なプログラムを実施する事業です。
（具体的な名称の例：放課後子ども教室、子どもクラブ、トワイライトスクール、ふれあいスクール、子どもひろば、等）
- 4 ファミリー・サポート・センター
「育児のお手伝いをしたい方（提供会員）」と「育児のお手伝いをしてほしい方（依頼会員）」がそれぞれセンターに登録し、子どもの送迎や預かりといった育児の手助けを、提供会員が依頼会員に対し有償ボランティアとして行う会員組織です。
- 5 プレイパーク（冒険遊び場）
公園等において実施される「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした自由な遊び場です。
- 6 子どもの生活・学習支援事業（居場所づくり）
ひとり親家庭の子どもに対し、放課後児童クラブ等の終了後に児童館・公民館や民家等において悩み相談を行うつつ、基本的な生活習慣の習得支援・学習支援、

食事の提供等を行うことにより、ひとり親家庭の子どもの生活の向上を図る事業です。

（具体的な名称の例：ひとり親家庭等学習支援事業、等）

- 7 子どもの学習支援事業
生活保護受給世帯の子どもや生活困難世帯の子ども等に対して、学習支援や居場所の提供等を行い、学習意欲と基礎学力の向上を促し、自ら学ぶ力を養うことで、子どもの高等学校等への進学や将来における安定就労に繋げ、貧困の連鎖を防止することを目的とした事業です。
- 8 放課後等デイサービス事業
学校通学中の障がいのある子どもに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中に生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進することを目的とした事業です。
- 9 子ども食堂
生活困難世帯等の子どもに対して無料でまたは低料金を提供する場です。

1 仕事などで放課後に子どもの面倒が見られないため

2 子どもが行きたいと言ったため

3 サービスの評判が良かったため

4 利用料が安いため

5 勉強をみてもらえらるため

6 土日祝日に利用できるため

7 夏休み等長期休暇中に利用できるため

8 長時間利用できるため

9 利用日数や利用可能時間に自由度が高いため

10 サービス実施場所のスペースが広いため

11 サービス実施場所までのアクセスが良いため

12 自宅への送迎等、追加のサービスがあるため

13 スタッフの質が良いため

14 発達に支援が必要な子どもにも対応してくれるため

15 学校や保護者との連携が十分とられていて安心できるため

16 住んでいる市区町村にこれ以外の代替となるサービスが無いため

17 その他

(必須入力)

閉じる

Q24

利用しているサービスの一か月あたりの利用料はいくらですか。（それぞれひとつずつ）
月によって異なる場合は、平均的な金額でお答えください。（それぞれひとつずつ）

◎ 単一回答 ★ 必須回答 ▲ としる 0/9

1	児童館・児童センター	▼
2	放課後児童クラブ（学童保育） 共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校の余剰教室や児童館、公民館などで放課後等に適切な遊び及び生活の場を与える事業です。（具体的な名称の例：児童クラブ、学童保育所、放課後ルーム、児童ホーム、留守家庭児童会、等）	▼
3	放課後子供教室（放課後の学校開放） 小学校に就学している全ての子どもを対象とし、地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得ながら、放課後等に学校を開放して、学習支援や多様なプログラムを実施する事業です。（具体的な名称の例：放課後子ども教室、子どもクラブ、トワイライトスクール、ふれあいスクール、子どもひろば、等）	▼
4	ファミリー・サポート・センター 「育児のお手伝いをしたい方（提供会員）」と「育児のお手伝いをしてほしい方（依頼会員）」がそれぞれセンターに登録し、子どもの送迎や預かりといった育児の手助けを、提供会員が依頼会員に対し有償ボランティアとして行う会員組織です。	▼
5	プレイパーク（冒険遊び場） 公園等において実施される「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした自由な遊び場です。	▼
6	子どもの生活・学習支援事業（居場所づくり） ひとり親家庭の子どもに対し、放課後児童クラブ等の終了後に児童館・公民館や民家等において悩み相談を行いつつ、基本的な生活習慣の習得支援・学習支援、食事の提供等を行うことにより、ひとり親家庭の子どもの生活の向上を図る事業です。（具体的な名称の例：ひとり親家庭等学習支援事業、等）	▼
7	子どもの学習支援事業 生活保護受給世帯の子どもや生活困窮世帯の子ども等に対して、学習支援や居場所の提供等を行い、学習意欲と基礎学力の向上を促し、自ら学ぶ力を養うことで、子ども等の高等学校等への進学や将来における安定就労に繋げ、貧困の連鎖を防止することを目的とした事業です。	▼
8	放課後等デイサービス事業 学校通学中の障がいのある子どもに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中に生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進することを目的とした事業です。	▼

9 子ども食堂
生活困窮世帯等の子どもに対して無料または低料金をで食事を提供する場です。

1	無料
2	1000円未満
3	1000円台
4	2000円台
5	3000円台
6	4000円台
7	5000円台
8	6000円台
9	7000円台
10	8000円台
11	9000円台
12	10000円以上

Q25

サービスの一か月あたりの利用料は高いと思いますか。（それぞれひとつずつ）

◎ 単一回答 ★ 必須回答

0/9

1	児童館・児童センター	▼
2	放課後児童クラブ（学童保育） 共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校の余剰教室や児童館、公民館などで放課後等に適切な遊び及び生活の場を与える事業です。（具体的な名称の例：児童クラブ、学童保育所、放課後ルーム、児童ホーム、留守家庭児童会、等）	▼
3	放課後子供教室（放課後の学校開放） 小学校に就学している全ての子どもを対象とし、地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得ながら、放課後等に学校を開放して、学習支援や多様なプログラムを実施する事業です。（具体的な名称の例：放課後子ども教室、子どもクラブ、トワイライトスクール、ふれあいスクール、子どもひろば、等）	▼
4	ファミリー・サポート・センター 「育児のお手伝いをしたい方（提供会員）」と「育児のお手伝いをしてほしい方	▼

	(依頼会員)」がそれぞれセンターに登録し、子どもを送迎や預かりといった育児の手助けを、提供会員が依頼会員に対し有償ボランティアとして行う会員組織です。
5	プレイパーク (冒険遊び場) 公園等において実施される「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした自由な遊び場です。
6	子どもの生活・学習支援事業 (居場所づくり) ひとり親家庭の子どもに対し、放課後児童クラブ等の終了後に児童館・公民館や民家等において悩み相談を行いつつ、基本的な生活習慣の習得支援・学習支援、食事の提供等を行うことにより、ひとり親家庭の子どもの生活の向上を図る事業です。 (具体的な名称の例：ひとり親家庭等学習支援事業、等)
7	子どもの学習支援事業 生活保護受給世帯の子どもや生活困窮世帯の子ども等に対して、学習支援や居場所の提供等を行い、学習意欲と基礎学力の向上を促し、自ら学ぶ力を養うことで、子どもの高等学校等への進学や将来における安定就労に繋げ、貧困の連鎖を防止することを目的とした事業です。
8	放課後等デイサービス事業 学校通学中の障がいのある子どもに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中に生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進することを目的とした事業です。
9	子ども食堂 生活困窮世帯等の子どもに対して無料または低料金で食事を提供する場です。



Q26

前問で「1 (高いと) 思う」を選ぶサービスについてうかがいます。
一か月あたりの利用料はいくらが適正だと思いますか。(それぞれひとつずつ)

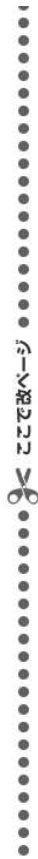
○ 単一回答 ★ 必須回答 ▲ としる
0/9

1	児童館・児童センター
2	放課後児童クラブ (学童保育) 共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校の余裕教室や児童館、公民館などで放課後等に適切な遊び及び生活の場を与える事業です。 (具体的な名称の例：児童クラブ、学習保育所、放課後ルーム、児童ホーム、留守家庭児童会、等)

3	放課後子供教室 (放課後の学校開放) 小学校に就学している全ての子どもを対象とし、地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得ながら、放課後等に学校を開放して、学習支援や多様なプログラムを実施する事業です。 (具体的な名称の例：放課後子ども教室、子どもクラブ、トワイライトスクール、ふれあいスクール、子どもひろば、等)
4	ファミリー・サポート・センター 「育児のお手伝いをしたい方 (提供会員)」と「育児のお手伝いをしてほしい方 (依頼会員)」がそれぞれセンターに登録し、子どもの送迎や預かりといった育児の手助けを、提供会員が依頼会員に対し有償ボランティアとして行う会員組織です。
5	プレイパーク (冒険遊び場) 公園等において実施される「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした自由な遊び場です。
6	子どもの生活・学習支援事業 (居場所づくり) ひとり親家庭の子どもに対し、放課後児童クラブ等の終了後に児童館・公民館や民家等において悩み相談を行いつつ、基本的な生活習慣の習得支援・学習支援、食事の提供等を行うことにより、ひとり親家庭の子どもの生活の向上を図る事業です。 (具体的な名称の例：ひとり親家庭等学習支援事業、等)
7	子どもの学習支援事業 生活保護受給世帯の子どもや生活困窮世帯の子ども等に対して、学習支援や居場所の提供等を行い、学習意欲と基礎学力の向上を促し、自ら学ぶ力を養うことで、子どもの高等学校等への進学や将来における安定就労に繋げ、貧困の連鎖を防止することを目的とした事業です。
8	放課後等デイサービス事業 学校通学中の障がいのある子どもに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中に生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進することを目的とした事業です。
9	子ども食堂 生活困窮世帯等の子どもに対して無料または低料金で食事を提供する場です。

- ① 無料
- ② 1000円未満
- ③ 1000円台
- ④ 2000円台
- ⑤ 3000円台
- ⑥ 4000円台
- ⑦ 5000円台
- ⑧ 6000円台

- ⑨ 7000円台
- ⑩ 8000円台
- ⑪ 9000円台
- ⑫ 10000円以上



Q27

サービスの内容について、どのように感じましたか。(それぞれひとつずつ)

○ 単一回答 ★ 必須回答

0/9

1	児童館・児童センター	▼
2	放課後児童クラブ (学童保育) 共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校の余剰教室や児童館、公民館などで放課後等に適切な遊び及び生活の場を与える事業です。 (具体的な名称の例：児童クラブ、学童保育所、放課後ルーム、児童ホーム、留守家庭児童会、等)	▼
3	放課後子供教室 (放課後の学校開放) 小学校に就学している全ての子どもを対象とし、地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得ながら、放課後等に学校を開放して、学習支援や多様なプログラムを実施する事業です。 (具体的な名称の例：放課後子ども教室、子どもクラブ、トワイライトスクール、ふれあいスクール、子どもひろば、等)	▼
4	ファミリー・サポート・センター 「育児のお手伝いをしたい方 (提供会員)」と「育児のお手伝いをしてほしい方 (依頼会員)」がそれぞれセンターに登録し、子どもの送迎や預かりといった育児の手助けを、提供会員が依頼会員に対し有償ボランティアとして行う会員組織です。	▼
5	プレイパーク (冒険遊び場) 公園等において実施される「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした自由な遊び場です。	▼
6	子どもの生活・学習支援事業 (居場所づくり) ひとり親家庭の子どもに対し、放課後児童クラブ等の終了後に児童館・公民館や民家等において悩み相談を行いつつ、基本的な生活習慣の習得支援・学習支援、食事の提供等を行うことにより、ひとり親家庭の子どもたちの生活の向上を図る事業です。 (具体的な名称の例：ひとり親家庭等学習支援事業、等)	▼
7	子どもの学習支援事業 生活保護受給世帯の子どもや生活困窮世帯の子ども等に対して、学習支援や居場所の提供等を行い、学習意欲と基礎学力の向上を促し、自ら学ぶ力を養うこと	▼

で、子どもの高等学校等への進学や将来における安定就労に繋げ、貧困の連鎖を防止することを目的とした事業です。

8 放課後等デイサービス事業
学校通学中の障がいのある子どもに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中に生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより障害児の自立を促進するとともに、放課後の居場所づくりを推進することを目的とした事業です。

9 子ども食堂
生活困窮世帯等の子どもに対して無料または低料金で食事を提供する場です。

① 不満

② どちらかという不満

③ どちらかという満足

④ 満足



Q28

前問で「1. 不満」もしくは「2. どちらかという不満」を選んだサービスについてうかがいます。


不満に感じる理由は何ですか。(それぞれいくつでも)

▼ 複数回答 ★ 必須回答

0/9

1	児童館・児童センター	▼
2	放課後児童クラブ (学童保育) 共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校の余剰教室や児童館、公民館などで放課後等に適切な遊び及び生活の場を与える事業です。 (具体的な名称の例：児童クラブ、学童保育所、放課後ルーム、児童ホーム、留守家庭児童会、等)	▼
3	放課後子供教室 (放課後の学校開放) 小学校に就学している全ての子どもを対象とし、地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得ながら、放課後等に学校を開放して、学習支援や多様なプログラムを実施する事業です。 (具体的な名称の例：放課後子ども教室、子どもクラブ、トワイライトスクール、ふれあいスクール、子どもひろば、等)	▼
4	ファミリー・サポート・センター 「育児のお手伝いをしたい方 (提供会員)」と「育児のお手伝いをしてほしい方 (依頼会員)」がそれぞれセンターに登録し、子どもの送迎や預かりといった育児の手助けを、提供会員が依頼会員に対し有償ボランティアとして行う会員組織です。	▼

5	プレイパーク（冒険遊び場）公園等において実施される「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした自由な遊び場です。	▶
6	子どもの生活・学習支援事業（居場所づくり） ひとり親家庭の子どもに対し、放課後児童クラブ等の終了後に児童館・公民館や民家等において悩み相談を行いつつ、基本的な生活習慣の習得支援・学習支援、食事の提供等を行うことにより、ひとり親家庭の子どもの生活の向上を図る事業です。 （具体的な名称の例：ひとり親家庭等学習支援事業、等）	▶
7	子どもの学習支援事業 生活保護受給世帯の子どもや生活困窮世帯の子ども等に対して、学習支援や居場所の提供等を行い、学習意欲と基礎学力の向上を促し、自ら学ぶ力を養うことで、子どもの高等学校等への進学や将来における安定就労に繋げ、貧困の連鎖を防止することを目的とした事業です。	▶
8	放課後等デイサービス事業 学校通学中の障がいのある子どもに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中に生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより障害児の自立を促進するとともに、放課後の居場所づくりを推進することを目的とした事業です。	▶
9	子ども食堂 生活困窮世帯等の子どもに対して無料でまたは低料金で食事を提供する場です。	▲
1	子どもが行きたがらないため	
2	サービスの評判が悪いため	
3	利用料が高い、減免制度が無い等、料金面で不満があるため	
4	勉強をみてもらえないため	
5	土日祝日に利用できないため	
6	夏休み等長期休暇中に利用できないため	
7	短時間しか利用できないため	
8	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い	
9	サービス実施場所のスペースが狭いため	
10	サービス実施場所までのアクセスが悪い	
11	送迎等の追加サービスが無い・良くない	
12	スタッフの質が良くない	
13	発達に支援が必要な子どもを受け入れていない	
14	学校や保護者との連携に不安を感じる	
15	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じるため	

16	その他 (必須入力)	<input type="text" value="閉じる"/>
 ここで改ページ		
<p>Q29 あなたのお子さんのうち、いずれのお子さんもおも利用していないサービスについてうかがいます。 サービスの利用について、どのように考えますか。（それぞれひとつずつ）</p> <p>◎ 単一回答 ★ 必須回答 ▲ とじる</p>		
1	児童館・児童センター	▶
2	放課後児童クラブ（学童保育） 共働き家庭など留守家庭の小中学校に就学している児童に対して、学校の余剰教室や児童館、公民館などで放課後等に適切な遊び及び生活の場を与える事業です。 （具体的な名称の例：児童クラブ、学童保育所、放課後ルーム、児童ホーム、留守家庭児童会、等）	▶
3	放課後子供教室（放課後の学校開放） 小学校に就学している全ての子どもを対象とし、地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得ながら、放課後等に学校を開放して、学習支援や多様なプログラムを実施する事業です。 （具体的な名称の例：放課後子ども教室、子どもクラブ、トワイライトスクール、ふれあいスクール、子どもひろば、等）	▶
4	ファミリー・サポート・センター 「育児のお手伝いをしたい方（提供会員）」と「育児のお手伝いをしてほしい方（依頼会員）」がそれぞれセンターに登録し、子どもの送迎や預かりといった育児の手助けを、提供会員が依頼会員に対し有償ボランティアとして行う会員組織です。	▶
5	プレイパーク（冒険遊び場） 公園等において実施される「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした自由な遊び場です。	▶
6	子どもの生活・学習支援事業（居場所づくり） ひとり親家庭の子どもに対し、放課後児童クラブ等の終了後に児童館・公民館や民家等において悩み相談を行いつつ、基本的な生活習慣の習得支援・学習支援、食事の提供等を行うことにより、ひとり親家庭の子どもの生活の向上を図る事業です。 （具体的な名称の例：ひとり親家庭等学習支援事業、等）	▶
7	子どもの学習支援事業 生活保護受給世帯の子どもや生活困窮世帯の子ども等に対して、学習支援や居場所の提供等を行い、学習意欲と基礎学力の向上を促し、自ら学ぶ力を養うことで、子どもの高等学校等への進学や将来における安定就労に繋げ、貧困の連鎖を防止することを目的とした事業です。	▶

8	放課後等デイサービス事業 学校通学中の障がいのある子どもに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中に生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進することを目的とした事業です。	▼
9	子ども食堂 生活困窮世帯等の子どもに対して無料または低料金で食事を提供する場です。	▲

- ① 利用意思はない
- ② 利用意思はあるが利用していない (利用できない)
- ③ 以前は利用していたが諸般の事情でやめた
- ④ サービスの存在を知らなかった



Q30

前問で「1. 利用意思はない」を選んだサービスについてうかがいます。
サービスを利用しない理由は何ですか。(それぞれいくつでも)

▼ 複数回答 ★ 必須回答 ▲ とじる 0/9

1	児童館・児童センター	▼
2	放課後児童クラブ (学童保育) 共働家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校の余裕教室や児童館、公民館などで放課後等に適切な遊び及び生活の場を与える事業です。 (具体的な名称の例：児童クラブ、学童保育所、放課後ルーム、児童ホーム、留守家庭児童会、等)	▼
3	放課後子供教室 (放課後の学校開放) 小学校に就学している全ての子どもを対象とし、地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得ながら、放課後等に学校を開放して、学習支援や多様なプログラムを実施する事業です。 (具体的な名称の例：放課後子ども教室、子どもクラブ、トワイライトスクール、ふれあいスクール、子どもひろば、等)	▼
4	ファミリー・サポート・センター 「育児のお手伝いをしたい方 (提供会員)」と「育児のお手伝いをしてほしい方 (依頼会員)」がそれぞれセンターに登録し、子どもの送迎や預かりといった育児の手助けを、提供会員が依頼会員に対し有償ボランティアとして行う会員組織です。	▼
5	プレイパーク (冒険遊び場) 公園等において実施される「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした自由な遊び場です。	▼

6	子どもの生活・学習支援事業 (居場所づくり) ひとり親家庭の子どもに対し、放課後児童クラブ等の終了後に児童館・公民館や民衆等において悩み相談を行うつつ、基本的な生活習慣の習得支援・学習支援、食事の提供等を行うことにより、ひとり親家庭の子ども達の生活の向上を図る事業です。 (具体的な名称の例：ひとり親家庭等学習支援事業、等)	▼
7	子どもの学習支援事業 生活保護受給世帯の子どもや生活困窮世帯の子ども等に対して、学習支援や居場所の提供等を行い、学習意欲と基礎学力の向上を促し、自ら学ぶ力を養うことで、子どもの高等学校等への進学や将来における安定就労に繋げ、貧困の連鎖を防止することを目的とした事業です。	▼
8	放課後等デイサービス事業 学校通学中の障がいのある子どもに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中に生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進することを目的とした事業です。	▼
9	子ども食堂 生活困窮世帯等の子どもに対して無料または低料金で食事を提供する場です。	▲

- ① (面倒) 見てくれる人がいる・習い事がある等) そもそも利用する必要が無い
- ② 子どもが行きたがらないため
- ③ 子どもがサービス対象の条件を満たさないため
- ④ 住んでいる市区町村では実施していないため
- ⑤ 世帯がサービス対象の条件を満たさないため
- ⑥ サービスの評判が悪い、またはサービスの質が分からず不安なため
- ⑦ 利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満があるため
- ⑧ 勉強をみてもらえないため
- ⑨ 土日祝日に利用できないため
- ⑩ 夏休み等長期休暇中に利用できないため
- ⑪ 短時間しか利用できないため
- ⑫ 利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い
- ⑬ サービス実施場所のスペースが狭いため
- ⑭ サービス実施場所までのアクセスが悪い
- ⑮ 送迎等の追加サービスが無い・良くない
- ⑯ スタッフの質が良くない

17 発運に支援が必要な子どもを受け入れていないため

18 学校や保護者との連携に不安を感じるため

19 住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じるため

20 その他 (必須入力) 閉じる



Q31 前問で「7.利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満があるため」を選んだサービスについてうかがいます。一か月あたりの利用料はいくらが適正だと思いますか。(それぞれひとつずつ)

0 単一回答 ★ 必須回答 ▲ とじる 0/9

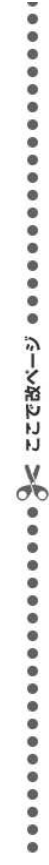
- 1 児童館・児童センター ▼
- 2 放課後児童クラブ (学童保育) 共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校の余剰教室や児童館、公民館などで放課後等に適切な遊び及び生活の場を与える事業です。(具体的な名称の例：児童クラブ、学童保育所、放課後ルーム、児童ホーム、留守家庭児童会、等) ▼
- 3 放課後子供教室 (放課後の学校開放) 小学校に就学している全ての子どもを対象とし、地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得ながら、放課後等に学校を開放して、学習支援や多様なプログラムを実施する事業です。(具体的な名称の例：放課後子ども教室、子どもクラブ、トワイライトスクール、ふれあいスクール、子どもひろば、等) ▼
- 4 ファミリー・サポート・センター 「育児のお手伝いをしたい方 (提供会員)」と「育児のお手伝いをしてほしい方 (依頼会員)」がそれぞれセンターに登録し、子どもの送迎や預かりといった育児の手助けを、提供会員が依頼会員に対し有償ボランティアとして行う会員組織です。 ▼
- 5 プレイパーク (冒険遊び場) 公園等において実施される「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした自由な遊び場です。 ▼
- 6 子どもの生活・学習支援事業 (居場所づくり) ひとり親家庭の子どもに対し、放課後児童クラブ等の終了後に児童館・公民館や民家等において悩み相談を行いつつ、基本的な生活習慣の習得支援・学習支援、食事の提供等を行うことにより、ひとり親家庭の子どもたちの生活の向上を図る事業です。(具体的な名称の例：ひとり親家庭等学習支援事業、等) ▼

7 子どもの学習支援事業 生活保護受給世帯の子どもや生活困窮世帯の子ども等に対して、学習支援や居場所の提供等を行い、学習意欲と基礎学力の向上を促し、自ら学ぶ力を養うことで、子どもたちの高等学校等への進学や将来における安定就労に繋げ、貧困の連鎖を防止することを目的とした事業です。

8 放課後等デイサービス事業 学校通学中の障がいのある子どもに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中に生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進することを目的とした事業です。

9 子ども食堂 生活困窮世帯等の子どもに対して無料または低料金の食事を提供する場です。

- ① 無料
- ② 1000円未満
- ③ 1000円台
- ④ 2000円台
- ⑤ 3000円台
- ⑥ 4000円台
- ⑦ 5000円台
- ⑧ 6000円台
- ⑨ 7000円台
- ⑩ 8000円台
- ⑪ 9000円台
- ⑫ 10000円以上



Q32 Q30で「7.利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満があるため」を選んだサービスについてうかがいます。もし利用料が安ければ、他の条件が折り合わなくても利用を検討しますか。(それぞれひとつずつ)

0 単一回答 ★ 必須回答 ▲ とじる 0/9

- 1 児童館・児童センター ▼

2. 放課後児童クラブ（学童保育）
共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校の余剰教室や児童館、公民館などで放課後等に適切な遊び及び生活の場を与える事業です。
（具体的な名称の例：児童クラブ、学童保育所、放課後ルーム、児童ホーム、留守家庭児童会、等）
3. 放課後子供教室（放課後の学校開放）
小学校に就学している全ての子どもを対象とし、地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得ながら、放課後等に学校を開放して、学習支援や多様なプログラムを実施する事業です。
（具体的な名称の例：放課後子ども教室、子どもクラブ、トワイライトスクール、ふれあいスクール、子どもひろば、等）
4. ファミリー・サポート・センター
「育児のお手伝いをしたい方（提供会員）」と「育児のお手伝いをしてほしい方（依頼会員）」がそれぞれセンターに登録し、子どもの送迎や預かりといった育児の手助けを、提供会員が依頼会員に対し有償ボランティアとして行う会員組織です。
5. プレイパーク（冒険遊び場）
公園等において実施される「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした自由な遊び場です。
6. 子どもの生活・学習支援事業（居場所づくり）
ひとり親家庭の子どもに対し、放課後児童クラブ等の終了後に児童館・公民館や民家等において悩み相談を行うつづ、基本的な生活習慣の習得支援・学習支援、食事の提供等を行うことにより、ひとり親家庭の子どもたちの生活の向上を図る事業です。
（具体的な名称の例：ひとり親家庭等学習支援事業、等）
7. 子どもの学習支援事業
生活保護受給世帯の子どもや生活困窮世帯の子ども等に対して、学習支援や居場所の提供等を行い、学習意欲と基礎学力の向上を促し、自ら学ぶ力を養うことで、子どもたちの高等学校等への進学や将来における安定就業に繋げ、貧困の連鎖を防止することを目的とした事業です。
8. 放課後等デイサービス事業
学校通学中の障がいのある子どもに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中に生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより障害児の自立を促進するとともに、放課後の居場所づくりを推進することを目的とした事業です。
9. 子ども食堂
生活困窮世帯等の子どもに対して無料または低料金で食事を提供する場です。

① 検討する

② 検討しない

③ 分からない



質問 「1.検討する」を選んだサービスについてうかがいます。
一か月あたりの利用料がいくらなら利用を検討しますか。（具体的な金額をご記入ください。）

★ 必須回答

▲ とじる

児童館・児童センター

月あたり（半角数字）円

放課後児童クラブ（学童保育）

共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校の余剰教室や児童館、公民館などで放課後等に適切な遊び及び生活の場を与える事業です。

（具体的な名称の例：児童クラブ、学童保育所、放課後ルーム、児童ホーム、留守家庭児童会、等）

月あたり（半角数字）円

放課後子供教室（放課後の学校開放）

小学校に就学している全ての子どもを対象とし、地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得ながら、放課後等に学校を開放して、学習支援や多様なプログラムを実施する事業です。

（具体的な名称の例：放課後子ども教室、子どもクラブ、トワイライトスクール、ふれあいスクール、子どもひろば、等）

月あたり（半角数字）円

ファミリー・サポート・センター

「育児のお手伝いをしたい方（提供会員）」と「育児のお手伝いをしてほしい方（依頼会員）」がそれぞれセンターに登録し、子どもの送迎や預かりといった育児の手助けを、提供会員が依頼会員に対し有償ボランティアとして行う会員組織です。

月あたり（半角数字）円

プレイパーク（冒険遊び場）

公園等において実施される「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした自由な遊び場です。

月あたり（半角数字）円

1	児童館・児童センター	▼
2	放課後児童クラブ（学童保育） 共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校の余給教室や児童館、公民館などで放課後等に適切な遊び及び生活の場を与える事業です。 （具体的な名称の例：児童クラブ、学童保育所、放課後ルーム、児童ホーム、留守家庭児童会、等）	▼
3	放課後子供教室（放課後の学校開放） 小学校に就学している全ての子どもを対象とし、地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得ながら、放課後等に学校を開放して、学習支援や多様なプログラムを実施する事業です。 （具体的な名称の例：放課後子ども教室、子どもクラブ、トワイライトスクール、ふれあいスクール、子どもひろば、等）	▼
4	ファミリー・サポート・センター 「育児のお手伝いをしたい方（提供会員）」と「育児のお手伝いをしてほしい方（依頼会員）」がそれぞれセンターに登録し、子どもの送迎や預かりといった育児の手助けを、提供会員が依頼員に対し有償ボランティアとして行う会員組織です。	▼
5	プレイパーク（冒険遊び場） 公園等において実施される「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした自由な遊び場です。	▼
6	子どもの生活・学習支援事業（居場所づくり） ひとり親家庭の子どもに対し、放課後児童クラブ等の終了後に児童館・公民館や民家等において悩み相談を行うつつ、基本的な生活習慣の習得支援・学習支援、食事の提供等を行うことにより、ひとり親家庭の子ども達の生活の向上を図る事業です。 （具体的な名称の例：ひとり親家庭等学習支援事業、等）	▼
7	子どもの学習支援事業 生活保護受給世帯の子どもや生活困窮世帯の子ども等に対して、学習支援や居場所の提供等を行い、学習意欲と基礎学力の向上を促し、自ら学ぶ力を養うことで、子ども達の高等学校等への進学や将来における安定就労に繋げ、貧困の連鎖を防止することを目的とした事業です。	▼
8	放課後等デイサービス事業 学校通学中の障がいのある子どもに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中に生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進することを目的とした事業です。	▼
9	子ども食堂 生活困窮世帯等の子どもに対して無料または低料金で食事を提供する場です。	▲

- 1 定員に空きがないため
- 2 子どもがサービス対象の条件を満たさないため
- 3 住んでいる市区町村では実施していないため

子どもの生活・学習支援事業（居場所づくり）
ひとり親家庭の子どもに対し、放課後児童クラブ等の終了後に児童館・公民館や民家等において悩み相談を行いつつ、基本的な生活習慣の習得支援・学習支援、食事の提供等を行うことにより、ひとり親家庭の子ども達の生活の向上を図る事業です。
（具体的な名称の例：ひとり親家庭等学習支援事業、等）

月あたり 円
（半角数字）

子どもの学習支援事業
生活保護受給世帯の子どもや生活困窮世帯の子ども等に対して、学習支援や居場所の提供等を行い、学習意欲と基礎学力の向上を促し、自ら学ぶ力を養うことで、子ども達の高等学校等への進学や将来における安定就労に繋げ、貧困の連鎖を防止することを目的とした事業です。

月あたり 円
（半角数字）

放課後等デイサービス事業
学校通学中の障がいのある子どもに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中に生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進することを目的とした事業です。

月あたり 円
（半角数字）

子ども食堂
生活困窮世帯等の子どもに対して無料または低料金で食事を提供する場です。

月あたり 円
（半角数字）



Q34

Q29で「2.利用意思はあるが利用していない（できない）」を選んだサービスについてうかがいます。
サービスが利用できない理由はなんですか。（それぞれいくつでも）

▼ 複数回答 ★ 必須回答 ▲ としる

4 世帯がサービス対象の条件を満たさないため

5 サービスの質の面がどの程度か未知数なため

6 利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満があるため

7 土日祝日に利用できないため

8 夏休み等長期休暇中に利用できないため

9 短時間しか利用できないため

10 利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い

11 サービス実施場所のスペースが狭いため

12 サービス実施場所までのアクセスが悪い

13 送迎等の追加サービスが無い・良くない

14 スタッフの質が悪くなさそう

15 発達に支援が必要な子どもを受け入れていない

16 学校や保護者との情報交換などの連携に不安・不満を感じる

17 住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良い可能性

18 その他
(必須入力)

閉じる



Q35

前問で「6.利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満があるため」を選んだサービスについてうかがいます。
一か月あたりの利用料はいくらが適正だと思いますか。(それぞれひとつずつ)

○ 単一回番 ★ 必須回答 ▲ としる
0/9

1 児童館・児童センター

2 放課後児童クラブ (学童保育)
共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校の余裕教室や児童館、公民館などで放課後等に適切な遊び及び生活の場を与える事業です。
(具体的な名称の例：児童クラブ、学童保育所、放課後ルーム、児童ホーム、留守家庭児童会、等)

3 放課後子供教室 (放課後の学校開放)
小学校に就学している全ての子どもを対象とし、地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得ながら、放課後等に学校を開放して、学習支援や多様なプログラムを実施する事業です。
(具体的な名称の例：放課後子ども教室、子どもクラブ、トワイライトスクール、ふれあいスクエア、子どもひろば、等)

4 ファミリー・サポート・センター
「育児のお手伝いをしたい方 (提供会員)」と「育児のお手伝いをしてほしい方 (依頼会員)」がそれぞれセンターに登録し、子どもの送迎や預かりといった育児の手助けを、提供会員が依頼会員に対し有機ボランティアとして行う会員組織です。

5 プレイパーク (冒険遊び場)
公園等において実施される「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした自由な遊び場です。

6 子どもの生活・学習支援事業 (居場所づくり)
ひとり親家庭の子どもに対し、放課後児童クラブ等の終了後に児童館・公民館や民家等において悩み相談を行うつつ、基本的な生活習慣の習得支援・学習支援、食事の提供等を行うことにより、ひとり親家庭の子どもの生活の向上を図る事業です。
(具体的な名称の例：ひとり親家庭等学習支援事業、等)

7 子どもの学習支援事業
生活保護受給世帯の子どもや生活困窮世帯の子ども等に対して、学習支援や居場所の提供等を行い、学習意欲と基礎学力の向上を促し、自ら学ぶ力を養うことで、子どもの高等学校等への進学や将来における安定就労に繋げ、貧困の連鎖を防止することを目的とした事業です。

8 放課後等デイサービス事業
学校通学中の障がいのある子どもに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中に生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進することを目的とした事業です。

9 子ども食堂
生活困窮世帯等の子どもに対して無料でまたは低料金を提供する場合です。

- ① 無料
- ② 1000円未満
- ③ 1000円台
- ④ 2000円台
- ⑤ 3000円台
- ⑥ 4000円台
- ⑦ 5000円台
- ⑧ 6000円台

- ⑨ 7000円台
- ⑩ 8000円台
- ⑪ 9000円台
- ⑫ 10000円以上



Q36

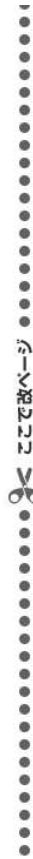
Q34で「6.利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満があるため」を選んだサービスについてうかがいます。
もし利用料が安ければ、他の条件が折り合わなくても利用を検討しますか。（それぞれひとつずつ）

○ 単一回答 ★ 必須回答 ▲ とじる 0/9

- 1 児童館・児童センター ▶
- 2 放課後児童クラブ（学童保育）
共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校の余裕教室や児童館、公民館などで放課後等に適切な遊び及び生活の場を与える事業です。
（具体的な名称の例：児童クラブ、学童保育所、放課後ルーム、児童ホーム、留守家庭児童会、等） ▶
- 3 放課後子供教室（放課後の学校開放）
小学校に就学している全ての子どもを対象とし、地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得ながら、放課後等に学校を開放して、学習支援や多様なプログラムを実施する事業です。
（具体的な名称の例：放課後子ども教室、子どもクラブ、トワイライトスクール、ふれあいスクール、子どもひろば、等） ▶
- 4 ファミリー・サポート・センター
「育児のお手伝いをしたい方（提供会員）」と「育児のお手伝いをしてほしい方（依頼会員）」がそれぞれセンターに登録し、子どもの送迎や預かりといった育児の手助けを、提供会員が依頼会員に対し有償ボランティアとして行う会員組織です。 ▶
- 5 プレイパーク（冒険遊び場）
公園等において実施される「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした自由な遊び場です。 ▶
- 6 子どもの生活・学習支援事業（居場所づくり）
ひとり親家庭の子どもに対し、放課後児童クラブ等の終了後に児童館・公民館や民家等において悩み相談を行いつつ、基本的な生活習慣の習得支援・学習支援、食事の提供等を行うことにより、ひとり親家庭の子どもたちの生活の向上を図る事業です。
（具体的な名称の例：ひとり親家庭等学習支援事業、等） ▶

- 7 子どもの学習支援事業
生活保護受給世帯の子どもや生活困窮世帯の子ども等に対して、学習支援や居場所の提供等を行い、学習意欲と基礎学力の向上を促し、自ら学ぶ力を養うことで、子どもたちの高等学校等への進学や将来における安定就労に繋げ、貧困の連鎖を防止することを目的とした事業です。 ▶
- 8 放課後等デイサービス事業
学校通学中の障がいのある子どもに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中に生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進することを目的とした事業です。 ▶
- 9 子ども食堂
生活困窮世帯等の子どもに対して無料または低料金で食事を提供する場です。 ▲

- ① 検討する
- ② 検討しない
- ③ 分からない



Q37

前問で「1.検討する」を選んだサービスについてうかがいます。
一か月あたりの利用料がいくらなら利用を検討しますか。（具体的な金額をご記入ください。）

★ 必須回答 ▲ とじる

児童館・児童センター

月あたり 円
(半角数字)

放課後児童クラブ（学童保育）

共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校の余裕教室や児童館、公民館などで放課後等に適切な遊び及び生活の場を与える事業です。

（具体的な名称の例：児童クラブ、学童保育所、放課後ルーム、児童ホーム、留守家庭児童会、等）

月あたり 円
(半角数字)

放課後子供教室（放課後の学校開放）

小学校に就学している全ての子どもを対象とし、地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得ながら、放課後等に学校を開放して、学習支援や多様なプログラムを実施する事業です。

（具体的な名称の例：放課後子ども教室、子どもクラブ、トワイライトスクール、ふれあいスクー

ル、子どもひろば、等)

月あたり (半角数字) 円

ファミリー・サポート・センター

「育児のお手伝いをしたい方 (提供会員)」と「育児のお手伝いをしてほしい方 (依頼会員)」がそれぞれセンターに登録し、子どもの送迎や預かりといった育児の助けを、提供会員が依頼会員に対し有償ボランティアとして行う会員組織です。

月あたり (半角数字) 円

プレイパーク (冒険遊び場)

公園等において実施される「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした自由な遊び場です。

月あたり (半角数字) 円

子どもの生活・学習支援事業 (居場所づくり)

ひとり親家庭の子どもに対し、放課後児童クラブ等の終了後に児童館・公民館や民家等において悩み相談を行うつつ、基本的な生活習慣の習得支援・学習支援、食事の提供等を行うことにより、ひとり親家庭の子どもたちの生活の向上を図る事業です。

(具体的な名称の例：ひとり親家庭等学習支援事業、等)

月あたり (半角数字) 円

子どもの学習支援事業

生活保護受給世帯の子どもや生活困窮世帯の子ども等に対して、学習支援や居場所の提供等を行い、学習意欲と基礎学力の向上を促し、自ら学ぶ力を養うことで、子どもの高等学校等への進学や将来における安定就労に繋げ、貧困の連鎖を防止することを目的とした事業です。

月あたり (半角数字) 円

放課後等デイサービス事業

学校通学中の障がいのある子どもに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中に生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを

推進することを目的とした事業です。

月あたり (半角数字) 円

子ども食堂

生活困窮世帯等の子どもに対して無料または低料金で食事を提供する場です。

月あたり (半角数字) 円



Q38

Q29で「3.以前は利用していたがやめた」を選んだサービスについてうかがいます。利用をやめた理由は何ですか。(それぞれいくつでも)

▼ 複数回答 ★ 必須回答 ▲ とじる

0/9

1	児童館・児童センター	▼
2	放課後児童クラブ (学童保育) 共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校の余剰教室や児童館、公民館などで放課後等に適切な遊び及び生活の場を与える事業です。 (具体的な名称の例：児童クラブ、学童保育所、放課後ルーム、児童ホーム、留守家庭児童会、等)	▼
3	放課後子供教室 (放課後の学校開放) 小学校に就学している全ての子どもを対象とし、地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得ながら、放課後等に学校を開放して、学習支援や多様なプログラムを実施する事業です。 (具体的な名称の例：放課後子ども教室、子どもクラブ、トワイライトスクール、ふれあいスクール、子どもひろば、等)	▼
4	ファミリー・サポート・センター 「育児のお手伝いをしたい方 (提供会員)」と「育児のお手伝いをしてほしい方 (依頼会員)」がそれぞれセンターに登録し、子どもの送迎や預かりといった育児の助けを、提供会員が依頼会員に対し有償ボランティアとして行う会員組織です。	▼
5	プレイパーク (冒険遊び場) 公園等において実施される「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした自由な遊び場です。	▼
6	子どもの生活・学習支援事業 (居場所づくり) ひとり親家庭の子どもに対し、放課後児童クラブ等の終了後に児童館・公民館や	

民家等において悩み相談を行うつつ、基本的な生活習慣の習得支援・学習支援、食事の提供等を行うことにより、ひとり親家庭の子どもの生活の向上を図る事業です。
(具体的な名称の例：ひとり親家庭等学習支援事業、等)

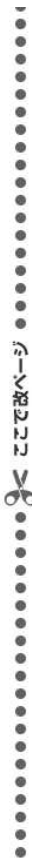
- 7 子どもの学習支援事業
生活保護受給世帯の子どもや生活困窮世帯の子ども等に対して、学習支援や居場所の提供等を行い、学習意欲と基礎学力の向上を促し、自ら学ぶ力を養うことで、子どもの高等学校等への進学や将来における安定就労に繋げ、貧困の連鎖を防止することを目的とした事業です。
- 8 放課後等デイサービス事業
学校通学中の障がいのある子どもに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中に生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進することを目的とした事業です。
- 9 子ども食堂
生活困窮世帯等の子どもに対して無料または低料金の食事を提供する場です。

- 1 子どもが行きたくないと言ったため
- 2 定員の空きがなくなかったため
- 3 子どもがサービス対象の条件から外れたため
- 4 世帯がサービス対象の条件から外れたため
- 5 習い事をはじめた等、他に子どもの面倒を見てくれる当りが出来たため
- 6 サービスの質の面で不安・不満があったため
- 7 利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満があったため
- 8 勉強を見てもらえなかったため
- 9 土日祝日に利用できなかったため
- 10 夏休み等長期休暇中に利用できなかったため
- 11 短時間しか利用できなかったため
- 12 利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低かったため
- 13 サービス実施場所のスペースが狭かったため
- 14 サービス実施場所までのアクセスが悪かったため
- 15 送迎等の追加サービスが無かった・良くなかったため
- 16 スタッフの質が悪くなかったため
- 17 発達に支援が必要な子どもを受け入れていなかったため
- 18 学校や保護者との情報交換などの連携に不安・不満を感じたため

19 住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じたため

20 その他
(必須入力)

閉じる



Q39

前問で挙げた点が改善されたら、利用を再開する可能性はありますか。(それぞれひとつずつ)

○ 単一回答 ★ 必須回答 ▲ とじる 0/9

- 1 児童館・児童センター ▼
- 2 放課後児童クラブ(学童保育)
共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校の余剰教室や児童館、公民館などで放課後等に適切な遊び及び生活の場を与える事業です。
(具体的な名称の例：児童クラブ、学童保育所、放課後ルーム、児童ホーム、留守家庭児童会、等) ▼
- 3 放課後子供教室(放課後の学校開放)
小学校に就学している全ての子どもを対象とし、地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得ながら、放課後等に学校を開放して、学習支援や多様なプログラムを実施する事業です。
(具体的な名称の例：放課後子ども教室、子どもクラブ、トワイライトスクール、ふれあいスクール、子どもひろば、等) ▼
- 4 ファミリー・サポート・センター
「育児のお手伝いをしたい方(提供会員)」と「育児のお手伝いをしてほしい方(依頼会員)」がそれぞれセンターに登録し、子どもの送迎や預かりといった育児の手助けを、提供会員が依頼会員に対し有償ボランティアとして行う会員組織です。 ▼
- 5 プレイパーク(冒険遊び場)
公園等において実施される「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした自由な遊び場です。 ▼
- 6 子どもの生活・学習支援事業(居場所づくり)
ひとり親家庭の子どもに対し、放課後児童クラブ等の終了後に児童館・公民館や民家等において悩み相談を行うつつ、基本的な生活習慣の習得支援・学習支援、食事の提供等を行うことにより、ひとり親家庭の子どもの生活の向上を図る事業です。
(具体的な名称の例：ひとり親家庭等学習支援事業、等) ▼
- 7 子どもの学習支援事業
生活保護受給世帯の子どもや生活困窮世帯の子ども等に対して、学習支援や居場所の提供等を行い、学習意欲と基礎学力の向上を促し、自ら学ぶ力を養うこと ▼

で、子どもの高等学校等への進学や将来における安定就労に繋げ、貧困の連鎖を防止することを目的とした事業です。

⁸ 放課後等デイサービス事業

学校通学中の障がいのある子どもに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中に生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進することを目的とした事業です。

⁹ 子ども食堂

生活困窮世帯等の子どもに対して無料または低料金で食事を提供する場です。

① ある

② ない

③ わからない

アンケートは以上で終わりです。
ご協力ありがとうございました。
送信ボタンを押してください。

6.2.2 市区町村向けアンケート調査

(次ページ以降を参照)

平成30年度 放課後児童クラブのニーズ把握に関する調査研究

市区町村情報 (※必ず回答をお願いいたします)	
都道府県名	
市区町村名	
担当部署名 (放課後児童健全育成事業の担当)	

【回答上の留意点】

※各設問では、特に指定のない限り、**平成30年4月1日現在**の状況について事業別にご回答ください。

※設問(2)～(11)では、**設問(1)で「1. 実施している」と回答した事業**についてのみ、回答をお願いいたします。

※設問(1)および(12)では、**全ての事業**について回答をお願いいたします。

※その他、回答上の留意点については、別添資料「調査へのご協力のお願い」の「【調査実施要領】1. 回答方法」をご参照ください。

(1) 各事業を実施していますか。それぞれあてはまる番号 1 つに ○ をしてください。

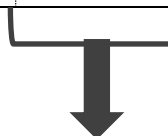
①放課後児童健全育成事業	1. 実施している	2. 実施していないが、 今後実施予定	3. 実施する予定はない
②放課後子供教室	1. 実施している	2. 実施していないが、 今後実施予定	3. 実施する予定はない
③ファミリー・サポート・センター	1. 実施している	2. 実施していないが、 今後実施予定	3. 実施する予定はない
④プレイパーク	1. 実施している	2. 実施していないが、 今後実施予定	3. 実施する予定はない
⑤子供の生活・学習支援事業	1. 実施している	2. 実施していないが、 今後実施予定	3. 実施する予定はない
⑥子どもの学習支援事業	1. 実施している	2. 実施していないが、 今後実施予定	3. 実施する予定はない
⑦放課後等デイサービス事業	1. 実施している	2. 実施していないが、 今後実施予定	3. 実施する予定はない

※以下、設問（2）～（11）については、（1）で「1. 実施している」と回答した事業についてのみ、
回答をお願いいたします。

（2）「実施している」事業の、子どもについての質問にお答えください。

	（2）－1. 各事業の登録児童数は何人ですか。人数（数字のみ）を記入してください。	
①放課後児童健全育成事業	小学生未満（ ）人 小学1年生（ ）人 2年生（ ）人 3年生（ ）人	小学4年生（ ）人 5年生（ ）人 6年生（ ）人 中学生以上（ ）人
②放課後子供教室	小学生未満（ ）人 小学1年生（ ）人 2年生（ ）人 3年生（ ）人	小学4年生（ ）人 5年生（ ）人 6年生（ ）人 中学生以上（ ）人
③ファミリー・サポート・センター	小学生未満（ ）人 小学1年生（ ）人 2年生（ ）人 3年生（ ）人	小学4年生（ ）人 5年生（ ）人 6年生（ ）人 中学生以上（ ）人
④プレイパーク	小学生未満（ ）人 小学1年生（ ）人 2年生（ ）人 3年生（ ）人	小学4年生（ ）人 5年生（ ）人 6年生（ ）人 中学生以上（ ）人
⑤子供の生活・学習支援事業	小学生未満（ ）人 小学1年生（ ）人 2年生（ ）人 3年生（ ）人	小学4年生（ ）人 5年生（ ）人 6年生（ ）人 中学生以上（ ）人
⑥子どもの学習支援事業	小学生未満（ ）人 小学1年生（ ）人 2年生（ ）人 3年生（ ）人	小学4年生（ ）人 5年生（ ）人 6年生（ ）人 中学生以上（ ）人
⑦放課後等デイサービス事業	小学生未満（ ）人 小学1年生（ ）人 2年生（ ）人 3年生（ ）人	小学4年生（ ）人 5年生（ ）人 6年生（ ）人 中学生以上（ ）人

	(2) - 2. 各事業の対象範囲はどれくらいですか。あてはまる番号 1 つに○をしてください。						
	1.小学生未満のみ	2.小学校低学年のみ	3.小学生全体のみ	4.中学生以上のみ	5.小学生及び小学生未満	6.小学生及び中学生以上	7.その他
①放課後児童健全育成事業	1	2	3	4	5	6	7
②放課後子供教室	1	2	3	4	5	6	7
③ファミリー・サポート・センター	1	2	3	4	5	6	7
④プレイパーク	1	2	3	4	5	6	7
⑤子供の生活・学習支援事業	1	2	3	4	5	6	7
⑥子どもの学習支援事業	1	2	3	4	5	6	7
⑦放課後等デイサービス事業	1	2	3	4	5	6	7



(2) - 2. (「7. その他」を選んだ場合) 具体的な対象範囲	
①放課後児童健全育成事業	()
②放課後子供教室	()
③ファミリー・サポート・センター	()
④プレイパーク	()
⑤子供の生活・学習支援事業	()
⑥子どもの学習支援事業	()
⑦放課後等デイサービス事業	()

	(2) - 3. 各事業では、発達に支援が必要な子どもを受け入れていますか。あてはまる番号 <u>1</u> つに <u>○</u> をしてください。	
	1. 受け入れている	2. 受け入っていない
①放課後児童健全育成事業	1	2
②放課後子供教室	1	2
③ファミリー・サポート・センター	1	2
④プレイパーク	1	2
⑤子供の生活・学習支援事業	1	2
⑥子どもの学習支援事業	1	2
⑦放課後等デイサービス事業	1	2

(3)「実施している」事業の、予算・決算についての質問にお答えください。

	(3) - 1. 各事業の平成 29 年度の予算額はいくらですか。金額(数字のみ)を記入してください。	(3) - 2. 各事業の平成 29 年度の決算額はいくらですか。金額(数字のみ)を記入してください。
①放課後児童健全育成事業	() 円	() 円
②放課後子供教室	() 円	() 円
③ファミリー・サポート・センター	() 円	() 円
④プレイパーク	() 円	() 円
⑤子供の生活・学習支援事業	() 円	() 円
⑥子どもの学習支援事業	() 円	() 円
⑦放課後等デイサービス事業	() 円	() 円

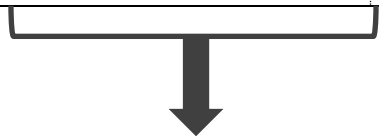
(4)「実施している」事業の、事業実施場所についての質問にお答えください。

	(4) - 1. 各事業の事業箇所数はいくつですか。数(数字のみ)を記入してください。	(4) - 2. 各事業を行う部屋の総面積はどれくらいですか。面積(数字のみ)を記入してください。
①放課後児童健全育成事業	() 箇所	() m ²
②放課後子供教室	() 箇所	() m ²
③ファミリー・サポート・センター	() 箇所	
④プレイパーク	() 箇所	
⑤子供の生活・学習支援事業	() 箇所	() m ²
⑥子どもの学習支援事業	() 箇所	() m ²
⑦放課後等デイサービス事業	() 箇所	() m ²

(5)「実施している」事業の、利用料についての質問にお答えください。

	(5) - 1. 各事業の一月あたりの利用料はいくらですか。1~12のうち、あてはまる番号1つに○をしてください。 (「③ファミリー・サポート・センター」については1回あたりの利用料をご回答ください)					
	1. 無料	2. 1,000円未満	3. 1,000円~ 2,000円未満	4. 2,000円~ 3,000円未満	5. 3,000円~ 4,000円未満	6. 4,000円~ 5,000円未満
(下段に選択肢の続きあり→)						
①放課後児童健全育成事業	1	2	3	4	5	6
②放課後子供教室	1	2	3	4	5	6
③ファミリー・サポート・センター (1回あたりで回答)	1	2	3	4	5	6
④プレイパーク	1	2	3	4	5	6
⑤子供の生活・学習支援事業	1	2	3	4	5	6
⑥子どもの学習支援事業	1	2	3	4	5	6
⑦放課後等デイサービス事業	1	2	3	4	5	6
続き→	7. 5,000円~ 6,000円未満	8. 6,000円~ 7,000円未満	9. 7,000円~ 8,000円未満	10. 8,000円~ 9,000円未満	11. 9,000円~ 10,000円未満	12. 10,000円 以上
①放課後児童健全育成事業	7	8	9	10	11	12
②放課後子供教室	7	8	9	10	11	12
③ファミリー・サポート・センター (1回あたりで回答)	7	8	9	10	11	12
④プレイパーク	7	8	9	10	11	12
⑤子供の生活・学習支援事業	7	8	9	10	11	12
⑥子どもの学習支援事業	7	8	9	10	11	12
⑦放課後等デイサービス事業	7	8	9	10	11	12

	(5) - 2. 各事業では、おやつ代等を利用料とは別に徴収していますか。あてはまる番号 1 つに〇をしてください。		
	1. 利用料とは別に徴収している	2. 利用料に含めている	3. 利用料以外に利用者から費用を徴収することはない
①放課後児童健全育成事業	1	2	3
②放課後子供教室	1	2	3
③ファミリー・サポート・センター	1	2	3
④プレイパーク	1	2	3
⑤子供の生活・学習支援事業	1	2	3
⑥子どもの学習支援事業	1	2	3
⑦放課後等デイサービス事業	1	2	3



	(5) - 3. (5) - 2で「1.利用料とは別に徴収している」を選んだ事業についてうかがいます。徴収している金額は月額いくらですか。あてはまる番号 1 つに〇をしてください。					
	1. 1,000円未満	2. 1,000円～2,000円未満	3. 2,000円～3,000円未満	4. 3,000円～4,000円未満	5. 4,000円～5,000円未満	6. 5,000円以上
①放課後児童健全育成事業	1	2	3	4	5	6
②放課後子供教室	1	2	3	4	5	6
③ファミリー・サポート・センター	1	2	3	4	5	6
④プレイパーク	1	2	3	4	5	6
⑤子供の生活・学習支援事業	1	2	3	4	5	6
⑥子どもの学習支援事業	1	2	3	4	5	6
⑦放課後等デイサービス事業	1	2	3	4	5	6

	(5) - 4. 各事業では、利用料の減免制度はありますか。あてはまる番号すべてに○をしてください。				
	1. 二人目以降の子どもは減免となる	2. 特定の学年の子どもは減免となる	3. 世帯の収入に応じて減免となる	4. 生活保護世帯は減免となる	5. 減免制度は特に設けられていない
①放課後児童健全育成事業	1	2	3	4	5
②放課後子供教室	1	2	3	4	5
③ファミリー・サポート・センター	1	2	3	4	5
④プレイパーク	1	2	3	4	5
⑤子供の生活・学習支援事業	1	2	3	4	5
⑥子どもの学習支援事業	1	2	3	4	5
⑦放課後等デイサービス事業	1	2	3	4	5

(6)「実施している」事業の、利用日時・期間についての質問にお答えください。

	(6) - 1. 各事業の利用可能な曜日はいつですか。あてはまる番号すべてに○をしてください。							
	1. 月曜日	2. 火曜日	3. 水曜日	4. 木曜日	5. 金曜日	6. 土曜日	7. 日曜日	8. 曜日は決まっていない
①放課後児童健全育成事業	1	2	3	4	5	6	7	8
②放課後子供教室	1	2	3	4	5	6	7	8
③ファミリー・サポート・センター	1	2	3	4	5	6	7	8
④プレイパーク	1	2	3	4	5	6	7	8
⑤子供の生活・学習支援事業	1	2	3	4	5	6	7	8
⑥子どもの学習支援事業	1	2	3	4	5	6	7	8
⑦放課後等デイサービス事業	1	2	3	4	5	6	7	8

	(6) - 2. 各事業の利用可能な期間はいつですか。あてはまる番号 1 つに○をしてください。			
	1. 夏休みなどの長期休みの期間を除く	2. 夏休みなどの長期休みのときのみ	3. 一年中（年末年始など特定日を除く）	4. その他（カッコ内に具体的期間）
①放課後児童健全育成事業	1	2	3	4 〔 〕
②放課後子供教室	1	2	3	4 〔 〕
③ファミリー・サポート・センター	1	2	3	4 〔 〕
④プレイパーク	1	2	3	4 〔 〕
⑤子供の生活・学習支援事業	1	2	3	4 〔 〕
⑥子どもの学習支援事業	1	2	3	4 〔 〕
⑦放課後等デイサービス事業	1	2	3	4 〔 〕

	(6) - 3. 各事業の利用日数は選択することが可能ですか。あてはまる番号 <u>1</u> つに○をしてください。		
	1. 基本的に選択可能	2. 基本的に選択不可	3. 要相談 (状況に応じて選択可能)
①放課後児童健全育成事業	1	2	3
②放課後子供教室	1	2	3
③ファミリー・サポート・センター	1	2	3
④プレイパーク	1	2	3
⑤子供の生活・学習支援事業	1	2	3
⑥子どもの学習支援事業	1	2	3
⑦放課後等デイサービス事業	1	2	3

	(6) - 4. 各事業の終了時間は何時ですか。あてはまる番号 <u>1</u> つに○をしてください。				
	1. 18時より前	2. 18時台	3. 19時台	4. 20時台	5. 21時以降
①放課後児童健全育成事業	1	2	3	4	5
②放課後子供教室	1	2	3	4	5
③ファミリー・サポート・センター	1	2	3	4	5
④プレイパーク	1	2	3	4	5
⑤子供の生活・学習支援事業	1	2	3	4	5
⑥子どもの学習支援事業	1	2	3	4	5
⑦放課後等デイサービス事業	1	2	3	4	5

(7)「実施している」事業の、交通手段等についての質問にお答えください。

	(7) - 1. 各事業の実施場所(施設)について、最寄りの小学校からの所要時間はどのくらいですか。あてはまる番号 1 つに○をしてください。			(7) - 2. 各事業の実施場所(施設)について、最寄りの駅からの公共交通機関の整備状況はどのようですか。あてはまる番号 1 つに○をしてください。		
	1. <u>すべての</u> 場所(施設)が徒歩30分以内で通える	2. <u>一部の</u> 場所(施設)は徒歩30分以内で通える	3. <u>すべての</u> 場所(施設)が徒歩30分以上かかる	1. <u>すべての</u> 場所(施設)で整備されている	2. <u>一部の</u> 場所(施設)では整備されている	3. 全く整備されていない
①放課後児童健全育成事業	1	2	3	1	2	3
②放課後子供教室	1	2	3	1	2	3
③ファミリー・サポート・センター	1	2	3	1	2	3
④プレイパーク	1	2	3	1	2	3
⑤子供の生活・学習支援事業	1	2	3	1	2	3
⑥子どもの学習支援事業	1	2	3	1	2	3
⑦放課後等デイサービス事業	1	2	3	1	2	3

	(7) - 3. 各事業の実施場所(施設)から自宅等への送迎サービスは行われていますか。あてはまる番号 1 つに○をしてください。		
	1. <u>すべての</u> 場所(施設)で行われている	2. <u>一部の</u> 場所(施設)では行われている	3. 全く行われていない
①放課後児童健全育成事業	1	2	3
②放課後子供教室	1	2	3
③ファミリー・サポート・センター	1	2	3
④プレイパーク	1	2	3
⑤子供の生活・学習支援事業	1	2	3
⑥子どもの学習支援事業	1	2	3
⑦放課後等デイサービス事業	1	2	3

(8)「実施している」事業の、スタッフについての質問にお答えください。

	(8) - 1. 各事業の担当スタッフの人数は何人ですか。人数(数字のみ)を記入してください。					
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	男性 70代以上
①放課後児童健全育成事業	()人	()人	()人	()人	()人	()人
②放課後子供教室	()人	()人	()人	()人	()人	()人
③ファミリー・サポート・センター	()人	()人	()人	()人	()人	()人
④プレイパーク	()人	()人	()人	()人	()人	()人
⑤子供の生活・学習支援事業	()人	()人	()人	()人	()人	()人
⑥子どもの学習支援事業	()人	()人	()人	()人	()人	()人
⑦放課後等デイサービス事業	()人	()人	()人	()人	()人	()人
	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	女性 70代以上
①放課後児童健全育成事業	()人	()人	()人	()人	()人	()人
②放課後子供教室	()人	()人	()人	()人	()人	()人
③ファミリー・サポート・センター	()人	()人	()人	()人	()人	()人
④プレイパーク	()人	()人	()人	()人	()人	()人
⑤子供の生活・学習支援事業	()人	()人	()人	()人	()人	()人
⑥子どもの学習支援事業	()人	()人	()人	()人	()人	()人
⑦放課後等デイサービス事業	()人	()人	()人	()人	()人	()人

	(8) - 2. 各事業では、発達に支援が必要な子どもに対応できるスタッフを配置していますか。あてはまる番号すべてに○をしてください。			
	1. <u>すべての場所(施設)</u> で配置している	2. <u>一部の場所(施設)</u> では配置している	3. <u>すべての場所(施設)</u> で配置していない	4. 巡回支援スタッフを配置している
①放課後児童健全育成事業	1	2	3	4
②放課後子供教室	1	2	3	4
③ファミリー・サポート・センター	1	2	3	4
④プレイパーク	1	2	3	4
⑤子供の生活・学習支援事業	1	2	3	4
⑥子どもの学習支援事業	1	2	3	4
⑦放課後等デイサービス事業	1	2	3	4

	(8) - 3. 各事業では、発達に支援が必要な子どもがいる場合に、加配は行われていますか。あてはまる番号 <u>1</u> つに○をしてください。	
	1. 行われている	2. 行われていない
①放課後児童健全育成事業	1	2
②放課後子供教室	1	2
③ファミリー・サポート・センター	1	2
④プレイパーク	1	2
⑤子供の生活・学習支援事業	1	2
⑥子どもの学習支援事業	1	2
⑦放課後等デイサービス事業	1	2

	(8) - 4. 各事業の担当スタッフにどのような資格を求めていますか。あてはまる番号 <u>すべて</u> に○をしてください。(事業によって選択肢が異なることにご注意ください)	
①放課後児童健全育成事業	1. 放課後児童支援員 2. 児童厚生員 3. 教員免許(幼稚園教諭免許を含める) 4. 保育士 5. 保育・教育・福祉専門の学校・学部を卒業	6. 社会福祉士 7. 子育て支援員 8. その他の資格・条件 ()
②放課後子供教室	1. TOEIC など英語資格(資格名、点数) 2. 教員免許(幼稚園教諭免許を含める) 3. 保育士 4. 保育・教育・福祉専門の学校・学部を卒業	5. 幼児教育トレーナー 6. 子育て支援員 7. その他の資格・条件 ()
③ファミリー・サポート・センター	1. 保育士 2. 保健師 3. 教員免許(幼稚園教諭免許を含める) 4. 保育・教育・福祉専門の学校・学部を卒業	5. 看護師 6. 子育て支援員 7. その他の資格・条件 ()
④プレイパーク	1. 市区町村内在住 2. 保育・教育・福祉専門の学校・学部を卒業 3. 子育て支援員 4. その他の資格・条件 ()	
⑤子供の生活・学習支援事業	1. 市区町村内在住 2. 保育・教育・福祉専門の学校・学部を卒業 3. 教員免許(幼稚園教諭免許を含める) 4. 子育て支援員	5. その他の資格・条件 () 6. 教員の経験がある
⑥子どもの学習支援事業	1. 市区町村内在住である 2. 保育・教育・福祉専門の学校・学部を卒業 3. 教員免許(幼稚園教諭免許を含める) 4. 子育て支援員	5. その他の資格・条件 () 6. 教員の経験がある
⑦放課後等デイサービス事業	1. 保育士 2. 介護福祉士 3. 教員免許(幼稚園教諭免許を含める) 4. 保育・教育・福祉専門の学校・学部を卒業	5. 社会福祉士 6. 子育て支援員 7. その他の資格・条件 ()

(10)「実施している」事業の、学校や保護者との連携についての質問にお答えください。

	(10)－1. 各事業の、学校との連携状況はどのようですか。あてはまる番号すべてに○をしてください。			
	1. 学校との情報交換を行っている	2. 遊びと生活の場を広げるために学校施設を利用できるよう、学校との連携を図っている	3. その他 (カッコ内に具体的内容)	4. 特に行っていない
①放課後児童健全育成事業	1	2	3 〔 〕	4
②放課後子供教室	1	2	3 〔 〕	4
③ファミリー・サポート・センター	1	2	3 〔 〕	4
④プレイパーク	1	2	3 〔 〕	4
⑤子供の生活・学習支援事業	1	2	3 〔 〕	4
⑥子どもの学習支援事業	1	2	3 〔 〕	4
⑦放課後等デイサービス事業	1	2	3 〔 〕	4

	(10)－2. 各事業の、保護者との連携状況はどのようですか。あてはまる番号すべてに○をしてください。			
	1. 子どもの出欠席等の把握を行っている	2. 保護者からの相談への対応を行っている	3. 保護者と連絡をとり合っている	4. 特に行っていない
①放課後児童健全育成事業	1	2	3	4
②放課後子供教室	1	2	3	4
③ファミリー・サポート・センター	1	2	3	4
④プレイパーク	1	2	3	4
⑤子供の生活・学習支援事業	1	2	3	4
⑥子どもの学習支援事業	1	2	3	4
⑦放課後等デイサービス事業	1	2	3	4

(11)「実施している」事業の、条例等の策定についての質問にお答えください。

	(11) - 1. 各事業に関して、条例等の策定はありますか。あてはまる番号すべてに○をしてください。		
	1. 条例の策定あり	2. 要綱・運営指針(ガイドライン)の策定あり	3. 策定なし
①放課後児童健全育成事業	1	2	3
②放課後子供教室	1	2	3
③ファミリー・サポート・センター	1	2	3
④プレイパーク	1	2	3
⑤子供の生活・学習支援事業	1	2	3
⑥子どもの学習支援事業	1	2	3
⑦放課後等デイサービス事業	1	2	3



	(11) - 2. (11) - 1で「1. 条例の策定あり」「2. 要綱・運営指針(ガイドライン)の策定あり」を選んだ事業についてうかがいます。策定された条例等の名称を記入してください。
①放課後児童健全育成事業	
②放課後子供教室	
③ファミリー・サポート・センター	
④プレイパーク	
⑤子供の生活・学習支援事業	
⑥子どもの学習支援事業	
⑦放課後等デイサービス事業	

※これ以降は、全ての事業について回答をお願いいたします。

(12)「実施していない」事業も含めて、事業の課題についての質問にお答えください。

	(12) - 1. 各事業について、実施にあたっての課題はなんですか。1～9のうち、あてはまる番号すべてに○をしてください。				
	1. 事業を実施する場所が不足している	2. スタッフ数が不足している	3. 定員に対して利用者数が不足している	4. 定員に対して利用者数が超過している	5. 駅や学校から遠く、公共交通機関が整備されていないため利用者が通いにくい
	(下段に選択肢の続きあり→)				
①放課後児童健全育成事業	1	2	3	4	5
②放課後子供教室	1	2	3	4	5
③ファミリー・サポート・センター	1	2	3	4	5
④プレイパーク	1	2	3	4	5
⑤子供の生活・学習支援事業	1	2	3	4	5
⑥子どもの学習支援事業	1	2	3	4	5
⑦放課後等デイサービス事業	1	2	3	4	5
続き→	6. 条例や運営指針が策定されていないため、事業の方向性を定められない	7. サービスの内容が対象となる子どもの年齢やニーズに合わない	8. 事業を行うための予算が不足している	9. その他	
①放課後児童健全育成事業	6	7	8	9	
②放課後子供教室	6	7	8	9	
③ファミリー・サポート・センター	6	7	8	9	
④プレイパーク	6	7	8	9	
⑤子供の生活・学習支援事業	6	7	8	9	
⑥子どもの学習支援事業	6	7	8	9	
⑦放課後等デイサービス事業	6	7	8	9	

(12) - 2. その他、事業を実施する上で課題であると感じていることがあればお書きください。

これで質問は終了です。ご協力ありがとうございました。

6.3 アンケート調査の単純集計

6.3.1 世帯向けアンケート調査

(次ページ以降を参照)

Q1.あなたと同居しているお子さんの学年について、あてはまるものを選んでください。※4人以上お子さんがいらっしゃる場合は、第4子までお答えください。(単一回答)

1. 第1子		n	%
1	未就学児	0	0.0
2	小学1年生	194	12.8
3	小学2年生	190	12.5
4	小学3年生	177	11.7
5	小学4年生	157	10.3
6	小学5年生	198	13.0
7	小学6年生	170	11.2
8	中学生	247	16.3
9	高校生	134	8.8
10	その他	52	3.4
11	この子供はいない	0	0.0
合計		1519	100.0

2. 第2子		n	%
1	未就学児	391	25.7
2	小学1年生	125	8.2
3	小学2年生	122	8.0
4	小学3年生	133	8.8
5	小学4年生	105	6.9
6	小学5年生	114	7.5
7	小学6年生	78	5.1
8	中学生	81	5.3
9	高校生	21	1.4
10	その他	21	1.4
11	この子供はいない	328	21.6
合計		1519	100.0

3. 第3子		n	%
1	未就学児	221	14.5
2	小学1年生	37	2.4
3	小学2年生	30	2.0
4	小学3年生	26	1.7
5	小学4年生	24	1.6
6	小学5年生	22	1.4
7	小学6年生	32	2.1
8	中学生	7	0.5
9	高校生	0	0.0
10	その他	3	0.2
11	この子供はいない	1117	73.5
合計		1519	100.0

4. 第4子		n	%
1	未就学児	32	2.1
2	小学1年生	0	0.0
3	小学2年生	5	0.3
4	小学3年生	3	0.2
5	小学4年生	5	0.3
6	小学5年生	3	0.2
7	小学6年生	2	0.1
8	中学生	0	0.0
9	高校生	0	0.0
10	その他	1	0.1
11	この子供はいない	1468	96.6
合計		1519	100.0

Q2.あなたのお子さんの性別をお答えください。(単一回答)

1. 第1子		n	%
1	男	744	49.0
2	女	775	51.0
合計		1519	100.0

2. 第2子		n	%
1	男	603	50.6
2	女	588	49.4
合計		1191	100.0

3. 第3子		n	%
1	男	204	50.7
2	女	198	49.3
合計		402	100.0

4. 第4子		n	%
1	男	22	43.1
2	女	29	56.9
合計		51	100.0

Q3.あなたのお子さんの年齢はいくつですか。

	n	平均値	標準偏差	最小値	最大値
1. 第1子	1519	10.96	3.68	5	47
2. 第2子	1191	7.87	3.61	0	25
3. 第3子	402	5.86	3.84	0	23
4. 第4子	51	4.78	3.81	0	12

Q4.あなたのお子さんは、現在次の施設に通っていますか。(それぞれひとつずつ)(単一回答)

1. 第1子		n	%
1	公立の保育所・こども園	0	0.0
2	私立の保育所・こども園	0	0.0
3	公立幼稚園	0	0.0
4	私立幼稚園	0	0.0
5	その他	0	0.0
6	通っていないところはない	0	0.0
合計		0	0.0

2. 第2子		n	%
1	公立の保育所・こども園	87	22.3
2	私立の保育所・こども園	83	21.2
3	公立幼稚園	31	7.9
4	私立幼稚園	131	33.5
5	その他	4	1.0
6	通っていないところはない	55	14.1
合計		391	100.0

3. 第3子		n	%
1	公立の保育所・こども園	39	17.6
2	私立の保育所・こども園	32	14.5
3	公立幼稚園	12	5.4
4	私立幼稚園	46	20.8
5	その他	5	2.3
6	通っていないところはない	87	39.4
合計		221	100.0

4. 第4子		n	%
1	公立の保育所・こども園	8	25.0
2	私立の保育所・こども園	4	12.5
3	公立幼稚園	1	3.1
4	私立幼稚園	3	9.4
5	その他	0	0.0
6	通っていないところはない	16	50.0
合計		32	100.0

Q5. お子さんは、平日(学校等に行く日)の放課後(夕方7時くらいまで)、どこで過ごしていますか。あてはまるものをすべて(毎日利用しないものも含めて)選んでください。(複数回答)※お子さんが就業している場合は、その他にご記入ください。

1. 第1子		n	%
1	自宅	1189	78.3
2	祖父母宅や友人・知人宅	167	11.0
3	学習塾	218	14.4
4	学習塾以外の習い事	309	20.3
5	学校の部活動・クラブ活動	223	14.7
6	児童館・児童センター	81	5.3
7	放課後児童クラブ(学童保育)	147	9.7
8	放課後子供教室(放課後の学校開放)	32	2.1
9	ファミリー・サポート・センター	2	0.1
10	プレイパーク(冒険遊び場)	16	1.1
11	子どもの生活・学習支援事業(居場所づくり)	2	0.1
12	子どもの学習支援事業	2	0.1
13	放課後等デイサービス事業	26	1.7
14	子ども食堂	1	0.1
15	保育所・認定こども園(夕方7:00以降まで利用)	1	0.1
16	その他	71	4.7
合計		1519	100.0

2. 第2子		n	%
1	自宅	981	82.4
2	祖父母宅や友人・知人宅	133	11.2
3	学習塾	110	9.2
4	学習塾以外の習い事	218	18.3
5	学校の部活動・クラブ活動	103	8.6
6	児童館・児童センター	37	3.1
7	放課後児童クラブ(学童保育)	58	4.9
8	放課後子供教室(放課後の学校開放)	17	1.4
9	ファミリー・サポート・センター	2	0.2
10	プレイパーク(冒険遊び場)	12	1.0
11	子どもの生活・学習支援事業(居場所づくり)	0	0.0
12	子どもの学習支援事業	0	0.0
13	放課後等デイサービス事業	10	0.8
14	子ども食堂	0	0.0
15	保育所・認定こども園(夕方7:00以降まで利用)	66	5.5
16	その他	44	3.7
合計		1191	100.0

3. 第3子		n	%
1	自宅	344	85.6
2	祖父母宅や友人・知人宅	39	9.7
3	学習塾	18	4.5
4	学習塾以外の習い事	43	10.7
5	学校の部活動・クラブ活動	14	3.5
6	児童館・児童センター	7	1.7
7	放課後児童クラブ(学童保育)	11	2.7
8	放課後子供教室(放課後の学校開放)	2	0.5
9	ファミリー・サポート・センター	0	0.0
10	プレイパーク(冒険遊び場)	2	0.5
11	子どもの生活・学習支援事業(居場所づくり)	1	0.2
12	子どもの学習支援事業	0	0.0
13	放課後等デイサービス事業	2	0.5
14	子ども食堂	0	0.0
15	保育所・認定こども園(夕方7:00以降まで利用)	33	8.2
16	その他	10	2.5
合計		402	100.0

4. 第4子		n	%
1	自宅	38	74.5
2	祖父母宅や友人・知人宅	4	7.8
3	学習塾	0	0.0
4	学習塾以外の習い事	6	11.8
5	学校の部活動・クラブ活動	1	2.0
6	児童館・児童センター	0	0.0
7	放課後児童クラブ(学童保育)	1	2.0
8	放課後子供教室(放課後の学校開放)	0	0.0
9	ファミリー・サポート・センター	0	0.0
10	プレイパーク(冒険遊び場)	0	0.0
11	子どもの生活・学習支援事業(居場所づくり)	0	0.0
12	子どもの学習支援事業	0	0.0
13	放課後等デイサービス事業	1	2.0
14	子ども食堂	0	0.0
15	保育所・認定こども園(夕方7:00以降まで利用)	7	13.7
16	その他	3	5.9
合計		51	100.0

Q8. あなたのお子さんの成績は、どのくらいだと思いますか。(それぞれひとつずつ) (単一回答)

1. 第1子		n	%
1	良い	254	17.3
2	まあ良い	462	31.5
3	普通	552	37.6
4	やや悪い	132	9
5	悪い	67	4.6
合計		1467	100

2. 第2子		n	%
1	良い	86	11
2	まあ良い	227	29.1
3	普通	336	43.1
4	やや悪い	96	12.3
5	悪い	34	4.4
合計		779	100

3. 第3子		n	%
1	良い	15	8.4
2	まあ良い	44	24.7
3	普通	95	53.4
4	やや悪い	18	10.1
5	悪い	6	3.4
合計		178	100

4. 第4子		n	%
1	良い	1	5.6
2	まあ良い	5	27.8
3	普通	8	44.4
4	やや悪い	4	22.2
5	悪い	0	0
合計		18	100

Q9. 配偶者のご年齢について、あてはまるものをお選びください。(単一回答)

	n	%	
1	10代	2	0.1
2	20代	23	1.6
3	30代	472	33.4
4	40代	814	57.5
5	50代	102	7.2
6	60代以上	2	0.1
合計		1415	100

Q10. 現在の就業状況について、あてはまるものをお選びください。(単一回答)

1. あなた	n	%	
1	正社員	649	42.7
2	正社員以外(契約社員・派遣社員・パートタイム・アルバイト等)	397	26.1
3	自営業(フリーランサー、土業の専門職等も含む)	73	4.8
4	求職中	15	1
5	無職(退職・専業主婦(夫)等も含む)	380	25
6	その他	5	0.3
合計		1519	100

2. 配偶者	n	%	
1	正社員	852	60.2
2	正社員以外(契約社員・派遣社員・パートタイム・アルバイト等)	267	18.9
3	自営業(フリーランサー、土業の専門職等も含む)	95	6.7
4	求職中	7	0.5
5	無職(退職・専業主婦(夫)等も含む)	193	13.6
6	その他	1	0.1
合計		1415	100

Q11. 前問で「1.正社員」「2.正社員以外」を選んだ方にうかがいます。あてはまるものをお選びください。(単一回答)通勤時間はどれくらいかかりますか。

1. あなた	n	%	
1	0分	17	1.6
2	30分未満	658	62.9
3	30分以上1時間未満	257	24.6
4	1時間以上1時間半未満	76	7.3
5	1時間半以上2時間未満	17	1.6
6	2時間以上	21	2
合計		1046	100

2. 配偶者	n	%	
1	0分	10	0.9
2	30分未満	646	57.7
3	30分以上1時間未満	321	28.7
4	1時間以上1時間半未満	85	7.6
5	1時間半以上2時間未満	30	2.7
6	2時間以上	27	2.4
合計		1119	100

Q12. 家を出る時間で、最も多い時間帯を選んでください。(それぞれひとつずつ)(単一回答)

1. あなた	n	%	
1	0時00分～0時59分	1	0.1
2	1時00分～1時59分	3	0.3
3	2時00分～2時59分	2	0.2
4	3時00分～3時59分	2	0.2
5	4時00分～4時59分	5	0.5
6	5時00分～5時59分	33	3.2
7	6時00分～6時59分	108	10.5
8	7時00分～7時59分	403	39.2
9	8時00分～8時59分	348	33.8
10	9時00分～9時59分	66	6.4
11	10時00分～10時59分	17	1.7
12	11時00分～11時59分	11	1.1
13	12時00分～12時59分	8	0.8
14	13時00分～13時59分	4	0.4
15	14時00分～14時59分	2	0.2
16	15時00分～15時59分	4	0.4
17	16時00分～16時59分	0	0
18	17時00分～17時59分	3	0.3
19	18時00分～18時59分	2	0.2
20	19時00分～19時59分	3	0.3
21	20時00分～20時59分	2	0.2
22	21時00分～21時59分	1	0.1
23	22時00分～22時59分	1	0.1
24	23時00分～23時59分	0	0
合計		1029	100

2. 配偶者	n	%	
1	0時00分～0時59分	3	0.3
2	1時00分～1時59分	0	0
3	2時00分～2時59分	5	0.5
4	3時00分～3時59分	5	0.5
5	4時00分～4時59分	14	1.3
6	5時00分～5時59分	44	4
7	6時00分～6時59分	208	18.8
8	7時00分～7時59分	439	39.6
9	8時00分～8時59分	285	25.7
10	9時00分～9時59分	63	5.7
11	10時00分～10時59分	10	0.9
12	11時00分～11時59分	3	0.3
13	12時00分～12時59分	5	0.5
14	13時00分～13時59分	2	0.2
15	14時00分～14時59分	2	0.2
16	15時00分～15時59分	4	0.4
17	16時00分～16時59分	2	0.2
18	17時00分～17時59分	3	0.3
19	18時00分～18時59分	4	0.4
20	19時00分～19時59分	1	0.1
21	20時00分～20時59分	2	0.2
22	21時00分～21時59分	2	0.2
23	22時00分～22時59分	2	0.2
24	23時00分～23時59分	1	0.1
合計		1109	100

Q13. ふだんの帰宅時間で、最も多い時間帯を選んでください。(それぞれひとつずつ)(単一回答)

1. あなた	n	%	
1	0時00分～0時59分	4	0.4
2	1時00分～1時59分	8	0.8
3	2時00分～2時59分	17	1.7
4	3時00分～3時59分	29	2.8
5	4時00分～4時59分	25	2.4
6	5時00分～5時59分	36	3.5
7	6時00分～6時59分	56	5.4
8	7時00分～7時59分	43	4.2
9	8時00分～8時59分	23	2.2
10	9時00分～9時59分	12	1.2
11	10時00分～10時59分	4	0.4
12	11時00分～11時59分	2	0.2
13	12時00分～12時59分	19	1.8
14	13時00分～13時59分	25	2.4
15	14時00分～14時59分	37	3.6
16	15時00分～15時59分	44	4.3
17	16時00分～16時59分	54	5.2
18	17時00分～17時59分	138	13.4
19	18時00分～18時59分	175	17
20	19時00分～19時59分	119	11.6
21	20時00分～20時59分	91	8.8
22	21時00分～21時59分	35	3.4
23	22時00分～22時59分	23	2.2
24	23時00分～23時59分	10	1
合計		1029	100

2. 配偶者	n	%	
1	0時00分～0時59分	5	0.5
2	1時00分～1時59分	7	0.6
3	2時00分～2時59分	5	0.5
4	3時00分～3時59分	12	1.1
5	4時00分～4時59分	20	1.8
6	5時00分～5時59分	41	3.7
7	6時00分～6時59分	51	4.6
8	7時00分～7時59分	69	6.2
9	8時00分～8時59分	55	5
10	9時00分～9時59分	40	3.6
11	10時00分～10時59分	15	1.4
12	11時00分～11時59分	8	0.7
13	12時00分～12時59分	14	1.3
14	13時00分～13時59分	14	1.3
15	14時00分～14時59分	30	2.7
16	15時00分～15時59分	30	2.7
17	16時00分～16時59分	45	4.1
18	17時00分～17時59分	96	8.7
19	18時00分～18時59分	153	13.8
20	19時00分～19時59分	115	10.4
21	20時00分～20時59分	109	9.8
22	21時00分～21時59分	76	6.9
23	22時00分～22時59分	54	4.9
24	23時00分～23時59分	45	4.1
合計		1109	100

Q14. 勤務先で時短等の制度を利用していますか。(それぞれひとつずつ)(単一回答)

1. あなた	n	%	
1	利用している	84	8
2	利用していない	493	47.1
3	勤務先に制度が無い	315	30.1
4	勤務先に制度があるか分からない	154	14.7
合計		1046	100

2. 配偶者	n	%	
1	利用している	55	4.9
2	利用していない	502	44.9
3	勤務先に制度が無い	257	23
4	勤務先に制度があるか分からない	305	27.3
合計		1119	100

Q15. Q10で「4.求職中」「5.無職」を選んだ方にうかがいます。就労についてのお考えについて、最もあてはまるものを選んでください。(それぞれひとつずつ)(単一回答)

1. あなた		n	%
1	半年以内に就労の見込がある	35	8.9
2	就労希望はあるが仕事が見つからない	49	12.4
3	就労希望はあるが子供を預ける場所が無い	49	12.4
4	子どもが大きくなったら就労したい	188	47.6
5	就労意思は無い	74	18.7
合計		395	100

2. 配偶者		n	%
1	半年以内に就労の見込がある	11	5.5
2	就労希望はあるが仕事が見つからない	22	11
3	就労希望はあるが子供を預ける場所が無い	4	2
4	子どもが大きくなったら就労したい	88	44
5	就労意思は無い	75	37.5
合計		200	100

Q16 お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、おおよその年間収入(税込)は合わせていくらですか。(ひとつだけ)(単一回答)

	n	%
1 50万円未満	13	0.9
2 50～100万円未満	11	0.7
3 100～150万円未満	21	1.4
4 150～200万円未満	29	1.9
5 200～250万円未満	35	2.3
6 250～300万円未満	63	4.1
7 300～350万円未満	74	4.9
8 350～400万円未満	136	9
9 400～500万円未満	239	15.7
10 500～600万円未満	252	16.6
11 600～700万円未満	212	14
12 700～800万円未満	167	11
13 800～900万円未満	96	6.3
14 900～1,000万円未満	57	3.8
15 1,000万円以上	114	7.5
合計	1519	100

Q17 お子さんと生計を共にしている世帯の、世帯総資産(土地、建物、銀行・郵便貯金、有価証券、絵画やゴルフ会員権など)は合わせていくらですか。(ひとつだけ)(単一回答)

	n	%
1 100万円未満	405	26.7
2 100～300万円未満	186	12.2
3 300～500万円未満	162	10.7
4 500～700万円未満	120	7.9
5 700～1000万円未満	153	10.1
6 1000～1500万円未満	126	8.3
7 1500～2000万円未満	110	7.2
8 2000～5000万円未満	187	12.3
9 5000万円以上	70	4.6
合計	1519	100

Q18. 休日(土曜日・日曜日・祝日)および長期休暇中にお子さんのお母さん、お父さんがどちらもお仕事で不在の場合、お子さんの預け先はありますか。(ひとつだけ)(単一回答)

1. 土曜日		n	%
1	ある	853	56.2
2	ない	666	43.8
合計		1519	100

2. 日曜日		n	%
1	ある	787	51.8
2	ない	732	48.2
合計		1519	100

3. 祝日		n	%
1	ある	774	51
2	ない	745	49
合計		1519	100

4. 夏休み等長期休暇		n	%
1	ある	873	57.5
2	ない	646	42.5
合計		1519	100

Q19 放課後利用するサービスにどのような内容を望みますか。(複数回答)

	n	%
1 短時間の預かり(17:00位まで)	347	22.8
2 長時間の預かり(19:00位まで)	403	26.5
3 無料の学習支援	795	52.3
4 有料の学習支援	114	7.5
5 遊び場の提供	613	40.4
6 食事の提供	224	14.7
7 屋内活動、創作活動	385	25.3
8 スポーツ活動	579	38.1
9 行事への参加	266	17.5
10 講座・ワークショップ・研修会などの開催	221	14.5
11 就労体験・ボランティア体験	206	13.6
12 地域交流	176	11.6
13 その他【 】	8	0.5
14 特になし	320	21.1
合計	1519	100

Q20 あなたのお子さんの中に、きょうだいと同じ学校や施設に通っているお子さんはいますか。(ひとつだけ)(単一回答)

	n	%
1 いる	452	38
2 いない(いずれの子も、他の子とは別の学校や施設に通っている)	739	62
合計	1191	100

Q21 あなたは、ご自分が幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。(ひとつだけ)(単一回答)

	n	%
1 0点	18	1.2
2 1点	20	1.3
3 2点	23	1.5
4 3点	57	3.8
5 4点	64	4.2
6 5点	212	14
7 6点	150	9.9
8 7点	300	19.7
9 8点	371	24.4
10 9点	160	10.5
11 10点	144	9.5
合計	1519	100

Q22. 次のそれぞれの質問についてあなた自身の過去1ヶ月の間はどのようでしたか。(それぞれひとつずつ)(単一回答)

1. 神経過敏に感じた		n	%
1	いつも	452	38
2	たいてい	163	10.7
3	ときどき	488	32.1
4	少しだけ	309	20.3
5	まったくない	474	31.2
合計		1519	100.0

2. 絶望的だと感じた		n	%
1	いつも	452	38
2	たいてい	79	5.2
3	ときどき	283	18.6
4	少しだけ	302	19.9
5	まったくない	805	53.0
合計		1519	100.0

3. そわそわしたり、落ち着かなく感じた		n	%
1	いつも	452	38
2	たいてい	94	6.2
3	ときどき	383	25.2
4	少しだけ	440	29.0
5	まったくない	557	36.7
合計		1519	100.0

4. 気分が沈み込んで、何が起ころとも気が晴れないように感じた		n	%
1	いつも	452	38
2	たいてい	132	8.7
3	ときどき	356	23.4
4	少しだけ	451	29.7
5	まったくない	506	33.3
合計		1519	100.0

5. 何をしても骨折りだと感じた		n	%
1	いつも	64	4.2
2	たいてい	120	7.9
3	ときどき	316	20.8
4	少しだけ	441	29.0
5	まったくない	578	38.1
合計		1519	100.0

6. 自分は価値の無い人間だと感じた		n	%
1	いつも	82	5.4
2	たいてい	95	6.3
3	ときどき	229	15.1
4	少しだけ	300	19.7
5	まったくない	813	53.5
合計		1519	100.0

Q.23 あなたのお子さんのうち、いずれかのお子さんが利用しているサービスについてうかがいます。あてまるものをすべて選んでください。サービスを使用しているのはなぜですか。(それぞれいくつでも)(複数回答)

1. 児童館・児童センター		n	%
1	仕事などで放課後に子どもの面倒が見られないため	66	63.5
2	子どもが行きたいと言ったため	54	51.9
3	サービスの評判が良かったため	6	5.8
4	利用料が安い	14	13.5
5	勉強をみてもらえるため	3	2.9
6	土日祝日に利用できるため	8	7.7
7	夏休み等長期休暇中に利用できるため	27	26.0
8	長時間利用できるため	15	14.4
9	利用日数や利用可能時間に自由度が高いため	20	19.2
10	サービス実施場所のスペースが広い	5	4.8
11	サービス実施場所までのアクセスが良い	15	14.4
12	自宅への送迎等、追加のサービスがある	0	0.0
13	スタッフの質が良い	7	6.7
14	発達に支援が必要な子どもにも対応してくれる	0	0.0
15	学校や保護者との連携が十分とられていて安心できる	6	5.8
16	住んでいる市区町村にこれ以外の代替となるサービスが無い	11	10.6
17	その他	4	3.8
合計		104	100.0

2. 放課後児童クラブ(学童保育)		n	%
1	仕事などで放課後に子どもの面倒が見られないため	176	89.3
2	子どもが行きたいと言ったため	33	16.8
3	サービスの評判が良かったため	11	5.6
4	利用料が安い	14	7.1
5	勉強をみてもらえるため	20	10.2
6	土日祝日に利用できるため	15	7.6
7	夏休み等長期休暇中に利用できるため	94	47.7
8	長時間利用できるため	20	10.2
9	利用日数や利用可能時間に自由度が高いため	16	8.1
10	サービス実施場所のスペースが広い	4	2.0
11	サービス実施場所までのアクセスが良い	17	8.6
12	自宅への送迎等、追加のサービスがある	1	0.5
13	スタッフの質が良い	10	5.1
14	発達に支援が必要な子どもにも対応してくれる	1	0.5
15	学校や保護者との連携が十分とられていて安心できる	21	10.7
16	住んでいる市区町村にこれ以外の代替となるサービスが無い	19	9.6
17	その他	1	0.5
合計		197	100.0

3. 放課後子供教室(放課後の学校開放)		n	%
1	仕事などで放課後に子どもの面倒が見られないため	7	16.7
2	子どもが行きたいと言ったため	28	66.7
3	サービスの評判が良かったため	3	7.1
4	利用料が安い	4	9.5
5	勉強をみてもらえるため	2	4.8
6	土日祝日に利用できるため	0	0.0
7	夏休み等長期休暇中に利用できるため	1	2.4
8	長時間利用できるため	3	7.1
9	利用日数や利用可能時間に自由度が高いため	2	4.8
10	サービス実施場所のスペースが広い	2	4.8
11	サービス実施場所までのアクセスが良い	5	11.9
12	自宅への送迎等、追加のサービスがある	0	0.0
13	スタッフの質が良い	0	0.0
14	発達に支援が必要な子どもにも対応してくれる	0	0.0
15	学校や保護者との連携が十分とられていて安心できる	7	16.7
16	住んでいる市区町村にこれ以外の代替となるサービスが無い	4	9.5
17	その他	0	0.0
合計		42	100.0

4. ファミリー・サポート・センター		n	%
1	仕事などで放課後に子どもの面倒が見られないため	0	0.0
2	子どもが行きたいと言ったため	0	0.0
3	サービスの評判が良かったため	1	33.3
4	利用料が安い	0	0.0
5	勉強をみてもらえるため	0	0.0
6	土日祝日に利用できるため	1	33.3
7	夏休み等長期休暇中に利用できるため	0	0.0
8	長時間利用できるため	0	0.0
9	利用日数や利用可能時間に自由度が高いため	0	0.0
10	サービス実施場所のスペースが広い	1	33.3
11	サービス実施場所までのアクセスが良い	0	0.0
12	自宅への送迎等、追加のサービスがある	0	0.0
13	スタッフの質が良い	1	33.3
14	発達に支援が必要な子どもにも対応してくれる	0	0.0
15	学校や保護者との連携が十分とられていて安心できる	0	0.0
16	住んでいる市区町村にこれ以外の代替となるサービスが無い	1	33.3
17	その他	0	0.0
合計		3	100.0

5. プレイパーク(冒険遊び場)		n	%
1	仕事などで放課後に子どもの面倒が見られないため	1	4.8
2	子どもが行きたいと言ったため	16	76.2
3	サービスの評判が良かったため	1	4.8
4	利用料が安い	0	0.0
5	勉強をみてもらえるため	2	9.5
6	土日祝日に利用できるため	0	0.0
7	夏休み等長期休暇中に利用できるため	2	9.5
8	長時間利用できるため	1	4.8
9	利用日数や利用可能時間に自由度が高いため	1	4.8
10	サービス実施場所のスペースが広い	0	0.0
11	サービス実施場所までのアクセスが良い	2	9.5
12	自宅への送迎等、追加のサービスがある	1	4.8
13	スタッフの質が良い	0	0.0
14	発達に支援が必要な子どもにも対応してくれる	0	0.0
15	学校や保護者との連携が十分とられていて安心できる	1	4.8
16	住んでいる市区町村にこれ以外の代替となるサービスが無い	1	4.8
17	その他	0	0.0
合計		21	100.0

6. 子どもの生活・学習支援事業(居場所づくり)		n	%
1	仕事などで放課後に子どもの面倒が見られないため	1	33.3
2	子どもが行きたいと言ったため	1	33.3
3	サービスの評判が良かったため	1	33.3
4	利用料が安い	0	0.0
5	勉強をみてもらえるため	1	33.3
6	土日祝日に利用できるため	0	0.0
7	夏休み等長期休暇中に利用できるため	1	33.3
8	長時間利用できるため	0	0.0
9	利用日数や利用可能時間に自由度が高いため	0	0.0
10	サービス実施場所のスペースが広い	0	0.0
11	サービス実施場所までのアクセスが良い	0	0.0
12	自宅への送迎等、追加のサービスがある	0	0.0
13	スタッフの質が良い	0	0.0
14	発達に支援が必要な子どもにも対応してくれる	0	0.0
15	学校や保護者との連携が十分とられていて安心できる	0	0.0
16	住んでいる市区町村にこれ以外の代替となるサービスが無い	0	0.0
17	その他	0	0.0
合計		3	100.0

7. 子どもの学習支援事業		n	%
1	仕事などで放課後に子どもの面倒が見られないため	0	0.0
2	子どもが行きたいと言ったため	1	50.0
3	サービスの評判が良かったため	0	0.0
4	利用料が安い	0	0.0
5	勉強をみてもらえるため	1	50.0
6	土日祝日に利用できるため	0	0.0
7	夏休み等長期休暇中に利用できるため	0	0.0
8	長時間利用できるため	0	0.0
9	利用日数や利用可能時間に自由度が高いため	0	0.0
10	サービス実施場所のスペースが広い	0	0.0
11	サービス実施場所までのアクセスが良い	0	0.0
12	自宅への送迎等、追加のサービスがある	0	0.0
13	スタッフの質が良い	1	50.0
14	発達に支援が必要な子どもにも対応してくれる	0	0.0
15	学校や保護者との連携が十分とられていて安心できる	1	50.0
16	住んでいる市区町村にこれ以外の代替となるサービスが無い	0	0.0
17	その他	0	0.0
合計		2	100.0

8. 放課後等デイサービス事業		n	%
1	仕事などで放課後に子どもの面倒が見られないため	10	27.8
2	子どもが行きたいと言ったため	9	25.0
3	サービスの評判が良かったため	7	19.4
4	利用料が安い	5	13.9
5	勉強をみてもらえるため	9	25.0
6	土日祝日に利用できるため	12	33.3
7	夏休み等長期休暇中に利用できるため	17	47.2
8	長時間利用できるため	7	19.4
9	利用日数や利用可能時間に自由度が高いため	7	19.4
10	サービス実施場所のスペースが広い	2	5.6
11	サービス実施場所までのアクセスが良い	5	13.9
12	自宅への送迎等、追加のサービスがある	20	55.6
13	スタッフの質が良い	12	33.3
14	発達に支援が必要な子どもにも対応してくれる	29	80.6
15	学校や保護者との連携が十分とられていて安心できる	9	25.0
16	住んでいる市区町村にこれ以外の代替となるサービスが無い	2	5.6
17	その他	1	2.8
合計		36	100.0

9. 子ども食堂		n	%
1	仕事などで放課後に子どもの面倒が見られないため	0	0.0
2	子どもが行きたいと言ったため	1	100.0
3	サービスの評判が良かったため	0	0.0
4	利用料が安い	1	100.0
5	勉強をみてもらえるため	0	0.0
6	土日祝日に利用できるため	0	0.0
7	夏休み等長期休暇中に利用できるため	0	0.0
8	長時間利用できるため	0	0.0
9	利用日数や利用可能時間に自由度が高いため	0	0.0
10	サービス実施場所のスペースが広い	0	0.0
11	サービス実施場所までのアクセスが良い	0	0.0
12	自宅への送迎等、追加のサービスがある	0	0.0
13	スタッフの質が良い	0	0.0
14	発達に支援が必要な子どもにも対応してくれる	0	0.0
15	学校や保護者との連携が十分とられていて安心できる	0	0.0
16	住んでいる市区町村にこれ以外の代替となるサービスが無い	0	0.0
17	その他	0	0.0
合計		1	100.0

Q27. サービスの内容について、どのように感じましたか。(それぞれひとつづつ)(単一回答)

1. 児童館・児童センター			
	n	%	
1	不満	0	0.0
2	どちらかというと不満	11	10.6
3	どちらかというと満足	70	67.3
4	満足	23	22.1
合計	104	100.0	

2. 放課後児童クラブ(学童保育)			
	n	%	
1	不満	4	2.0
2	どちらかというと不満	27	13.7
3	どちらかというと満足	119	60.4
4	満足	47	23.9
合計	197	100.0	

3. 放課後子供教室(放課後の学校開放)			
	n	%	
1	不満	1	2.4
2	どちらかというと不満	4	9.5
3	どちらかというと満足	19	45.2
4	満足	18	42.9
合計	42	100.0	

4. ファミリー・サポート・センター			
	n	%	
1	不満	0	0.0
2	どちらかというと不満	1	33.3
3	どちらかというと満足	1	33.3
4	満足	1	33.3
合計	3	100.0	

5. プレイパーク(冒険遊び場)			
	n	%	
1	不満	1	4.8
2	どちらかというと不満	1	4.8
3	どちらかというと満足	19	90.5
4	満足	0	0.0
合計	21	100.0	

6. 子どもの生活・学習支援事業(居場所づくり)			
	n	%	
1	不満	0	0.0
2	どちらかというと不満	2	66.7
3	どちらかというと満足	1	33.3
4	満足	0	0.0
合計	3	100.0	

7. 子どもの学習支援事業			
	n	%	
1	不満	0	0.0
2	どちらかというと不満	1	50.0
3	どちらかというと満足	0	0.0
4	満足	1	50.0
合計	2	100.0	

8. 放課後等デイサービス事業			
	n	%	
1	不満	1	2.8
2	どちらかというと不満	5	13.9
3	どちらかというと満足	19	52.8
4	満足	11	30.6
合計	36	100.0	

9. 子ども食堂			
	n	%	
1	不満	0	0.0
2	どちらかというと不満	0	0.0
3	どちらかというと満足	0	0.0
4	満足	1	100.0
合計	1	100.0	

Q28. 前問で「1.不満」もしくは「2.どちらかというと不満」を選んだサービスについてうかがいます。不満を感じる理由は何ですか。(それぞれいくつでも)(複数回答)

1. 児童館・児童センター			
	n	%	
1	子どもが行きたがらないため	3	27.3
2	サービスの評判が悪いため	4	36.4
3	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満があるため	1	9.1
4	勉強をみてもらえないため	3	27.3
5	土日祝日に利用できないため	3	27.3
6	夏休み等長期休暇中に利用できないため	0	0.0
7	短時間しか利用できないため	0	0.0
8	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い	2	18.2
9	サービス実施場所のスペースが狭いため	3	27.3
10	サービス実施場所までのアクセスが悪い	0	0.0
11	送迎等の追加サービスが無い・良くない	3	27.3
12	スタッフの質が良くない	5	45.5
13	発達に支援が必要な子どもを受け入れていない	0	0.0
14	学校や保護者との連携に不安を感じる	0	0.0
15	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じる	0	0.0
16	その他	2	18.2
合計	11	100.0	

2. 放課後児童クラブ(学童保育)			
	n	%	
1	子どもが行きたがらないため	3	9.7
2	サービスの評判が悪い	5	16.1
3	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満がある	13	41.9
4	勉強をみてもらえない	9	29.0
5	土日祝日に利用できない	2	6.5
6	夏休み等長期休暇中に利用できない	0	0.0
7	短時間しか利用できない	2	6.5
8	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い	3	9.7
9	サービス実施場所のスペースが狭い	5	16.1
10	サービス実施場所までのアクセスが悪い	0	0.0
11	送迎等の追加サービスが無い・良くない	2	6.5
12	スタッフの質が良くない	10	32.3
13	発達に支援が必要な子どもを受け入れていない	2	6.5
14	学校や保護者との連携に不安を感じる	6	19.4
15	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じる	1	3.2
16	その他	4	12.9
合計	31	100.0	

3. 放課後子供教室(放課後の学校開放)			
	n	%	
1	子どもが行きたがらない	2	40.0
2	サービスの評判が悪い	1	20.0
3	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満がある	0	0.0
4	勉強をみてもらえない	4	80.0
5	土日祝日に利用できない	2	40.0
6	夏休み等長期休暇中に利用できない	1	20.0
7	短時間しか利用できない	1	20.0
8	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い	3	60.0
9	サービス実施場所のスペースが狭い	0	0.0
10	サービス実施場所までのアクセスが悪い	0	0.0
11	送迎等の追加サービスが無い・良くない	0	0.0
12	スタッフの質が良くない	1	20.0
13	発達に支援が必要な子どもを受け入れていない	0	0.0
14	学校や保護者との連携に不安を感じる	0	0.0
15	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じる	0	0.0
16	その他	0	0.0
合計	5	100.0	

4. ファミリー・サポート・センター			
	n	%	
1	子どもが行きたがらない	0	0.0
2	サービスの評判が悪い	0	0.0
3	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満がある	1	100.0
4	勉強をみてもらえない	0	0.0
5	土日祝日に利用できない	0	0.0
6	夏休み等長期休暇中に利用できない	0	0.0
7	短時間しか利用できない	0	0.0
8	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い	0	0.0
9	サービス実施場所のスペースが狭い	0	0.0
10	サービス実施場所までのアクセスが悪い	0	0.0
11	送迎等の追加サービスが無い・良くない	0	0.0
12	スタッフの質が良くない	0	0.0
13	発達に支援が必要な子どもを受け入れていない	0	0.0
14	学校や保護者との連携に不安を感じる	0	0.0
15	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じる	0	0.0
16	その他	0	0.0
合計	1	100.0	

5. プレイパーク(冒険遊び場)			
	n	%	
1	子どもが行きたがらない	0	0.0
2	サービスの評判が悪い	0	0.0
3	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満がある	0	0.0
4	勉強をみてもらえない	0	0.0
5	土日祝日に利用できない	0	0.0
6	夏休み等長期休暇中に利用できない	0	0.0
7	短時間しか利用できない	0	0.0
8	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い	0	0.0
9	サービス実施場所のスペースが狭い	0	0.0
10	サービス実施場所までのアクセスが悪い	1	50.0
11	送迎等の追加サービスが無い・良くない	1	50.0
12	スタッフの質が良くない	0	0.0
13	発達に支援が必要な子どもを受け入れていない	0	0.0
14	学校や保護者との連携に不安を感じる	0	0.0
15	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じる	0	0.0
16	その他	0	0.0
合計	2	100.0	

6. 子どもの生活・学習支援事業(居場所づくり)			
	n	%	
1	子どもが行きたがらない	0	0.0
2	サービスの評判が悪い	1	50.0
3	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満がある	0	0.0
4	勉強をみてもらえない	0	0.0
5	土日祝日に利用できない	0	0.0
6	夏休み等長期休暇中に利用できない	0	0.0
7	短時間しか利用できない	0	0.0
8	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い	0	0.0
9	サービス実施場所のスペースが狭い	1	50.0
10	サービス実施場所までのアクセスが悪い	0	0.0
11	送迎等の追加サービスが無い・良くない	0	0.0
12	スタッフの質が良くない	0	0.0
13	発達に支援が必要な子どもを受け入れていない	0	0.0
14	学校や保護者との連携に不安を感じる	0	0.0
15	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じる	0	0.0
16	その他	0	0.0
合計	2	100.0	

7. 子どもの学習支援事業			
	n	%	
1	子どもが行きたがらない	0	0.0
2	サービスの評判が悪い	0	0.0
3	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満がある	1	100.0
4	勉強をみてもらえない	0	0.0
5	土日祝日に利用できない	0	0.0
6	夏休み等長期休暇中に利用できない	0	0.0
7	短時間しか利用できない	0	0.0
8	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い	0	0.0
9	サービス実施場所のスペースが狭い	0	0.0
10	サービス実施場所までのアクセスが悪い	0	0.0
11	送迎等の追加サービスが無い・良くない	0	0.0
12	スタッフの質が良くない	0	0.0
13	発達に支援が必要な子どもを受け入れていない	0	0.0
14	学校や保護者との連携に不安を感じる	0	0.0
15	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じる	0	0.0
16	その他	0	0.0
合計	1	100.0	

8. 放課後等デイサービス事業			
	n	%	
1	子どもが行きたがらない	1	16.7
2	サービスの評判が悪い	1	16.7
3	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満がある	0	0.0
4	勉強をみてもらえない	0	0.0
5	土日祝日に利用できない	0	0.0
6	夏休み等長期休暇中に利用できない	0	0.0
7	短時間しか利用できない	3	50.0
8	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い	1	16.7
9	サービス実施場所のスペースが狭い	0	0.0
10	サービス実施場所までのアクセスが悪い	0	0.0
11	送迎等の追加サービスが無い・良くない	1	16.7
12	スタッフの質が良くない	1	16.7
13	発達に支援が必要な子どもを受け入れていない	0	0.0
14	学校や保護者との連携に不安を感じる	0	0.0
15	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じる	0	0.0
16	その他	0	0.0
合計	6	100.0	

9. 子ども食堂			
	n	%	
1	子どもが行きたがらない	0	0.0
2	サービスの評判が悪い	0	0.0
3	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満がある	0	0.0
4	勉強をみてもらえない	0	0.0
5	土日祝日に利用できない	0	0.0
6	夏休み等長期休暇中に利用できない	0	0.0
7	短時間しか利用できない	0	0.0
8	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い	0	0.0
9	サービス実施場所のスペースが狭い	0	0.0
10	サービス実施場所までのアクセスが悪い	0	0.0
11	送迎等の追加サービスが無い・良くない	0	0.0
12	スタッフの質が良くない	0	0.0
13	発達に支援が必要な子どもを受け入れていない	0	0.0
14	学校や保護者との連携に不安を感じる	0	0.0
15	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じる	0	0.0
16	その他	0	0.0
合計	0	100.0	

Q29. あなたのお子さんのうち、いずれのお子さんも利用していないサービスについてうかがいます。サービスの利用について、どのように考えますか。
(それぞれひとつずつ)(単一回答)

1. 児童館・児童センター		n	%
1	利用意思はない	693	49.0
2	利用意思はあるが利用していない(利用できない)	397	28.1
3	以前は利用していたが諸般の事情でやめた	130	9.2
4	サービスの存在を知らなかった	195	13.8
合計		1415	100.0

3. 放課後子供教室(放課後の学校開放)		n	%
1	利用意思はない	692	46.9
2	利用意思はあるが利用していない(利用できない)	309	20.9
3	以前は利用していたが諸般の事情でやめた	56	3.8
4	サービスの存在を知らなかった	420	28.4
合計		1477	100.0

5. プレイパーク(冒険遊び場)		n	%
1	利用意思はない	602	40.2
2	利用意思はあるが利用していない(利用できない)	278	18.6
3	以前は利用していたが諸般の事情でやめた	32	2.1
4	サービスの存在を知らなかった	586	39.1
合計		1498	100.0

7. 子どもの学習支援事業		n	%
1	利用意思はない	802	52.9
2	利用意思はあるが利用していない(利用できない)	149	9.8
3	以前は利用していたが諸般の事情でやめた	15	1.0
4	サービスの存在を知らなかった	551	36.3
合計		1517	100.0

9. 子ども食堂		n	%
1	利用意思はない	957	63.0
2	利用意思はあるが利用していない(利用できない)	176	11.6
3	以前は利用していたが諸般の事情でやめた	26	1.7
4	サービスの存在を知らなかった	359	23.6
合計		1518	100.0

2. 放課後児童クラブ(学童保育)		n	%
1	利用意思はない	768	58.1
2	利用意思はあるが利用していない(利用できない)	281	21.3
3	以前は利用していたが諸般の事情でやめた	161	12.2
4	サービスの存在を知らなかった	112	8.5
合計		1322	100.0

4. ファミリー・サポート・センター		n	%
1	利用意思はない	922	60.8
2	利用意思はあるが利用していない(利用できない)	161	10.6
3	以前は利用していたが諸般の事情でやめた	39	2.6
4	サービスの存在を知らなかった	394	26.0
合計		1516	100.0

6. 子どもの生活・学習支援事業(居場所づくり)		n	%
1	利用意思はない	815	53.8
2	利用意思はあるが利用していない(利用できない)	136	9.0
3	以前は利用していたが諸般の事情でやめた	20	1.3
4	サービスの存在を知らなかった	545	35.9
合計		1516	100.0

8. 放課後等デイサービス事業		n	%
1	利用意思はない	864	58.3
2	利用意思はあるが利用していない(利用できない)	113	7.6
3	以前は利用していたが諸般の事情でやめた	23	1.6
4	サービスの存在を知らなかった	483	32.6
合計		1483	100.0

Q30. 前問で「1.利用意思はない」を選んだサービスについてうかがいます。サービスを利用しない理由はなんですか。(それぞれいくつでも)(複数回答)

1. 児童館・児童センター			
	n	%	
1	(面倒を見てくれる人がいる・習い事がある等)そもそも利用する必要が無い	429	61.9
2	子どもが行きたがらないため	150	21.6
3	子どもがサービス対象の条件を満たさないため	26	3.8
4	住んでいる市区町村では実施していないため	49	7.1
5	世帯がサービス対象の条件を満たさないため	6	0.9
6	サービスの評判が悪い、またはサービスの質が分からず不安なため	18	2.6
7	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満があるため	14	2.0
8	勉強をみてもらえないため	11	1.6
9	土日祝日に利用できないため	10	1.4
10	夏休み等長期休暇中に利用できないため	4	0.6
11	短時間しか利用できないため	5	0.7
12	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い	2	0.3
13	サービス実施場所のスペースが狭いため	6	0.9
14	サービス実施場所までのアクセスが悪い	27	3.9
15	送迎等の追加サービスが無い・良くない	8	1.2
16	スタッフの質が良くない	7	1.0
17	発達に支援が必要な子どもを受け入れていない	4	0.6
18	学校や保護者との連携に不安を感じる	13	1.9
19	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じる	9	1.3
20	その他	17	2.5
合計	693	100.0	

2. 放課後児童クラブ(学童保育)			
	n	%	
1	(面倒を見てくれる人がいる・習い事がある等)そもそも利用する必要が無い	504	65.6
2	子どもが行きたがらないため	170	22.1
3	子どもがサービス対象の条件を満たさないため	59	7.7
4	住んでいる市区町村では実施していないため	22	2.9
5	世帯がサービス対象の条件を満たさないため	36	4.7
6	サービスの評判が悪い、またはサービスの質が分からず不安なため	18	2.3
7	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満があるため	32	4.2
8	勉強をみてもらえないため	7	0.9
9	土日祝日に利用できないため	6	0.8
10	夏休み等長期休暇中に利用できないため	3	0.4
11	短時間しか利用できないため	5	0.7
12	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い	6	0.8
13	サービス実施場所のスペースが狭いため	6	0.8
14	サービス実施場所までのアクセスが悪い	7	0.9
15	送迎等の追加サービスが無い・良くない	8	1.0
16	スタッフの質が良くない	7	0.9
17	発達に支援が必要な子どもを受け入れていない	4	0.5
18	学校や保護者との連携に不安を感じる	11	1.4
19	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じる	3	0.4
20	その他	12	1.6
合計	768	100.0	

3. 放課後子供教室(放課後の学校開放)			
	n	%	
1	(面倒を見てくれる人がいる・習い事がある等)そもそも利用する必要が無い	433	62.6
2	子どもが行きたがらないため	128	18.5
3	子どもがサービス対象の条件を満たさないため	17	2.5
4	住んでいる市区町村では実施していない	84	12.1
5	世帯がサービス対象の条件を満たさない	6	0.9
6	サービスの評判が悪い、またはサービスの質が分からず不安な	10	1.4
7	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満がある	13	1.9
8	勉強をみてもらえない	2	0.3
9	土日祝日に利用できない	4	0.6
10	夏休み等長期休暇中に利用できない	6	0.9
11	短時間しか利用できない	5	0.7
12	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い	3	0.4
13	サービス実施場所のスペースが狭い	1	0.1
14	サービス実施場所までのアクセスが悪い	5	0.7
15	送迎等の追加サービスが無い・良くない	0	0.0
16	スタッフの質が良くない	4	0.6
17	発達に支援が必要な子どもを受け入れていない	3	0.4
18	学校や保護者との連携に不安を感じる	11	1.6
19	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じる	7	1.0
20	その他	14	2.0
合計	692	100.0	

4. ファミリー・サポート・センター			
	n	%	
1	(面倒を見てくれる人がいる・習い事がある等)そもそも利用する必要が無い	593	64.3
2	子どもが行きたがらないため	133	14.4
3	子どもがサービス対象の条件を満たさない	24	2.6
4	住んでいる市区町村では実施していない	67	7.3
5	世帯がサービス対象の条件を満たさない	9	1.0
6	サービスの評判が悪い、またはサービスの質が分からず不安な	37	4.0
7	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満がある	77	8.4
8	勉強をみてもらえない	10	1.1
9	土日祝日に利用できない	7	0.8
10	夏休み等長期休暇中に利用できない	5	0.5
11	短時間しか利用できない	4	0.4
12	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い	5	0.5
13	サービス実施場所のスペースが狭い	2	0.2
14	サービス実施場所までのアクセスが悪い	6	0.7
15	送迎等の追加サービスが無い・良くない	3	0.3
16	スタッフの質が良くない	9	1.0
17	発達に支援が必要な子どもを受け入れていない	6	0.7
18	学校や保護者との連携に不安を感じる	20	2.2
19	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じる	14	1.5
20	その他	20	2.2
合計	922	100.0	

5. プレイパーク(冒険遊び場)			
	n	%	
1	(面倒を見てくれる人がいる・習い事がある等)そもそも利用する必要が無い	373	62.0
2	子どもが行きたがらない	98	16.3
3	子どもがサービス対象の条件を満たさない	5	0.8
4	住んでいる市区町村では実施していない	86	14.3
5	世帯がサービス対象の条件を満たさない	2	0.3
6	サービスの評判が悪い、またはサービスの質が分からず不安な	5	0.8
7	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満がある	9	1.5
8	勉強をみてもらえない	2	0.3
9	土日祝日に利用できない	5	0.8
10	夏休み等長期休暇中に利用できない	2	0.3
11	短時間しか利用できない	1	0.2
12	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い	1	0.2
13	サービス実施場所のスペースが狭い	1	0.2
14	サービス実施場所までのアクセスが悪い	8	1.3
15	送迎等の追加サービスが無い・良くない	2	0.3
16	スタッフの質が良くない	3	0.5
17	発達に支援が必要な子どもを受け入れていない	3	0.5
18	学校や保護者との連携に不安を感じる	11	1.8
19	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じる	10	1.7
20	その他	15	2.5
合計	602	100.0	

6. 子どもの生活・学習支援事業(居場所づくり)			
	n	%	
1	(面倒を見てくれる人がいる・習い事がある等)そもそも利用する必要が無い	538	66.0
2	子どもが行きたがらない	104	12.8
3	子どもがサービス対象の条件を満たさない	68	8.3
4	住んでいる市区町村では実施していない	69	8.5
5	世帯がサービス対象の条件を満たさない	36	4.4
6	サービスの評判が悪い、またはサービスの質が分からず不安な	10	1.2
7	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満がある	7	0.9
8	勉強をみてもらえない	3	0.4
9	土日祝日に利用できない	5	0.6
10	夏休み等長期休暇中に利用できない	3	0.4
11	短時間しか利用できない	1	0.1
12	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い	2	0.2
13	サービス実施場所のスペースが狭い	0	0.0
14	サービス実施場所までのアクセスが悪い	2	0.2
15	送迎等の追加サービスが無い・良くない	0	0.0
16	スタッフの質が良くない	1	0.1
17	発達に支援が必要な子どもを受け入れていない	4	0.5
18	学校や保護者との連携に不安を感じる	7	0.9
19	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じる	7	0.9
20	その他	18	2.2
合計	815	100.0	

7. 子どもの学習支援事業			
	n	%	
1	(面倒を見てくれる人がいる・習い事がある等)そもそも利用する必要が無い	530	66.1
2	子どもが行きたがらない	101	12.6
3	子どもがサービス対象の条件を満たさない	79	9.9
4	住んでいる市区町村では実施していない	65	8.1
5	世帯がサービス対象の条件を満たさない	44	5.5
6	サービスの評判が悪い、またはサービスの質が分からず不安な	9	1.1
7	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満がある	6	0.7
8	勉強をみてもらえない	1	0.1
9	土日祝日に利用できない	4	0.5
10	夏休み等長期休暇中に利用できない	0	0.0
11	短時間しか利用できない	3	0.4
12	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い	1	0.1
13	サービス実施場所のスペースが狭い	0	0.0
14	サービス実施場所までのアクセスが悪い	0	0.0
15	送迎等の追加サービスが無い・良くない	1	0.1
16	スタッフの質が良くない	0	0.0
17	発達に支援が必要な子どもを受け入れていない	4	0.5
18	学校や保護者との連携に不安を感じる	6	0.7
19	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じる	7	0.9
20	その他	15	1.9
合計	802	100.0	

8. 放課後等デイサービス事業			
	n	%	
1	(面倒を見てくれる人がいる・習い事がある等)そもそも利用する必要が無い	558	64.6
2	子どもが行きたがらない	96	11.1
3	子どもがサービス対象の条件を満たさない	126	14.6
4	住んでいる市区町村では実施していない	50	5.8
5	世帯がサービス対象の条件を満たさない	27	3.1
6	サービスの評判が悪い、またはサービスの質が分からず不安な	8	0.9
7	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満がある	12	1.4
8	勉強をみてもらえない	1	0.1
9	土日祝日に利用できない	3	0.3
10	夏休み等長期休暇中に利用できない	1	0.1
11	短時間しか利用できない	1	0.1
12	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い	1	0.1
13	サービス実施場所のスペースが狭い	1	0.1
14	サービス実施場所までのアクセスが悪い	1	0.1
15	送迎等の追加サービスが無い・良くない	1	0.1
16	スタッフの質が良くない	1	0.1
17	発達に支援が必要な子どもを受け入れていない	3	0.3
18	学校や保護者との連携に不安を感じる	10	1.2
19	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じる	8	0.9
20	その他	16	1.9
合計	864	100.0	

9. 子ども食堂			
	n	%	
1	(面倒を見てくれる人がいる・習い事がある等)そもそも利用する必要が無い	621	64.9
2	子どもが行きたがらない	92	9.6
3	子どもがサービス対象の条件を満たさない	89	9.3
4	住んでいる市区町村では実施していない	119	12.4
5	世帯がサービス対象の条件を満たさない	50	5.2
6	サービスの評判が悪い、またはサービスの質が分からず不安な	6	0.6
7	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満がある	5	0.5
8	勉強をみてもらえない	0	0.0
9	土日祝日に利用できない	5	0.5
10	夏休み等長期休暇中に利用できない	2	0.2
11	短時間しか利用できない	1	0.1
12	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い	3	0.3
13	サービス実施場所のスペースが狭い	0	0.0
14	サービス実施場所までのアクセスが悪い	8	0.8
15	送迎等の追加サービスが無い・良くない	1	0.1
16	スタッフの質が良くない	0	0.0
17	発達に支援が必要な子どもを受け入れていない	2	0.2
18	学校や保護者との連携に不安を感じる	9	0.9
19	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じる	7	0.7
20	その他	25	2.6
合計	957	100.0	

Q31. 前問で「7.利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満があるため」を選んだサービスについてうかがいます。一か月あたりの利用料はいくらが適正だと思いますか。
(それぞれひとつずつ)(単一回答)

1. 児童館・児童センター		n	%
1	無料	5	35.7
2	1000円未満	3	21.4
3	1000円台	1	7.1
4	2000円台	2	14.3
5	3000円台	1	7.1
6	4000円台	0	0.0
7	5000円台	2	14.3
8	6000円台	0	0.0
9	7000円台	0	0.0
10	8000円台	0	0.0
11	9000円台	0	0.0
12	10000円以上	0	0.0
合計		14	100.0

2. 放課後児童クラブ(学童保育)		n	%
1	無料	7	21.9
2	1000円未満	6	18.8
3	1000円台	3	9.4
4	2000円台	2	6.3
5	3000円台	6	18.8
6	4000円台	2	6.3
7	5000円台	5	15.6
8	6000円台	0	0.0
9	7000円台	1	3.1
10	8000円台	0	0.0
11	9000円台	0	0.0
12	10000円以上	0	0.0
合計		32	100.0

3. 放課後子供教室(放課後の学校開放)		n	%
1	無料	3	23.1
2	1000円未満	3	23.1
3	1000円台	3	23.1
4	2000円台	2	15.4
5	3000円台	2	15.4
6	4000円台	0	0.0
7	5000円台	0	0.0
8	6000円台	0	0.0
9	7000円台	0	0.0
10	8000円台	0	0.0
11	9000円台	0	0.0
12	10000円以上	0	0.0
合計		13	100.0

4. ファミリー・サポート・センター		n	%
1	無料	20	26.0
2	1000円未満	21	27.3
3	1000円台	10	13.0
4	2000円台	2	2.6
5	3000円台	15	19.5
6	4000円台	1	1.3
7	5000円台	5	6.5
8	6000円台	1	1.3
9	7000円台	0	0.0
10	8000円台	1	1.3
11	9000円台	1	1.3
12	10000円以上	0	0.0
合計		77	100.0

5. プレイパーク(冒険遊び場)		n	%
1	無料	4	44.4
2	1000円未満	1	11.1
3	1000円台	1	11.1
4	2000円台	1	11.1
5	3000円台	1	11.1
6	4000円台	0	0.0
7	5000円台	1	11.1
8	6000円台	0	0.0
9	7000円台	0	0.0
10	8000円台	0	0.0
11	9000円台	0	0.0
12	10000円以上	0	0.0
合計		9	100.0

6. 子どもの生活・学習支援事業(居場所づくり)		n	%
1	無料	3	42.9
2	1000円未満	2	28.6
3	1000円台	1	14.3
4	2000円台	0	0.0
5	3000円台	1	14.3
6	4000円台	0	0.0
7	5000円台	0	0.0
8	6000円台	0	0.0
9	7000円台	0	0.0
10	8000円台	0	0.0
11	9000円台	0	0.0
12	10000円以上	0	0.0
合計		7	100.0

7. 子どもの学習支援事業		n	%
1	無料	3	50.0
2	1000円未満	1	16.7
3	1000円台	1	16.7
4	2000円台	0	0.0
5	3000円台	1	16.7
6	4000円台	0	0.0
7	5000円台	0	0.0
8	6000円台	0	0.0
9	7000円台	0	0.0
10	8000円台	0	0.0
11	9000円台	0	0.0
12	10000円以上	0	0.0
合計		6	100.0

8. 放課後等デイサービス事業		n	%
1	無料	6	50.0
2	1000円未満	1	8.3
3	1000円台	1	8.3
4	2000円台	0	0.0
5	3000円台	3	25.0
6	4000円台	0	0.0
7	5000円台	1	8.3
8	6000円台	0	0.0
9	7000円台	0	0.0
10	8000円台	0	0.0
11	9000円台	0	0.0
12	10000円以上	0	0.0
合計		12	100.0

9. 子ども食堂		n	%
1	無料	2	40.0
2	1000円未満	2	40.0
3	1000円台	0	0.0
4	2000円台	0	0.0
5	3000円台	1	20.0
6	4000円台	0	0.0
7	5000円台	0	0.0
8	6000円台	0	0.0
9	7000円台	0	0.0
10	8000円台	0	0.0
11	9000円台	0	0.0
12	10000円以上	0	0.0
合計		5	100.0

Q32. Q30で「7.利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満があるため」を選んだサービスについてうかがいます。もし利用料が安ければ、他の条件が折り合わなくても利用を検討しますか。(それぞれひとつずつ)(単一回答)

1. 児童館・児童センター		n	%
1	検討する	4	28.6
2	検討しない	4	28.6
3	分からない	6	42.9
合計		14	100.0

2. 放課後児童クラブ(学童保育)		n	%
1	検討する	11	34.4
2	検討しない	10	31.3
3	分からない	11	34.4
合計		32	100.0

3. 放課後子供教室(放課後の学校開放)		n	%
1	検討する	6	46.2
2	検討しない	5	38.5
3	分からない	2	15.4
合計		13	100.0

4. ファミリー・サポート・センター		n	%
1	検討する	31	40.3
2	検討しない	18	23.4
3	分からない	28	36.4
合計		77	100.0

5. プレイパーク(冒険遊び場)		n	%
1	検討する	1	11.1
2	検討しない	4	44.4
3	分からない	4	44.4
合計		9	100.0

6. 子どもの生活・学習支援事業(居場所づくり)		n	%
1	検討する	2	28.6
2	検討しない	3	42.9
3	分からない	2	28.6
合計		7	100.0

7. 子どもの学習支援事業		n	%
1	検討する	1	16.7
2	検討しない	3	50.0
3	分からない	2	33.3
合計		6	100.0

8. 放課後等デイサービス事業		n	%
1	検討する	3	25.0
2	検討しない	5	41.7
3	分からない	4	33.3
合計		12	100.0

9. 子ども食堂		n	%
1	検討する	1	20.0
2	検討しない	2	40.0
3	分からない	2	40.0
合計		5	100.0

Q33.前問で「1.検討する」を選んだサービスについてうかがいます。一か月あたりの利用料がいくらなら利用を検討しますか。

	n	平均値	標準偏差	最小値	最大値
1. 児童館・児童センター	4	1625.00	2358.50	0	5000
2. 放課後児童クラブ(学童保育)	11	2772.73	1888.96	0	5000
3. 放課後子供教室(放課後の学校開放)	6	1466.67	1089.34	0	2500
4. ファミリー・サポート・センター	31	2322.58	1947.43	0	7000
5. プレイパーク(冒険遊び場)	1	0.00			
6. 子どもの生活・学習支援事業(居場所づくり)	2	500.00	707.11	0	1000
7. 子どもの学習支援事業	1	0.00			
8. 放課後等デイサービス事業	3	833.33	1040.83	0	2000
9. 子ども食堂	1	100.00			

Q34. Q29で「2.利用意思はあるが利用していない(できない)」を選んだサービスについてうかがいます。サービスが利用できない理由はなんですか。(それぞれいくつでも)(複数回答)

1. 児童館・児童センター		n	%
1	定員に空きがないため	22	5.5
2	子どもがサービス対象の条件を満たさないため	60	15.1
3	住んでいる市区町村では実施していないため	68	17.1
4	世帯がサービス対象の条件を満たさないため	22	5.5
5	サービスの質の面がどの程度か未知数なため	30	7.6
6	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満があるため	18	4.5
7	土日祝日に利用できないため	26	6.5
8	夏休み等長期休暇中に利用できないため	9	2.3
9	短時間しか利用できないため	30	7.6
10	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い	22	5.5
11	サービス実施場所のスペースが狭いため	15	3.8
12	サービス実施場所までのアクセスが悪い	57	14.4
13	送迎等の追加サービスが無い・良くない	12	3.0
14	スタッフの質が良くなさそう	10	2.5
15	発達に支援が必要な子どもを受け入れていない	5	1.3
16	学校や保護者との情報交換などの連携に不安・不満を感じる	14	3.5
17	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良い可能性がある	22	5.5
18	その他	43	10.8
合計		397	100.0

3. 放課後子供教室(放課後の学校開放)		n	%
1	定員に空きがないため	19	6.1
2	子どもがサービス対象の条件を満たさないため	44	14.2
3	住んでいる市区町村では実施していない	121	39.2
4	世帯がサービス対象の条件を満たさない	15	4.9
5	サービスの質の面がどの程度か未知数	24	7.8
6	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満	9	2.9
7	土日祝日に利用できない	15	4.9
8	夏休み等長期休暇中に利用できない	8	2.6
9	短時間しか利用できない	10	3.2
10	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い	14	4.5
11	サービス実施場所のスペースが狭い	8	2.6
12	サービス実施場所までのアクセスが悪い	6	1.9
13	送迎等の追加サービスが無い・良くない	7	2.3
14	スタッフの質が良くなさそう	2	0.6
15	発達に支援が必要な子どもを受け入れていない	6	1.9
16	学校や保護者との情報交換などの連携に不安・不満を感じる	10	3.2
17	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良い可能性がある	8	2.6
18	その他	25	8.1
合計		309	100.0

5. プレイパーク(冒険遊び場)		n	%
1	定員に空きがないため	13	4.7
2	子どもがサービス対象の条件を満たさない	21	7.6
3	住んでいる市区町村では実施していない	139	50.0
4	世帯がサービス対象の条件を満たさない	4	1.4
5	サービスの質の面がどの程度か未知数	27	9.7
6	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満	4	1.4
7	土日祝日に利用できない	5	1.8
8	夏休み等長期休暇中に利用できない	3	1.1
9	短時間しか利用できない	8	2.9
10	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い	11	4.0
11	サービス実施場所のスペースが狭い	4	1.4
12	サービス実施場所までのアクセスが悪い	22	7.9
13	送迎等の追加サービスが無い・良くない	4	1.4
14	スタッフの質が良くなさそう	0	0.0
15	発達に支援が必要な子どもを受け入れていない	3	1.1
16	学校や保護者との情報交換などの連携に不安・不満を感じる	4	1.4
17	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良い可能性がある	14	5.0
18	その他	20	7.2
合計		278	100.0

7. 子どもの学習支援事業		n	%
1	定員に空きがないため	3	2.0
2	子どもがサービス対象の条件を満たさない	38	25.5
3	住んでいる市区町村では実施していない	40	26.8
4	世帯がサービス対象の条件を満たさない	17	11.4
5	サービスの質の面がどの程度か未知数	14	9.4
6	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満	5	3.4
7	土日祝日に利用できない	5	3.4
8	夏休み等長期休暇中に利用できない	5	3.4
9	短時間しか利用できない	4	2.7
10	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い	5	3.4
11	サービス実施場所のスペースが狭い	1	0.7
12	サービス実施場所までのアクセスが悪い	5	3.4
13	送迎等の追加サービスが無い・良くない	7	4.7
14	スタッフの質が良くなさそう	2	1.3
15	発達に支援が必要な子どもを受け入れていない	4	2.7
16	学校や保護者との情報交換などの連携に不安・不満を感じる	5	3.4
17	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良い可能性がある	11	7.4
18	その他	7	4.7
合計		149	100.0

9. 子ども食堂		n	%
1	定員に空きがないため	6	3.4
2	子どもがサービス対象の条件を満たさない	21	11.9
3	住んでいる市区町村では実施していない	79	44.9
4	世帯がサービス対象の条件を満たさない	15	8.5
5	サービスの質の面がどの程度か未知数	13	7.4
6	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満	4	2.3
7	土日祝日に利用できない	5	2.8
8	夏休み等長期休暇中に利用できない	2	1.1
9	短時間しか利用できない	6	3.4
10	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い	7	4.0
11	サービス実施場所のスペースが狭い	2	1.1
12	サービス実施場所までのアクセスが悪い	16	9.1
13	送迎等の追加サービスが無い・良くない	5	2.8
14	スタッフの質が良くなさそう	1	0.6
15	発達に支援が必要な子どもを受け入れていない	3	1.7
16	学校や保護者との情報交換などの連携に不安・不満を感じる	2	1.1
17	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良い可能性がある	6	3.4
18	その他	16	9.1
合計		176	100.0

2. 放課後児童クラブ(学童保育)		n	%
1	定員に空きがないため	37	13.2
2	子どもがサービス対象の条件を満たさない	85	30.2
3	住んでいる市区町村では実施していない	23	8.2
4	世帯がサービス対象の条件を満たさない	41	14.6
5	サービスの質の面がどの程度か未知数	19	6.8
6	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満	29	10.3
7	土日祝日に利用できない	11	3.9
8	夏休み等長期休暇中に利用できない	5	1.8
9	短時間しか利用できない	5	1.8
10	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い	9	3.2
11	サービス実施場所のスペースが狭い	7	2.5
12	サービス実施場所までのアクセスが悪い	9	3.2
13	送迎等の追加サービスが無い・良くない	5	1.8
14	スタッフの質が良くなさそう	2	0.7
15	発達に支援が必要な子どもを受け入れていない	3	1.1
16	学校や保護者との情報交換などの連携に不安・不満を感じる	8	2.8
17	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良い可能性がある	12	4.3
18	その他	22	7.8
合計		281	100.0

4. ファミリー・サポート・センター		n	%
1	定員に空きがないため	11	6.8
2	子どもがサービス対象の条件を満たさない	24	14.9
3	住んでいる市区町村では実施していない	20	12.4
4	世帯がサービス対象の条件を満たさない	13	8.1
5	サービスの質の面がどの程度か未知数	29	18.0
6	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満	30	18.6
7	土日祝日に利用できない	3	1.9
8	夏休み等長期休暇中に利用できない	1	0.6
9	短時間しか利用できない	7	4.3
10	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い	9	5.6
11	サービス実施場所のスペースが狭い	2	1.2
12	サービス実施場所までのアクセスが悪い	3	1.9
13	送迎等の追加サービスが無い・良くない	3	1.9
14	スタッフの質が良くなさそう	1	0.6
15	発達に支援が必要な子どもを受け入れていない	2	1.2
16	学校や保護者との情報交換などの連携に不安・不満を感じる	3	1.9
17	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良い可能性がある	6	3.7
18	その他	18	11.2
合計		161	100.0

6. 子どもの生活・学習支援事業(居場所づくり)		n	%
1	定員に空きがないため	6	4.4
2	子どもがサービス対象の条件を満たさない	26	19.1
3	住んでいる市区町村では実施していない	36	26.5
4	世帯がサービス対象の条件を満たさない	13	9.6
5	サービスの質の面がどの程度か未知数	15	11.0
6	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満	6	4.4
7	土日祝日に利用できない	4	2.9
8	夏休み等長期休暇中に利用できない	3	2.2
9	短時間しか利用できない	4	2.9
10	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い	5	3.7
11	サービス実施場所のスペースが狭い	3	2.2
12	サービス実施場所までのアクセスが悪い	9	6.6
13	送迎等の追加サービスが無い・良くない	5	3.7
14	スタッフの質が良くなさそう	0	0.0
15	発達に支援が必要な子どもを受け入れていない	2	1.5
16	学校や保護者との情報交換などの連携に不安・不満を感じる	3	2.2
17	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良い可能性がある	9	6.6
18	その他	9	6.6
合計		136	100.0

8. 放課後等デイサービス事業		n	%
1	定員に空きがないため	5	4.4
2	子どもがサービス対象の条件を満たさない	32	28.3
3	住んでいる市区町村では実施していない	19	16.8
4	世帯がサービス対象の条件を満たさない	10	8.8
5	サービスの質の面がどの程度か未知数	13	11.5
6	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満	7	6.2
7	土日祝日に利用できない	3	2.7
8	夏休み等長期休暇中に利用できない	5	4.4
9	短時間しか利用できない	5	4.4
10	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低い	5	4.4
11	サービス実施場所のスペースが狭い	1	0.9
12	サービス実施場所までのアクセスが悪い	3	2.7
13	送迎等の追加サービスが無い・良くない	1	0.9
14	スタッフの質が良くなさそう	1	0.9
15	発達に支援が必要な子どもを受け入れていない	1	0.9
16	学校や保護者との情報交換などの連携に不安・不満を感じる	3	2.7
17	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良い可能性がある	7	6.2
18	その他	13	11.5
合計		113	100.0

Q35. 前問で「6.利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満があるため」を選んだサービスについてうかがいます。一か月あたりの利用料はいくらが適正だと思いますか。(それぞれひとつずつ)(単一回答)

1. 児童館・児童センター		n	%
1	無料	5	27.8
2	1000円未満	5	27.8
3	1000円台	2	11.1
4	2000円台	1	5.6
5	3000円台	1	5.6
6	4000円台	1	5.6
7	5000円台	1	5.6
8	6000円台	0	0.0
9	7000円台	1	5.6
10	8000円台	1	5.6
11	9000円台	0	0.0
12	10000円以上	0	0.0
合計		18	100.0

2. 放課後児童クラブ(学童保育)		n	%
1	無料	9	31.0
2	1000円未満	1	3.4
3	1000円台	3	10.3
4	2000円台	3	10.3
5	3000円台	4	13.8
6	4000円台	1	3.4
7	5000円台	5	17.2
8	6000円台	1	3.4
9	7000円台	2	6.9
10	8000円台	0	0.0
11	9000円台	0	0.0
12	10000円以上	0	0.0
合計		29	100.0

3. 放課後子供教室(放課後の学校開放)		n	%
1	無料	6	66.7
2	1000円未満	0	0.0
3	1000円台	1	11.1
4	2000円台	1	11.1
5	3000円台	0	0.0
6	4000円台	1	11.1
7	5000円台	0	0.0
8	6000円台	0	0.0
9	7000円台	0	0.0
10	8000円台	0	0.0
11	9000円台	0	0.0
12	10000円以上	0	0.0
合計		9	100.0

4. ファミリー・サポート・センター		n	%
1	無料	7	23.3
2	1000円未満	10	33.3
3	1000円台	2	6.7
4	2000円台	2	6.7
5	3000円台	4	13.3
6	4000円台	1	3.3
7	5000円台	4	13.3
8	6000円台	0	0.0
9	7000円台	0	0.0
10	8000円台	0	0.0
11	9000円台	0	0.0
12	10000円以上	0	0.0
合計		30	100.0

5. プレイパーク(冒険遊び場)		n	%
1	無料	2	50.0
2	1000円未満	1	25.0
3	1000円台	0	0.0
4	2000円台	1	25.0
5	3000円台	0	0.0
6	4000円台	0	0.0
7	5000円台	0	0.0
8	6000円台	0	0.0
9	7000円台	0	0.0
10	8000円台	0	0.0
11	9000円台	0	0.0
12	10000円以上	0	0.0
合計		4	100.0

6. 子どもの生活・学習支援事業(居場所づくり)		n	%
1	無料	2	33.3
2	1000円未満	2	33.3
3	1000円台	1	16.7
4	2000円台	0	0.0
5	3000円台	0	0.0
6	4000円台	0	0.0
7	5000円台	1	16.7
8	6000円台	0	0.0
9	7000円台	0	0.0
10	8000円台	0	0.0
11	9000円台	0	0.0
12	10000円以上	0	0.0
合計		6	100.0

7. 子どもの学習支援事業		n	%
1	無料	2	40.0
2	1000円未満	2	40.0
3	1000円台	0	0.0
4	2000円台	0	0.0
5	3000円台	1	20.0
6	4000円台	0	0.0
7	5000円台	0	0.0
8	6000円台	0	0.0
9	7000円台	0	0.0
10	8000円台	0	0.0
11	9000円台	0	0.0
12	10000円以上	0	0.0
合計		5	100.0

8. 放課後等デイサービス事業		n	%
1	無料	2	28.6
2	1000円未満	1	14.3
3	1000円台	1	14.3
4	2000円台	0	0.0
5	3000円台	2	28.6
6	4000円台	1	14.3
7	5000円台	0	0.0
8	6000円台	0	0.0
9	7000円台	0	0.0
10	8000円台	0	0.0
11	9000円台	0	0.0
12	10000円以上	0	0.0
合計		7	100.0

9. 子ども食堂		n	%
1	無料	1	25.0
2	1000円未満	2	50.0
3	1000円台	1	25.0
4	2000円台	0	0.0
5	3000円台	0	0.0
6	4000円台	0	0.0
7	5000円台	0	0.0
8	6000円台	0	0.0
9	7000円台	0	0.0
10	8000円台	0	0.0
11	9000円台	0	0.0
12	10000円以上	0	0.0
合計		4	100.0

Q36. Q34で「6.利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満があるため」を選んだサービスについてうかがいます。(単一回答)

1. 児童館・児童センター		n	%
1	検討する	11	61.1
2	検討しない	2	11.1
3	分からない	5	27.8
合計		18	100.0

2. 放課後児童クラブ(学童保育)		n	%
1	検討する	21	72.4
2	検討しない	2	6.9
3	分からない	6	20.7
合計		29	100.0

3. 放課後子供教室(放課後の学校開放)		n	%
1	検討する	8	88.9
2	検討しない	0	0.0
3	分からない	1	11.1
合計		9	100.0

4. ファミリー・サポート・センター		n	%
1	検討する	18	60.0
2	検討しない	6	20.0
3	分からない	6	20.0
合計		30	100.0

5. プレイパーク(冒険遊び場)		n	%
1	検討する	4	100.0
2	検討しない	0	0.0
3	分からない	0	0.0
合計		4	100.0

6. 子どもの生活・学習支援事業(居場所づくり)		n	%
1	検討する	4	66.7
2	検討しない	1	16.7
3	分からない	1	16.7
合計		6	100.0

7. 子どもの学習支援事業		n	%
1	検討する	2	40.0
2	検討しない	2	40.0
3	分からない	1	20.0
合計		5	100.0

8. 放課後等デイサービス事業		n	%
1	検討する	6	85.7
2	検討しない	0	0.0
3	分からない	1	14.3
合計		7	100.0

9. 子ども食堂		n	%
1	検討する	2	50.0
2	検討しない	1	25.0
3	分からない	1	25.0
合計		4	100.0

Q37. 前問で「1.検討する」を選んだサービスについてうかがいます。一か月あたりの利用料がいくらなら利用を検討しますか。

	n	平均値	標準偏差	最小値	最大値
1. 児童館・児童センター	11	1590.91	1513.57	0	5000
2. 放課後児童クラブ(学童保育)	21	2685.71	2053.36	0	8000
3. 放課後子供教室(放課後の学校開放)	8	1375.00	1505.94	0	4000
4. ファミリー・サポート・センター	18	2477.78	1944.09	0	5500
5. プレイパーク(冒険遊び場)	4	750.00	645.50	0	1500
6. 子どもの生活・学習支援事業(居場所づくり)	4	5500.00	9712.53	0	20000
7. 子どもの学習支援事業	2	500.00	707.11	0	1000
8. 放課後等デイサービス事業	6	1500.00	1378.40	0	3000
9. 子ども食堂	2	1500.00	707.11	1000	2000

Q38. Q29で「3.以前は利用していたがやめた」を選んだサービスについてうかがいます。利用をやめた理由は何ですか。(それぞれいくつでも)(複数回答)

1. 児童館・児童センター			
	n	%	
1	子どもが行きたくないと言ったため	59	45.4
2	定員の空きがなくなったため	4	3.1
3	子どもがサービス対象の条件から外れたため	12	9.2
4	世帯がサービス対象の条件から外れたため	7	5.4
5	習い事をはじめた等、他に子どもの面倒を見てくれる当てが出来たため	21	16.2
6	サービスの質の面で不安・不満があったため	7	5.4
7	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満があったため	0	0.0
8	勉強を見てもらえなかったため	0	0.0
9	土日祝日に利用できなかったため	2	1.5
10	夏休み等長期休暇中に利用できなかったため	1	0.8
11	短時間しか利用できなかったため	4	3.1
12	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低かったため	1	0.8
13	サービス実施場所のスペースが狭かったため	2	1.5
14	サービス実施場所までのアクセスが悪かったため	10	7.7
15	送迎等の追加サービスが無かった・良くなかったため	1	0.8
16	スタッフの質が悪くなかったため	7	5.4
17	発達に支援が必要な子どもを受け入れていなかったため	1	0.8
18	学校や保護者との情報交換などの連携に不安・不満を感じたため	2	1.5
19	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じたため	5	3.8
20	その他	11	8.5
合計		130	100.0

2. 放課後児童クラブ(学童保育)			
	n	%	
1	子どもが行きたくないと言ったため	60	37.3
2	定員の空きがなくなったため	6	3.7
3	子どもがサービス対象の条件から外れたため	29	18.0
4	世帯がサービス対象の条件から外れたため	15	9.3
5	習い事をはじめた等、他に子どもの面倒を見てくれる当てが出来たため	24	14.9
6	サービスの質の面で不安・不満があったため	10	6.2
7	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満があったため	19	11.8
8	勉強を見てもらえなかったため	3	1.9
9	土日祝日に利用できなかったため	1	0.6
10	夏休み等長期休暇中に利用できなかったため	5	3.1
11	短時間しか利用できなかったため	3	1.9
12	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低かったため	2	1.2
13	サービス実施場所のスペースが狭かったため	3	1.9
14	サービス実施場所までのアクセスが悪かったため	0	0.0
15	送迎等の追加サービスが無かった・良くなかったため	2	1.2
16	スタッフの質が悪くなかったため	12	7.5
17	発達に支援が必要な子どもを受け入れていなかったため	1	0.6
18	学校や保護者との情報交換などの連携に不安・不満を感じたため	5	3.1
19	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じたため	6	3.7
20	その他	19	11.8
合計		161	100.0

3. 放課後子供教室(放課後の学校開放)			
	n	%	
1	子どもが行きたくないと言ったため	27	48.2
2	定員の空きがなくなったため	2	3.6
3	子どもがサービス対象の条件から外れたため	6	10.7
4	世帯がサービス対象の条件から外れたため	1	1.8
5	習い事をはじめた等、他に子どもの面倒を見てくれる当てが出来たため	12	21.4
6	サービスの質の面で不安・不満があったため	2	3.6
7	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満があったため	1	1.8
8	勉強を見てもらえなかったため	0	0.0
9	土日祝日に利用できなかったため	1	1.8
10	夏休み等長期休暇中に利用できなかったため	0	0.0
11	短時間しか利用できなかったため	0	0.0
12	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低かったため	2	3.6
13	サービス実施場所のスペースが狭かったため	0	0.0
14	サービス実施場所までのアクセスが悪かったため	2	3.6
15	送迎等の追加サービスが無かった・良くなかったため	0	0.0
16	スタッフの質が悪くなかったため	0	0.0
17	発達に支援が必要な子どもを受け入れていなかったため	1	1.8
18	学校や保護者との情報交換などの連携に不安・不満を感じたため	3	5.4
19	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じたため	9	16.1
20	その他	1	1.8
合計		56	100.0

4. ファミリー・サポート・センター			
	n	%	
1	子どもが行きたくないと言ったため	5	12.8
2	定員の空きがなくなったため	2	5.1
3	子どもがサービス対象の条件から外れたため	7	17.9
4	世帯がサービス対象の条件から外れたため	4	10.3
5	習い事をはじめた等、他に子どもの面倒を見てくれる当てが出来たため	5	12.8
6	サービスの質の面で不安・不満があったため	2	5.1
7	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満があったため	6	15.4
8	勉強を見てもらえなかったため	2	5.1
9	土日祝日に利用できなかったため	3	7.7
10	夏休み等長期休暇中に利用できなかったため	1	2.6
11	短時間しか利用できなかったため	2	5.1
12	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低かったため	3	7.7
13	サービス実施場所のスペースが狭かったため	2	5.1
14	サービス実施場所までのアクセスが悪かったため	2	5.1
15	送迎等の追加サービスが無かった・良くなかったため	0	0.0
16	スタッフの質が悪くなかったため	0	0.0
17	発達に支援が必要な子どもを受け入れていなかったため	1	2.6
18	学校や保護者との情報交換などの連携に不安・不満を感じたため	1	2.6
19	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じたため	3	7.7
20	その他	3	7.7
合計		39	100.0

5. プレイパーク(冒険遊び場)			
	n	%	
1	子どもが行きたくないと言ったため	7	21.9
2	定員の空きがなくなったため	2	6.3
3	子どもがサービス対象の条件から外れたため	4	12.5
4	世帯がサービス対象の条件から外れたため	3	9.4
5	習い事をはじめた等、他に子どもの面倒を見てくれる当てが出来たため	6	18.8
6	サービスの質の面で不安・不満があったため	3	9.4
7	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満があったため	3	9.4
8	勉強を見てもらえなかったため	2	6.3
9	土日祝日に利用できなかったため	2	6.3
10	夏休み等長期休暇中に利用できなかったため	0	0.0
11	短時間しか利用できなかったため	2	6.3
12	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低かったため	1	3.1
13	サービス実施場所のスペースが狭かったため	0	0.0
14	サービス実施場所までのアクセスが悪かったため	2	6.3
15	送迎等の追加サービスが無かった・良くなかったため	2	6.3
16	スタッフの質が悪くなかったため	2	6.3
17	発達に支援が必要な子どもを受け入れていなかったため	0	0.0
18	学校や保護者との情報交換などの連携に不安・不満を感じたため	1	3.1
19	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じたため	3	9.4
20	その他	3	9.4
合計		32	100.0

6. 子どもの生活・学習支援事業(居場所づくり)			
	n	%	
1	子どもが行きたくないと言ったため	4	20.0
2	定員の空きがなくなったため	1	5.0
3	子どもがサービス対象の条件から外れたため	7	35.0
4	世帯がサービス対象の条件から外れたため	1	5.0
5	習い事をはじめた等、他に子どもの面倒を見てくれる当てが出来たため	0	0.0
6	サービスの質の面で不安・不満があったため	2	10.0
7	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満があったため	3	15.0
8	勉強を見てもらえなかったため	0	0.0
9	土日祝日に利用できなかったため	0	0.0
10	夏休み等長期休暇中に利用できなかったため	1	5.0
11	短時間しか利用できなかったため	1	5.0
12	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低かったため	1	5.0
13	サービス実施場所のスペースが狭かったため	1	5.0
14	サービス実施場所までのアクセスが悪かったため	3	15.0
15	送迎等の追加サービスが無かった・良くなかったため	0	0.0
16	スタッフの質が悪くなかったため	1	5.0
17	発達に支援が必要な子どもを受け入れていなかったため	0	0.0
18	学校や保護者との情報交換などの連携に不安・不満を感じたため	0	0.0
19	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じたため	3	15.0
20	その他	0	0.0
合計		20	100.0

7. 子どもの学習支援事業			
	n	%	
1	子どもが行きたくないと言ったため	3	20.0
2	定員の空きがなくなったため	3	20.0
3	子どもがサービス対象の条件から外れたため	2	13.3
4	世帯がサービス対象の条件から外れたため	0	0.0
5	習い事をはじめた等、他に子どもの面倒を見てくれる当てが出来たため	5	33.3
6	サービスの質の面で不安・不満があったため	2	13.3
7	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満があったため	2	13.3
8	勉強を見てもらえなかったため	1	6.7
9	土日祝日に利用できなかったため	0	0.0
10	夏休み等長期休暇中に利用できなかったため	1	6.7
11	短時間しか利用できなかったため	1	6.7
12	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低かったため	0	0.0
13	サービス実施場所のスペースが狭かったため	0	0.0
14	サービス実施場所までのアクセスが悪かったため	1	6.7
15	送迎等の追加サービスが無かった・良くなかったため	1	6.7
16	スタッフの質が悪くなかったため	2	13.3
17	発達に支援が必要な子どもを受け入れていなかったため	0	0.0
18	学校や保護者との情報交換などの連携に不安・不満を感じたため	1	6.7
19	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じたため	3	20.0
20	その他	0	0.0
合計		15	100.0

8. 放課後等デイサービス事業			
	n	%	
1	子どもが行きたくないと言ったため	2	8.7
2	定員の空きがなくなったため	3	13.0
3	子どもがサービス対象の条件から外れたため	1	4.3
4	世帯がサービス対象の条件から外れたため	4	17.4
5	習い事をはじめた等、他に子どもの面倒を見てくれる当てが出来たため	4	17.4
6	サービスの質の面で不安・不満があったため	1	4.3
7	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満があったため	2	8.7
8	勉強を見てもらえなかったため	0	0.0
9	土日祝日に利用できなかったため	3	13.0
10	夏休み等長期休暇中に利用できなかったため	0	0.0
11	短時間しか利用できなかったため	0	0.0
12	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低かったため	0	0.0
13	サービス実施場所のスペースが狭かったため	1	4.3
14	サービス実施場所までのアクセスが悪かったため	0	0.0
15	送迎等の追加サービスが無かった・良くなかったため	0	0.0
16	スタッフの質が悪くなかったため	0	0.0
17	発達に支援が必要な子どもを受け入れていなかったため	1	4.3
18	学校や保護者との情報交換などの連携に不安・不満を感じたため	0	0.0
19	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じたため	3	13.0
20	その他	2	8.7
合計		23	100.0

9. 子ども食堂			
	n	%	
1	子どもが行きたくないと言ったため	5	19.2
2	定員の空きがなくなったため	2	7.7
3	子どもがサービス対象の条件から外れたため	3	11.5
4	世帯がサービス対象の条件から外れたため	1	3.8
5	習い事をはじめた等、他に子どもの面倒を見てくれる当てが出来たため	2	7.7
6	サービスの質の面で不安・不満があったため	2	7.7
7	利用料が高い・減免制度が無い等、料金面で不満があったため	1	3.8
8	勉強を見てもらえなかったため	0	0.0
9	土日祝日に利用できなかったため	1	3.8
10	夏休み等長期休暇中に利用できなかったため	1	3.8
11	短時間しか利用できなかったため	0	0.0
12	利用可能な日数や利用可能な時間の自由度が低かったため	2	7.7
13	サービス実施場所のスペースが狭かったため	0	0.0
14	サービス実施場所までのアクセスが悪かったため	0	0.0
15	送迎等の追加サービスが無かった・良くなかったため	0	0.0
16	スタッフの質が悪くなかったため	0	0.0
17	発達に支援が必要な子どもを受け入れていなかったため	1	3.8
18	学校や保護者との情報交換などの連携に不安・不満を感じたため	1	3.8
19	住んでいる市区町村に代替となるサービスがあり、そちらの方が良いと感じたため	2	7.7
20	その他	5	19.2
合計		26	100.0

Q39.前問で挙げた点が改善されたら、利用を再開する可能性はありますか。(それぞれひとつずつ)(単一回答)

1. 児童館・児童センター		n	%
1	ある	42	32.3
2	ない	44	33.8
3	わからない	44	33.8
合計		130	100.0

2. 放課後児童クラブ(学童保育)		n	%
1	ある	31	19.3
2	ない	95	59.0
3	わからない	35	21.7
合計		161	100.0

3. 放課後子供教室(放課後の学校開放)		n	%
1	ある	19	33.9
2	ない	15	26.8
3	わからない	22	39.3
合計		56	100.0

4. ファミリー・サポート・センター		n	%
1	ある	11	28.2
2	ない	18	46.2
3	わからない	10	25.6
合計		39	100.0

5. プレイパーク(冒険遊び場)		n	%
1	ある	14	43.8
2	ない	12	37.5
3	わからない	6	18.8
合計		32	100.0

6. 子どもの生活・学習支援事業(居場所づくり)		n	%
1	ある	6	30.0
2	ない	4	20.0
3	わからない	10	50.0
合計		20	100.0

7. 子どもの学習支援事業		n	%
1	ある	5	33.3
2	ない	6	40.0
3	わからない	4	26.7
合計		15	100.0

8. 放課後等デイサービス事業		n	%
1	ある	6	26.1
2	ない	9	39.1
3	わからない	8	34.8
合計		23	100.0

9. 子ども食堂		n	%
1	ある	9	34.6
2	ない	8	30.8
3	わからない	9	34.6
合計		26	100.0

6.3.2 市区町村向けアンケート調査

(次ページ以降を参照)

(1)各事業を実施していますか。(単一回答)

①放課後児童健全育成事業

②放課後子供教室

③ファミリー・サポート・センター

④プレイパーク

⑤子供の生活・学習支援事業

⑥子どもの学習支援事業

⑦放課後等デイサービス事業

(2)-1. 各事業の登録児童数は何人ですか。

①放課後児童健全育成事業

②放課後子供教室

③ファミリー・サポート・センター

④プレイパーク

⑤子供の生活・学習支援事業

⑥子どもの学習支援事業

⑦放課後等デイサービス事業

(2)-2. 各事業の対象範囲はどれくらいですか。(単一回答)

①放課後児童健全育成事業

②放課後子供教室

③ファミリー・サポート・センター

④プレイパーク

⑤子供の生活・学習支援事業

⑥子どもの学習支援事業

⑦放課後等デイサービス事業

(2)-3. 各事業では、発達に支援が必要な子どもを受け入れていますか。(単一回答)

①放課後児童健全育成事業

②放課後子供教室

③ファミリー・サポート・センター

④プレイパーク

⑤子供の生活・学習支援事業

⑥子どもの学習支援事業

⑦放課後等デイサービス事業

(3) - 1. 各事業の平成29年度の予算額はいくらですか。

	n	平均値	標準偏差	最小値	最大値
①放課後児童健全育成事業	579	163,639,421.98	357,665,985.29	1,236,000	3,360,543,000
②放課後子供教室	368	21,236,771.14	117,996,824.25	1,437	1,977,094,993
③ファミリー・サポート・センター	344	6,045,824.70	11,921,026.52	8,000	187,641,000
④プレイパーク	31	5,957,734.97	8,784,067.64	30,000	35,000,000
⑤子供の生活・学習支援事業	43	10,676,807.37	20,527,993.57	33,300	90,759,000
⑥子どもの学習支援事業	166	12,330,445.13	39,311,494.46	10,000	406,348,000
⑦放課後等デイサービス事業	189	343,867,659.77	956,893,348.82	122,850	10,228,885,000

(3) - 2. 各事業の平成29年度の決算額はいくらですか。

	n	平均値	標準偏差	最小値	最大値
①放課後児童健全育成事業	582	154,065,855.24	337,670,200.50	1,179,662	3,312,574,110
②放課後子供教室	365	20,015,227.13	116,326,902.31	1,437	1,977,094,993
③ファミリー・サポート・センター	341	5,859,852.43	11,762,077.07	7,363	185,467,627
④プレイパーク	32	5,612,980.81	8,669,791.47	30,000	35,183,000
⑤子供の生活・学習支援事業	43	9,806,137.51	19,808,444.75	51,153	81,783,520
⑥子どもの学習支援事業	164	11,547,728.30	37,310,187.03	10,000	391,052,290
⑦放課後等デイサービス事業	201	344,446,536.11	939,145,130.41	129,000	10,422,618,349

(4) - 1. 各事業の事業箇所数はいくつですか。

	n	平均値	標準偏差	最小値	最大値
①放課後児童健全育成事業	605	16.61	30.26	1	290
②放課後子供教室	377	10.37	21.50	1	261
③ファミリー・サポート・センター	338	5.96	46.92	1	587
④プレイパーク	36	3.61	5.27	1	24
⑤子供の生活・学習支援事業	47	3.23	3.98	1	23
⑥子どもの学習支援事業	191	6.17	17.70	1	163
⑦放課後等デイサービス事業	215	17.36	40.46	1	408

(4) - 2. 各事業を行う部屋の総面積はどれくらいですか。

	n	平均値	標準偏差	最小値	最大値
①放課後児童健全育成事業	511	14,555.03	143,855.05	17	1,818,578
②放課後子供教室	172	7,979.65	52,226.22	22	538,525
⑤子供の生活・学習支援事業	28	353.16	673.72	25	3,432
⑥子どもの学習支援事業	111	314.98	526.90	17	3,390
⑦放課後等デイサービス事業	52	16,290.66	114,682.89	2	827,369

(5) - 1. 各事業の一月あたりの利用料はいくらですか。(単一回答)

①放課後児童健全育成事業	n	%
1. 無料	58	9.5
2. 1,000円未満	11	1.8
3. 1,000円～2,000円未満	17	2.8
4. 2,000円～3,000円未満	34	5.6
5. 3,000円～4,000円未満	71	11.6
6. 4,000円～5,000円未満	69	11.3
7. 5,000円～6,000円未満	97	15.9
8. 6,000円～7,000円未満	63	10.3
9. 7,000円～8,000円未満	48	7.9
10. 8,000円～9,000円未満	37	6.1
11. 9,000円～10,000円未満	15	2.5
12. 10,000円以上	43	7.0
無回答・無効回答	47	7.7
合計	610	100.0

②放課後子供教室	n	%
1. 無料	324	82.9
2. 1,000円未満	46	11.8
3. 1,000円～2,000円未満	4	1.0
4. 2,000円～3,000円未満	7	1.8
5. 3,000円～4,000円未満	2	0.5
6. 4,000円～5,000円未満	1	0.3
7. 5,000円～6,000円未満	0	0.0
8. 6,000円～7,000円未満	0	0.0
9. 7,000円～8,000円未満	0	0.0
10. 8,000円～9,000円未満	0	0.0
11. 9,000円～10,000円未満	0	0.0
12. 10,000円以上	0	0.0
無回答・無効回答	7	1.8
合計	391	100.0

③ファミリー・サポート・センター	n	%
1. 無料	1	0.3
2. 1,000円未満	278	74.5
3. 1,000円～2,000円未満	30	8.0
4. 2,000円～3,000円未満	7	1.9
5. 3,000円～4,000円未満	2	0.5
6. 4,000円～5,000円未満	0	0.0
7. 5,000円～6,000円未満	0	0.0
8. 6,000円～7,000円未満	0	0.0
9. 7,000円～8,000円未満	0	0.0
10. 8,000円～9,000円未満	2	0.5
11. 9,000円～10,000円未満	0	0.0
12. 10,000円以上	1	0.3
無回答・無効回答	52	13.9
合計	373	100.0

④プレイパーク	n	%
1. 無料	36	92.3
2. 1,000円未満	2	5.1
3. 1,000円～2,000円未満	0	0.0
4. 2,000円～3,000円未満	0	0.0
5. 3,000円～4,000円未満	0	0.0
6. 4,000円～5,000円未満	0	0.0
7. 5,000円～6,000円未満	0	0.0
8. 6,000円～7,000円未満	0	0.0
9. 7,000円～8,000円未満	0	0.0
10. 8,000円～9,000円未満	0	0.0
11. 9,000円～10,000円未満	0	0.0
12. 10,000円以上	0	0.0
無回答・無効回答	1	2.6
合計	39	100.0

⑤子供の生活・学習支援事業	n	%
1. 無料	45	84.9
2. 1,000円未満	2	3.8
3. 1,000円～2,000円未満	0	0.0
4. 2,000円～3,000円未満	0	0.0
5. 3,000円～4,000円未満	0	0.0
6. 4,000円～5,000円未満	0	0.0
7. 5,000円～6,000円未満	1	1.9
8. 6,000円～7,000円未満	0	0.0
9. 7,000円～8,000円未満	0	0.0
10. 8,000円～9,000円未満	0	0.0
11. 9,000円～10,000円未満	0	0.0
12. 10,000円以上	0	0.0
無回答・無効回答	5	9.4
合計	53	100.0

⑥子どもの学習支援事業	n	%
1. 無料	189	87.5
2. 1,000円未満	1	0.5
3. 1,000円～2,000円未満	2	0.9
4. 2,000円～3,000円未満	0	0.0
5. 3,000円～4,000円未満	1	0.5
6. 4,000円～5,000円未満	0	0.0
7. 5,000円～6,000円未満	0	0.0
8. 6,000円～7,000円未満	0	0.0
9. 7,000円～8,000円未満	0	0.0
10. 8,000円～9,000円未満	0	0.0
11. 9,000円～10,000円未満	0	0.0
12. 10,000円以上	0	0.0
無回答・無効回答	23	10.6
合計	216	100.0

⑦放課後等デイサービス事業	n	%
1. 無料	10	4.0
2. 1,000円未満	10	4.0
3. 1,000円～2,000円未満	4	1.6
4. 2,000円～3,000円未満	1	0.4
5. 3,000円～4,000円未満	2	0.8
6. 4,000円～5,000円未満	77	30.6
7. 5,000円～6,000円未満	0	0.0
8. 6,000円～7,000円未満	1	0.4
9. 7,000円～8,000円未満	0	0.0
10. 8,000円～9,000円未満	3	1.2
11. 9,000円～10,000円未満	1	0.4
12. 10,000円以上	12	4.8
無回答・無効回答	131	52.0
合計	252	100.0

(5) - 2. 各事業では、おやつ代等を利用料とは別に徴収していますか。(単一回答)

①放課後児童健全育成事業	n	%
1. 利用料とは別に徴収している	315	51.6
2. 利用料に含めている	169	27.7
3. 利用料以外に利用者から費用を徴収することはない	98	16.1
無回答・無効回答	28	4.6
合計	610	100.0

②放課後子供教室	n	%
1. 利用料とは別に徴収している	108	27.6
2. 利用料に含めている	10	2.6
3. 利用料以外に利用者から費用を徴収することはない	200	51.2
無回答・無効回答	73	18.7
合計	391	100.0

③ファミリー・サポート・センター	n	%
1. 利用料とは別に徴収している	215	57.6
2. 利用料に含めている	3	0.8
3. 利用料以外に利用者から費用を徴収することはない	125	33.5
無回答・無効回答	30	8.0
合計	373	100.0

④プレイパーク	n	%
1. 利用料とは別に徴収している	2	5.1
2. 利用料に含めている	2	5.1
3. 利用料以外に利用者から費用を徴収することはない	26	66.7
無回答・無効回答	9	23.1
合計	39	100.0

⑤子供の生活・学習支援事業	n	%
1. 利用料とは別に徴収している	7	13.2
2. 利用料に含めている	0	0.0
3. 利用料以外に利用者から費用を徴収することはない	39	73.6
無回答・無効回答	7	13.2
合計	53	100.0

⑥子どもの学習支援事業	n	%
1. 利用料とは別に徴収している	10	4.6
2. 利用料に含めている	0	0.0
3. 利用料以外に利用者から費用を徴収することはない	143	66.2
無回答・無効回答	63	29.2
合計	216	100.0

⑦放課後等デイサービス事業	n	%
1. 利用料とは別に徴収している	142	56.3
2. 利用料に含めている	5	2.0
3. 利用料以外に利用者から費用を徴収することはない	41	16.3
無回答・無効回答	64	25.4
合計	252	100.0

(5)－3. (5)－2で「1.利用料とは別に徴収している」を選んだ事業についてうかがいます。

徴収している金額は月額いくらですか。(単一回答)

①放課後児童健全育成事業	n	%
1 1. 1,000円未満	62	10.2
2 2. 1,000円～2,000円未満	145	23.8
3 3. 2,000円～3,000円未満	87	14.3
4 4. 3,000円～4,000円未満	13	2.1
5 5. 4,000円～5,000円未満	0	0.0
6 6. 5,000円以上	1	0.2
無回答・無効回答	302	49.5
合計	610	100.0

②放課後子供教室	n	%
1 1. 1,000円未満	99	25.3
2 2. 1,000円～2,000円未満	5	1.3
3 3. 2,000円～3,000円未満	2	0.5
4 4. 3,000円～4,000円未満	0	0.0
5 5. 4,000円～5,000円未満	0	0.0
6 6. 5,000円以上	0	0.0
無回答・無効回答	285	72.9
合計	391	100.0

③ファミリー・サポート・センター	n	%
1 1. 1,000円未満	166	44.5
2 2. 1,000円～2,000円未満	1	0.3
3 3. 2,000円～3,000円未満	0	0.0
4 4. 3,000円～4,000円未満	0	0.0
5 5. 4,000円～5,000円未満	0	0.0
6 6. 5,000円以上	0	0.0
無回答・無効回答	206	55.2
合計	373	100.0

④プレイパーク	n	%
1 1. 1,000円未満	2	5.1
2 2. 1,000円～2,000円未満	0	0.0
3 3. 2,000円～3,000円未満	0	0.0
4 4. 3,000円～4,000円未満	0	0.0
5 5. 4,000円～5,000円未満	0	0.0
6 6. 5,000円以上	0	0.0
無回答・無効回答	37	94.9
合計	39	100.0

⑤子供の生活・学習支援事業	n	%
1 1. 1,000円未満	6	11.3
2 2. 1,000円～2,000円未満	0	0.0
3 3. 2,000円～3,000円未満	0	0.0
4 4. 3,000円～4,000円未満	0	0.0
5 5. 4,000円～5,000円未満	0	0.0
6 6. 5,000円以上	0	0.0
無回答・無効回答	47	88.7
合計	53	100.0

⑥子どもの学習支援事業	n	%
1 1. 1,000円未満	9	4.2
2 2. 1,000円～2,000円未満	0	0.0
3 3. 2,000円～3,000円未満	0	0.0
4 4. 3,000円～4,000円未満	0	0.0
5 5. 4,000円～5,000円未満	0	0.0
6 6. 5,000円以上	0	0.0
無回答・無効回答	207	95.8
合計	216	100.0

⑦放課後等デイサービス事業	n	%
1 1. 1,000円未満	47	18.7
2 2. 1,000円～2,000円未満	16	6.3
3 3. 2,000円～3,000円未満	5	2.0
4 4. 3,000円～4,000円未満	1	0.4
5 5. 4,000円～5,000円未満	1	0.4
6 6. 5,000円以上	1	0.4
無回答・無効回答	181	71.8
合計	252	100.0

(5)－4. 各事業では、利用料の減免制度はありますか。(複数回答)

①放課後児童健全育成事業	n	%
1 1. 二人目以降の子どもは減免となる	270	44.3
2 2. 特定の学年の子どもは減免となる	24	3.9
3 3. 世帯の収入に応じて減免となる	237	38.9
4 4. 生活保護世帯は減免となる	378	62.0
5 5. 減免制度は特に設けられていない	120	19.7
合計	610	100

②放課後子供教室	n	%
1 1. 二人目以降の子どもは減免となる	5	1.3
2 2. 特定の学年の子どもは減免となる	0	0.0
3 3. 世帯の収入に応じて減免となる	6	1.5
4 4. 生活保護世帯は減免となる	10	2.6
5 5. 減免制度は特に設けられていない	294	75.2
合計	391	100

③ファミリー・サポート・センター	n	%
1 1. 二人目以降の子どもは減免となる	186	49.9
2 2. 特定の学年の子どもは減免となる	0	0.0
3 3. 世帯の収入に応じて減免となる	25	6.7
4 4. 生活保護世帯は減免となる	31	8.3
5 5. 減免制度は特に設けられていない	149	39.9
合計	373	100

④プレイパーク	n	%
1 1. 二人目以降の子どもは減免となる	0	0.0
2 2. 特定の学年の子どもは減免となる	0	0.0
3 3. 世帯の収入に応じて減免となる	0	0.0
4 4. 生活保護世帯は減免となる	0	0.0
5 5. 減免制度は特に設けられていない	25	64.1
合計	39	100

⑤子供の生活・学習支援事業	n	%
1 1. 二人目以降の子どもは減免となる	0	0.0
2 2. 特定の学年の子どもは減免となる	0	0.0
3 3. 世帯の収入に応じて減免となる	0	0.0
4 4. 生活保護世帯は減免となる	0	0.0
5 5. 減免制度は特に設けられていない	38	71.7
合計	53	100

⑥子どもの学習支援事業	n	%
1 1. 二人目以降の子どもは減免となる	1	0.5
2 2. 特定の学年の子どもは減免となる	1	0.5
3 3. 世帯の収入に応じて減免となる	1	0.5
4 4. 生活保護世帯は減免となる	5	2.3
5 5. 減免制度は特に設けられていない	140	64.8
合計	216	100

⑦放課後等デイサービス事業	n	%
1 1. 二人目以降の子どもは減免となる	80	31.7
2 2. 特定の学年の子どもは減免となる	1	0.4
3 3. 世帯の収入に応じて減免となる	174	69.0
4 4. 生活保護世帯は減免となる	143	56.7
5 5. 減免制度は特に設けられていない	25	9.9
合計	252	100

(6)－1. 各事業の利用可能な曜日はいつですか。(複数回答)

①放課後児童健全育成事業	n	%
1 1. 月曜日	607	99.5
2 2. 火曜日	608	99.7
3 3. 水曜日	608	99.7
4 4. 木曜日	608	99.7
5 5. 金曜日	608	99.7
6 6. 土曜日	552	90.5
7 7. 日曜日	12	2.0
8 8. 曜日は決まっていない	0	0.0
合計	610	100

②放課後子供教室	n	%
1 1. 月曜日	204	52.2
2 2. 火曜日	195	49.9
3 3. 水曜日	230	58.8
4 4. 木曜日	206	52.7
5 5. 金曜日	202	51.7
6 6. 土曜日	106	27.1
7 7. 日曜日	31	7.9
8 8. 曜日は決まっていない	89	22.8
合計	391	100

③ファミリー・サポート・センター	n	%
1 1. 月曜日	191	51.2
2 2. 火曜日	192	51.5
3 3. 水曜日	193	51.7
4 4. 木曜日	193	51.7
5 5. 金曜日	194	52.0
6 6. 土曜日	177	47.5
7 7. 日曜日	162	43.4
8 8. 曜日は決まっていない	175	46.9
合計	373	100

④プレイパーク	n	%
1 1. 月曜日	8	20.5
2 2. 火曜日	7	17.9
3 3. 水曜日	7	17.9
4 4. 木曜日	11	28.2
5 5. 金曜日	12	30.8
6 6. 土曜日	22	56.4
7 7. 日曜日	14	35.9
8 8. 曜日は決まっていない	12	30.8
合計	39	100

⑤子供の生活・学習支援事業	n	%
1 1. 月曜日	18	34.0
2 2. 火曜日	23	43.4
3 3. 水曜日	18	34.0
4 4. 木曜日	21	39.6
5 5. 金曜日	18	34.0
6 6. 土曜日	19	35.8
7 7. 日曜日	2	3.8
8 8. 曜日は決まっていない	5	9.4
合計	53	100

⑥子どもの学習支援事業	n	%
1 1. 月曜日	63	29.2
2 2. 火曜日	69	31.9
3 3. 水曜日	77	35.6
4 4. 木曜日	73	33.8
5 5. 金曜日	66	30.6
6 6. 土曜日	59	27.3
7 7. 日曜日	17	7.9
8 8. 曜日は決まっていない	35	16.2
合計	216	100

⑦放課後等デイサービス事業	n	%
1 1. 月曜日	162	64.3
2 2. 火曜日	158	62.7
3 3. 水曜日	163	64.7
4 4. 木曜日	159	63.1
5 5. 金曜日	161	63.9
6 6. 土曜日	128	50.8
7 7. 日曜日	36	14.3
8 8. 曜日は決まっていない	47	18.7
合計	252	100

(6)－2. 各事業の利用可能な期間はいつですか。(単一回答)

①放課後児童健全育成事業	n	%
1 1. 夏休みなどの長期休みの期間を除く	3	0.5
2 2. 夏休みなどの長期休みのときのみ	2	0.3
3 3. 一年中(年末年始など特定日を除く)	595	97.5
4 4. その他	6	1.0
無回答・無効回答	4	0.7
合計	610	100.0

②放課後子供教室	n	%
1 1. 夏休みなどの長期休みの期間を除く	141	36.1
2 2. 夏休みなどの長期休みのときのみ	2	0.5
3 3. 一年中(年末年始など特定日を除く)	156	39.9
4 4. その他	74	18.9
無回答・無効回答	18	4.6
合計	391	100.0

③ファミリー・サポート・センター	n	%
1 1. 夏休みなどの長期休みの期間を除く	1	0.3
2 2. 夏休みなどの長期休みのときのみ	0	0.0
3 3. 一年中(年末年始など特定日を除く)	272	72.9
4 4. その他	90	24.1
無回答・無効回答	10	2.7
合計	373	100.0

④プレイパーク	n	%
1 1. 夏休みなどの長期休みの期間を除く	0	0.0
2 2. 夏休みなどの長期休みのときのみ	0	0.0
3 3. 一年中(年末年始など特定日を除く)	19	48.7
4 4. その他	17	43.6
無回答・無効回答	3	7.7
合計	39	100.0

⑤子供の生活・学習支援事業	n	%
1 1. 夏休みなどの長期休みの期間を除く	1	1.9
2 2. 夏休みなどの長期休みのときのみ	1	1.9
3 3. 一年中(年末年始など特定日を除く)	36	67.9
4 4. その他	8	15.1
無回答・無効回答	7	13.2
合計	53	100.0

⑥子どもの学習支援事業	n	%
1 1. 夏休みなどの長期休みの期間を除く	17	7.9
2 2. 夏休みなどの長期休みのときのみ	8	3.7
3 3. 一年中(年末年始など特定日を除く)	129	59.7
4 4. その他	37	17.1
無回答・無効回答	25	11.6
合計	216	100.0

⑦放課後等デイサービス事業	n	%
1 1. 夏休みなどの長期休みの期間を除く	1	0.4
2 2. 夏休みなどの長期休みのときのみ	1	0.4
3 3. 一年中(年末年始など特定日を除く)	206	81.7
4 4. その他	8	3.2
無回答・無効回答	36	14.3
合計	252	100.0

(8) - 1. 各事業の担当スタッフの人数は何人ですか。

①放課後児童健全育成事業	n	平均値	標準偏差	最小値	最大値
男性20代	191	3.42	4.30	1	36
男性30代	148	2.67	4.11	1	38
男性40代	96	2.15	2.90	1	23
男性50代	98	1.94	2.72	1	25
男性60代	255	3.53	4.53	1	44
男性70代以上	106	3.01	4.30	1	26
女性20代	333	6.51	9.93	1	84
女性30代	381	6.11	8.56	1	59
女性40代	450	11.25	19.31	1	240
女性50代	472	22.16	38.61	1	376
女性60代	433	16.41	23.98	1	170
女性70代以上	178	4.12	4.85	1	32

②放課後子供教室	n	平均値	標準偏差	最小値	最大値
男性20代	68	2.53	3.01	0	18
男性30代	60	2.73	3.46	1	21
男性40代	82	3.34	5.21	1	35
男性50代	87	3.40	4.93	1	37
男性60代	179	9.13	31.68	1	390
男性70代以上	137	12.22	48.78	1	561
女性20代	85	3.32	5.72	1	50
女性30代	141	4.81	6.21	1	34
女性40代	196	10.88	24.07	1	286
女性50代	207	13.81	69.84	1	995
女性60代	227	15.12	64.31	1	952
女性70代以上	143	12.28	38.72	1	452

③ファミリー・サポート・センター	n	平均値	標準偏差	最小値	最大値
男性20代	11	1.45	0.82	1	3
男性30代	32	1.94	1.27	1	5
男性40代	38	2.61	2.54	1	11
男性50代	54	2.02	2.03	1	11
男性60代	74	3.53	3.85	1	20
男性70代以上	61	4.66	4.67	1	29
女性20代	74	3.79	5.58	1	40
女性30代	152	17.69	42.02	1	348
女性40代	205	28.10	58.84	1	412
女性50代	215	24.54	54.19	1	389
女性60代	160	30.27	54.54	1	287
女性70代以上	102	20.64	29.09	1	176

④プレイパーク	n	平均値	標準偏差	最小値	最大値
男性20代	10	1.30	0.67	1	3
男性30代	8	1.75	2.12	1	7
男性40代	10	2.00	1.15	1	5
男性50代	7	1.00	0.00	1	1
男性60代	6	1.50	0.84	1	3
男性70代以上	7	6.29	8.67	1	25
女性20代	7	1.43	0.53	1	2
女性30代	10	2.10	1.52	1	6
女性40代	13	2.31	1.38	1	5
女性50代	12	2.75	2.53	1	9
女性60代	6	2.67	1.86	1	5
女性70代以上	3	2.00	1.73	1	4

⑤子供の生活・学習支援事業	n	平均値	標準偏差	最小値	最大値
男性20代	24	8.46	12.46	1	47
男性30代	15	2.20	2.18	1	9
男性40代	9	1.33	1.00	1	4
男性50代	9	2.22	1.20	1	5
男性60代	21	3.48	3.39	1	11
男性70代以上	8	3.00	2.88	1	8
女性20代	21	8.19	8.49	1	32
女性30代	11	2.18	1.78	1	6
女性40代	16	2.56	4.00	1	17
女性50代	16	4.31	5.49	1	22
女性60代	18	3.83	4.64	1	20
女性70代以上	5	4.60	6.43	1	16

⑥子どもの学習支援事業	n	平均値	標準偏差	最小値	最大値
男性20代	71	6.30	7.37	1	33
男性30代	45	2.56	4.95	1	34
男性40代	31	1.90	1.68	1	10
男性50代	34	1.91	2.08	1	13
男性60代	94	3.77	4.02	1	25
男性70代以上	38	3.41	3.90	1	19
女性20代	80	6.29	8.22	1	35
女性30代	39	2.33	4.02	1	26
女性40代	53	3.75	5.63	1	28
女性50代	55	4.16	5.72	1	27
女性60代	71	4.98	8.27	1	62
女性70代以上	25	3.42	4.44	1	22

⑦放課後等デイサービス事業	n	平均値	標準偏差	最小値	最大値
男性20代	19	2.84	2.50	1	9
男性30代	29	2.97	3.01	1	12
男性40代	26	2.92	2.71	1	11
男性50代	19	2.21	1.78	1	6
男性60代	20	2.20	1.32	1	5
男性70代以上	6	1.67	0.82	1	3
女性20代	39	4.03	4.62	1	19
女性30代	51	4.14	4.31	1	25
女性40代	50	5.54	5.21	1	20
女性50代	49	5.41	5.61	1	23
女性60代	38	3.29	3.25	1	14
女性70代以上	8	1.50	0.76	1	3

(8) - 2. 各事業では、発達に支援が必要な子どもに対応できるスタッフを配置していますか。(複数回答)

①放課後児童健全育成事業	n	%
1. 全ての場所(施設)で配置している	153	25.1
2. 一部の場所(施設)では配置している	247	40.5
3. 全ての場所(施設)で配置していない	171	28.0
4. 巡回支援スタッフを配置している	32	5.2
合計	610	100.0

②放課後子供教室	n	%
1. 全ての場所(施設)で配置している	34	8.7
2. 一部の場所(施設)では配置している	50	12.8
3. 全ての場所(施設)で配置していない	260	66.5
4. 巡回支援スタッフを配置している	15	3.8
合計	391	100.0

③ファミリー・サポート・センター	n	%
1. 全ての場所(施設)で配置している	50	13.4
2. 一部の場所(施設)では配置している	74	19.8
3. 全ての場所(施設)で配置していない	187	50.1
4. 巡回支援スタッフを配置している	2	0.5
合計	373	100.0

④プレイパーク	n	%
1. 全ての場所(施設)で配置している	5	12.8
2. 一部の場所(施設)では配置している	1	2.6
3. 全ての場所(施設)で配置していない	19	48.7
4. 巡回支援スタッフを配置している	2	5.1
合計	39	100.0

⑤子供の生活・学習支援事業	n	%
1. 全ての場所(施設)で配置している	12	22.6
2. 一部の場所(施設)では配置している	5	9.4
3. 全ての場所(施設)で配置していない	28	52.8
4. 巡回支援スタッフを配置している	0	0.0
合計	53	100.0

⑥子どもの学習支援事業	n	%
1. 全ての場所(施設)で配置している	33	15.3
2. 一部の場所(施設)では配置している	16	7.4
3. 全ての場所(施設)で配置していない	133	61.6
4. 巡回支援スタッフを配置している	6	2.8
合計	216	100.0

⑦放課後等デイサービス事業	n	%
1. 全ての場所(施設)で配置している	199	79.0
2. 一部の場所(施設)では配置している	12	4.8
3. 全ての場所(施設)で配置していない	2	0.8
4. 巡回支援スタッフを配置している	0	0.0
合計	252	100.0

(8) - 3. 各事業では、発達に支援が必要な子どもがいる場合に、加配は行われていますか。(単一回答)

①放課後児童健全育成事業	n	%
1. 行われている	397	65.1
2. 行われていない	198	32.5
無回答・無効回答	15	2.5
合計	610	100.0

②放課後子供教室	n	%
1. 行われている	49	12.5
2. 行われていない	317	81.1
無回答・無効回答	25	6.4
合計	391	100.0

③ファミリー・サポート・センター	n	%
1. 行われている	24	6.4
2. 行われていない	302	81.0
無回答・無効回答	47	12.6
合計	373	100.0

④プレイパーク	n	%
1. 行われている	1	2.6
2. 行われていない	29	74.4
無回答・無効回答	9	23.1
合計	39	100.0

⑤子供の生活・学習支援事業	n	%
1. 行われている	4	7.5
2. 行われていない	41	77.4
無回答・無効回答	8	15.1
合計	53	100.0

⑥子どもの学習支援事業	n	%
1. 行われている	14	6.5
2. 行われていない	174	80.6
無回答・無効回答	28	13.0
合計	216	100.0

⑦放課後等デイサービス事業	n	%
1. 行われている	101	40.1
2. 行われていない	71	28.2
無回答・無効回答	80	31.7
合計	252	100.0

(8)ー4. 各事業の担当スタッフにどのような資格を求めていますか。(複数回答)

①放課後児童健全育成事業	n	%
1. 放課後児童支援員	546	89.5
2. 児童厚生員	86	14.1
3. 教員免許(幼稚園教諭免許を含める)	318	52.1
4. 保育士	339	55.6
5. 保育・教育・福祉専門の学校・学部を卒業	156	25.6
6. 社会福祉士	178	29.2
7. 子育て支援員	71	11.6
8. その他の資格・条件	109	17.9
合計	610	100

②放課後子供教室	n	%
1. TOEICなど英語資格(資格名、点数)	4	1.0
2. 教員免許(幼稚園教諭免許を含める)	53	13.6
3. 保育士	18	4.6
4. 保育・教育・福祉専門の学校・学部を卒業	17	4.3
5. 幼児教育トレーナー	3	0.8
6. 子育て支援員	18	4.6
7. その他の資格・条件	143	36.6
合計	391	100

③ファミリー・サポート・センター	n	%
1. 保育士	80	21.4
2. 保健師	16	4.3
3. 教員免許(幼稚園教諭免許を含める)	34	9.1
4. 保育・教育・福祉専門の学校・学部を卒業	13	3.5
5. 看護師	19	5.1
6. 子育て支援員	51	13.7
7. その他の資格・条件	173	46.4
合計	373	100

④プレイパーク	n	%
1. 市区町村内在住	2	5.1
2. 保育・教育・福祉専門の学校・学部を卒業	3	7.7
3. 子育て支援員	1	2.6
4. その他の資格・条件	13	33.3
合計	39	100

⑤子供の生活・学習支援事業	n	%
1. 市区町村内在住	1	1.9
2. 保育・教育・福祉専門の学校・学部を卒業	5	9.4
3. 教員免許(幼稚園教諭免許を含める)	10	18.9
4. 子育て支援員	3	5.7
5. その他の資格・条件	26	49.1
6. 教員の経験がある	16	30.2
合計	53	100

⑥子どもの学習支援事業	n	%
1. 市区町村内在住である	7	3.2
2. 保育・教育・福祉専門の学校・学部を卒業	17	7.9
3. 教員免許(幼稚園教諭免許を含める)	59	27.3
4. 子育て支援員	3	1.4
5. その他の資格・条件	70	32.4
6. 教員の経験がある	68	31.5
合計	216	100

⑦放課後等デイサービス事業	n	%
1. 保育士	131	52.0
2. 介護福祉士	38	15.1
3. 教員免許(幼稚園教諭免許を含める)	53	21.0
4. 保育・教育・福祉専門の学校・学部を卒業	45	17.9
5. 社会福祉士	57	22.6
6. 子育て支援員	11	4.4
7. その他の資格・条件	102	40.5
合計	252	100

(9)「実施している」事業の、サービス内容についての質問にお答えください。(複数回答)

①放課後児童健全育成事業	n	%
1. 居場所の提供	582	95.4
2. 軽食等の提供(おやつを除く)	110	18.0
3. さまざまな行事の実施	455	74.6
4. 定期刊行物の刊行	223	36.6
5. 地域交流の機会の提供	232	38.0
6. その他	18	3.0
合計	610	100

②放課後子供教室	n	%
1. 居場所の提供	327	83.6
2. 学習支援	244	62.4
3. 屋内活動	289	73.9
4. スポーツ活動(ダンスなどを含める)	281	71.9
5. 地域交流の機会の提供	244	62.4
6. その他	36	9.2
合計	391	100

③ファミリー・サポート・センター	n	%
1. 保育施設等までの送迎	342	91.7
2. 保育施設等の開始時刻前の子どもの預かり対応	336	90.1
3. 保育施設等の終了時刻後の子どもの預かり対応	343	92.0
4. 保護者の用事などの子どもの預かり対応	356	95.4
5. その他	92	24.7
合計	373	100

④プレイパーク	n	%
1. 子どもの遊び場作り	38	97.4
2. プレーリヤカー・プレーカー活動	1	2.6
3. 遊び場教室・講座・ワークショップ・研修会などの開催	14	35.9
4. 地域交流の機会の提供	23	59.0
5. その他の地域振興支援事業	4	10.3
6. その他	3	7.7
合計	39	100

⑤子供の生活・学習支援事業	n	%
1. 学習教室の開催などの学習支援	43	81.1
2. 家庭訪問	10	18.9
3. 食事の提供	22	41.5
4. 就労体験・ボランティア体験	8	15.1
5. その他	18	34.0
合計	53	100

⑥子どもの学習支援事業	n	%
1. 学習教室の開催などの学習支援	187	86.6
2. 課外活動	35	16.2
3. カウンセリング	32	14.8
4. 居場所の提供	94	43.5
5. その他	32	14.8
合計	216	100

⑦放課後等デイサービス事業	n	%
1. 自立支援と日常生活の充実のための活動	196	77.8
2. 創作活動	154	61.1
3. 地域交流の機会の提供	111	44.0
4. 余暇の提供	114	45.2
5. その他	41	16.3
合計	252	100

(10)ー1. 各事業の、学校との連携状況はどのようですか。(複数回答)

①放課後児童健全育成事業	n	%
1. 学校との情報交換を行っている	540	88.5
2. 遊びと生活の場を広げるために学校施設を利用できるよう、学校との連携を図っている	380	62.3
3. その他	23	3.8
4. 特に行っていない	18	3.0
合計	610	100

②放課後子供教室	n	%
1. 学校との情報交換を行っている	299	76.5
2. 遊びと生活の場を広げるために学校施設を利用できるよう、学校との連携を図っている	250	63.9
3. その他	14	3.6
4. 特に行っていない	19	4.9
合計	391	100

③ファミリー・サポート・センター	n	%
1. 学校との情報交換を行っている	46	12.3
2. 遊びと生活の場を広げるために学校施設を利用できるよう、学校との連携を図っている	4	1.1
3. その他	41	11.0
4. 特に行っていない	252	67.6
合計	373	100

④プレイパーク	n	%
1. 学校との情報交換を行っている	7	17.9
2. 遊びと生活の場を広げるために学校施設を利用できるよう、学校との連携を図っている	2	5.1
3. その他	8	20.5
4. 特に行っていない	22	56.4
合計	39	100

⑤子供の生活・学習支援事業	n	%
1. 学校との情報交換を行っている	21	39.6
2. 遊びと生活の場を広げるために学校施設を利用できるよう、学校との連携を図っている	0	0.0
3. その他	12	22.6
4. 特に行っていない	16	30.2
合計	53	100

⑥子どもの学習支援事業	n	%
1. 学校との情報交換を行っている	117	54.2
2. 遊びと生活の場を広げるために学校施設を利用できるよう、学校との連携を図っている	8	3.7
3. その他	30	13.9
4. 特に行っていない	48	22.2
合計	216	100

⑦放課後等デイサービス事業	n	%
1. 学校との情報交換を行っている	134	53.2
2. 遊びと生活の場を広げるために学校施設を利用できるよう、学校との連携を図っている	14	5.6
3. その他	27	10.7
4. 特に行っていない	28	11.1
合計	252	100

(10)ー2. 各事業の、保護者との連携状況はどのようですか。(複数回答)

①放課後児童健全育成事業	n	%
1. 子どもの出欠席等の把握を行っている	573	93.9
2. 保護者からの相談への対応を行っている	495	81.1
3. 保護者と連絡をとり合っている	491	80.5
4. 特に行っていない	5	0.8
合計	610	100

②放課後子供教室	n	%
1. 子どもの出欠席等の把握を行っている	289	73.9
2. 保護者からの相談への対応を行っている	134	34.3
3. 保護者と連絡をとり合っている	163	41.7
4. 特に行っていない	54	13.8
合計	391	100

③ファミリー・サポート・センター	n	%
1. 子どもの出欠席等の把握を行っている	40	10.7
2. 保護者からの相談への対応を行っている	195	52.3
3. 保護者と連絡をとり合っている	246	66.0
4. 特に行っていない	34	9.1
合計	373	100

④プレイパーク	n	%
1. 子どもの出欠席等の把握を行っている	2	5.1
2. 保護者からの相談への対応を行っている	11	28.2
3. 保護者と連絡をとり合っている	2	5.1
4. 特に行っていない	21	53.8
合計	39	100

⑤子供の生活・学習支援事業	n	%
1. 子どもの出欠席等の把握を行っている	34	64.2
2. 保護者からの相談への対応を行っている	30	56.6
3. 保護者と連絡をとり合っている	25	47.2
4. 特に行っていない	1	1.9
合計	53	100

⑥子どもの学習支援事業	n	%
1. 子どもの出欠席等の把握を行っている	122	56.5
2. 保護者からの相談への対応を行っている	92	42.6
3. 保護者と連絡をとり合っている	94	43.5
4. 特に行っていない	30	13.9
合計	216	100

⑦放課後等デイサービス事業	n	%
1. 子どもの出欠席等の把握を行っている	155	61.5
2. 保護者からの相談への対応を行っている	183	72.6
3. 保護者と連絡をとり合っている	172	68.3
4. 特に行っていない	3	1.2
合計	252	100

(11)ー1. 各事業に関して、条例等の策定はありますか。(複数回答)

①放課後児童健全育成事業	n	%
1. 条例の策定あり	557	91.3
2. 要綱・運営指針(ガイドライン)の策定あり	329	53.9
3. 策定なし	4	0.7
合計	610	100

②放課後子供教室	n	%
1. 条例の策定あり	17	4.3
2. 要綱・運営指針(ガイドライン)の策定あり	219	56.0
3. 策定なし	147	37.6
合計	391	100

③ファミリー・サポート・センター	n	%
1. 条例の策定あり	19	5.1
2. 要綱・運営指針(ガイドライン)の策定あり	312	83.6
3. 策定なし	31	8.3
合計	373	100

④プレイパーク	n	%
1. 条例の策定あり	5	12.8
2. 要綱・運営指針(ガイドライン)の策定あり	11	28.2
3. 策定なし	21	53.8
合計	39	100

⑤子供の生活・学習支援事業	n	%
1. 条例の策定あり	0	0.0
2. 要綱・運営指針(ガイドライン)の策定あり	30	56.6
3. 策定なし	16	30.2
合計	53	100

⑥子どもの学習支援事業	n	%
1. 条例の策定あり	1	0.5
2. 要綱・運営指針(ガイドライン)の策定あり	90	41.7
3. 策定なし	103	47.7
合計	216	100

⑦放課後等デイサービス事業	n	%
1. 条例の策定あり	44	17.5
2. 要綱・運営指針(ガイドライン)の策定あり	68	27.0
3. 策定なし	115	45.6
合計	252	100

(12)ー1. 各事業について、実施にあたっての課題はなんですか。(複数回答)

①放課後児童健全育成事業	n	%
1. 事業を実施する場所が不足している	256	39.6
2. スタッフ数が不足している	469	72.5
3. 定員に対して利用者数が不足している	29	4.5
4. 定員に対して利用者数が超過している	295	45.6
5. 駅や学校から遠く、公共交通機関が整備されていないため利用者が通いにくい	15	2.3
6. 条例や運営指針が策定されていないため、事業の方向性を定められない	5	0.8
7. サービスの内容が対象となる子どもの年齢やニーズに合わない	11	1.7
8. 事業を行うための予算が不足している	98	15.1
9. その他	44	6.8
合計	647	100

②放課後子供教室	n	%
1. 事業を実施する場所が不足している	126	19.5
2. スタッフ数が不足している	332	51.3
3. 定員に対して利用者数が不足している	41	6.3
4. 定員に対して利用者数が超過している	54	8.3
5. 駅や学校から遠く、公共交通機関が整備されていないため利用者が通いにくい	14	2.2
6. 条例や運営指針が策定されていないため、事業の方向性を定められない	50	7.7
7. サービスの内容が対象となる子どもの年齢やニーズに合わない	17	2.6
8. 事業を行うための予算が不足している	111	17.2
9. その他	77	11.9
合計	647	100

③ファミリー・サポート・センター	n	%
1. 事業を実施する場所が不足している	42	6.5
2. スタッフ数が不足している	215	33.2
3. 定員に対して利用者数が不足している	39	6.0
4. 定員に対して利用者数が超過している	24	3.7
5. 駅や学校から遠く、公共交通機関が整備されていないため利用者が通いにくい	16	2.5
6. 条例や運営指針が策定されていないため、事業の方向性を定められない	38	5.9
7. サービスの内容が対象となる子どもの年齢やニーズに合わない	19	2.9
8. 事業を行うための予算が不足している	54	8.3
9. その他	124	19.2
合計	647	100

④プレイパーク	n	%
1. 事業を実施する場所が不足している	83	12.8
2. スタッフ数が不足している	102	15.8
3. 定員に対して利用者数が不足している	9	1.4
4. 定員に対して利用者数が超過している	3	0.5
5. 駅や学校から遠く、公共交通機関が整備されていないため利用者が通いにくい	9	1.4
6. 条例や運営指針が策定されていないため、事業の方向性を定められない	84	13.0
7. サービスの内容が対象となる子どもの年齢やニーズに合わない	12	1.9
8. 事業を行うための予算が不足している	86	13.3
9. その他	83	12.8
合計	647	100

⑤子供の生活・学習支援事業	n	%
1. 事業を実施する場所が不足している	75	11.6
2. スタッフ数が不足している	110	17.0
3. 定員に対して利用者数が不足している	23	3.6
4. 定員に対して利用者数が超過している	9	1.4
5. 駅や学校から遠く、公共交通機関が整備されていないため利用者が通いにくい	22	3.4
6. 条例や運営指針が策定されていないため、事業の方向性を定められない	76	11.7
7. サービスの内容が対象となる子どもの年齢やニーズに合わない	17	2.6
8. 事業を行うための予算が不足している	75	11.6
9. その他	95	14.7
合計	647	100

⑥子どもの学習支援事業	n	%
1. 事業を実施する場所が不足している	85	13.1
2. スタッフ数が不足している	163	25.2
3. 定員に対して利用者数が不足している	50	7.7
4. 定員に対して利用者数が超過している	22	3.4
5. 駅や学校から遠く、公共交通機関が整備されていないため利用者が通いにくい	41	6.3
6. 条例や運営指針が策定されていないため、事業の方向性を定められない	59	9.1
7. サービスの内容が対象となる子どもの年齢やニーズに合わない	14	2.2
8. 事業を行うための予算が不足している	85	13.1
9. その他	85	13.1
合計	647	100

⑦放課後等デイサービス事業	n	%
1. 事業を実施する場所が不足している	93	14.4
2. スタッフ数が不足している	144	22.3
3. 定員に対して利用者数が不足している	16	2.5
4. 定員に対して利用者数が超過している	61	9.4
5. 駅や学校から遠く、公共交通機関が整備されていないため利用者が通いにくい	30	4.6
6. 条例や運営指針が策定されていないため、事業の方向性を定められない	49	7.6
7. サービスの内容が対象となる子どもの年齢やニーズに合わない	16	2.5
8. 事業を行うための予算が不足している	69	10.7
9. その他	119	18.4
合計	647	100

6.4 参考文献

- 泉千勢. スウェーデンの学童保育：日本の「放課後子どもプラン」への展望. 社会問題研究, 58, 1-12, 2009.
- 伊部恭子. 学童保育における子育て・家族支援の課題. 佛教大学社会福祉学部論集, 6, 1-18, 2010.
- 植木信一. スウェーデン・テュービー市 (Taby kommun, Sverige) における学童保育 (Fritidshem 余暇センター) の現状について. 県立新潟女子短期大学研究紀要, 37, 49-56, 2000.
- 内田公義. 学童保育が果たしてきた役割と今後の課題ーコミュニティ心理学の視点からー. 地域総研紀要, 8(1), 23-30, 2010.
- 斎尾直子, 長谷夏哉. 都市における児童の居場所づくりの多様化と安全安心ー豊かな空間確保両立についての考察：こども達の放課後の居場所づくりに関する研究. 日本建築学会計画系論文集, 72(614), 33-39, 2007.
- 内閣府国民生活局物価政策課. 保育サービス市場の現状と課題ー『保育サービス価格に関する研究会』報告書一. 2003.
- 中田周作. 学童保育のあり方に関する自由記述の分析. 中国学園紀要, 199-207, 2011.
- 開浩一, 柿森昭. 異年齢集団活動が児童の発達に関わる可能性. 現代社会学部紀要, 7(1), 39-45, 2009.
- 平田貴子. わが国における学童保育の現状に関する一考察. 川崎医療短期大学紀要, 27, 47-51, 2007.
- 三根佳祐. わが国における放課後児童対策の展開. 大阪経大論集, 62(2), 151-168, 2011.
- 森洋子. 学童保育における指導員の専門性 K市学童保育の実践から. 岐阜女子大学紀要, 37, 71-79, 2007.

平成30年度子ども・子育て支援推進調査研究事業
放課後児童クラブのニーズ把握に関する調査研究
報告書

2019年（平成31年）3月発行

株式会社 政策基礎研究所

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2丁目30番16号 丸高八丁堀ビル3F

TEL:03-6280-3569 FAX:03-6280-3562 URL:<http://www.doctoral.co.jp/>

（転載または引用の場合は必ず出典を明記のこと）